

JFA news

公益財団法人日本サッカー協会 機関誌

みんなで！
セーフガーディング

セーフガーディングとは？サッカー界の取り組み

Jリーグのセーフガーディング

サッカーファミリーに聞く

北海道サッカー協会

東京都サッカー協会

12 NO.500
2025.
月 情報号

JAPAN



アディダス サッカー日本代表 2026 ユニフォーム発売中



詳しくはこちら

特集

みんなで! セーフガーディング



CONTENTS

004 セーフガーディングとは? サッカー界の取り組み

008 Jリーグのセーフガーディング

011 サッカーファミリーに聞く

北海道サッカー協会 東京都サッカー協会

日本代表

083 SAMURAI BLUE

キリンチャレンジカップ2025 vs ガーナ代表、ボリビア代表

085 なでしこジャパン

MS&ADカップ2025 vs カナダ女子代表

086 U-20日本代表

FIFA U-20ワールドカップチリ2025 大会レポート

船越優蔵監督インタビュー

090 U-17日本女子代表

FIFA U-17女子ワールドカップモロッコ2025 大会レポート

白井貞義監督インタビュー

094 デフサッカー男女日本代表

第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025

大会・試合

018 皇后杯 JFA 第47回全日本女子サッカー選手権大会 開幕

019 AFC女子チャンピオンズリーグ2025/26

020 天皇杯 JFA 第105回全日本サッカー選手権大会

023 2025JリーグYBCルヴァンカップ

024 第27回日本フットボールリーグ閉幕

025 全国地域サッカーチャンピオンズリーグ2025

081 JFA 第13回全日本O-40サッカー大会

記録集

064 天皇杯 JFA

第105回全日本サッカー選手権大会

REPORT

082 サッカー日本代表

2026ホームユニフォーム発表

連載

026 短期連載 フットボールがつなぐもの

「第5回:湘南ベルマーレフットサルクラブの取り組み」

028 隔月連載 No Football, No Life

川嶋珠生

「指導者として高みを目指しながら地元に戻ることができる人間に」

030 隔月連載 メディカルROOM

「サッカー選手に多くみられるけがの特徴とその予防(2)前十字靱帯損傷」

031 隔月連載 サッカー心育論

中山雅雄

「エリートユース育成」

032 いつも心にリスペクト

大住良之

「大きなアクシデントの中で相手を思いやる」

JFAの理念

サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、
人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

JFAのビジョン

サッカーの普及に努め、スポーツをより身近にすることで、
人々が幸せになれる環境を作り上げる。

サッカーの強化に努め、日本代表が世界で活躍することで、
人々に勇気と希望と感動を与える。

常にフェアプレーの精神を持ち、国内の、さらには
世界の人々と友好を深め、国際社会に貢献する。

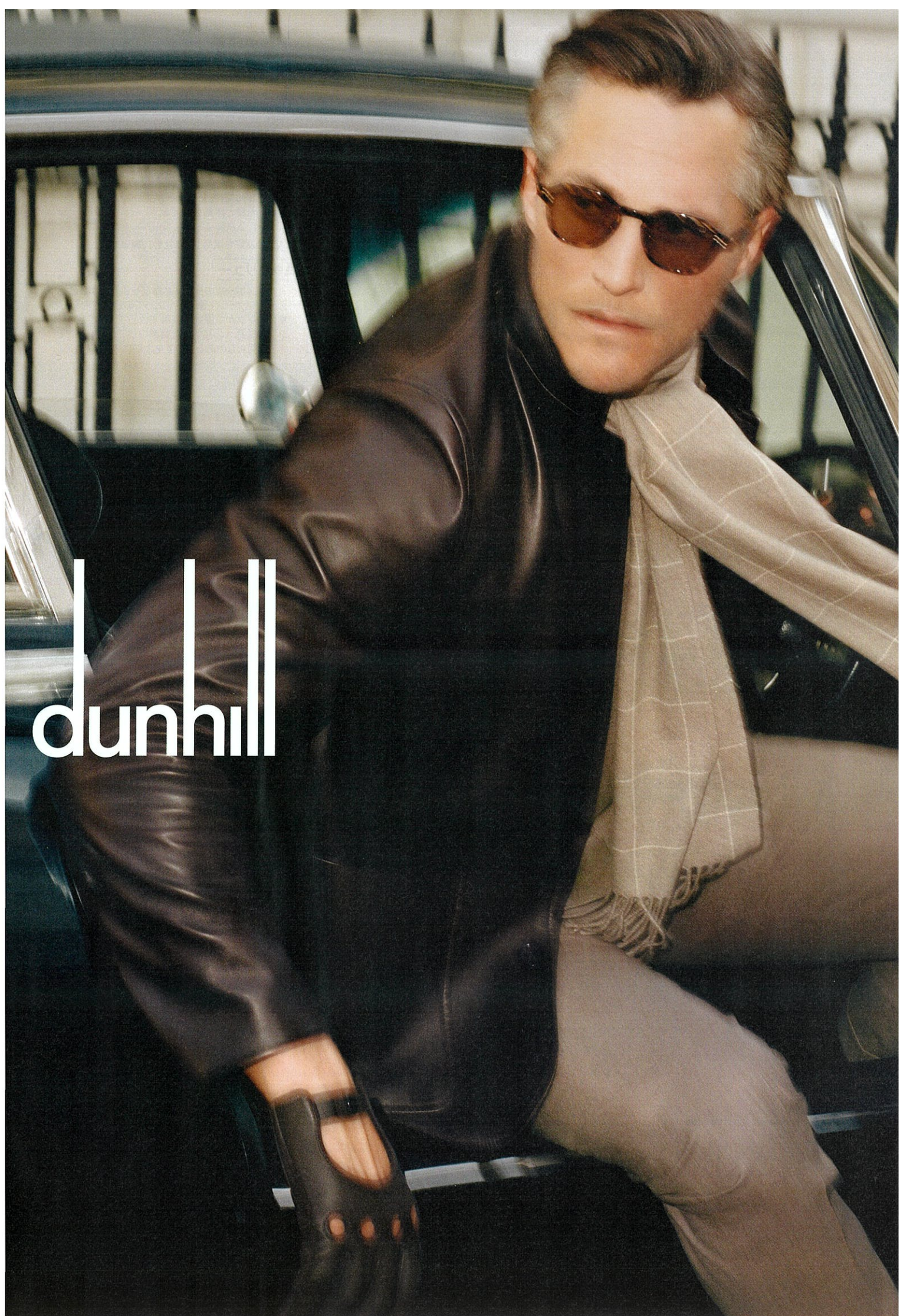
JFAのバリュー

エンジョイ●スポーツの楽しさと喜びを原点とすること
プレーヤーズファースト●選手にとっての最善を考えること
フェア●オープンかつ誠実な姿勢で公正を貫くこと
チャレンジ●成長への高い志と情熱で挑戦を続けること
リスペクト●関わりのあるすべてを大切に思うこと

※本誌の記事・写真・図表などの無断転用を禁じます。
表紙・目次および本誌内のクレジットの記載のない写真:
©JFA、©JFA/PR、©J.LEAGUE、©WE LEAGUE、
©F.LEAGUE、©Walrix



JFAは社会課題解決に向けた活動
「アスパス!」に取り組んでいます。これ
は「地球(earth)の未来(明日)のため
に私たち(us)がつなぐパス」の意を込
めた造語でサッカーファミリーが世代
や時代を超えて「パスを繋いでいく」と
いう強い決意を表現しています。



dunhill



日本サッカー協会（JFA）は2021年11月、「JFAセーフガーディングポリシー」を策定した。これは子どもたちや弱い立場にある人々が、サッカー、スポーツを安心、安全に楽しむ権利とその環境を守るための指針となるもの。なぜ、セーフガーディングが重要なのか――。

今号では、サッカー界のセーフガーディングについて、JFAとJリーグ、そして北海道サッカー協会と東京都サッカー協会の取り組みを紹介。サッカーファミリーと共にその大切さを考えたい。

楽しさの奥にある、 私たちが 守るべきもの



セーフガーディングとは？ サッカー界の取り組み

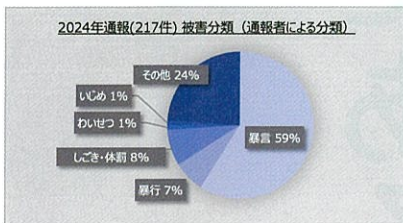
弱い立場になりやすい人の
安心、安全を守る

日本サッカー協会（JFA）は2021年11月、「JFAセーフガーディングポリシー」を策定した（表1および7ページ参照）。これは、子どもや弱い立場に置かれている人々を含む全てのサッ

カーファミリーが、安心、安全にサッカー、スポーツを楽しめるよう、日本サッカー界としての約束事をまとめたもの。スポーツは本来、楽しむもので、それを脅かす一切のものを許さないこと、そのために、立場にかかわらず全ての人がセーフガーディングを「自分事」として捉え、子どもたちとその権利を守るために行動することを伝えている。

Jリーグと共に「リスペクトプロジェクト」を立ち上げた2008年以降、JFAは「大切に思うこと」を合言葉にリスペクト・フェアプレーを推進してきた（表2）。「リスペクト」という言葉は、サッカー界だけでなく、各種スポーツや日本社会にも浸透し、その大切さが再認識されるようになった。しかし、2012年には、部活動の顧問による体罰を苦に生徒が自ら命を絶つといった悲しい事件、また、ある競技では、日本代表を含む国内トップ選手らが、監督やコーチによる暴力やパワーハラスメント（パワハラ）があったとして日本オリンピック委員会に告発するケースもあった。これらを契機にスポーツ界全体、そしてJFAとしても、あらためてこの問題に取り組むこととなった。今年に入ってからも部活動で複数の部員によるいじめが確認され、いじめ防止対策

■表3



その他：対象外の通報等



その他：サッカー活動以外の通報（対象外）含む

■表1 JFAセーフガーディングポリシー

JFAセーフガーディングポリシーは、JFAサッカーファミリー安全保護宣言をサッカーの日常の場で体現するために整理したものです。具体的な取り組みを推し進め、サッカーファミリーへの意識共有を図っていきます。JFAは次の100年に向けて子どもたちの声を聞き、子どもたちをエンパワーする活動にもより一層の力を注いでいく考えです。そして、いかなる場合でも暴力を容認せず、全てのサッカーファミリーが安心して安全にサッカーを楽しむ権利があることを啓発していきます。

●セーフガーディングポリシー全文はこちら
https://www.jfa.jp/respect/safe_guarding.pdf



■表2 JFAのリスペクト・フェアプレーに関する主な取り組み

2008年	リスペクトプロジェクト発足
2011年	リスペクトシンポジウムを毎年開催
2013年	暴力等根絶相談窓口を設置 マッチウェルフェアオフィサーを各種大会に随時配置
2014年	リスペクト・フェアプレー強化月間「JFAリスペクト・フェアプレーデイズ」を毎年9月に開催
2015年	ウェルフェアオフィサー制度をスタート
2019年	JFAサッカーファミリー安全保護宣言
2021年	JFAセーフガーディングポリシー策定
2023年	安心・安全なサッカー環境に関する「子どもパブリックコメント」を実施（毎年開催）
2024年	アクセス・フォー・オール宣言

■表4 ウェルフェアオフィサーの種類と役割

- ①ウェルフェアオフィサージェネラル（WOG）
…各協会・連盟などでリスペクト・フェアプレーを推進する担当者
- ②マッチウェルフェアオフィサー（MWO）
…競技会でリスペクト・フェアプレーを推進する担当者
- ③クラブウェルフェアオフィサー（CWO）
…所属クラブでリスペクト・フェアプレーを推進するリーダー

【役割】

- ・リスペクトやフェアプレーを啓発、促進
- ・暴力、差別などの予防活動（問題の顕在化を未然に防ぐ）
- ・諸問題対応、問題解決
- ・司法機関や諸関連組織への橋渡し

⇒ウェルフェアオフィサーは

「気付きを伝える」「懲罰を下さない」「理解者を増やす」

Q「セーフガーディング」って何?

A 子どもや弱い立場にある人々を虐待や不適切な取り扱いから保護すること、人々が安心して安全な生活を送る権利を確保する取り組み、またその環境づくりのことです。

Q JFAセーフガーディングポリシーの対象は?

A サッカーファミリー、そして企業や団体、関係者など、サッカーに関わる「全ての人」が対象です。JFAは一人一人がセーフガーディングを自分事として捉えることが、安心・安全な環境づくりに不可欠と考えています。

Q セーフガーディングを学びたい。どうやって学べばいい?

A JFAはセーフガーディングについて学んでもらうためのeラーニングを無料で公開しています。また、Jリーグも公式サイトでセーフガーディングに関する情報をまとめて発信しています。ぜひご覧ください。

●JFAセーフガーディング

(eラーニングは6ページもご参照)

https://www.jfa.jp/respect/safe_guarding.html

●Jリーグセーフガーディング

<https://www.jleague.jp/special/safeguarding/>



Q セーフガーディングワークショップは、誰でも参加できる?

A どなたでも参加可能です。セーフガーディングワークショップは、日常のサッカーの現場で安心・安全な環境をいかに生み出し、守っていくかについて、グループワークやディスカッションを通してみんなで話し合っただけで学ぶ研修会。いろいろな人と話すことで多くの気づきや学びが得られます。開催情報については、所属する都道府県サッカー協会にお問い合わせください。

推進法に基づいて調査されるなど、リスクを脅かす問題はなくなっていない。
JFAが暴力等根絶相談窓口を設置した13年以降、近年はより多くの相談が寄せられるようになってきている(表3)。これは別の角度から見れば、コンプライアンス意識が高まっている証しとも言え、スポーツ界全体のこの傾向は、問題の早期発見や再発防止につながるポジティブな変化として捉えられている。
教える側の指導者は、子どもや選手に対し、時に高圧的になり

気づき、気づかせる体制 隅々まで行き渡らせ、 ポジティブな連鎖を

やすい。そのため、JFAは、指導者養成講習会のカリキュラムにも暴力暴言根絶を組み込むほか、現在はセーフガーディングのワークショップも行っている。
「しない、させない、許さない。」これはJFAが暴力・暴言の根絶に取り組む上でスローガンに掲げた言葉だ。まずは自分が「しない」ため、倫理観とコミュニケーション

「軽い状態のうちに早く対策を講ずることと解決できることは多い」と話すのは、JFAリスクト委員会の今井純子委員長だ。チームによっては、指導者が一人

多くの選手を見ているケースもある。指導者は孤立しやすく、自らが問題のある言動をしていることにも気づきにくい傾向にある。熱心なあまり、行き過ぎてしまうこともあるだろう。「しない、させない、許さない」環境づくりは、子どもや選手だけでなく、指導者を守ることもつながる。

しかし、「JFAの発信だけでは隅々まで情報が行き渡らず、なかなか変わっていない」と、今井委員長は課題を挙げる。そこで推進している施策が「ウェルフェア(Welfare)。幸福、快適な生活、福利の意」の醸成だ。組織、競技会、クラブそれぞれに「ウェルフェアオフィサー(WO)」を置



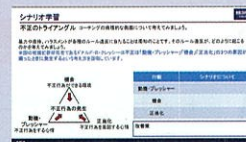
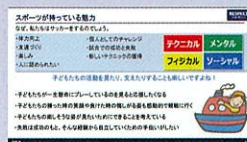
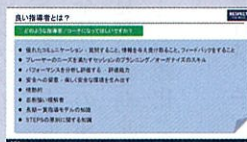
セーフガーディング eラーニング

JFAはクラブウェルフェアオフィサー向けのeラーニングをJFA.jpで無料公開しています。サッカーファミリーの皆さんも、ぜひご覧ください。

https://www.jfa.jp/respect/safeguarding_e-learning.html

●子どもたちの明るい未来のために [子どものサッカーに関わっている方向け]

●サッカーの安心・安全・幸せが守られる環境のために [全ての方向け]



クラブウェルフェアオフィサーハンドブック (PDF: 5MB)

https://www.jfa.jp/respect/safety_protection/welfare_officer_handbook.pdf



き、リスペクトとフェアプレーを基盤に誰もが安全にサッカーを楽しむ環境づくりを目指す(表4)。

ウエルフェアオフィサー・ジェネラル(WOG)は各地域・都道府県サッカー協会(FA)、リーグ、連盟に配置され、種別や傘下の市区町村FA、各種別委員会、連盟などにもWOGを置いて推進している。WOGが中心となってセーフガーディングワークショップを開催したり、競技会にマッチウエルフェアオフィサー(MWO)を配置したり、登録チームにクラブウェルフェアオフィサー(CWO)の配置を促したりするなど、その輪は着実に広がっている。JFAは22年からWOGのチーフを配置して組織化し、より盤石の体制を構築するよう進めている。

日常の環境をより良いものにしていくためにはCWOの存在が不可欠であり、配置を進めていく。

JFAは全ての種別の登録チームに配置する方針で、クラブにおけるウエルフェアを守るだけでなく、ク

FIFAやイングリッドも推進 子どもの思いにに応えたい

国際サッカー連盟(FIFA)は、サッカーにおける子どもの健康と幸福を守るための具体的な対策として、「FIFAガーディアンズプログラム」を策定し、その実行に必要なツールキットを加盟協会・連盟に展開している。FIFAグローバルフットボール開発責任者のアーセン・ベンゲル氏は「セーフガーディングは最も大事な」と話している。今井委員長はこれについて「技術のトップにいる人の発言としてとても重

要。FIFAは、セーフガーディングは「全員の役割」であること、そして「コンプライアンスから文化」にしていくことが大事だと発信している。セーフガーディングの重要性は世界各国にも浸透してきている」と語る。

リスペクト先進国であるイングランドサッカー協会でも全てのクラブや指導者に対してセーフガーディングの研修を義務付けるなど、不適切な指導や暴力、差別、精神的虐待などを未然に防ぐための教育と啓発を徹底している。

日本ではセーフガーディングを当たり前にするにはどうしたらよいのか。今井委員長は「大事なのは、みんなが当事者意識を持つこと。そのためには全国で日常的に向き合う人々を増やすことが最善だと思っている。毛細血管のようにネットワークを隅々まで行き渡らせ、『おかしいな』と気づける人を増やしていく。そしてみんなでポジティブに解決していく。それが当たり前になる社会にしたい」と話す。

今年、小学5年生から高校3年生の選手、中学1年生から高校3年生のユース審判員を対象に実施したパブリックコメントでは、「安心・安全にサッカーを楽しむるようにするために自分た

ちができることはあるか」という設問に「ある」と答えた子どもはそれぞれ約7割を数え、ポジティブな回答が寄せられた。一方で「子どもをばかにしないほしい」「大人が変わらないといけない」「見えているなら注意してほしい」「などといった大人の要求も多くあった。

子どもたちはポジティブな姿勢で、勇気を持って自分たちのサッカー環境を変えたいと考え、声を上げている。大人がそれに正面から向き合い、応えることが、日本サッカーの未来を明るく照らしていくはずだ。

■U-18子どもパブリックコメント2025 実施報告

https://www.jfa.jp/respect/fairplaydays/pdf/JFA_U-18_Child_public_comment_2025.pdf



■ユース審判パブリックコメント2025 実施報告

https://www.jfa.jp/respect/fairplaydays/pdf/youth-referee_child_public_comment.pdf



関わる私たち全員で守る！

サッカーでの安心・安全・そして笑顔

知っていますか？「JFAセーフガーディングポリシー」

基本原則

子どもたちの安心・安全を守る

1. 子どもたちの喜びを広げ、成長を促す環境をつくる
2. 子どもたちに選択肢を与える
3. 子どもたちの声を聞き、対話する
4. 子どもたちの安心・安全を守る
5. 健康や環境リスクに対処する



私たちは許さない

6. あらゆる暴力・暴言を排除する
7. あらゆる差別を排除する
8. あらゆるハラスメントを排除する
9. あらゆる誹謗中傷を排除する
10. 子ども同士の問題にもアプローチする
11. サッカー外の問題にも気づく
12. 負の連鎖を断ち切る



そのためにも

13. 適切な人が子どもたちに関わるよう取り組む
14. 子どもたちを守るためにも、誠実に子どもたちに向き合う大人の安心・安全を守る
15. 起こったことへの対応とともに、予防・教育を重視する
16. 現場をオープンに。リスクの芽に気づき、声を掛け合う、伝え合う文化をつくる



そしてこれは

17. ファミリー全員の役割・責務であり、全員が当事者意識を持つ必要がある
18. 定期的に現状や手順を評価し、状況の変化に応じてアップデートする必要がある



暴力等根絶相談窓口

https://www.jfa.jp/violence_eradication/



●指定フォーム(インターネット)

暴力等根絶相談窓口では、指定フォームにて通報を受け付けています(24時間)。詳細は、上記URLをご参照ください。



リスペクト宣言「リスペクト・フェアプレー」

<https://www.jfa.jp/respect/declaration/>



リスペクトの本質を、常に全力を尽くしてプレーすること、そしてそれはフェアプレーの原点であると考えていきたいと考え、「大切に思うこと」としました。「フェアで強い日本を目指す」。それがサッカー、スポーツの価値を高めていくことにつながります。こういったことはまさに今の社会に必要なことです。社会からサッカーが尊敬され、サッカーが文化となる。サッカーから、スポーツ、そして日本社会にこういった価値観を広めていきたいと考えています。





Jリーグのセーフガーディング

深野悦子さん（Jリーグフットボール本部 育成部）

インタビュー

クラブの特徴に即した 独自のポリシーを

選手はもちろん、サッカーに携わる全ての人に安心・安全な活動環境を提供するため、Jリーグはセーフガーディングの取り組みに力を入れている。その内容について、Jリーグフットボール本部育成部の深野悦子さんに話を聞いた。

○取材日・2025年11月18日

Jリーグと各クラブが 9つの取り組みを共有

— Jリーグがセーフガーディングに取り組み始めたきっかけを教えてください。

深野 スタートは2019年です。日本独自の育成システムを構築し、優秀な選手やスタッフが持続的に育つ、ワールドクラスのアカデミーを増やそうと「Project DNA」という施策をスタートさせました。その中の一つに、23項目でアカデミーを自己評価する「JAQS（Jリーグアカデミックオリテイスターダード）」がありました。これはイ

ングランドの評価制度を基に設定したもので、セーフガーディングはその評価項目のうちの一つです。評価制度自体は一区切りさせたのですが、JAQS自体は重要な指針として存在しており、セーフガーディングも継続して取り組んでいます。

— どのような形で取り組まれているのでしょうか。

深野 各クラブが取り組むべきことが9つあります。①セーフガーディングの担当責任者を配置す



る、②その担当責任者がリーグのワークショップに参加する、③年次のセーフガーディング説明会を実施する、④スタッフ、選手、保護者らの行動規範をつくる、⑤セーフガーディングの窓口と報告経路を整備する、⑥セーフガーディングの関連手順、手続き、窓口の表記を掲載する、⑦スタッフがメデイカルチェックや職歴を自己申告する、⑧セーフガーディング関連のポリシーやルールを定める、⑨安全性が考慮されたスタッフ採用方針を取る、これらを各クラブとリーグが共有し、毎年、更新しながら取り組んでいます。

——窓口や報告経路、ポリシーの作成など最初の段階でつくるものと、ワークショップや説明会のように毎年、実施するものがあるということですね。

深野 最初に作ったものに関して、も、運用していくうちに新しいポリシーが必要になったり、内容が古くなり、時代にそぐわなくなったりして更新作業が必要になりましたので、必要に応じてアップデートしています。また、新たにクラブに加わったスタッフが内容を知らないということがないようにしていただいています。最初にポリシーなどを決めるときはハードルが高かったと思いますが、少人数で決めるのではなく、指導者全員で勉強

会を兼ねたCPDプログラムの一環として話し合っていて決めてもらったり、選手とも話し合っていて決めてもらったりという形にして、各クラブに作り上げていただきました。

——Jリーグが特に強調して伝えていることはありますか。

深野 セーフガーディングは重要なものなので継続して取り組んでいきたいと思います。各クラブは、その存在を認知しているが、明確化されていない部分が多かったんです。最初はセーフガーディングとは何か、なぜ大事なのか、というところから始めました。今、国際サッカー連盟(FIFA)やアジアサッカー連盟(AFC)、日本サッカー協会(JFA)を含むあらゆる団体がこの活動に取り組んでいます。知識が増えるにつれ、安心・安全なくしてJリーグの活動を続けることはできない、という機運が醸成されてきた感じがします。最初は大変だったと思います

が、実際にポリシーをつくってみたいから、これは絶対に必要なものだと認識してもらえようになりまし。明文化しておけば、何か問題が起きたときに、クラブから選手や保護者に対して「ここに載っています」と提示できます。今ではやってよかったと皆さんに思ってもらえているはず。

窓口を複数設け、問題発生時に誰かに相談できる仕組みを用意

——Jリーグとして、各クラブにはどのような対策を期待しているのでしょうか。

深野 最初にポリシーの基準となるものを各クラブにお渡ししましたが、セーフガーディングはクラブ独自で開発していくものだと思います。問題が起きたら、本来はクラブで解決するべきですし、報告経路を例に挙げても、クラブの規模、例えば練習場が何カ所あるか、コーチや選手の人数によって介入する人の数も変わってきます。各クラブの実態に即したものを作ってほしいというのが私たちの願いです。

——報告経路や相談窓口はセーフガーディングにおいて重要なものだと思いますが、どのように整備するべきなのでしょう。

深野 問題が起きてクラブが報告を受けた後、速やかにかつ確実にダイレクターや経営陣に伝わる仕組みが必要です。そして、通報した人の安心・安全が守られる必要があります。運用の仕組みはクラブごとに異なりますが、皆さんに伝えているのは、「窓口をたくさん設けてください」ということです。例えば、自分のコーチ

が窓口になっているケースだと、そのコーチが問題の当事者である場合は窓口として機能しませんよね。そのコーチ以外にも、いろいろな人が最初の窓口になり得ますし、JFAの暴力等根絶相談窓口に直接、相談してもよいと思います。報告経路の窓口を複数設けて、問題が発生したときにはとにかく誰かに相談できる仕組みを用意してもらいようお願いします。

——各クラブからJリーグへの報告経路はどのようになっているのでしょうか。

深野 Jリーグの規約に「報告義務」があり、規約に違反する疑いがある行為が発生したときに、各クラブはJリーグに報告する義務があります。Jリーグでは、法務・コンプライアンス部が窓口となっていてそれを受けています。本来はクラブが解決すべきことではあります。情報が収集し、改善が必要だと判断したときにはクラブへの適切な指導やアドバイス、場合によってはリーグによる調査がなされます。

——アカデミーという点では、ス

Jリーグの中心となってセーフガーディングの重要性を説いている深野さん。「各クラブが腰を据えて取り組むべき課題」と話す

クルの関係者への対応はどうされているのでしょうか。

深野 スクールを担当する普及部門がアカデミーに付属しているクラブと、事業部門に付属しているクラブとがあり、後者の場合はアカデミー向けのセーフガーディングポリシーの範疇外になっているように思っています。ですので、今年、各クラブの普及担当者を集めてセーフガーディングに関するセミナーを実施しました。出席者には、普及用のポリシーを作ってもらいようお願いします。各クラブで作業を進めていただいているはず。もちろん、一気に整備するのは難しいので、無理のない範囲で、少しずつ改良を加えながら整えてもらえればと思っています。



全員が100%理解するのは難しい だからこそ、やり続ける

——Jリーグ以外の取り組み事例について紹介できるものはありますか。

深野 今年8月にイングランドのリバプールFC U-15が来日し、私が窓口を担当したのですが、セーフガーディングを徹底しているのが印象的でした。わずか数分の散歩に行くだけでも選手だけにはせず、大人が同行してしまし、練習場のトイレですら選手を一人で行かせないんです。誰かが「トイレに行きたい」と言ったら大人が同行し、それを全員で待つ。とにかく選手を守ることを徹底していました。来日前にクラブで定めているポリシーが送られてきたとき、その内容の細かさに驚いたのですが、実際はもっと細かったです。

——そういった事例を、日本ではどのように参考にしていけばいいのでしょうか。

深野 リバプールという名門チームのアカデミーでプレーする選手は、ある意味、特別な商品価値を見いだされているのかもしれないです、イギリスがもしかすると日本ほど安全ではないという事情もあって日本とは基準が違うのだと

思います。例えば、練習帰りにコーチが選手を車で送ったとしましょう。日本ではよくあるケースかもしれないですが、イングランドでは性犯罪の観点などから指導者と選手を二人きりにさせることを禁止しています。どこで折り合いをつけるのか難しい部分はありますが、海外では「ここまでやっていきます」という話を各クラブに共有しています。また、都市部のクラブと地方のクラブとでもポリシーの違いは生まれるでしょう。選手が電車に乗らないような地域であれば電車を通うときのポリシーは必要がないかもしれませんし、自転車で通う選手が多いクラブであれば、自転車に関するポリシーが必要になります。最近では熊が出没したときのポリシーを盛り込んだクラブもあります。海外の事例から学びつつ、クラブが置かれた環境や時代の流れなども見ながら、常にアップデートしていく必要があります。

——各クラブの指導者や保護者は、「言ってはいけない言葉」や「好ましくない態度」に対して十分な知識を持つようになってきているのでしょうか。

深野 今も何かしらの問題が起きていますし、全員が100%理解するのは正直、難しいと思います。だからこそ、やり続けなければなりません。リーグのワークショップは、以前は年に1回の開催でしたが、それが2回になり、今年は計3回、実施しました。少しずつ形を変え、立場が異なる人たちにも参加を促しているのですが、クラブの全員が参加することはできません。ですから、参加したアカデミーダイレクターやセーフガーディング担当者がクラブに持ち帰って伝えてもらうことになります。クラブが2月から始動するとしたら、そのタイミングで保護者やスタッフ、選手を集めて説明会をしてもらいます。行動規範にサインしてもらっているクラブもあります。

——Jリーグとしてのさらなる改善点はありますか。

深野 セーフガーディングの活動を続けることです。100%安心・安全な状況はどこにも存在し得ないかもしれませんが、無理だと諦めるのではなく、できる限りのことをやっていくしかありません。クラブによってはポスターを作ったり、掲示したり、ガイドラインをハンドブック化して保護者の方に配布したり、いろいろな工夫をされています。しかし、クラブのポリ

シーに同意し、そこに署名した保護者がのちにクラブを訴え、裁判を起こしたケースもあります。それでも、「自分たちはこういうクラブで、このようなポリシーを掲げて子どもたちを守っています。賛同してくれる方は参加してください」という姿勢は示すべきですし、われわれも一緒に進めていく構えです。

——ゴールはあるけれども、そこにたどり着けない難しさがあります。

すね そうですね。それでも腰を据えてやり続けるしかありません。過去に問題が起こったクラブからは、「セーフガーディングがあつて本当に良かった。なかったらどうすればよかったからなかった」と言われます。必要がなければそれに越したことはないですが、問題が起きたときには、自分たちがつくったポリシーが指針になるはずですよ。



今年の夏、Jリーグインターナショナルシリーズ2025 アカデミーマッチに臨むために来日したリバプールFC U-15。セーフガーディングを徹底していた

Jリーグのセーフガーディングに関する取り組みは、
以下からご覧いただけます。
<https://www.jleague.jp/special/safeguarding/>



子どもたちを守るのと同時に熱心な指導者も守りたい

北海道サッカー協会

上田 充士

技術委員長/ウェルフェア
オフィサー/ジェネラルチーフ

インタビュー



北海道サッカー協会 (FA) では、ウェルフェアオフィサーの配置やセーフガーディングワークショップを開催するほか、各地区FAにおけるリスペクトの推進も後押ししている。北海道FAでウェルフェアオフィサー・ジェネラルチーフを務める上田充士技術委員長に取り組みの詳細やセーフガーディングへの思いを聞いた。

○オンライン取材日・2025年11月17日

広大な北海道だからこそ
各地区が自立して取り組む

北海道FAがセーフガーディングの取り組みを始めたのはいつからでしょうか。

上田 2014年に高知県で開催された第45回全国中学校サッカー大会を観察した際、マッチウェルフェアオフィサー (MWO) が配置されていた。翌年の同大会が北海道での開催で、そこで導入しました。その後、ユースプロジェクト委員会 (育成年代に関わる各委員会の委員長が集まった会議体) で話し合っており、19年から北海道FAが主催する大会の準決勝と決勝にMWOを配置するようになり、20年にはウェルフェアオフィサー (WFO) 部会を設置し、組織としての取り組みもスタートさせました。

私は17年にウェルフェアオフィサー/ジェネラル (WOG) の資格を

取得し、18年から技術委員長に就任しました。

——セーフガーディングに注力されている背景とは?

上田 私はもともと指導者であり、中学校の教員です。時代の流れの中で、例えば試合中の指導者による強い口調での指示などは受け入れられなくなっていますし、学校でも職員の声掛けに対する保護者の指摘が多くなっています。そしてそれらがSNSを通じて拡散されていく。そうした状況に危機感を抱いているからです。

——トラブルを防ぐために取り組みが必要だと感じたわけですね。

上田 まずは、子どもたちを守りたい、という思いがあります。同時に、熱心に活動している指導者たちも守りたい。悪意があつての言動や振る舞いではないのに、時代にそぐわず、アップデートできていないがために誤解され、さらに罰せられてしまう。そのような状況を防ぎたいと思いました。子どもと指導者双方を守るという視点で、

関わる大人や指導者がセーフガーディングの理解を深める必要があると思っています。

——北海道FAとしてどのような取り組みをされているのでしょうか。

上田 広大な北海道には15の地区FAがありますので、北海道FAのWFO部会と各地区FAが連携しながら取り組んでいます。北海道FAで決定した方針を各地区の現場の隅々まで共有するのは容易ではありません。そこで各地区FAにWOGを配置し、それぞれがセーフガーディングを推進していくような体制を整えました。

さらに、MWOやクラブウェルフェアオフィサー (CWO) 養成の担当者を15地区FAに配置し、地区単位での講習会の開催や教材の共有を図るような取り組みが進んでいます。先日、私も北海道コンサドーレ札幌のアカデミースタッフを対象にワークショップを行いました。なお、MWOの配置は、21年から北海道大会、以降はそれにつながる地区やブロック大会など育成年代の全ての試合に配置することを目標に取り組んでいます。

——各地区のWOGは何人いらっしゃいますか?

しゃるのでしょうか。

上田 25年12月時点で各地区FAに約80人います。各地区で、代表者、MWO担当者、CWO担当者、相談窓口担当者など分担してもらって自走できる組織にし、登録チームに情報が行き渡るようにしています。また、WOGを対象とした連絡会議を年2回開催し、北海道全体の方針を確認したり、各地区でのMWOの配置状況や活動内容などを共有したり、講習会やワークショップの内容や工夫をシェアしたりと、活動の活性化を図っています。そうして共有する機会を定例化することで、定期的な課題の把握・解決につながっていると思います。

体連)の方々を対象にMWO養成講習会を開催したのですが、高体連にWOGがいれば、例えば監督会議に付随して講習会やワークショップを開催するなど、率先して取り組んでもらうことができます。登録チームに対して、各地区FAから、各種別の委員会からという二つのルールを活用することで、セーフガーディングのさらなる広がりを目指していきたいと思っています。

——技術委員会が先導してセーフガーディングに取り組むことのメリットも大きいのではないのでしょうか。

——今後さらにWOGを増やしていく予定はあるのでしょうか。

上田 各種別の委員長にもぜひ取得してもらいたいと考えています。以前、北海道高等学校体育連盟(高

上田 間違いありません。日本サッカー協会(JFA)からも、技術委員会がこうした取り組みを主導していくのが望ましいという話が挙がってきました。私が育成事業や指導者養成に関わっていることもあり、現場の指導者の皆さんに受け入れられやすいと感じています。

仲間だからこそ気付きを伝える、言い合える関係が大事

——昨年のリスペクトシンポジウムでは旭川地区FAの取り組みが紹介されました。

上田 旭川地区は、「自走」できるようにリスペクト・フェアプレー委員会やWO部会を組織化し、各種別の推進担当者を配置していま

す。また、今年度からCWOの全チーム義務化に取り組み、北海道内のモデルケースとなる取り組みを行っています。

リスペクトに関しては、9月のJFAリスペクト・フェアプレーデイズの際、育成年代の試合の前

に選手・監督だけでなく、保護者や審判員によるリスペクト宣言を実施したり、振り返りのアンケートとその分析・検証を行い、それらをホームページで紹介したりするなど、非常に熱心に取り組んでいます。私も視察に行った際は、保護者の方が相手チームの選手にも拍手を送るなど、素晴らしい場面を見ることができました。

また、旭川地区を含めた道北ブロックでは、リスペクト・フェアプレー宣誓書に選手、指導者、保護者が署名する活動も実施されています。

——そうした事例を共有することで、他の地区にも波及していくのでしょうか。

上田 室蘭地区では3年前からCWOを配置しようとして進めています。札幌地区では4種のリーグ戦にもMWOを配置しようと動いています。自分たちが課題を分析して行動するなど、良い影響が出ています。

道東ブロックの4種年代のある試合で、選手が指導者の指示通りのプレーをしなかった場面があり、指導者が「なぜそうしなかったんだ」と言いたい気持ちでぐつぐつこらえて、「ナイスプレー! 切り替えよう」と声を掛けていました。また、相手チームの選手や審判員に対しても「ナイス」と声掛けをする指導者の姿も見られました。こういう

話を共有すると、「私のところにもそういう指導者がいます」と皆さんが教えてくれるようになるなど、ポジティブな広がりを感じます。

——リスペクトアウォーズ2025の「リスペクトのためのちよつとした工夫部門」では、北海道FA女子委員会も表彰されました。

上田 U-15女子サッカーリーグの参加申し込みの際に、チームのCWOの記載とリスペクト・フェアプレーを推進するリーダーの記入を義務づけているのですが、そういった工夫も評価されました。北海道FAとしても、全登録チームにCWOを配置することを目指していますので、非常に良い取り組みだと思います。こうした好事例を共有し、皆さんができることから着手していくような環境を実現できればと思います。

——あらためてお聞きしますが、セーフガーディングの重要性をどう捉えられていますか。

上田 大事なことは、サッカーを選んできた子どもたちを大切に、して長く続けてもらう、一生涯サッカーに関わってもらうことだと考えます。ネガティブな理由でサッカーから離れてしまわないよう、「サッカーが好き」「楽しい」と思える環境をつくっていく必要があります。指導者に関しても、指導者

養成講習会と同様に、セーフガーディングを学べば新たな気付きがあり、それを共有し合うことで良い影響が生まれます。そして、良い指導者と良い環境があれば、良い選手が育つことにもつながってきます。

——サッカーを楽しめる環境づくりが大事ですね。

上田 私の思いとしては、仲間だからこそ気付きを伝える、言い合える関係が大事だと考えています。まずはさまざまな取り組みに完璧を求めず、できることからできる範囲で始め、その輪を確実に広げていくことを心掛けています。サッカーは自分で考えて判断し、自己実現もできる素晴らしいスポーツですし、関わるみんなをそれぞれリスペクトできるような環境の中でこそ、その魅力が育まれます。今後リスペクトを文化に、ポジティブな輪を拡大させていきたいと思っています。



旭川地区ではリスペクト宣言や、リスペクト旗を持ての記念撮影など、リスペクトの輪が大きく広がっている

みんなが自分事と捉えられる環境づくりを

東京都サッカー協会

古賀研二
規律・裁定委員会
WOG部会長

インタビュー

東京都サッカー協会（FA）では、5つの委員会と12の連盟で構成されたWOG（ウェルフェアオフィサー・ジェネラル）部会を設置し、それぞれにWOGを配置するなど、より良いサッカー環境づくりのための組織づくりを進めている。WOG部会長の古賀研二さんに東京都FAの取り組みとセーフガーディングの重要性について聞いた。

○オンライン取材日・2025年11月13日

サッカー仲間として気づきを伝えていく
ポジティブな働きかけを大切に

— WOG部会の創設経緯とメンバー構成などを教えてください。

古賀 ウェルフェアオフィサー（WO）制度を推進するにあたり、日本サッカー協会（JFA）から各都道府県FAに組織化の推奨があったことがきっかけです。理事会で規律・裁定委員会の部会として設置することが決まり、2022年に立ち上げました。

規律・裁定委員会は主に懲罰事案を審議する組織ですが、同時に懲罰事案が発生しないように啓発する役割も担うべきだろうと。そ

して、東京都FAには多くの委員会と連盟がありますから、情報を共有し、みんなで同じ方向を向いてそれぞれの環境に応じて取り組んでいくという5つの委員会と12の連盟で構成する部会になりました。

— 部会の皆さんが一斉に集まる機会もあるのですか。

古賀 委員会と連盟でそれぞれリーダーを1人決めてもらって、その方々とは適時、部会長の私と情報共有や意見交換をしています。そのほか全員での部会を年2回、また、

■東京都サッカー協会 WOG部会の概要

- 発足：
2022年 規律・裁定委員会（委員長：古賀研二）内に「WOG部会」設置
- 部会員構成：
5つの委員会（技術、審判、フットサル、キッズ、規律・裁定）
12の連盟（社会人、大学、シニア、地区、自治体職員、専門学校、高等学校体育、クラブユース、中学校体育、少年（4種）、女子、フットサル）
- 主な活動内容：
・WOG部会（部会員全員対象）の開催／年2回
…各委員会・連盟の活動予定やマッチウェルフェアオフィサー設置など実績報告の共有
・各委員会・連盟のWOGリーダーと個別ミーティング／適時
・WOG部会主催セーフガーディングワークショップを開催／年1回

WOGと指導者、保護者が参加できるセーフガーディングワークショップも年1回開催しています。

— WOGの認定と配置状況は？

古賀 まずは部会の委員会と連盟に最低一人はWOGを配置することを目指しました。全てにWOGを配置するのに2年かかり、24年度によってようやくという状況です。24年度までに計57人がWOGに認定され、今年度の新規は15人です。

— WOG部会に社会人やシニア、大学連盟が入っていることも印象的です。

古賀 例えば暴力・暴言の根絶といったとき、育成年代はイメージが

つきやすいと思います。ですが、社会人や大学生、シニアの皆さんも、選手でありながら、子どもたちや育成年代の指導にも関わっています。また、大人同士でも師弟や先輩・後輩といった関係性を背景に人権を脅かすような問題が発生することもあります。セーフ

ガーディングは、誰もが当事者です。私はサッカーとフットサルの審判インストラクターをしているのですが、大会や試合会場に行ったときには委員会や連盟の皆さんともコミュニケーションを図りました。やはり文面でお願いただけではなく、顔を合わせた方が伝わりやすい。そうやって皆さんとの理解を深めなが

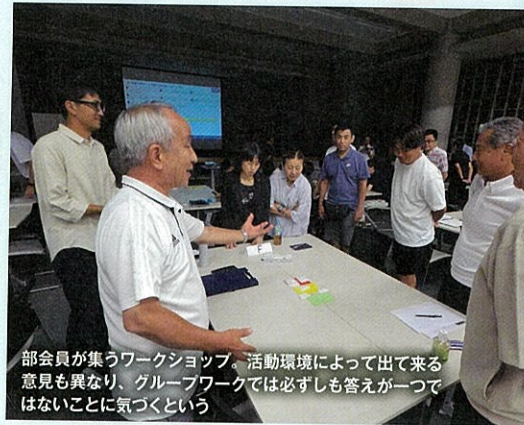
ら、WO制度を理解してもらいました。今後も、団体の環境活動に応じてWOGの数を増やしていくことが必要になってきます。

— 各組織に複数人いたほうが良いですか。

古賀 そのほうが目は行き届きやすいですし、WOGの役割を一人で背負うことも悩むことも少なくなるでしょうからね。東京はチーム数も選手数も多いので、現状でもWOGは少ないかもしれません。とはいえ、増やせばいいというわけでは

セーフガーディングワークショップの様子





部会員が集うワークショップ。活動環境によって出て来る意見も異なり、グループワークでは必ずしも答えが一つではないことに気づくという

もない。その役割を理解し、担える人を対象にしています。

——マッチウェルフェアオフィサー（MWO）も各種大会に配置されています。

古賀 高等学校体育連盟、少年連盟は早くから着手が始まり、2020年くらいから毎年、主要大会で積極的に取り組んでいます。クラブユースは2年前くらいからです。専門学校、女子、フットサルでも昨年度から徐々に設置していて、そのほかも続いてもらいたいと思っています。

——MWOの皆さんに伝えられていることは何ですか。

古賀 まず、気づきを伝える方法の一つとして、誰しも必ず良いところはあるのを探して伝え、褒めてほしいということです。注意や否定から入ってしまうと人は聞く耳も持たなくなり、心も閉ざしてしまふと思っています。

——粗探しすることが目的ではない。

古賀 MWOは何も偉い立場にあるわけではなく、サッカー仲間として気づきを伝える伝道者です。決して上から目線にならないことですね。人はどうしても、悪いところに目が行きがちで、良い部分を探すのが苦手なような気がします。見ていると褒める側も褒められる側も慣れていないようで、私もそうです（笑）。

——照れくさいのかもしれませんが（笑）。

安心、安全とは人権を守ること サッカーを生涯楽しめる環境を

——クラブウェルフェアオフィサー（CWO）についてはいかがですか。

古賀 JFAは全てのクラブに配置したいという考えを示していますので、われわれも加盟チームに情報を伝達するなど準備を進めているところです。

——いろいろなクラブをご覧になっていると思います。CWOの意義をどう感じられていますか。

古賀 とても重要です。暴力・暴言、ハラスメントをなくするため、クラブとして自らの良い環境をつくるのが目的ですが、その上で活動方針や行動指針を作ることを推奨しています。クラブに加入する際にそれを選手やその保護者と共有して説明

古賀 そうかもしれません。競技会で監督やコーチ、スタッフ、選手、審判員、大会役員、そして保護者や関係者など、みんなが互いに仲間として気づきを伝えていく、広げていくような環境をつくること、そのきっかけをもたらすことがMWOの役割です。ネガティブではなくポジティブな声掛けや働き掛けで選手たちがサッカーを楽しめる環境をつくる、伸び伸びと成長できる環境をつくる。それを意識して取り組んでいます。

しておけば、誤解的な問題も起きないでしょうし、皆さんが同じ方向を向いて自主的に取り組めるようになりそうです。そういう意味では、サッカー界において、CWOが最も重要だと思っています。

——今年7月26日には、WOG部会のセーフガーディングワークショップを開催されました。

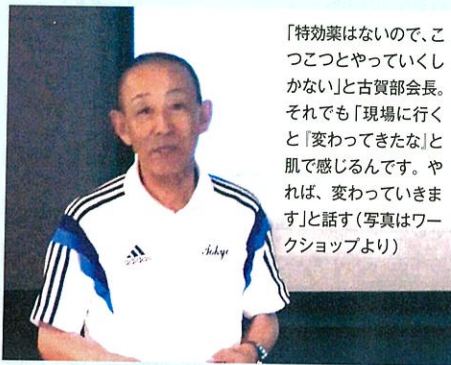
古賀 今年で3回目ですが、全ての委員会と連盟にWOGが配置されてから初めて開催するワークショップでした。5つの委員会と12の連盟の部会員がそろいますので、全員で方向性を合わせて課題や改善点を共有し、意識を高く持って活動を進めるために不可欠な機会です。今

年は初参加の人もいたので、JFAが展開しているeラーニングの教材も使用してWOGの役割や東京都FAの方針などを再確認しました。これだけ種別やカテゴリーが異なる人たちが顔を合わせる機会はなかなかないので、グループワークやディスカッションは種別やカテゴリーを交えて行いました。例えば、育成年代とシニアでは異なる意見が出たり、そこから多くの気づきを得られたりしますね。思っていたよりも皆さんの意見交換が非常に活発で、グループワークの重要性をあらためて感じました。

——サッカーファミリー向けのワークショップも開催されているのですか。

古賀 WOG部会のワークショップの内容を持ち帰ってもらい、各種別やカテゴリーの環境に応じて実施してもらっています。1回では参加人数も限られてしまいますので、地域やブロックを分けて複数回開催することです。

「特効薬はないので、こつこつとやっていくしかない」と古賀部会長。それでも「現場に行くと肌で感じるんです。やれば、変わっていきます」と話す（写真はワークショップより）



など、皆さん工夫されています。今後、開催内容として、選手のみ、保護者のみ、指導者も年齢で区切って開催するなど、参加者を限定するとまた新たな気づきが得られるのではないかなと思っています。

——WOG部会として、今後の活動への思いをお聞かせください。

古賀 スポーツ、特にサッカーは、子どもから大人まで誰もが楽しめる生涯スポーツです。東京では80歳以上のシニアリーグも開催されています。だからこそ、生涯を通して安心、安全に、みんなが心からサッカーを楽しめる環境をつくっていききたい。とはいえ、指導者、選手、保護者、サポーターなどたくさんの方が関わっていますので、一朝一夕でできるものではないかもしれませんし、WOG制度も予防と啓発のためであって特効薬ではないと思っています。みんなが自分事として捉え、地道にこつこつと伝え続けていくしかありません。

安心、安全とは、人権・人格を守ることです。子どもだけでなく、指導者や大人の選手たちの人権も守らなければならぬ。そのためのWOG活動です。「コンプライアンスから文化へ」という言葉もあります。暴力・暴言、ハラスメント、差別などがないことを当たり前とする文化を定着させる、それがわれわれの目指すところです。今後は、WOG制度を区市町村協会・連盟の皆さまにも理解いただき、東京ワンチームでもより良い活動推進をしていければと思っています。



Pelada

第 6 世 代
「ペレーダ」誕生。

詳しくはこちら▼



サッカーにー心



サッカーファミリー広場



無料招待!

**皇后杯 JFA 第47回全日本女子サッカー選手権大会
国立競技場での決勝、バックスタンド席に無料招待!**

2026年1月1日、皇后杯 JFA 第47回全日本女子サッカー選手権大会の決勝が国立競技場(東京都)で開催されます。同大会の決勝が元日開催されるのは7年ぶり、新装された国立競技場では初開催となります。

日本女子サッカー No.1を決する一戦を多くの人々に体感してもらうため、バックスタンド席(自由席)およびバックスタンド車いす席を無料でご招待! チケットJFA(登録無料)より、お申し込みください。

●無料招待の詳細は

こちら

https://www.jfa.jp/match/empressscup_2025/ticket.html



サッカー日本代表カードコレクション 「Happy Holidays 2025」を12月20日リリース

公式デジタルトレーディングカード「サッカー日本代表カードコレクション」は、サッカー日本代表のデジタルカードを収集・交換・閲覧できるサービスです(※)。従来の紙のカードにはないエフェクトや動画付きのカードなど、デジタルならではの魅力が満載!

ダウンロードは不要、スマホ・タブレットがあれば登録無料ですぐに遊べます。

なお、12月20日からはシーズンに合わせた華やかなカードバック「Happy Holidays 2025」をリリース予定! その他、年末・年始もさまざまな企画が盛りだくさんです。試合がない期間だからこそ、皆さんの好きな選手のカードを



**サッカー日本代表
カードコレクション**
JAPAN NATIONAL TEAM
CARD COLLECTION

登録無料! いますぐスマホでアクセス!

集めて推し活を楽しみましょう。

※基本無料のサービスですが一部有償のアイテムがあります

■サッカー日本代表カードコレクション

<https://cardcollection.jfa.jp/>



『ツネログ』 vol.15発行

宮本恒靖会長のコラムや主な活動を伝える『ツネログ』。2025年11月発行のvol.15では、JFAシニアサッカーアンバサダーの金田喜稔さんと対談。

https://www.jfa.jp/about_jfa/president/tsunelog/



サッカーファミリー復興支援金

日本サッカー協会(JFA)は、東日本大震災で被災した地域のサッカーファミリーが、これまで通り、サッカーを楽しむことができるよう、サッカー環境の復興を目的に「サッカーファミリー復興支援金」口座を開設しています。集まった復興支援金は、運用細則に基づいて運用されます。

銀行口座 三菱UFJ銀行(0005) 渋谷支店(135)
普通預金 口座番号 0290451 公益財団法人日本サッカー協会
サッカーファミリー復興支援金口
※ご利用金融機関が設定する振込手数料はご負担願います。

「暴力等根絶相談窓口」を設置しています

日本サッカー協会(JFA)は、サッカーの活動現場で生じた暴力行為に関する通報を受け付ける窓口として「暴力等根絶相談窓口」を設置しています。

【フォーム】https://forms.office.com/pages/responsepage.aspx?id=jpDYk_b8f0-O_dkmS7Jh3cFKGINHkNBpVZIXnR4R4VUNIdQNFJDMFRORDU2NihFU0M2TkplUjFPUS4u

利用方法の詳細は、JFA公式ウェブサイトをご確認ください。
https://www.jfa.jp/violence_eradication/



サッカー活動中の落雷に注意しましょう!

温暖化や環境変化の影響に伴い、全国での落雷件数が増加しています。屋外でサッカー活動をする際は、落雷による事故防止対策に努めましょう。

原則①: 危険・兆候が確認されたら公式戦・練習にかかわらず躊躇なく中止すること。

原則②: 周辺で雷注意報・兆候がある場合、専門的なウェブサイトで常時天候情報を確認すること。

●サッカー活動中における落雷事故防止対策について

https://www.jfa.jp/about_jfa/report/PDF/h20240523_02.pdf



選手・指導者・審判登録証の表示は JFA公式アプリ「JFA Passport」へ

2018年から運用してきた「JFA KICKOFF」アプリ(iOS/Android)を、2024年12月をもって終了しました(PC版のKICKOFFシステムに仕様変更はありません)。これまで「JFA KICKOFF」アプリで提供していたJFA登録証(選手証/監督証、指導者証、審判証)やチーム登録選手一覧の表示機能等はJFA公式アプリ「JFA Passport」で利用できるようになっています。

「JFA KICKOFF」アプリで提供していた以下サービスは、JFA公式アプリ「JFA Passport」で利用できます。

- ・登録証の表示(選手証、監督証、審判証、指導者ライセンス証)
- ・登録選手一覧の表示 ※チーム登録責任者および責任者代理のみ使用可
- ・お知らせ(あなたへのメッセージ)の表示
- ・その他(顔写真登録、パスコード設定、プッシュ通知など)



詳細はこちら▶

スモールサイドゲームガイドライン

JFA技術委員会は、小学校4年生以下の年代に応じたゲーム形式を明確に示すため、「JFAスモールサイドゲーム ガイドライン」を作成。「小学校1〜4年生のゲーム環境整備」の一環としてガイドラインの普及に取り組んでいる。

●内容

1. はじめに
2. ガイドラインの基本的な考え方
3. 各年代での心身の特性とゲーム
4. ピッチマネージャーの配置・役割
5. 8人制との比較
6. スモールサイドゲームガイドラインに基づいた事業開催
7. 指導者の関わりの重要性

https://www.jfa.jp/coach/guidelines_smallsidegame.html



JFA育成年代でのヘディング習得のための ガイドライン(幼児期〜U-15)

JFAは、ヘディングを「禁止」するのではなく、正しく恐れることによって適切な方法によるヘディングの習得を目指している。そこで幼児期において段階的にヘディングを習得するためのガイドラインを作成。子どもの安全を守るために、全ての指導者がこのガイドラインを理解しておきたい。なお、ヘディングに関わるリスクについては医・科学研究の報告を十分にフォローし、本ガイドラインも逐時アップデートしていく。

https://www.jfa.jp/coach/pdf/heading_guidelines.pdf



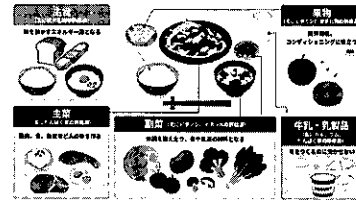
JFA栄養ガイドライン、8年ぶりに改訂

JFA医学委員会の栄養サポート部会が2018年8月に策定した「JFA栄養ガイドライン」が、8年ぶりに改訂された。

サッカー選手にとって、栄養は練習と同じくらい重要なもの。元気にプレーするためのエネルギー摂取、筋肉や骨を丈夫にする体づくり、そしてコンディションを整える源は、普段の食事にある。栄養ガイドラインをぜひチェックしよう!

【主な内容】

- ・戦うためのからだづくり
- ・食事の重要性と水分補給
- ・成長期のからだ
- ・成長期の食事
- ・SAMURAI BLUE(日本代表)の補食
- ・JFA栄養ガイドラインQ&A



<https://www.jfa.jp/medical/nutrition.html>



小学校体育サポート

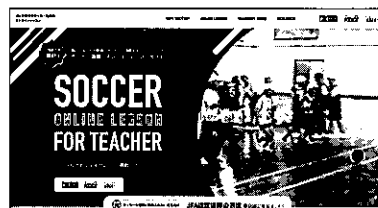
JFA KDDI DREAM KIDS PROJECT

～教員向けのオンラインレッスンサイトを公開!講師派遣も受け付け中

JFAとKDDIは、「小学校体育サポート JFA KDDI DREAM KIDS PROJECT」の一環として、教員向けに動画でサッカーの授業を学ぶことのできるオンラインレッスンサイトを公開している。

教員の体育授業の準備における負担を軽減するため、これまでJFAが対面でのみ実施していた小学校体育サポート研修会を初めて動画としてまとめたもので小学校の全学年に対応している。参加費は無料。

また、小学校体育サポート研修会の開催および講師の派遣も引き続き、申し込みを受け付けている。



●JFA学校体育サッカー指導のオンラインレッスン

<https://soccerlesson.jfa.jp/>



■JFA小学校体育サポート研修会 2025年度実施校の募集を開始!

<https://www.jfa.jp/news/00034935/>

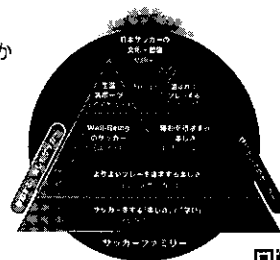


ナショナル・フットボール・フィロソフィーとしての Japan's Way

JFAは2022年7月、「ナショナル・フットボール・フィロソフィーとしてのJapan's Way」を策定した。JFAの「2050年までにFIFAワールドカップで優勝する」という夢を実現したとき、日本サッカーはどのような状況になっているのか、その「ありたき姿」から逆算してそこに至る道筋を示したものの。Japan's Wayを全国のサッカーファミリーと共有し、議論を重ね、ビジョンを具現化するアクションプランをまとめていく。

●構成

1. プロローグ～なぜJapan's Wayなのか
2. フットボール・カルチャーの創造
3. 望まれる選手像とは
4. プレービジョン
5. 将来に向けた日本のユース育成
6. フィジカルフィットネスの未来
7. 将来のサッカーコーチとは?
8. フットボール・ファミリーの拡大



●デジタルブック(PDF)

<https://www.jfa.jp/japansway/japansway2022.pdf>

※デジタルブックのページ内「PLAY」マークを押すと動画が再生される

●Japan's Way特設サイト

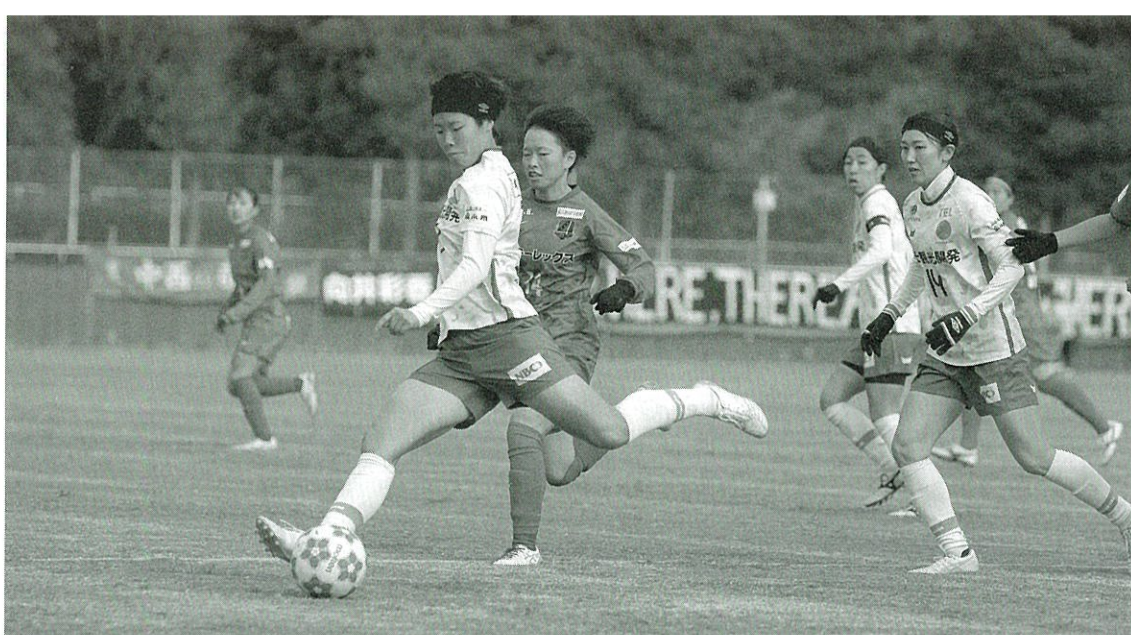
<https://www.jfa.jp/japansway/>





皇后杯
JFA
WOMEN'S
CHAMPIONSHIP

2026年元日、皇后杯を掲げるのはどのチームか 女子日本一を懸けた戦いが開幕



1回戦、FCふじくら山梨（関東／山梨県）がディアボロス広島（中国／広島県）に1-0で勝利



初出場の追手門学院大は初戦を突破したが、2回戦で伊賀FCに敗れた

皇后杯JFA第47回全日本女子サッカー選手権大会が11月8日に開幕し、23日までに3回戦が行われた。同大会はWEリーグとナショナルリーグ1部のそれぞれ12チームが、それぞれ各地域代表の計48チームがノックアウト方式で女子日本の座を争う。

1回戦は、なでしこ1部と地域代表チームが出場した。今季、なでしこ1部で5位だったASハリマアルビオン（兵庫県は常葉大学附属橘高校（東海／静岡県）と対戦。千葉園子のヘディングシュートなどでハリマが3-0と快勝した。前回大会、初出場でベス

ト16に勝ち上がったVONDS市原FCレディース（関東／千葉県）は、武田菜々子の得点を皮切りに6人がゴールし、6-0で北海道リラ・コンサドーレ（北海道）を下した。皇后杯初出場のMIGOCARISA鹿児島（九州／鹿児島県）は、ニッパツ横浜FCシガルス（なでしこ1部／神奈川県）の室井胡心に2得点を許すなど0-5で敗戦。同じく初出場の追手門学院大学（関西／大阪府）は、矢野智代寧の得点で四国大学イーグルレッツ（四国／徳島県）に勝利したが、2回戦で伊賀FCくノ三（なでしこ1部／三重県）に1-2の逆転負けを喫した。

2回戦からなでしこ1部の上位チームとWEリーグチームが参戦した。前回大会優勝の三菱重工浦和レズレディース（WEリーグ／埼玉県）は、丹野凜々香の2得点などで4-1とし、スフィダ世田谷FC（なでしこ1部／東京都）を退けた。WEリーグ首位につけていたINAC神戸レオネッサ（兵庫県）も道上彩花の1神戸復帰後初得点などで日本大学（関東／東京都）に5-0で快勝した。

波乱もあった。ジェフ千葉レディース（WEリーグ／千葉県）がハリマに1-3で敗れ、敗退。

JFAアカデミー福島（東北／福島県）は、ちふれASエルフェン埼玉（WEリーグ／埼玉県）に1-0で勝利するジャイアントキリングを起こした。

3回戦でも波乱は続き、浦和Lが伊賀FCの平田ひなのに2得点を許して1-2で競り負けると、AC長野パルセイロ・レディース（WEリーグ／長野県）は、なでしこリーグ1部優勝の朝日インテック・クラブリッジ名古屋（愛知県）に0-2で敗れた。WEリーグ勢対決となった日テレ・東京ヴェルディベレーザ（WEリーグ／東京都）とサンフレッチェ広島レジーナ（WEリーグ／広島県）の一戦は、1-2で広島に軍配が上がり、昨年WEリーグ覇者のベレーザもここで姿を消した。1神戸は、なでしこ1部得点王の横山久美を擁する静岡SUボニータ（なでしこ1部／静岡県）を完封し、1-0で勝利。決勝点を決めた成宮唯は、難しい試合になると分かっていたので勝ててホッとしている。次につなげることでできた」と、波乱続きの大会で準々決勝に進んだことを喜んだ。

WEリーグとなでしこ1部の4チームずつがベスト8に残った今大会。決勝は2026年1月1日に国立競技場で開催される。

2大会ぶりの優勝を目指す神戸は準々決勝に駒を進めた



ハリマはWEリーグのジェフLを下すなどして準々決勝に進出



本大会の最新情報はこちら
(JFA.jp大会ページ)
https://www.jfa.jp/match/empresscup_2026/



日テレ・東京ヴェルディベレーザが 2勝1分けてノックアウトステージ進出

AFC女子チャンピオンズリーグ(AWCL)2025/26が11月9日に開幕し、23日までにグループステージが終了した。日本からは2024-25 SOMPO WEリーグで初優勝した日テレ・東京ヴェルディベレーザ(東京NB)が出場。グループステージは東京NBのほか、前回大会で優勝した武漢江大(中国)や準優勝のメルボルン・シティ(オーストラリア)などの6チームと、プレリミナリーステージ(予選大会)を勝ち上がった6チームの計12チームが参加し、4チームずつ3



グループステージ第1戦は4得点を挙げて白星スタート



第2戦もボールを保持してISPEに勝利

つのグループに分かれて1回戦総当たりのリーグ戦を戦った。
グループステージは、いずれもセントラル開催で、グループAはベトナムグループBは中国、東京NBが入るグループCはミャンマーで行われ、各グループ上位2チームと3位のうち成績上位の2チームがノックアウトステージに進む。
東京NBは、第1戦でネゴヒャン女子蹴球団(朝鮮民主主義人民共和国)と対戦。代表経験選手を擁するチーム同士のハイレベルな戦いとなった。東京NBは雨天をものともせず正確なパスをつなぎ、5分に松田紫野のシュートを相手GKがはじいたところを、塩越柚歩が押し込んで先制する。激しい球際の争いにもひるむことなく対応。後半には18歳の眞城美春がドリブルシュートを決め、さらに途中出場樋渡百花が2点を加えて4-0で開幕

勝利を収めた。
中2日で迎えた地元・ISPE(ミャンマー)との一戦では、今季加入したシンガポール女子代表タネル・タンが13分に移籍後初得点を決める。85%という高いボール保持率で試合を優位に進めた東京NBが1-0で勝利した。
水原FC(韓国)との第3戦も東京NBがボールを支配して試合を進めるが、ゴールが遠い。対する水原FCは、元東京NBの西川彩華がカウターの起点となつて東京NBゴールを狙う。東京NBの守備陣は、GK大場朱羽のセーブや村松智子の鋭い予測でゴールを死守し、スコアレスのままタイムアップ。東京NBは2勝1分けの無失点でグループ首位突破を決めた。2位には第2戦から連勝したネゴヒャン女子蹴球団が入り、ノックアウトステージに進んだ。
グループAではメルボルン・シティが参加チームのうち唯一の3連勝で首位通過。オーストラリア女子代表のエミ・モンタナが攻撃陣をけん引した。グループBは、武漢江大(中国)が引き分けスタートとなったが、第2戦で中国女子代表のWang Shuangが2点を決めて勝利し、第3戦ではガーナ女子代表経験のあるDavis Owusuが2得点して4-0とし、2勝1分けで首位通過した。PFCナサフ(ウズベキスタン)は大会初出場ながら、初戦で武漢江大と引き分け、1勝1分け1敗で2位となり、中央アジア地域から唯一ベスト8に進出した。
全日程が終了し、各グループ3位のう

勝利を収めた。
中2日で迎えた地元・ISPE(ミャンマー)との一戦では、今季加入したシンガポール女子代表タネル・タンが13分に移籍後初得点を決める。85%という高いボール保持率で試合を優位に進めた東京NBが1-0で勝利した。
水原FC(韓国)との第3戦も東京NBがボールを支配して試合を進めるが、ゴールが遠い。対する水原FCは、元東京NBの西川彩華がカウターの起点となつて東京NBゴールを狙う。東京NBの守備陣は、GK大場朱羽のセーブや村松智子の鋭い予測でゴールを死守し、スコアレスのままタイムアップ。東京NBは2勝1分けの無失点でグループ首位突破を決めた。2位には第2戦から連勝したネゴヒャン女子蹴球団が入り、ノックアウトステージに進んだ。
グループAではメルボルン・シティが参加チームのうち唯一の3連勝で首位通過。オーストラリア女子代表のエミ・モンタナが攻撃陣をけん引した。グループBは、武漢江大(中国)が引き分けスタートとなったが、第2戦で中国女子代表のWang Shuangが2点を決めて勝利し、第3戦ではガーナ女子代表経験のあるDavis Owusuが2得点して4-0とし、2勝1分けで首位通過した。PFCナサフ(ウズベキスタン)は大会初出場ながら、初戦で武漢江大と引き分け、1勝1分け1敗で2位となり、中央アジア地域から唯一ベスト8に進出した。
全日程が終了し、各グループ3位のう

<試合結果>

グループステージ(グループC)試合結果

- 第1戦 4-0(1-0) ネゴヒャン女子蹴球団
得点=塩越柚歩、眞城美春、樋渡百花(2点)
第2戦 1-0(1-0) ISPE
得点=タネル・タン
第3戦 0-0(0-0) 水原FC

大会ページはこちら

https://www.jfa.jp/match/awcl_2025/



ち成績上位のスタリオン・ラグナ(フィリピン)と水原FCがノックアウトステージに勝ち上がった。準々決勝は2026年3月28・29日、準決勝と決勝は5月の開催予定。準々決勝以降の組み合わせは1月15日に決定する。



水原FCとの第3戦は引き分け
左は眞城美春、右は西川彩華



天皇杯 JFA 第105回全日本サッカー選手権大会

FC町田ゼルビアがクラブ史上初の ビッグタイトル獲得



天皇杯 JFA 第105回 全日本サッカー選手権大会

5月24日に幕を開けた天皇杯JFA第105回全日本サッカー選手権大会は、11月22日に国立競技場で行われた決勝で幕を閉じた。J1勢の対決となったファイナルは、FC町田ゼルビアが3-1でヴィッセル神戸に勝利、初優勝を果たした。

※64〜79ページに記録集を掲載

ジャイアントキリングの主役 大学と都道府県代表の大健闘

今大会は、前回は1チームだった初出場が6チームに増えた。その中で唯一、2回戦進出を果たしたのが、アマチュアシードの東洋大学だ。昨年度の第73回全日本大学サッカー選手権大会の覇者は、1回戦で仙台大学（宮城県）を4-2で下すと、2回戦では明治安田J1リーグで4位につけていた柏レイソルに2-0で勝利。続く3回戦でもアルビレックス新潟に2-1で競り勝ち、大学チームがJ1勢を連破するという初の快挙を成し遂げた。

東洋大はラウンド16（4回戦）で、天皇杯連覇を狙うJ1のヴィッセル神戸の前に涙をのんだが、延長戦にもつれ込む接戦で1-2の惜敗。井上卓也監督は「個人も、チームとしても高いパフォーマンスを発揮してくれた」と大健闘を振り返った。

同じく上位カテゴリーのチームを退けて勝ち進んだのが、J3のSC相模原（神奈川県）だ。まずは1回戦で水戸ホリール・ホックに1-0、2回戦でジュビロ磐田に2-1とJ2リーグ勢に連勝。J1の川崎フロンターレとの3回戦は、延長戦を含む120



初出場の東洋大は史上初めて大学チームによる同一大会でのJ1勢連破を果たした。写真は2回戦の柏戦

分間を0-0と譲らず、PK戦を3-1で制した。J2のブラウブリッツ秋田と対戦したラウンド16も延長戦を戦い、試合終了間際の120分に加藤拓己が決めた決勝点で2-1と振り切り、ベスト8に名を連ねた。

大会の前半戦では、このほかにもジャイアントキリングが生まれている。大学勢では1回戦で筑波大学（茨城県）が、J2で2位につけていたRB大宮アルディージャに1-0の白星。また、2回戦では日本フットボールリーグ（JFL）のラインメール青森（青森県）が、天皇杯で7度の優勝を誇るJ1の横浜F・マリノスに2-0で快勝した。J3のギラヴァンツ北九州（福岡県）もJ1のファジアーノ岡山を

2-0で破った。

町田がクラブ史上初の決勝へ 神戸は2大会連続3度目の決勝

準々決勝に勝ち残ったのは、相模原以外は全てJ1のチームとなった。快進撃で注目が高まった相模原は、神戸を相手に奮闘。延長戦まで1-1と粘り、PK戦で2-1と屈したが、相模原のシユタルフ悠紀リヒャルト監督は「天皇杯の」チャンピオンチームと対等に戦えることを証明できた」と胸を張った。

FIFAクラブワールドカップ出場の関係でラウンド16から参戦した浦和レッズは、準々決勝でFC東京と対戦。42分の金子拓郎の得点で先制するも、後半に入ってマルセロ・ヒアンに2点を奪われ1-2の逆転負け。単独最多となる9度目の優勝は、次回以降へ持ち越しとなった。

サンフレッチェ広島は名古屋グランパスと戦い、田中聡の2得点などで48分までに4点をリードすると、名古屋の反撃を2点に抑えて4-2で準決勝に勝ち進んだ。天皇杯でのクラブ最高成績を塗り替えたFC町田ゼルビアは、5度の優勝実績を持つ鹿島アントラーズに3-0で勝利した。

1回戦	2回戦	3回戦	ラウンド16	準々決勝	準決勝	決勝	準決勝	準々決勝	ラウンド16	3回戦	2回戦	1回戦
5/24	6/11	7/16	8/6	8/27	11/16	2025年	11/16	8/27	8/6	7/16	6/11	5/24
5/25	6/18		8/13			11月22日			8/13		6/18	5/25

FC町田ゼルビア [J1]
京都産業大学 [京都]
守山侍2000 [滋賀]★
ベガルタ仙台 [J2]
カターレ富山 [J2]
順天堂大学 [千葉]
京都サンガF.C. [J1]
奈良クラブ [奈良]
新潟医療福祉大学 [新潟]
横浜FC [J1]
いわてグルージャ盛岡 [岩手]
ノースアジア大学 [秋田]
鹿島アントラーズ [J1]
ザスパ草津 [群馬]
法政大学 [東京]
V・ファーレン長崎 [J2]
RB大宮アルディージャ [J2]
筑波大学 [茨城]
アビスパ福岡 [J1]
沖縄SV [沖縄]
ヴェルスパ大分 [大分]
ファジアーノ岡山 [J1]
ベルガロッツいわみ [島根]
ギラヴァンツ北九州 [福岡]
FC東京 [J1]
ツエーゲン金沢 [石川]
中京大学 [愛知]
北海道コンサドーレ札幌 [J2]
大分トリニータ [J2]
レベニロックス [愛媛]★
セレッソ大阪 [J1]
アルテリーヴォ和歌山 [和歌山]
FC BASARA HYOGO [兵庫]★
徳島ヴォルティス [J2]
レノファ山口FC [J2]
ガンバ大阪 [J1]
ヴィアティン三重 [三重]
山梨学院大学 PEGASUS [山梨]
モンテディオ山形 [J2]
FC今治 [J2]
鹿児島ユナイテッドFC [鹿児島]
浦和レッズ [J1]

優勝
FC町田ゼルビア

準優勝: ヴィッセル神戸
第3位: FC東京
サンフレッチェ広島

★=初出場

川崎フロンターレ [J1]
福島ユナイテッドFC [福島]
東京国際大学 [埼玉]
ジュビロ磐田 [J2]
水戸ホーリーホック [J2]
SC相模原 [神奈川]
横浜F.マリノス [J1]
ラインメール青森 [青森]
BTOB北海道 [北海道]
いわきFC [J2]
ブラウブリッツ秋田 [J2]
ヴィッセル神戸 [J1]
カマタマーレ讃岐 [香川]
高知ユナイテッドSC [高知]
ヴァンフォーレ甲府 [J2]
福井ユナイテッドFC [福井]
Honda FC [静岡]
アルビレックス新潟 [J1]
福山シティFC [広島]
FC徳島 [徳島]
柏レイソル [J1]
仙台大学 [宮城]
東洋大学 [アマチュアシート]★
東京ヴェルディ [J1]
栃木SC [栃木]
大山サッカークラブ [山形]
サガン鳥栖 [J2]
愛媛FC [J2]
三菱重工長崎SC [長崎]
名古屋グランパス [J1]
ヴェロスクロノス都農 [宮崎]
ガイナレ鳥取 [鳥取]
ジェフユナイテッド千葉 [J2]
ロアッソ熊本 [J2]
サンフレッチェ広島 [J1]
Brew SAGA [佐賀]
イコンデル熊本FC [熊本]★
藤枝MYFC [J2]
FC/レイノ下関 [山口]
環太平洋大学FC [岡山]★
湘南ベルマーレ [J1]
FC岐阜 [岐阜]
富山新庄クラブ [富山]
清水エスリス [J1]
松本山雅FC [長野]
FC大阪 [大阪]



相模原は、準々決勝で惜しくも神戸に敗れたが、J1チーム以外で唯一、ベスト8に名を連ねた。写真は3回戦の川崎F戦

経験から、選手たちに「開始から15分の入り方が結果を左右する」と伝えた。その言葉を裏付けるように、6分にスコアが動く。神戸のクリアボールを拾った中山雄太がドリブルで持ち込み、そのクロスで「僕のゴールで優勝を決定づけたかった」という藤尾翔太がヘディングで合わせて先制した。32分にはミッチェルデュークの正確なラストパスから相馬勇紀が追加点を蹴り込む。後半に入ると、56分に藤尾が自身の2点目をゴールネットに突き刺し、リードを3点に広げた。



町田が決勝で前回王者を下して初優勝を成し遂げた

大会で最も記憶に残る感動的なシーンを演出するなどの活躍を見せた選手に贈られる大会特別協賛賞「SCO GROUP Award」は、決勝の2得点を含め5ゴールを挙げた町田の藤尾が受賞した。

その町田は、FC東京との東京勢対決となった準決勝で2-0の勝利。一進一退の試合展開は延長戦に入り、その前半13分に林幸多郎が押し込んで均衡を破る。同後半4分には相馬勇紀の折り返しにオ・セフンが合わせて追加点を挙げ、初の決勝進出を果たした。もう一つの準決勝は、神戸が広島に2-0で快勝し、2大会連続3度目の決勝へ勝ち進んだ。CKの流れから永戸勝也のミドルシュートで24分に先制。65分には佐々木大樹がPKを決め、リーグYBCルヴァンカップに優勝してカップ戦の2冠を狙った広島に得点を許さず逃げ切った。

町田にとっては1989年のクラブ発足以来、37年目にして初のビッグタイトル。「タイトル(数)を0から1にするのが一番難しい」と語ったキャプテンの昌子源は「前年度の王者、近年のJリーグを引っ張ってきた神戸が相手だからこそ、素晴らしいパフォーマンスが出せた」と、ライバルへのリスペクトも忘れなかった。

天皇杯 JFA 第105回全日本サッカー選手権大会
【主催】公益財団法人日本サッカー協会
公益財団法人日本プロサッカーリーグ
【共催】NHK、共同通信社
※上記に加え、1回戦～準々決勝は各開催会場の都道府県に所在する共同通信加盟新聞社が共催
【主管】都道府県サッカー協会
【特別協賛】株式会社SCOグループ
【協賛】
JFAオフィシャルトップパートナー: キリンホールディングス株式会社
JFAオフィシャルサプライヤー: アディダス ジャパン株式会社
JFAコンペティションパートナー: 株式会社モルテン、ニチバン株式会社、トヨタ自動車株式会社



JAPAN NATIONAL TEAM

Japan National Team would like to thank its partners for their support.

SAMURAI BLUE



©JFA/2024年11月 日本代表先発メンバー

JFA OFFICIAL TOP PARTNER



KIRIN

JFA OFFICIAL SUPPLIER



JFA MAJOR PARTNER

ANA

SAISON

au

& 三井不動産
MITSUI FUDOSAN

MIZUHO

MS&AD

TOYO TIRES

JFA NATIONAL TEAM PARTNER

APA HOTEL

TOYOTA

讀賣新聞

2025 J LEAGUE
YBC Levain CUP

2025JリーグYBCルヴァンカップ

サンフレッチェ広島が2度目の優勝

2025JリーグYBCルヴァンカップは11月1日に国立競技場で決勝が行われ、
サンフレッチェ広島が3-1で柏レイソルを下し、3大会ぶり2度目のタイトルを獲得した。

※大会結果は60ページに掲載

Jリーグの全60クラブが
ノックアウト方式で競う

ルヴァンカップはJリーグに所属する全60クラブによるリーグカップ戦で、1992年に第1回が行われ、今回は33回目の開催となった。大会方式は昨年からの新たなフォーマットとなり、1stラウンドの初戦からプレーオフラウンド、決勝を含むブライムラウンドまでノックアウト方式で実施。1stラウンドと決勝はシングルマッチ、プレーオフラウンドと準々決勝、準決勝はホーム&アウェイで決着をつける。

J1勢が順当に勝ち進む中で健闘を見せたのがJ2のジュビロ磐田だ。清水エスパルス、ガンバ大阪というJ1勢を1stラウンドで連破。プレーオフラウンドで湘

南ベルマーレに惜敗した。

決勝の舞台に立ったのは1stラウンドから勝ち上がった柏と、AFCチャンピオンズリーグ2に出場したため、プレーオフラウンドからの登場となった広島。柏は川崎フロンターレとの準決勝第1戦で1-3と苦境に立つも、ホームの第2戦で4-1と快勝。2試合合計スコアを5-4として、5大会ぶりの決勝進出を果たした。一方、広島は準決勝で横浜FCに2-0、2-1と連勝し、3大会ぶりの決勝に駒を進めた。

前半で明暗分かれた決勝
ロングスローが威力を発揮

決勝は、大会史上最多となった前回の6万2517人にはわずかに及ばなかったものの、6万2466人の大観衆が集まり、スタンドを柏のイエロー、広島の紫に染め分けた。

前半で試合の主導権を握ったのは、得意とする「セットプレーの練習に2日間割いた」(ミヒャエル・フスツベ監督)という広島だった。25分、右サイドから中野就斗がゴール前に投げ入れたスローインを、高くジャンプした荒木隼人がヘディングで合わせて先制。38分には東俊希がFKを直接決めて柏を引き離す。前半アディショナルタイム2分にも中野のロングスローから、最後はジャーメイン良



柏は後半に細谷真大の得点で1点返し、最後まで広島ゴールに迫った

が蹴り込み、リードを3点に広げた。

柏は後半から細谷真大ら3人の選手をピッチに送り込み、反転攻勢を図る。その細谷が8分にようやく1点を返し、なおも広島ゴールに迫ったが、今シーズンのJ1最少失点を誇る堅守を崩すことはできず。広島が3-1の勝利を収め、2度目の優勝を成し遂げた。「前半で勝負を決めることができた」とフスツベ監督。敗れた柏のリカルド・ロドリゲス監督は「セットプレーからの失点がとても残念」と悔しさをにじませた。

優勝に最も貢献したMVPに選ばれたのは広島の荒木。準決勝まで最も活躍が顕著だった21歳以下の選手が対象となるニューヒーロー賞を同じく広島の19歳、中島洋太郎が獲得した。



先制点を決めた広島の荒木隼人は攻守に貢献し、大会MVPに輝いた

Honda FCが 2年ぶり11度目の優勝を果たす!



Hondaと滋賀が 首位を奪い合う展開に

3月8・9日に幕を開けた第27回日本フットボールリーグ(JFL)は、全16チームによるホーム&アウェイ方式の総当たり戦で11月23日の第30節まで行われた。青森から沖縄までの全国各地の試合会場はもちろん、現地観戦が難しいサポーターたちにもライブ配信で熱い戦いを届けた。

今大会で新たにJFLに入会したのは3チーム。明治安田J3リーグから初の降格となった、いわてグルージャ盛岡とY.S.C.C.横浜が参戦。岩手はJ3ができた2014年に地域リーグからJ3への飛び級入会が承認されたため、今季が初めてのJFLでの戦いとなった。YSCCはJFLからJ3に参入したため、13年以来12年ぶりのJFL。地域リーグからは、昨年の全国地域チャンピオンズリーグで優勝した飛鳥FCが昇格した。

「てっぺん目指せ!」のキャッチフレーズの下、直近2シーズンでJリーグ昇格争いに絡んでいたレイラック滋賀が首位発進。じわじわと追い上げ、第22節で、2位につけていたHonda FCとの直接対決を迎えた。ここはHondaが3-0で制して滋賀と勝ち点で並び、得失点差で首位に浮上した。その後、滋賀が首位を奪還するなどしたが、第27節にはHondaが首位に返り咲き。最終節を残して2年ぶり11回目の優勝を果たした。2位となった滋賀は、J3・アスクラ沼津とのホーム&アウェイ方式の入れ替え戦(12月7、14日開催)に臨む。

3位にはプリオベッカ浦安・市川、4位にはFCティアモ枚方がつけ、昇格を目指していたラインメール青森は5位、ヴェルスパ大分は6位、ヴィアティン三重は7位と、昇格圏にはわずかに手が届かなかった。

参入組は苦い結果に 鈴鹿は入れ替え戦で敗れる

地域リーグとの入れ替え戦に臨む15位争いは最終節までもつれたが、15位だった横河武蔵野が滋賀に勝利し、14位につけていたアトレチコ鈴鹿が十分に敗れたため、最終順位が逆転した。その結果、鈴鹿が15位となり、3年連続の挑戦となるVONDS市原FCとのJFL・地域入



JFL・地域入れ替え戦はアトレチコ鈴鹿とVONDS市原FCが対戦。VONDS市原が勝利を挙げた

れ替え戦に臨んだ。なお、鈴鹿の三浦知良は、第29節のYSCC戦の途中出場でJFL最年長記録を58歳263日に更新した。

一発勝負のこの試合は延長戦までもつれ、VONDS市原が延長前半で挙げた先制点を守り切り勝利。JFL入会成績条件をクリアした。

新加入・再加入組にとっては、JFLの厳しさを痛感する結果になった。1年でのJリーグ復帰を目指していた岩手が9位、YSCCは13位でフィニッシュ。飛鳥FCは16位となり、残念ながら1年で地域リーグへの自動降格が決まった。

今季は、青森GKの廣末陸の2試合連続PKでの得点も話題を呼んだ。廣末はGKながら昨季まで4年連続で公式戦でゴールを決めている。天皇杯でもJ1・横浜F・マリノスとの2回戦前半でキッカーとしてPKを沈めて先制点を奪取し、青森が2-0で下すジャイアントキリングを達成した。また、第79回国民スポーツ大会サッカー競技(成年男子)では、千葉県代表として出場した浦安・市川が、3位の成績を収めている。

順位表

順位	チーム名	勝ち点	得失点差
1	Honda FC	60	23
2	レイラック滋賀	56	12
3	プリオベッカ浦安・市川	52	10
4	FCティアモ枚方	50	16
5	ラインメール青森	50	7
6	ヴェルスパ大分	49	8
7	ヴィアティン三重	45	13
8	沖縄SV	43	-2
9	いわてグルージャ盛岡	39	-4
10	ミネベアミツミFC	34	-1
11	FCマルヤス岡崎	34	-9
12	クリアソン新宿	33	-5
13	Y.S.C.C.横浜	30	-21
14	横河武蔵野FC	29	-20
15	アトレチコ鈴鹿	28	-16
16	飛鳥FC	24	-11

※戦績表は61ページに掲載

大会を制したジェイリースFCがJFL昇格！ 準優勝のVONDS市原FCも悲願のJFLへ

※大会結果は61ページに掲載

9 地域リーグの王者と全国社会人サッカー選手権大会の上位3チームが頂点を争う全国地域サッカーチャンピオンズリーグ。11月7日から9日に1次ラウンド、同20日から24日に決勝ラウンドが開催された。日本フットボールリーグ（JFL）の昇格も懸かる同大会は、最後まで熱戦が続いた。

3 日間で3 連戦をこなす1 次ラウンドは、4 チームずつ3 グループに分かれ、福井県、岩手県、高知県で行われた。グループAを勝ち抜いたのは、ヴェロスクロノス都農全社1（宮崎）。初戦を引き分けたが、続く2 試合を制して決勝ラウンド行きをつかんだ。

3 チームが勝ち点6で並んだグループBを勝ち抜いたのは、東京ユナイテッドFC（関東／東京）だ。首位に立っていた福山シティFC（中国／広島）を第3 節で破ると、初戦の3 得点が効き、得失点差で福山シティを上回って逆転突破を果たした。

グループCからは2 チームが決勝ラウンドに進んだ。首位に立ったVONDS市原FC（全社3／千葉）は11 得点無失点で3 戦全

勝。そのV市原に1 点差で敗れたジェイリースFC（九州／大分）も各グループ2 位のうち成績最上位のチームとして最後の1 枠に入った。

千葉県で開催された4 チームによる決勝ラウンドも拮抗した。第2 節を終えた時点で、都農とジェイリースが勝ち点4、V市原は勝ち点3。最終節はJFL自動昇格圏の1 位、入れ替え戦への出場権が得られる準優勝を三つとも争った。

第1 試合では、ジェイリースが東



東京ユナイテッドとの決勝ラウンド最終節、ジェイリースの面田が63分に大きな1 点を決める

京ユナイテッドを押し込んだが、前半は無得点で終える。それでも「修正を加えて良くなったと思う時間帯だった」（柳川雅樹監督）という63分、面田卓馬が頭で押し込み、ジェイリースが先制する。得失点差を考えると複数得点が理想だが、なんとか1 点差でしのぎ切った。キャプテンの八反田康平は「最低限やれることはやった。今年、接戦をものにしてきた自信があった」と表情は崩さず、第2 試合の結果を待つことになった。

続く第2 試合は、都農が勝てば優勝が決まり、V市原は勝利すれば2 位に浮上する状況で迎えた。勝つしかないV市原は、前線からの激しいプレスなどで積極的プレー。都農はシュートゼロで前半を終えた。後半に再びギアを上げたV市原は、65 分の大塚尋斗の一撃で先制。長身DFを前線に上げた都農の反撃にも得点を許さず、1-0 で勝利して2 位に順位を上

都農の優勝とV市原の2 位が悪かった最終節も1 点を争う展開に（写真中央は決勝点を決めたV市原の大塚）



げた。V市原の向山聖矢監督は「戦ごとに選手が成長した」と戦いぶりをたたえた。優勝が決まったジェイリースの柳川監督は「あらゆる面で初出場した昨年の経験が生きた。苦しい2 年間だったのだけどとする気持ちと感謝の思いいっぱい」と喜びをかみ締めた。

なお、11 月30 日に開催されたJFL・地域入れ替え戦では、V市原とJFL15 位のアトレチコ鈴鹿が対戦。これを1-0 で制したV市原がJFL昇格を決めた（12 月4 日理事会の結果は38 ページ参照）。

地域の悩みや困りごとを解決していけるよう、
クラブがつなぎ役になる

地域に根差したクラブの活動を紹介する短期連載。最終回となる第5回は、湘南ベルマーレフットサルクラブの取り組みを紹介する。同クラブは、社会課題解決の一環として、クラブ理念をテーマとした「Chance&Empowerment project」を展開。社会課題解決事業部の三木さらさん（オペレーションマネージャー）と波多野響子さん（広報ディレクター）に話を聞いた。

○オンライン取材日・2025年12月19日



9月にはさまざまな立場の人々がクラブの未来を語り合うワークショップを開催。これからもクラブは地域と共に歩んでいく

社会性と経済性の両方を
兼ね備えたプロジェクトへ

——2026・27シーズンまでに160の社会課題プロジェクトの実施を目指しています。その目標について教えてください。

三木 プロジェクトを掲げた当初、2022年からの5カ年計画として1年目は10、翌年が15、その次が40、80と続き、5年目に160の社会課題解決プロジェクトを実施しようという目標がありました。現在は、その数はあくまで目安としていて、プロジェクトを増やすよりも一つ一つの中身を重視し、継続して取り組めるようなプロジェクトづくりを目指しています。

波多野 これまで約60のプロジェクトに取り組んできましたが、22年に始まったもので今も継続できているものはそれほど多くないんです。どこで、どのような理由で途絶えてしまうのかを整理したところ、「こと」「もの」「お金」「人」「情熱」の5つがそろっていないと続かないという結論に至りました。われわれがやってきたことは「こと」「もの」「人」「情熱」はあるけれど「お金」が続かない。つまり、金銭的なサポートがなければ進まないプロジェクトが多かったんです。どうするべきだろうと考えたときに、社会性が高く、誰かのためになり、経済も回せるようなプロジェクトをつくっていくことが必要だと。昨年から方向転換しました。

——さまざまな企業や団体と共に社会

課題解決を行うプロジェクト名に「スポーツを通じて、機会をつくり、チカラを引き出す」を意味するクラブ理念「Chance&Empowerment」を付けられています。

波多野 事業戦略の三本柱「社会性」「競技性」「事業性」のすべてがChance&Empowermentを軸に動いています。社会性のプロジェクト名にその言葉を付けたきっかけとなったのは、久光重貴選手です。久光選手は2020年にがんで亡くなったのですが、闘病生活をしているときに、小児がんを患っている子どもたちの存在を知り、そういう子どもたちがいることを広く知ってほしい、その子どもたちにいろいろな経験をしてもらいたいという思いから、小児がんの子どもやそのご家族の支援活動を続けていました。その姿がまさに「Chance&Empowerment」そのものだったんです。私たちは久光さんの遺志を継承し、社会課題解決プロジェクトも進めています。久光さんのことが大好きだったファン・サポーターの皆さんも、クラブと意思を共にし、活動を理解して応援してくれています。

——ひとり親家庭支援、味噌づくりワークショップ、ペット防災、女性のバイオリズムを学ぶワークショップなど、人々の暮らしや人生に寄り添うようなさまざまなプロジェクトを展開されています。どのように企画を立てているのですか。

三木 プロジェクトをスタートさせる際は必ず、地域の企業や団体、学校、住民など、皆さんが抱えている課題や悩み事を聞

今年7月には「女性のバイオリズムを知り自身のあり方を考える」をテーマとしたワークショップをクラブ事務所で開催。年齢、生物学的性別、立場も異なる30人が参加した



くようにしています。私たちがやりたいことをやるのではなく、一緒にプロジェクトをつくる相手と対話し、そこで私たちに何ができるのかを考えていきます。

波多野 ひとり親家庭支援も、最初はパソナグループさんが手掛けていたプロジェクトにベルマーレの選手が加わる形でした。「選手に来てもらえないか」という先方の声を受けて始まったものなんです。それが発展して、今は養育費保証サービスなどを手がけるCasaさんという会社と一緒に、子ども向けのフットサル教室と保護者向けのライフサポートセミナーを組み合わせたイベントを実施するようになりました。

今年11月には、ペアチルさんという一般社団法人と連携協定を結び、ひとり親家庭の子どもがスクールに通う際の費用や用具を補助する取り組みを始めました。それぞれのプロジェクトに関連性はないので

すが、「ひとり親家庭支援」という一つのプロジェクトから次の課題が見え、二つ目、三つ目が生まれています。ひとり親家庭で育った選手もプロジェクトに参加することがあります。

また、女性のバイオリズムを学ぶプロジェクトは、まるだい運輸倉庫さんという地元企業の女性社長さんの「もつと女性社会で活躍できる」「男性は私たち女性が思っている以上に女性のことを知らない」というお話とそのパッションに感銘を受け、私が「男子のフットサルクラブが女性課題に本気で取り組むことは前例がないのでぜひやりたい」と持ち掛け、企画書を出して実現したものです。ワークショップには代表の佐藤(伸也)と選手も参加しました。

久光選手の思いを継承
選手たちも積極参加

選手たちもプロジェクトに積極的に



小児がんに苦しむ子どもたちの支援で久光さんが大切にしていたのは「笑顔の連鎖」。クラブはその思いを継承し、がんの啓発と小児がん患者支援のためのフットサルリボン活動を続けている

のような存在なのですが、実際に試合を見るとものすごく迫力のあるプレーをしていたり、かっこよく活躍していたり、その姿を見て応援してくれる人はかなり多いんです。皆さんの応援が、選手

参加しています。そこにはクラブのどのような思いがありますか。

波多野 参加することは必ずプラスになる、と選手たちには伝えていきます。今シーズン途中からキャプテンを務める堀内連弥選手は、試合で結果も出しながら、誰よりも活動に積極的です。安藤良平選手も「スポンサー営業に連れていってあげれば、自分が隣で話しますよ」と言っています。彼らにとって久光さんの存在が大きかったからというのがありますし、選手自身から地域の人々と共に生きること自身のバリューを再認識し、さらに輝くことができています。監督や強化部が社会課題解決プロジェクトに理解を示し、選手たちを積極的に参加させているのも大きいですね。

三木 ベルマーレは、選手と地元の皆さんとの距離がかなり近いと思います。一つのプロジェクトに必ずといっていいほど選手が参加しているのに関わりができません。そこでは普通の優しいお兄ちゃん

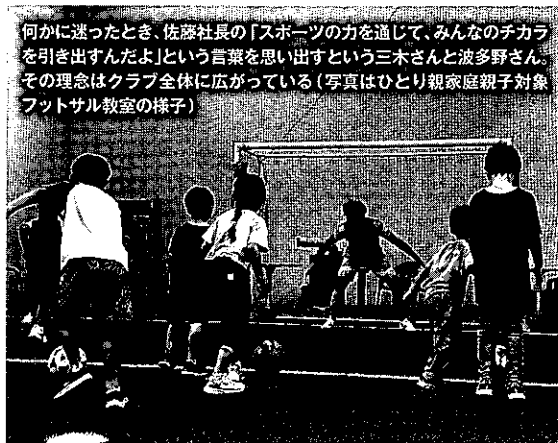
たちのエネルギーにもなっています。

23年から実施している「耳のバリアフリー観戦」についても教えてください。

三木 アプリを使って場内MCの掛け合いや選手の紹介、フットサルならではのルールなどを字幕にして伝えることで、聴覚障がいのある方にも現地観戦を楽しんでいただくというプロジェクトです。周囲と同じタイミングで試合の流れを把握できるので、一体感を得られます。誰一人取り残さない環境づくりとして大きな意義があるのですが、持続性という点では課題があります。とはいえ、「字幕があつたおかげでルールがよく分かって試合を楽しめた」という健常者の意見から一般的にも需要があるものと分かりました。来場者に幅広い価値を提供するといった視点で運用を考えていきたいと思っています。

あらためて、クラブは地域にとってどのような存在でありたいですか。

波多野 われわれは小田原をホームタウンとして戦って18年目になります。昨年、事務所を移転し、地元企業の関係者の皆さんを招いて懇親会を開いたところ、人と人をつなぐことには大きなバリューがあるのだと気づきました。というのも、企業の担当者の皆さんがその場での対話を通してさまざまなアイデアを出し合い、一緒に事業やイベントを立ち上げるところまで決まるといった事象がこの一年間にたくさん起こったんです。それを踏まえ、われわ



れクラブの使命は、ホームタウンの人々をつなぎ、一緒に豊かになっていくことだと思っています。以前はクラブがその旗振り役になるべきだと思っていたのですが、先頭に立つのではなく、みんなをつないで活性化していくハブとしての役割を目指しています。

三木 特別な存在になるというよりも、もつとフランクに地域に溶け込んでいる存在になっていきたいですね。「小田原と言えばベルマーレだよ」と認知されることはもちろんですが、地元の皆さんに困ったことがあったら、いつでも何でも相談できる身近な存在であることが理想です。

湘南ベルマーレフットサルクラブ
「Chance&Empowerment project」

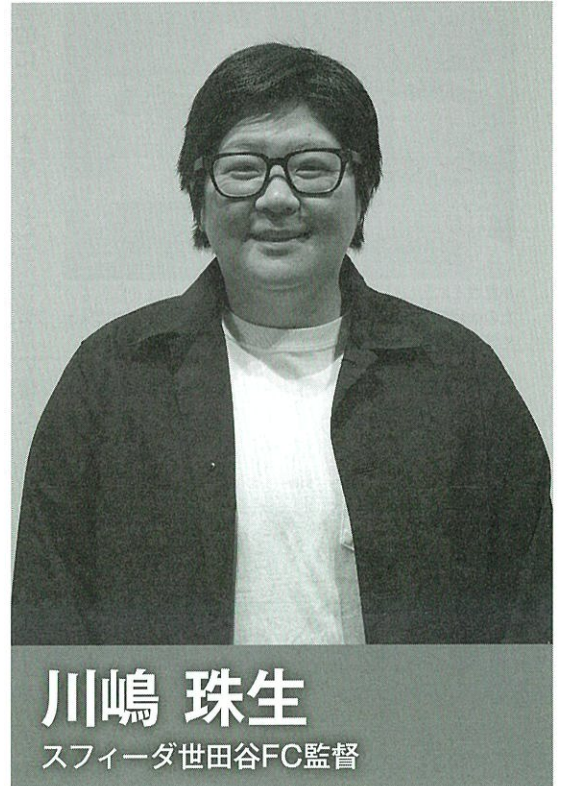
<https://www.bellmare-futsal.com/sociality/>



No Football,
No Life「指導者として高みを目指しながら
地元還元できる人間に」

フットボールに関わる人々やフットボールを支える人々にインタビューを実施し、フットボールの可能性や魅力に迫る本連載。第13回は、長きにわたってスフィーダ世田谷FCでプレーした後、同クラブで各カテゴリーの監督として指導してきた川嶋珠生さんに話を聞いた。

○取材日・2025年11月13日



川嶋 珠生

スフィーダ世田谷FC監督

——選手の声をしっかりと聞き
同じ目線で目標に向かう

——サッカーを始めたきっかけを
教えてください。

川嶋 通っている幼稚園に好きな男の子がいて、彼がお昼休みによくサッカーをしていたので、一緒に遊びたいという一心で始めました。そしてすぐに、彼よりもサッカーが好きになりました(笑)。サッカークラブに加入したのは小学1年生のときです。小学校に入学するタイミングで神奈川県横浜市から東京都世田谷区に引っ越したのですが、たまたまその小学校に女子チームがあったんです。

——その後、中学進学とともにスフィーダ世田谷FCに1期生として加入されました。

川嶋 当時は女子のジュニアユースのチームが少なく、十文字中学校やJクラブのアカデミーくらいしか選択肢がありませんでした。そんな中、今もゼネラルマネージャー(GM)をされている川邊(健二)さんがS世田谷を立ち上げてくれました。私は、中高時代はS世田谷のアカデミーでプレーし、筑波大学の女子サッカー部に4年間在籍した後、当時、監督をされていた川邊さんから声をかけていただき、S世田谷に戻ってきました。大学卒業後もサッカーを続けられるとは思っていなかったのですが、S世田谷への復帰は私のサッカー人生の大きなターニングポイントです。

——S世田谷のトップチームで4年間プレーされた後、2014年に選手を引退されました。

川嶋 2013年にまでしこりーグ昇格を懸けた入れ替え戦に進出したんですが、私がPKを外してしまい、昇格を逃してしまいました。この年限りで引退しようと考えていましたが、チームを次のステージに上げられなかったという苦い経験を自分で克服しなければ、この先の人生を考えたときに区切りにならないと思います。もう1年続けることにしました。そして、14年には国体にも出場することができ、やり切った、すっきりした、という気持ちで引退することができました。

——指導者への転身はいつ頃から考えていたのでしょうか。

川嶋 24、5歳のときに千葉恵美さんという年上の選手と出会いました。彼女は選手としても社会人としても着実にキャリアを積んでいて、彼女から自分がステップアップするためにはフットボールを

さまざまな角度から見ること、それによって自分自身の視野が広がることを学びました。人に伝えることの素晴らしさや喜びも感じていましたので、自然と指導者への道が見えてきました。

——育成年代からトップチームまでS世田谷一筋で指導を続けてこられました。その中でどのような指導を学ばれたのでしょうか。

川嶋 育成年代から少しずつトップチームに近づくような形で指導経験を積ませてもらいました。その中で、フットボールの原理原則を大切にしながらフットボールの楽しさやいろいろな側面から選手たちに伝えることの重要性を学びま



2024年10月から約1年間、AFC-JFA Pro-Diploma Course for Asian Elite Female Coachesを受講

した。同時に、ライセンス制度も活用して外部からの刺激や学びを得て、スキルや指導力を身につけていくところです。

——指導する上でどのようなことを大切にされていますか。

川嶋 選手の声をしつかりと聞くことです。その上でどのような表情をしているか、どう感じているかを観察する。チームが一つになって結果を出すためには、選手とコーチングスタッフが同じ目線で同じ目標に向かうことが大切ですから、そこは意識して丁寧に積み重ねていくようにしています。

指導者としていかに選手を高みに導けるか

——2024年10月から約1年間にわたって開催された、女性を対象としたプロディプロマコースであるAFC-JFA Pro-Diploma Course for Asian Elite Female Coachesを受講されました。

川嶋 Aジェネラルライセンスコーチ養成講習会でお世話になった小野(剛)さんからお誘いいただきました。参加者は13カ国から20人、そのうち日本人は7人です。指導者だけでなくGMや協会の職員などいろいろな立場の人たちが参加し

ていました。コースは全て英語でのやり取りで、ネイティブなのはオーストラリアくらい。私も含めて英語が得意ではない人もいる中で新鮮な経験になりました。

——どのような学びがあったのでしょうか。

川嶋 印象に残っているのは、翌朝までの数時間で全員でプレゼンテーションの資料を作るという課題です。うまく意思疎通ができないうちでいかに作り上げていくか。これまでのライセンス講習では一人で学んでいるといった感覚でしたが、その経験からあらためてチームプレーの重要性を実感し、そこに自分が貢献できることの充実感を得ることができました。ハッとさせられたのは、同じ受講生から言われた「自分じゃなくて選手を見なさい」という言葉です。自分が成長したい、自分を良く見せたい、もちろんそれも大事ですが、やはり指導者ですから、いかに選手を高みに導くか。グループワークの中でこういった議論ができたのは本当に良かったですね。英語が得意でなくてもこういうやり取りを繰り返していくうちに理解し合えるようになるということが分かったのも良かったです。世界に仲間ができたことは大きな財産です。

——とても有意義な時間だったと。

川嶋 本場に素晴らしい時間でした。自分の成長を実感できたこともそうですし、各国のフットボールの環境や事情を知ることができ、アジアのフットボールにはまだまだ伸びしろがあることも分かりました。一方、日本の女子サッカーもアジアの成長に負けず劣らず、WEリーグを中心に成長しています。海外でプレーする選手も増えていきますから、国内外からの刺激を得ながら、日本らしさを失わずに、もともと世界にアピールできるようなになれば、と。私もその一翼を担いたいと思います。

——またこういうコースが行われ、参加を迷っている指導者がいたとして、どのような言葉で参加の後押しをしていただけますか。

川嶋 とにかく飛び込んでみてください。女性指導者が高みを目指そうとすると、どうしても男性指導者と比較してしまいがちです。それに、日本人女性は控えめですので、監督ではなくサポートスタッフでいいと考えてしまうところもあります。私もそうでした。

でも、今回のコースでアジアの仲間たちとディスカッションする中で、自分自身の意見を伝える大切さがあらためて分かりました。そして、積極的に意見を交わす中で共にブラッシュアップできていると感じることができました。多くの刺激を受けることができ、本当に素晴らしいコースだったので、ぜひトライしてほしいと思います。

——2025シーズンはS世田谷の監督を務められました。

川嶋 選手だけでなくスタッフなどチーム全体を束ねるマネジメンツの重要性を実感しましたし、監督の役割やその難しさも肌で感じました。もともとと指導者として

の経験を積み重ねなければならぬと思いました。良くも悪くも1シーズンを通して得た経験を次のステップにつなげていかないといけないですね。

——最後に、今後の目標を聞かせてください。

川嶋 まず指導者として高みを目指すこと。カテゴリーを問わず、チームで戦う素晴らしさや楽しさを伝えていきたい。今回のプロディプロマコースでAFC(アジアサッカー連盟)のライセンスも取得できる予定ですので、海外での指導など日本人指導者の活動の場を広げる挑戦もしていきたいですね。長いスパンで考えると、私の原点でもある地元に戻元できる人間になっていきたいと思っています。地元愛を持ちながら選手が安心してプレーできる環境をつくってけたらいいですね。



2025シーズンはS世田谷の監督としてプレナスなでしこリーグ1部を戦った

Profile

川嶋 珠生(かわしま たまひ)

1988年6月6日生まれ、神奈川県出身。幼少期にサッカーを始め、中学1年時に1期生としてスフィード世田谷FCに加入。筑波大学女子サッカー部に在籍した4年間を除き、S世田谷一筋でプレー。2011年から4年間トップチームでプレーした後、2014年に選手を引退。翌2015年に指導者へ転身すると、S世田谷の各カテゴリーの監督などを歴任。2025年にトップチームの監督に就任した。JFA公認Aジェネラルライセンス保有、同Proライセンス取得予定。

メディカル ROOM

「サッカー選手に多くみられるけがの特徴とその予防(2)前十字靱帯損傷」

松下 雄彦

(JFA医学委員会委員/明和病院 整形外科)

◎監修: JFA医学委員会

本連載では日本サッカー協会(JFA)医学委員会の監修の下、メディカルに関する情報をお伝えします。

安定性を担う重要な靱帯 その受傷原因

前十字靱帯は、大腿骨(太もも側の骨)と脛骨(脛の骨)をつなぐ、ひざ関節の中にある靱帯です。安定性を担う重要な靱帯で、損傷したままスポーツをすると靱帯が大きく動いて「膝崩れ」といわれる現象が生じます。膝崩れを繰り返していると、半月板や軟骨などに負荷がかかり、2次的に損傷を起して、将来的にはひざの関節症を発症・進行していく危険性があります。

受傷原因として、接触プレーで受傷する接触型、接触プレーがなく受傷する非接触型がありますが、前十字靱帯は非接触型の損傷が多いことが特徴です。主に切り返し動作や、ジャンプの着地で膝が少し曲

がった状態で内に入るようになった際に受傷するケースが多く、サッカーではボールを取りに行ったときの方向転換でしばしば生じます。また、体が後ろに傾きながら、ひざを伸ばした状態で足を接地した際に生じることもあります。女子選手の受傷が多いことはよく知られています。

診断と手術による治療 リハビリで十分な回復を

損傷時は膝にゴリツという衝撃があります。その後、次第に関節内に血が溜まり、腫れてきます。受傷が疑われる場合、直ちにプレーを中断し、アイシングをしましょう。診断は、医師による診察とMRIによる画像診断が併せて行われ、その際、関節内の血を注射器で抜く場合があります。また、半月板や軟骨損傷、内外側副靱帯損傷などを合併していないかを診断します。

損傷した靱帯は、自然治癒でスポーツが行えるまでの強度に回復することは見込めません。基本的には手術による治療となります。一般的には、痛みが減少して可動域が改善し、力が入るようになった時点で手術を行います。手術は、靱帯を新たに作り直す再建術を施します。このとき、新たな靱帯となる腱を採取し、ひざの中に移植します。移植する腱は主に、ハムストリング腱、膝蓋腱、大腿四頭筋腱が用いられます。どの腱を使用するかは医師の判断によりますが、スポーツの種類、年齢、性別

のほか、関節の柔らかさなどといった膝の特徴も含め、総合的に判断します。術後は段階的なリハビリを行い、復帰は術後9カ月程度が目安とされています。

移植した腱がひざの中で成熟して生着するには時間を要するため、早期に復帰してしまうと再断裂のリスクが高くなります。また、リハビリが不十分のまま復帰することも再受傷の危険につながります。

なお、このけがの確立された予防法はありません。だからこそ、リハビリで十分な筋力の回復と体の使い方の改善を図る必要があります。ひざが内側に入るような動きが受傷の一因と考えられているため、再受傷予防のためには、ひざの受傷につながりにくい体の使い方をすることが重要です。また、バランストレーニングや体幹トレーニングなどもしっかり鍛えて安定した姿

■FIFA 11+ 日本語版

FIFA 11+は国際サッカー連盟(FIFA)医学委員会傘下のFIFA Medical Assessment and Research Centre(F-MARC)が作成した外傷・障害予防のウォーミングアッププログラム。

<https://www.jfa.jp/medical/11plus.html>



PART1 ランニングエクササイズ・8分

1 ランニング スタート・ダッシュ [mpg形式/13.0MB] >>	2 ランニング ヒップ・ツイスト [mpg形式/13.0MB] >>	3 ランニング ツイスト・ステップ [mpg形式/13.0MB] >>
4 ランニング サイド・ステップ・バスター [mpg形式/17.0MB] >>	5 ランニング スクワット・ランニング [mpg形式/19.0MB] >>	6 ランニング ランニング [mpg形式/16.0MB] >>

PART2 筋力・プライオメトリクス・バランス10分

7 ベンチ スクワット [mpg形式/66.0MB] >>	7 ベンチ スクワット・ランニング [mpg形式/74.0MB] >>	7 ランニング ランニング [mpg形式/71.0MB] >>
8 サイド・ステップ スクワット [mpg形式/61.0MB] >>	8 サイド・ステップ スクワット・ランニング [mpg形式/74.0MB] >>	8 サイド・ステップ スクワット・ランニング [mpg形式/74.0MB] >>
9 ハムストリング スクワット [mpg形式/61.0MB] >>	9 ハムストリング スクワット [mpg形式/64.0MB] >>	9 ハムストリング スクワット [mpg形式/64.0MB] >>
10 シングル・レッグ・スクワット スクワット・ランニング [mpg形式/71.0MB] >>	10 シングル・レッグ・スクワット スクワット・ランニング [mpg形式/70.0MB] >>	10 シングル・レッグ・スクワット スクワット・ランニング [mpg形式/63.0MB] >>
11 スクワット スクワット・ランニング [mpg形式/61.0MB] >>	11 スクワット スクワット・ランニング [mpg形式/62.0MB] >>	11 スクワット スクワット・ランニング [mpg形式/62.0MB] >>
12 ジャンプ スクワット [mpg形式/55.0MB] >>	12 ジャンプ スクワット [mpg形式/60.0MB] >>	12 ジャンプ スクワット [mpg形式/67.0MB] >>

PART3 ランニングエクササイズ・2分

13 ランニング スクワット・ランニング [mpg形式/14.0MB] >>	14 ランニング スクワット・ランニング [mpg形式/16.0MB] >>	15 ランニング スクワット・ランニング [mpg形式/17.0MB] >>
--	--	--

勢を身に付けるほか、FIFA 11+が受傷の危険性を下げるとも報告されていますので、日頃のウォーミングアップにぜひ取り入れてみてください。



エリートユース育成

スピードスケートで日本人最多優勝を誇る高木美帆選手が今シーズンのワールドカップの各レースで1位を獲得していないので、どうしたのだろうと気になっています。私は「ファンとして見ているだけで、専門的な見解を持ち合わせているわけではありませんが、世界トップを争うアスリートたちが置かれている厳しい環境を、スポーツに関わる者としてあらためて感じさせられます。高木選手は日本サッカー協会(JFA)が主催するナショナルトレセンに参加した経験があり、サッカーに関わる者として、そのつながりを素直にうれしく思っています。

サッカーをプレーしたい人が、安全に、そして安心して楽しめる環境を整えることは大前提です。一方、より強く、より速く、より巧みにプレーし、勝利を目指して努力する若い選手たちへの支援も欠かせません。これは世界的に「エリートユース育成」と呼ばれる領域です。日本の場合、学校の体育や運動部活動が普及と強化、そして選手育成を担ってきた歴史があり、この三つの領域の境界は必ずしも明確ではありません。一部の選手を「エリート」と扱うことに対し、どこか抵抗感のある雰囲気もあります。そのため、普及と育成、あるいは育成と競技強化の線引きが曖昧になりがちです。

しかし、多くのサッカー先進国では、明確にプロを目指す選手と、それ以外の選手がはっきり分けられているのが一般的です。欧州のプロクラブに所属

する若い選手たちは、エリートユースとして体系的に育成され、それに属さない選手はアマチュアプレーヤーとしてサッカーを楽しみます。もちろんアマチュアの中にも勝敗を競い合い、真剣にプレーする人は多くいます。

最近、アジアサッカー連盟の担当者として、韓国の普及(グラスルーツ)を評価する機会がありました。韓国は伝統的にエリート育成を重視し、高校サッカーで競技としてプレーできるのは限られた選手だけです。日本とは異なる仕組みが続いてきました。しかし今回の訪問では、韓国サッカー協会が学校でのサッカー活動に目を向け始め、特に女子サッカーにおいてはグラスルーツレベルの環境整備を進めている様子を目の当たりにしました。

このように、多くの国では「エリート育成」だけでは不十分という認識が広がり、普及への関心が高まっています。欧州サッカー連盟も学校へのアプローチを積極的に進め、教育現場と地域クラブを結びつける取り組みを展開しています。欧州では地域スポーツクラブを基盤に発展し、プロクラブがエリート育成を担う構造が一般的ですが、学校という大きな母集団にアプローチすることで新たな普及の流れをつくらうとしています。

一方、日本はすでに学校スポーツが深く根つき、その枠組みの中で普及・育成・強化を行ってきました。しかし近年は、部活動の地域移行が進み、日本のスポーツ環境そのものが新しい形を模索する時期に

隔月連載

サッカー心育論 Vol.95

～指導者は何を考えるべきか～



中山 雅雄 (JFA技術委員会普及部会会長 / JFA普及ディレクター / JFAキッズプロジェクトメンバー / 筑波大学体育系教授)

入っています。欧州とは逆方向に進んでいるようにも見え、これから私たちがどの方向を目指すべきか、慎重な検討が求められます。

サッカーに簡単にアクセスできるグラスルーツの環境整備とともに、エリートユース育成と競技力向上への注力は不可欠です。日本代表は1998年の初出場以降、FIFAワールドカップ8大会連続出場を決め、今ではベスト16の壁を突破して、さらに優勝を目指すと言えるほどの力を身につけています。しかし、「盛者必衰の理」は日本の伝統的な理念の一つです。現状にあらをかくことなく、継続的な改善が必要です。

JFAはトレセン改革を進めています。現代的なタレント・D(Talent Development) / 若年層の人材発掘・育成、およびそれを目的とした事業・プログラム(の考え方に)基づき、選手の適性を的確に診断し、継続的に育成する試みも始まっています。また、私個人としては、Jリーグのアカデミーが担うエリートユース育成をより体系的に整備していくことが重要だと感じています。高校部活動も、限られた強豪校による、少数でのエリートユース育成に特化しても良いのではないかと考えています。

今年はU-20、U-17それぞれでワールドカップが開催されました。日本代表の戦いはとても良かったと思います。U-20はグループステージを3試合連続の完封勝利で首位突破し、ラウンド16のフランス戦は0-0の延長後半ア

デিশショナルタイム3分にPKを決められてのベスト16でした。U-17はグループステージを首位通過し、ノックアウトステージでは12年ぶりのベスト8に進出しました。選手たちは多くの経験を積んだはずです。この経験の蓄積が日本のサッカーの競技力を支えるのです。結果だけが重要ではありませんが、この年代でも世界のトップレベルであり続けることが大切です。

育成年代で代表として活躍する選手は、同年代の中でトップレベルのパフォーマンスを発揮します。しかし、そのパフォーマンスが将来も「トップであり続ける」ことを保証するわけではありません。可能性のある選手は全国にたくさんいます。この点を私たちは常に意識しながら、選手育成に向き合う必要があります。育成年代の活躍に対する、行き過ぎた賞賛や過度な期待、過剰なストーリーづくりには注意が必要です。

課題は多くあります。女子がワールドカップで優勝したことを除けば、日本サッカーはまだ世界の頂点に立っていません。しかし、他競技を見渡すと、世界をリードする日本人アスリートが多くいます。サッカーも負けてはいられません。来年のワールドカップの組み合わせが決まり、期待はますます高まっていくことでしょう。その前に2月6日から22日には、第25回冬季オリンピックがイタリアのミラノとコルティナ・ダンペッツォで開催されます。高木選手をはじめ、日本のトップアスリートたちの戦いを応援しながら、そこで多くの学びも得たいと思っています。

「フランス選手が順調に回復して、再びフットボーラーとして充実した時間を過ごせるよう、リハビリが進むことを願っています」

11月14日に豊田スタジアムで開催されたガーナとのキリンチャレンジカップ後、日本代表の森保一監督はそんな話をしました。

この試合の後半6分、ガーナ GKのキックを日本がはね返したのを最前線で受けたFW上田綺世選手が落とすと、受けたMF田中碧選手が前進、ペナルティエリア手前からシュートを狙いました。このシュートを阻止しようと、背後からガーナMFフランシス・アブ選手が右足を出します。しかしボールには触れられず、強いシュートを放とうと振った田中選手の右足がフランシス選手の右足首あたりを強打してしまっただけです。

オーストラリアのベンジャミン・エイブラハム主審は田中選手のファウルと判定しましたが、フランス選手のファウルと言ってもいい場面でした。しかしそれは大きな問題ではありません。すぐそばに寄った日本のMF南野拓実選手が、第4の審判員の傅明氏（中国）に「タンカ！」と叫びます。倒れたフランス選手の手のがが重大であることは明

いつも心に

連載 Vol.152

大住良之

(サッカージャーナリスト)

リスペクト

RESPECT

大切に思うこと

大きなアクシデントの中で相手を思いやる

らかでした。

上田選手が心配そうにしゃがみ込み、声をかけます。フランス選手は、2022/23シーズンに上田選手がベルギーの「セルクル・ブルージュ」でプレーしていたときのチームメイトで、非常に仲の良い友人だったからです。

そしてそのそばでは、田中選手が茫然と立っています。不可避だったとはいえ、相手選手に大きなダメージを与えてしまったことに大きなショックを受けているようでした。その様子を見て、谷口彰悟選手や上田選手が肩をたたいて励まします。驚くべきことですが、ガーナの選手たちも田中選手を励ましてるように見えました。

「交代のときに田中選手がガーナのベンチに行きましたが、どんなやりとりがあったのですか」

試合後の記者会見で、ガーナ代表のオットー・アッド監督にこんな質問をしたのは、WEBニュース『サッカーキング』の小松春生さんでした。うかつなことに私は見逃していたのですが、アクシデントから15分ほどして交代になったとき、田中選手は退出して日本のベンチに戻る前にガーナのベンチに行ったのだそうです。

「彼はわざわざ謝りにきてくれた。当たり前のことではない。

感謝している。日本という国が、教育やしつけがいかにしっかりしているかということを感じさせた」

会見の冒頭、フランス選手のがに大きなショックを受けていると話したアッド監督でしたが、田中選手が悪質なプレーをしたわけではないことは十分理解し、また、ベンチまで謝りにきてくれたことに感謝を受けたと語りました。

フランス選手はすぐに豊田市内の病院に搬送され、翌日に手術を受けました。手術は成功しましたが、残念ながら2本の骨が折れており、現在の所属クラブであるフランスのトゥールーズは「彼にとって今シーズンは終わったと発表しました」。

フランス・アブ選手は2001年ガーナの首都アッカ生まれ、24歳の有望選手です。2018年にはJリーグの国際ユース大会で来日してガーナのクラブを優勝に導き、最優秀選手にも選ばれました。その日本で、今度は来年のワールドカップ出場まで危ぶまれる大けがを負ったことは、無念だったに違いありません。

残念ながら、サッカーでは時折、こうした大きなアクシデントが起きてしまいます。アッド監督自身、

3回にわたる大けがで選手生命を縮めた人で、フランス選手が胸中が十分過ぎるほど分かったでしょう。しかし田中選手がとったこの行動は、フランス選手だけでなく、アッド監督やガーナの選手たちの心を癒やしました。そして田中選手は自身のSNS



交代でピッチを後にした田中選手はそのままガーナのベンチへ。アッド監督もその思いを受け止めた

で「ガーナの選手や監督たちの優しさに、僕自身も救われた。感謝したいです」と書き込みました。

誰にとっても不運で不幸な出来事でしたが、そのさなかに相手手を思いやる心があふれていたのは、大きな救いであり、慰めでした。



日本サッカー協会

<https://www.jfa.jp/>

タイのバンコクでJFAユニクロサッカーキッズを初開催

JFAと株式会社ユニクロ（以下、ユニクロ）は11月8日、タイのバンコクで未就学児を対象としたサッカーイベント「JFAユニクロサッカーキッズ」を開催した。JFAユニクロサッカーキッズは2003年から継続的に実施しており、この22年間で延べ31万人を超える子どもたちにサッカーなどスポーツを楽しむ機会を提供してきた。

海外ではこれまで、シンガポール、ドイツ、フランス、ベトナムの4カ国で実施し、タイでの開催は初めて。JFAとパートナーシップ協定を結ぶタイサッカー協会、タイ・リーグ1のBGパトゥム・ユナイテッドFCの理解と協力により実現した。当日はJFAユニクロサッカーキッズキャプテンの内田篤人さん、タイからは元タイ代表選手のKawin Thamsatchananさん、Teeratep Winothaiさんがゲストとして参加した。

【開催概要（抜粋）】

主催：公益財団法人日本サッカー協会
特別協賛：株式会社ユニクロ
協力：タイサッカー協会、BGパトゥム・ユナイテッドFC（タイ・リーグ1）
後援：在タイ日本国大使館、タイ国日本人会
日時：2025年11月8日（土）
会場：BGPU Training Center 3
内容：6人制のミニサッカーフェスティバル

●宮本恒靖JFA会長

タイはサッカー人気が高い国で、サッカーをしている子どもも多いのですが、初めてボールを蹴るという子どもたちにも楽しんでもらえるイベントになると思います。在タイ邦人のお子さんと現地のお子さんが、国

籍や言葉の違いを超えて仲良くなり、大きくなってからも互いを尊重し合えるような交流に発展することを期待しています。今回は、JFA ユニクロサッカーキッズのキャプテンを務める内田篤人さん、タイのファンに人気のKawin ThamsatchananさんとTeeratep Winothaiさんの元タイ代表のお二人がサッカーの楽しさを教えてくれます。子どもたちも保護者の皆さんも楽しみにしているのではないのでしょうか。

本イベントが、両国の未来を担う子どもたちの夢を後押しするとともに、在タイ邦人とタイの皆さんの相互理解や交流を促す一助になることを願っています。

●柳井康治 株式会社ファーストリテイリング 取締役 グループ上席執行役員

タイで「JFAユニクロサッカーキッズ」を開催できることを大変光栄に思います。ユニクロは2011年にタイ1号店をオープンして以来、多くのお客様にご支持いただけてきました。今回のイベントを通じて、タイと日本の子どもたちがサッカーを通じて交流し、笑顔あふれる時間を共有してくれることを心から願っています。

●内田篤人JFAユニクロサッカーキッズキャプテン

「JFAユニクロサッカーキッズ」を海外で開催できることをとてもうれしく思います。タイには何度か訪れたことがありますが、小さな子どもたちにもサッカーは人気で、子どもたちの笑顔がとても印象的でした。今回のイベントを通じて、現地の日本人の子どもたちはもちろん、タイの子どもたちにもボールを追いかける楽しさや、仲間と一緒に体を動かすことの大切さを感じてもらえたらと思います。

育成年代応援プロジェクト JFAアディダス DREAM ROAD
バイエルン・ミュンヘン（ドイツ）に4選手が短期留学

JFAとJFAオフィシャルサプライヤーのアディダス ジャパン株式会社が行う「育成年代応援プロジェクト JFA アディダスDREAM ROAD（ドリームロード）」の2025年度の短期留学を、ドイツの名門クラブ、バイエルン・ミュンヘンで行う。4人の選手が11月21日から12月7日まで短期留学する。

【2025年度第2弾：バイエルン・ミュンヘンへの留学予定選手】

井原 令雄（イハラ レオ）
所属：桐光学園高校
ポジション：DF
学年：高校1年生
コメント：このような素晴らしい機会を与えていただき感謝申し上げます。世界トップレベルの選手たちとプレーできるこの機会です。多くのことを学び、今より強い選手になって帰ってきます。全力でチャレンジし、全力で楽しみます。

秋鷹 青杜（アキタカ アオト）

所属：日章学園高校
ポジション：FW

学年：高校1年生
コメント：海外でどれだけ自分の力が通用するか分かる貴重な場なので一日一日を大事に自分の強みをどんどん出していきたい、楽しみたいです。

吉澤 凰河（ヨシザワ オウガ）

所属：松本山雅FC U-15
ポジション：FW
学年：中学3年生
コメント：このプログラムを通して世界で通用すること・しないことははっきりさせ、今後のサッカーに生かすために何事もチャレンジします。

山川 弘飛（ヤマカワ ヒロト）

所属：FC岐阜U-15
ポジション：DF
学年：中学3年生
コメント：まずはこのプログラムに参加させてくれたチームスタッフと

家族に感謝の気持ちを持ってプレーをしたいです。そして日本を代表して参加するので、自分が持っているものを全て出して良いところは盗んで、今よりもさらに成長して帰ってこられるようにしたいです。

●城和憲JFAユース育成ダイレクターコメント

「DREAM ROAD」プロジェクトを実施するにあたり、パートナーであるアディダス ジャパンさま、そして本取り組みにおいて3年目の協力をいただいているバイエルン・ミュンヘンの皆さまに、心より感謝申し上げます。

バイエルン・ミュンヘンは、世界屈指の名門クラブとして、育成と強化の両面で卓越した実績を誇ります。洗練されたトレーニング環境、先進的な指導メソッド、そしてクラブ全体に根付く勝利への情熱は、まさに“世界基準”と呼ぶにふさわしいものです。実際、昨年、U-16カテゴリーでト

レーニングを共にしたレナート・カール選手が、すでにブンデスリーガで活躍していることから、そのレベルの高さが証明されています。

本プログラムでは、現地アカデミーでのトレーニングや文化交流を通じて、選手たちは技術・戦術の向上はもちろん、サッカーに対する姿勢や価値観、そして国際的な視野を養う貴重な機会を得ることができます。今年は特に、バイエルンユースカップへの招待を受け、より深い関係性を築くことができました。

こうした良好なリレーションの背景には、男女それぞれのトップチームで日本人選手が活躍していることも大きく、彼らの存在が次世代選手たちへの期待と希望をさらに高めてくれています。私たちは、選手たちがこの機会を最大限に生かし、サッカー選手としてだけでなく、人間としても大きく成長してくれることを心から願っています。このプログラムが、彼らの夢への第一歩となることを、心より期待しています。

JFA 第49回全日本U-12 サッカー選手権大会、柿谷曜一朗氏がアンバサダーに就任

12月26日から29日、鹿児島県鹿児島市で開催する「JFA 第49 回全日本U-12 サッカー選手権大会」のアンバサダーに柿谷曜一朗氏が就任することが決定した（11月27日発表）。大会に向けた広報活動のほか、開会式では映像で選手たちに応援メッセージを送るなどを予定している。

●柿谷曜一朗氏コメント

大会アンバサダーの柿谷曜一朗です。全国大会への出場、おめでとうござ

います。大会では自分の実力を全部出し切ってください。その中で通用したこと、通用しなかったことを、チームのトレーニングに生かし、プロサッカー選手をめざしてがんばってください。応援しています。

■JFA 第49 回全日本U-12 サッカー選手権大会 大会情報

https://www.jfa.jp/match/japan_u12_football_championship_2025/



U-19日本女子代表

https://www.jfa.jp/national_team/u19w_2025/



AFC U20女子アジアカップタイ2026の組み合わせが決定

アジアサッカー連盟（AFC）は11月10日、タイのバンコクでAFC U20女子アジアカップタイ2026（2026年4月1日～18日）の組み合わせ抽選会を開催し、下記の通り、グループステージの組み合わせが決定した。日本はグループCに入り、オーストラリア、チャイニーズ・タイペイ、インドと対戦。本大会の上位4チームには自動的にFIFA U-20女子ワールドカップポーランド2026の出場権が与えられる。

【グループステージ組み合わせ】

グループA: 【A1】タイ、【A2】中国、【A3】ベトナム、【A4】バングラデシュ

グループB: 【B1】朝鮮民主主義人民共和国、【B2】韓国、【B3】ウズベキスタン、【B4】ヨルダン

グループC: 【C1】日本、【C2】オーストラリア、【C3】チャイニーズ・タイペイ、【C4】インド

●日本のマッチスケジュール

第1戦 vs インド

第2戦 vs チャイニーズ・タイペイ

第3戦 vs オーストラリア

●井尻明U-19日本女子代表監督

私たちはグループCでオーストラリア、チャイニーズ・タイペイ、インドと同組となりました。どの相手も簡単ではありませんが、私たちは日本代表としてのアイデンティティを胸に、どんな状況でも粘り強く、最後まで走り抜く姿勢を忘れず、攻守において主導権を握るサッカーを目指します。日本の強みを発揮し、見ている方々に心を動かすようなプレーをお見せしたいと思います。ぜひ応援をよろしくお願いいたします。

フットサル日本代表

https://www.jfa.jp/national_team/futsal_2025/



AFCフットサルアジアカップインドネシア2026の組み合わせが決定

2026年1月に開催されるAFCフットサルアジアカップインドネシア2026の組み合わせ抽選会が11月5日、インドネシアのジャカルタで行わ

れ、日本はグループCに入り、ウズベキスタン、タジキスタン、オーストラリアと同組になった。

【グループステージ組み合わせ】

グループA: 【A1】インドネシア、【A2】イラク、【A3】キルギス、【A4】韓国
グループB: 【B1】タイ、【B2】ベトナム、【B3】クウェート、【B4】レバノン
グループC: 【C1】日本、【C2】ウズベキスタン、【C3】タジキスタン、【C4】オーストラリア

グループD: 【D1】イラン、【D2】アフガニスタン、【D3】サウジアラビア、【D4】マレーシア

※各グループ上位2チームがノックアウトステージへ進出

●日本のマッチスケジュール

第1戦 vs オーストラリア

第2戦 vs タジキスタン

第3戦 vs ウズベキスタン

●高橋健介フットサル日本代表監督

アジア全体のレベルが上がってきているので、どこのチームと同じグループになったとしても簡単な試合にはならないと思っています。今回、グループCに入り、ウズベキスタン、タジキスタン、オーストラリアと対戦しますが、3チームとも特徴をよく理解していますし、われわれの目標であるアジアカップ優勝に向けて、良い準備をして大会に臨みたいと思います。

サッカー e日本代表

https://www.jfa.jp/national_team/e_national_team_2025/



12月10日～13日、FIFAe World Cup2025に出場

サッカー e日本代表は、12月10日から13日に開催されるFIFAe World Cup2025に出場する。同大会に出場するのは、コンソール部門にTess選手、Takaki選手、Ax選手、モバイル部門にSOUSHUN選手の4人。11月20日、JFAハウスで宮本恒靖JFA会長が日本代表ユニフォームを手渡し、「日本代表の誇りを持って頑張ってもらいたい。4人で協力し、良いニュースを日本に届けてほしい」と激励の言葉を送った。

■FIFAe World Cup2025について

主催：国際サッカー連盟（FIFA）

日程：2025年12月10日～13日（コンソール部門／モバイル部門）

場所：SEF Arena／リヤド（サウジアラビア）

出場国：12カ国（コンソール：イタリア、ポーランド、トルコ、モロッコ、ヨルダン、インドネシア、日本、タイ、ブラジル、チリ、メキシコ、サウジアラビア、モバイル：ギリシャ、トルコ、エジプト、モロッコ、バーレーン、マレーシア、日本、タイ、インド、ブラジル、コロンビア、サウジアラビア）

大会形式：グループステージ（各グループ総当たり戦）※各グループ上位4チームがノックアウトステージ進出

ノックアウトステージ（2戦先取のトーナメント戦）

賞金：優勝 約4,500,000円、準優勝 約2,700,000円（コンソール部門／モバイル部門それぞれ）



左からTess選手、Ax選手、Takaki選手、SOUSHUN選手

デフサッカー男女日本代表

<https://jdffa.jp/>



デフサッカー男子日本代表・女子日本代表がメダル獲得報告会を開催

デフサッカー男子日本代表とデフサッカー女子日本代表が第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025（略称：東京2025デフリンピック）で銀メダルを獲得したことに伴い、一般社団法人日本ろう者サッカー協会（JDFA）は11月27日、JFAサッカー文化創造拠点「blue-ing!」でメダル報告会を開催した。報告会には、男子代表の齋藤登監督、松元卓巳キャプテン、古島啓太副キャプテン、瀧澤諒斗選手、堀井聡太選手、女子代表の山本典城監督、伊東美和キャプテン、高木桜花副キャプテン、宮田夏実選手が出席した。

デフリンピックへの出場は今回、男子が5度目、女子が4度目となり、メダル獲得は初の快挙だ。最初にあいさつに立ったJDFAの高橋孝司代表理事は、「協会が設立されて27年というまだ浅い歴史の中で、男子、女子共に頑張ってくれた。2005年に男子が初めてデフリンピックに出場して以降なかなか決勝トーナメントに進出できなかった。今回メダルを獲得できたことは大変喜ばしく、同時に皆さまの協力に感謝したい」と語った。その後、日本障がい者サッカー連盟（JIFF）の北澤豪会長と日本サッカー後援会（JSSC）の奥寺康彦理事長がそれぞれ選手たちの健闘を振り返るととも

に、これからのデフサッカー、そして障がい者スポーツのさらなる発展への期待を述べた。

「最低でも世界一、最高でも世界一」を目標に掲げて大会に挑んだ男子は、決勝で接戦の末に敗れ、悔しさの残る結果となった。齋藤監督は「目標だった世界一を達成できなかった悔しさ、銀メダルを取れたうれしさ、複雑な心境でいる。ただ一つ確かなことは、合宿や大会を通じて選手、チームが成長したこと。そして、選手たちが見せてくれたパフォーマンスは素晴らしい、指導者として誇らしく思う。今大会を機にデフスポーツの認知度が高まり、理解の醸成につながったのであればそれもうれしいこと」と語った。また、王者アメリカに2度挑んだ女子の山本監督は「女子も金メダルを目指していたので悔しさはある。アメリカ戦では実力の差を見せつけられた結果ではあったが、選手たちは最後まで諦めず、いま持てる力の全てを出してくれた。多くの人々の情熱が積み重なった形が銀メダルにつながった。自国開催での銀メダル獲得を誇りに思い、また前を向いて進んでいきたい」と結果を受け止めた。また、両監督は、デフサッカーのさらなる発展には普及が不可欠と指摘。聴覚障がいのある子どもたちがサッカーを続け

られる環境が整っていくこと、そして、デフサッカーに理解のある指導者が増えていくことを願った。

※94～95ページに大会レポート掲載

<選手コメント>

●松元卓巳選手

銀メダルおめでとうと言ってもらうが、正直まだ心の整理はついていない。世界一を目指すためにこの4年間過ごしてきた。試合を振り返っても一つのミスが勝敗を分けると強く感じた。最高の仲間たちに出会ったこと、いろいろな形で応援のメッセージをくださった皆さまに感謝の気持ちでいっぱい。引き続き、一緒に世界を目指してもらえたらうれしい。

●古島啓太選手

決勝が終わって2日がたち、起きたとき、寝るときに思い出すのは決勝で負けたときの光景。毎朝悔しさで涙が出てしまう。なぜ負けたのかまだ答えが見つからない。でも、15,000人の応援を受けて代表のピッチで戦うという新しい景色を見ることができ、世界一をサポートの皆さまと追いかけるという新たな目標もできた。2年後のデフワールドカップでの世界一を目指して、また頑張っていきたい。

●堀井聡太選手

悔しさで眠れない日が続いていて、今も悔しさでいっぱい。しかし結果を素直に受け止めて、自分の経験を未来の選手たちに伝えながら、ここからまた世界一を目指していきたい。

●瀧澤諒斗選手

決勝は1-2で負けている状況でピッチに入り、流れを変えたかったが変えられなかった。大会を振り返ると悔しさと感謝の気持ち、どちらも大きい。大会を終えてピッチに倒れて流した涙、見上げた空の景色は今も心に残っている。この悔しさを2年後のデフワールドカップにぶつけたい。

●伊東美和選手

決勝のアメリカ戦は、自分たちが今までやってきたことを全て出し切っ

た。それでもアメリカに勝てなかった。私は脳振盪^{とう}によるドクターストップで試合に出られなかったが、試合に出る選手たちが100%で戦えるようサポートし続けた。私を励まし、応援してくださった皆さまにも感謝の気持ちでいっぱい。2年後のデフワールドカップでは必ずピッチに立って日本のゴールを守りたい。

●高木桜花選手

10番を背負う立場として、どんな状況でも笑顔で謙虚に自分の持つ力を出し切るという気持ちでプレーした。最後まで諦めず、共に戦ってくれた選手がいたから出し切れたと思う。決勝では自分たちのやりたい攻撃と守備の形を出すことができた。2年後のデフワールドカップでは自分たちのサッカーを体現して結果を出したい。

●宮田夏実選手

私自身はけがの影響もあって思うようなプレーができず、悔しさが残っている。でも100周年のデフリンピックが日本で開催され、そのピッチに立てたことは幸せなこと。これまでの先輩たちの悔しさがあり、支えてくださった皆さまのおかげでつかめた銀メダルだと思っている。若い選手たちを支えていけるよう、私も頑張っていきたい。



左から北澤JIFF会長、高橋JDFA代表理事、宮田選手、高木選手、伊東選手、山本監督、齋藤監督、松元選手、古島選手、堀井選手、瀧澤選手、奥寺JSSC理事長

JFAアカデミー

https://www.jfa.jp/youth_development/jfa_academy/



JFAアカデミー福島女子15期生の榊愛花選手がINAC神戸レオネッサに加入決定

JFAアカデミー福島女子15期生(U-18)の榊愛花選手が、2026年からINAC神戸レオネッサに加入することが決定した(11月6日発表)。

【プロフィール】

氏名 : 榊 愛花(さかき まなか)

ポジション : MF

所属歴 : センアーノ神戸 ジュニア→JFAアカデミー福島

日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)

<https://www.jleague.jp/>



Jリーグ地域再生可能エネルギー助成対象事業が2025年度「ソーラーウィーク大賞」を受賞

Jリーグは、一般社団法人 太陽光発電協会(JPEA)が主催する2025年度「ソーラーウィーク大賞」において、水戸ホーリーホックが大賞、ガイナレ鳥取が特別賞を受賞し、Jリーグはいずれも共同事業者として受賞をしたことを発表した(11月5日発表)。

水戸と鳥取が展開しているソーラーシェアリング事業は、Jリーグが2024年に新設した「Jリーグ地域再生可能エネルギー助成制度」を活用し、2025年度からスタートしているもの。この助成制度は、「地域の自然資源を活用した再生可能エネルギー普及および、地域内循環促進のため

の発電設備の新設および拡張等のプロジェクト」ならびに、「新たな自然破壊につながらない再生可能エネルギーの可能性」を発信していくプロジェクトを対象とし、これまでに今回受賞した2クラブのソーラーシェアリング事業を含めた3つの事業を対象に助成している。

■ソーラーシェアリングとは

農地に支柱を立て、その上に間隔を空けて太陽光パネルを設置することで、農作物の栽培と発電を同時に行うことを指す。作物の生育に必要な日照を確保しながら、太陽光を使って発電を行うことで、農地を最大限に有効活用しつつ、農家の収入源の多様化と地域のエネルギー自給にも貢献する取り組みとして期待されている。

■受賞概要

●水戸ホーリーホック

事業名：茨城県東茨城郡城里町『ソーラーシェアリングを活用して電気と農作物の地産地消をしていく地域循環型共生圏づくりであるGXプロジェクト』

代表事業者：株式会社フットボールクラブ水戸ホーリーホック

共同事業者：株式会社UPDATER、株式会社TERRA、

公益社団法人日本プロサッカーリーグ

事業内容：

https://www.jpea.gr.jp/wp-content/uploads/solarweekaward2025_ibaraki_mito.pdf



●ガイナレ鳥取

事業名：鳥取県米子市『芝と電気でつくる まちの未来図 —Jリーグが後押しする地域脱炭素の全国モデル』

代表事業者：ローカルエナジー株式会社

共同事業者：株式会社SC鳥取、公益社団法人日本プロサッカーリーグ

事業内容：

https://www.jpea.gr.jp/wp-content/uploads/solarweekaward2025_tottori_yonago.pdf



「Jリーグ クラブ経営ガイド 2025」発行

Jリーグは11月14日、「Jリーグ クラブ経営ガイド 2025」を発行し、公式ホームページ（コーポレートサイト）に公開した。本ガイドは、クラブ経営に関する基礎知識や原理原則、網羅的に体系化された経営領域別のガイドライン、各クラブの取り組みにおける好事例を共有することにより、Jリーグ各クラブの経営強化を支援することを目的としている。2021年に初版が発行され、今回が4回目の発行。2025年度版では、公益社団法人スポーツヒューマンキャピタル（SHC）協力の下、Jリーグの成長戦略を踏まえ、最新のクラブ経営情報やクラブ事例にアップデートを行い、海外リーグ・クラブとの比較分析データの充実化を図った。

名称：Jリーグ クラブ経営ガイド 2025

発行日：2025年11月14日（金）

発行：公益社団法人 日本プロサッカーリーグ

協力：公益社団法人スポーツヒューマンキャピタル

掲載内容：

URL https://about.jleague.jp/corporate/about_jclubs/management_jclubs/#c_1



Jリーグ降雪エリア施設整備助成金交付に関するお知らせ

Jリーグは、降雪地域の練習環境の整備向上を目的に新設した「Jリーグ降雪エリア施設整備助成制度」に基づき、下記の事業に対し交付を決定した（11月27日発表）。

本制度は、2026年より8月から6月の期間でリーグ戦が実施されるJリーグの新たなシーズンへの移行を契機に、全国いずれの地域においても年間を通じて誰もがスポーツに親しめる環境整備を推進していくために、まずは、降雪エリアをホームタウンとするJクラブを対象にスポーツ施設整備を目的とし設計した助成制度。将来的には、降雪エリアにとどまらず、暑熱対策を含む施設整備に対する支援も積極的に進めていく方針。交付対象事業の詳細に関しては、今後、申請クラブより順次公表予定。

【Jリーグ降雪エリア施設整備助成制度 概要】

名称：Jリーグ降雪エリア施設整備助成金

目的：本助成金は、Jリーグのシーズン移行に伴い、全天候型施設をはじめとする降雪地域の練習環境の整備向上を支援し、もって公正かつ円滑な競技運営の確保に資することを目的とする

対象：降雪地域対象クラブ（札幌、八戸、仙台、秋田、山形、福島、松本、長野、新潟、富山、金沢、鳥取）

※原則として12月～翌年2月の降雪状況に基づく選定

※ただし今後本助成制度の趣旨に照らしてJリーグが認めたクラブを含める場合あり

対象事業：対象クラブのホームタウンを原則とし上記目的に沿った事業、具体的には、エアドーム、骨組幕構造、ヒーティング、ピッチカバー、その他本助成金制度の趣旨に照らし、Jリーグが認めたものに対する整備に係る費用の全部または一部を対象とする

金額：助成総額として1クラブ 3.8億円を上限とする（全体予算50億円）

審査プロセス：学識経験、建築、降雪地域等の専門知識を有する有識者委員会の審査を経て理事会にて決議

●交付決定

申請クラブ：ガイナレ鳥取

事業名：・オールガイナレYAJINスタジアム グラウンド新設事業

・ガイナレ誠道アカデミー 改修事業

主な事業概要：水勾配を通常より高い耐圧性・耐摩耗性に優れた芝生品種の天然芝グラウンドの新設、グラウンド全面を覆うシート設置、散水ホース等の整備 等

日本女子プロサッカーリーグ(WEリーグ)

<https://weleague.jp/>

一般社団法人全国信用金庫協会とWE ACTIONパートナー契約を締結

WEリーグは、一般社団法人全国信用金庫協会と、新たに「WE ACTION パートナー」契約を締結した(11月4日発表)。「WE ACTIONパートナー」はWEリーグの理念実現に向けて共に取り組む「共創型社会連携パートナー」として新設されたカテゴリーとなる。契約開始日は2025年11月1日。

●平松廣司一般社団法人全国信用金庫協会 会長

全国254の信用金庫と信金中央金庫が会員となっている全国信用金庫協会は、このたび、WE ACTIONパートナーの一員に加わりました。女性活躍推進を共通の課題としている信用金庫業界として、「女性活躍社会の牽引」を第一の存在意義に掲げるWEリーグのWE ACTIONをご支援できますことを大変うれしく思っています。「世界一アクティブな女性

コミュニティ」の実現に向けて、全国の信用金庫の応援が少しでもお役に立てればと考えています。

※WE ACTIONパートナー：WE ACTIONとは、WEリーグに所属する選手、クラブ、そしてサポートするパートナー企業を始めとするさまざまな人々が、リーグの理念である「女子サッカー・スポーツを通じて、夢や生き方の多様性にあふれ、一人ひとりが輝く社会の実現・発展に貢献する。」の実現のために輪となり、私たちみんな(WE)で起こす行動(ACTION)。WE ACTIONパートナーは、その理念を実現するための共創型社会連携パートナー。

日本フットボールリーグ(JFL)

<http://www.jfl.or.jp/jfl-pc/view/s.php?a=1>

2026年日本フットボールリーグ入会チーム

JFLは12月4日に開催された2025年度第5回JFL理事会において、下記2チームの入会を承認した。

■全国地域サッカーチャンピオンズリーグ2025 1位

●ジェイリースフットボールクラブ(呼称：ジェイリースFC)

大分県大分市[九州サッカーリーグ]

※第5回JFL理事会では全国地域サッカーチャンピオンズリーグ2025の成績(1位)により入会資格を得た上記チームの入会を承認した

■全国地域サッカーチャンピオンズリーグ2025 2位

●VONDS市原FC(呼称：VONDS市原FC)

千葉県市原市[関東サッカーリーグ]

※第5回JFL理事会では全国地域サッカーチャンピオンズリーグ2025の成績(2位)により、その後の2025年度JFL・地域入れ替え戦に勝利し、入会資格を得た上記チームの入会を承認した

第27回日本フットボールリーグ受賞者(チーム・個人)

JFLは12月4日、東京都内で第27回日本フットボールリーグ表彰式を開催し、下記の通り、各受賞者を発表および表彰した。

[チーム表彰]

優勝：Honda FC [2年ぶり11回目]

準優勝：レイラック滋賀

3位：ブリオベッカ浦安・市川

フェアプレー賞：飛鳥FC

[個人表彰]

最優秀選手賞：鈴木雄也(Honda FC)

得点王：藤本憲明(FCティアモ枚方)(19得点)
後藤卓磨(Honda FC)(19得点)

新人王：斉藤涼優(Honda FC)

優勝監督賞：糸数昌太(Honda FC)

特別賞：鈴木雄也(Honda FC)*

最優秀主審賞：北沢倫章*

最優秀副審賞：一木千広*

ベストイレブン：GK 廣末陸(ラインメール青森)
DF 知花康士朗(Honda FC)

DF 池松大騎(Honda FC)

DF 遠藤元一(ラインメール青森)

DF 佐々木俊輝(Honda FC)

MF 鈴木雄也(Honda FC)

MF 後藤卓磨(FCティアモ枚方)

MF 斉藤涼優(Honda FC)

FW 藤本憲明(いわてグルージャ盛岡)

FW 石原央羅(Honda FC)

FW 上野瑤介(沖縄SV)

*個人表彰 受賞理由

・特別賞(鈴木雄也)：2013年にHonda FCへ入部。今季をもって引退するが13年間同チームでプレーし、364試合に出場。今季までJFL最多の11回のベストイレブン、4度のMVP受賞、そしてJFLの同一チームにおいて最多出場記録(全体でも3番目)となり、その長年のJFLでの功績を称え特別賞を授与する。

・最優秀主審賞(北沢倫章)：JFLの主審を担当して1年目の今年、レフェリーアセスメントで最も高い評価を得る。

・最優秀副審賞(一木千広)：JFLの副審を担当して1年目の今年、レフェリーアセスメントで最も高い評価を得る。



プレナスなでしこリーグ2025表彰式を開催

なでしこリーグは11月5日、東京都内でプレナスなでしこリーグ2025表彰式を開催し、下記の通り、受賞者が決定した。

【受賞者一覧】

<なでしこリーグ1部>

優勝 : 朝日インテック・ラブブリッジ名古屋 (初)
第2位 : 伊賀FCくノ一三重
第3位 : 静岡SSUポニータ
フェアプレー賞: ヴィアマテラス宮崎 (初)

●個人表彰

・最優秀選手賞

横山久美 静岡SSUポニータ (初)

・ベストイレブン

後藤優香 GK 伊賀FCくノ一三重 (初)
橘麗衣 DF 朝日インテック・ラブブリッジ名古屋 (初)
平尾愛穂 DF 朝日インテック・ラブブリッジ名古屋 (初)
秦美結 DF 伊賀FCくノ一三重 (3回目)
洲上野乃佳 MF 朝日インテック・ラブブリッジ名古屋 (初)
増田玲那 MF 伊賀FCくノ一三重 (初)
安部由希子 MF 朝日インテック・ラブブリッジ名古屋 (初)
三輪玲奈 MF 静岡SSUポニータ (初)
神谷千菜 FW 伊賀FCくノ一三重 (2回目)
横山久美 FW 静岡SSUポニータ (2回目)
堀江美月 FW スフィア世田谷FC (初)

・得点王

横山久美 静岡SSUポニータ (初) 16得点

・敢闘賞

橘麗衣 朝日インテック・ラブブリッジ名古屋 (初)

・新人賞

中野琴音 岡山湯郷Belle

・優勝監督賞

磯村健 朝日インテック・ラブブリッジ名古屋 (初)

<なでしこリーグ2部>

優勝 : VONDS市原FCレディース (初)
第2位 : ディオッサ出雲FC
第3位 : 吉備国際大学Charme岡山高梁
フェアプレー賞: FCふじざくら山梨 (初)

●個人表彰

・最優秀選手賞

西村留亜 吉備国際大学Charme岡山高梁 (初)

・得点王

西村留亜 吉備国際大学Charme岡山高梁 (初) 16得点

・新人賞

佐藤寿音 VONDS市原FCレディース

<特別表彰>

・300試合出場選手

加戸由佳 吉備国際大学Charme岡山高梁 2025/9/27達成

・200試合出場選手

保坂のどか FCふじざくら山梨 2025/3/29達成
千葉園子 ASハリマアルビオン 2025/4/5達成
榎谷岬 愛媛FCレディース 2025/5/25達成
川崎咲耶 ASハリマアルビオン 2025/6/29達成
坂本理保 ヴィアマテラス宮崎 2025/9/14達成
木龍七瀬 バニーズ群馬FCホワイトスター 2025/9/27達成

・最優秀審判員賞

田澤友梨奈 (初)

・特別賞*

深澤里沙 愛媛FCレディース

*2025年9月28日(日)に開催された2025プレナスなでしこリーグ1部第20節においてリーグ最多出場記録を更新し、歴代1位となる368試合に出場するという大記録を樹立した選手



(左)最優秀選手賞と得点王、ベストイレブンを受賞した横山久美選手、(中央)新人賞を受賞した中野琴音選手、(右)最優秀審判員賞を受賞した田澤友梨奈審判員



ベストイレブンを受賞した選手たち

日本フットサルトップリーグ

「MISSION SUPPORTERS (共感サポーター)」を制定 第一号サポーターとして、有限会社ケイアイエヌと契約を締結

一般社団法人日本フットサルトップリーグ(以下、Fリーグ)は、松井大輔理事長が取り組む5分野のミッション「Chair's Mission(チェアズ・ミッション)」の実現を支援する新たな協賛カテゴリー「MISSION SUPPORTERS(共感サポーター)」を創設した(10月31日発表)。

本カテゴリーは、Fリーグの理念や社会的ミッションに共感し、国際連携やマーケティング支援、社会貢献活動など、非競技領域での挑戦を支える“理念共感型パートナーシップ”。試合会場における広告掲出やプロモーション活動など、権利提供を中心とする従来型の協賛とは異なり、理念への共感と、その実現を支援する姿勢を中心に据えた新しい協賛のかたちとなる。

■「Chair's Mission」5つの柱

1. クロスボーダー：世代、地域、カテゴリー、競技を越えた交流の推進
2. グローバルマインド：海外リーグとの連携、選手・指導者の相互交流

3. ネクストジェネレーション：次世代・ファミリー層への普及
 4. ファンビルド：ファンマーケティング、アリーナ文化の醸成
 5. ソーシャルグッド：社会貢献・健康推進など、地域との共生
- この5つのテーマに共感し、フットサルの可能性と一緒に広げていく企業・団体を、「MISSION SUPPORTERS」として迎えていく。

■第一号サポーター：有限会社ケイアイエヌ

有限会社ケイアイエヌ(埼玉県深谷市荒川1805-1、代表者:代表取締役社長 猪野浩)は、アンブティサッカーチームへの支援などを通じて、障がいの有無にかかわらず誰もがスポーツを楽しめる社会の実現に取り組んでおり、Fリーグが掲げる「Chair's Mission」の中でも特に「ソーシャルグッド」の理念に強く共鳴。今後は、共生社会の実現に向けた活動や社会啓発企画など、フットサルが持つ包摂性・多様性を社会に広げる取り組みを中心にサポートする予定。

釜本邦茂さんお別れの会を開催

日本サッカー協会(JFA)は11月22日、8月10日に81歳で死去した釜本邦茂さんのお別れの会を東京都内のホテルで開催した。JFA名誉総裁の高円宮妃殿下のご臨席の下、サッカー界、野球界、政界、財界などから約500人(メディア含む)が参列し、不世出のストライカーをしのんだ。

黙とうを捧げた後、懐かしい映像とともに釜本さんの足跡を紹介。その後、ゆかりの深い4人の盟友が追悼の辞を述べた。1964年の東京オリンピック、1968年メキシコオリンピックで共に戦った元日本代表GKの横山謙三さんは、「君がよく言っていた『日本がワールドカップで優勝するためには自分を超える選手が必要だ』と、そんな選手が現れることを願ってお別れします」と追悼した。

最後に、お別れの会の主催者である宮本恒靖JFA会長、釜本さんの長男・達生さんが参列者への謝辞を述べた。宮本会長は「今から半世紀以上も前に世界と伍して戦い、日本サッカーの存在を世界に示してくれた釜本さん。私たちはそのお名前と輝かしいご功績を胸に刻み、これからもサッカーの発展に全力を尽くしてまいります」と約束。その後、参列者による献花が行われた。

釜本さんは、1964年から1977年まで日本代表としてプレーし、2度のオリンピックに出場。メキシコオリンピックではチームを銅メダルに導く7得点の活躍で得点王に輝いた。男子の日本代表歴代最多記録となる国際Aマッチ通算75ゴール、日本サッカーリーグでも歴代最多の202ゴールをマークして7度の得点王を獲得するなど、数々の金字塔を打ち立てた。また、現役時代から釜本サッカー教室を全国で開催し、多くの子どもたちを指導。1984年に現役を引退してからは松下電器産業サッカー部(現、ガンバ大阪)の監督を務め、1993年のJリーグ開幕時はガンバ大阪を指揮した。その後はJFAの副会長などを務め、2005年の第1回日本サッカー殿堂に掲額された。

【釜本邦茂さんお別れの会】

開会

黙とう

映像紹介

追悼の辞 横山謙三(元日本代表GK)、二村昭雄(元日本代表)、西村昭宏(一般社団法人大阪府サッカー協会FAコーチ)、松下正幸(株式会社バナソニックホールディングス特別顧問、株式会社ガンバ大阪特別顧問)

謝辞 宮本恒靖JFA会長、釜本達生

指名献花 高円宮妃殿下、金田勝年、衛藤征士郎、河野洋平、橋本聖子(参議院議員、公益財団法人日本オリンピック委員会会長)、松下正幸、横山謙三、二村昭雄、西村昭宏、王貞治(福岡ソフトバンクホークス株式会社取締役会長)、川淵三郎JFA相談役、大仁邦彌JFA最高顧問

献花

閉会

*敬称略





アスパス!

日本サッカー協会（JFA）では社会貢献やSDGsの達成につながる活動を「アスパス!」と称し、

サッカーファミリーの皆さんと一緒に取り組んでいます。

「アス」には、「明日（＝未来）」、「us＝私たちにできること」、「Earth＝地球」の3つの意味を込めています。

次の100年のサッカーが今と同じく健全に、安全に、多くの人々により楽しまれ、

JFAの理念・ビジョンが継承されていることを目指し、全てのサッカーファミリーが世代や時代を超えて

「パスを繋いでいく」という強い決意を込めています。

アスパス!で取り組む5つの大切なこと

環境

サッカーにおける様々な活動で
気候変動による熱中症等を防ぎ
温室効果ガスや廃棄物の削減で
わたしたちの自然環境を守ろう

人権

差別や暴力のない自由で平等な
スポーツの世界と一緒に築いて
年齢・性別・障がいの有無等に
関係なく輝ける社会をつくろう

健康

スポーツの楽しさを感じられる
グラスルーツサッカーを広めて
心身ともに健康的でいつまでも
元氣と笑顔溢れる人生を送ろう

教育

スポーツで社会をよくするため
必要な知識や技術を身につけて
サッカーが持つ魅力を活かした
持続可能な未来を築いていこう

地域

持続可能性に配慮して行動する
地域の人々の様々なつながりを
サッカーを通じてつくることで
私たちの住みやすい街を守ろう



アスパス JFA 検索

活動内容などは「アスパス JFA」で検索

JFA STORE (日本サッカー協会 公式オンラインストア)

アスパス! みんなで一緒にサッカーを楽しむグッズはこちら





Access for All

アクセス・フォー・オール

気づく、とどける、つながる

ともにサッカーで幸せになる



公益財団法人 日本サッカー協会



©JFA

誰もがサッカーにアクセスできる社会へ

Access for All

アクセス・フォー・オール宣言

グラスルーツからエリートまで

誰もがサッカーの「する」「見る」「関わる」にアクセスできる
多様な「機会」と「選択肢」を持続的に確実に届けます。

上記を実現するために、

- 1 日本サッカー協会は、各リーグや9地域47都道府県サッカー協会、および各種加盟団体と共に、サッカーを愛するすべての人が全国の日常でサッカーにアクセスし、サッカーを楽しみ挑戦できることをサッカーファミリーの「あたりまえ」にしていきます。
- 2 サッカーを通じて、ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン (DEI) ※を推進し、日本のスポーツ文化に変化を起こします。

JFAの理念

サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、
人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

JFAの約束2050

- ① サッカーを愛する仲間＝サッカーファミリーが
1,000万人になる
- ② FIFAワールドカップを日本で開催し、
日本代表チームはその大会の優勝チームとなる

※ダイバーシティ Diversity (多様性)、エクイティ Equity (公正)、インクルージョン Inclusion (包括性)、3つの頭文字をとって「DEI」とする

Access for All ハンドブック

基本的な考え方とさまざまな好事例をご紹介します。
(全52ページ)

アクセス・フォー・オール特設ページからダウンロードしていただけます。



Access for All
ハンドブックはデータ容量が大きいため
WiFi環境での閲覧を推奨しております。

CONTENTS

- アクセス・フォー・オール宣言
- 「アクセス」「フォー」「オール」とは
- アクセス・フォー・オールの基本的な考え方
- 各論 具体的な考え方と事例
 - 基本ガイドライン
 - 女子
 - LGBTQ+
 - 障がい者
 - 在留外国人
 - 貧困問題
 - 様々な課題や複合的な要因について
- 今後のアクションプラン

制作 アクセス・フォー・オールワーキンググループ



日本フットボールリーグ (JFL) 便り



サッカーを通じた地域貢献と未来づくり

本田技研工業株式会社フットボールクラブ 事務局長 松島広幸

<https://www.honda-fc.gr.jp/>

Honda FCは、本田技研工業株式会社の企業チームとして日本フットボールリーグ (JFL) に参加しています。私たちは単に試合の成績を追い求めるだけでなく、スポーツ活動を通して社内外へ企業姿勢の理解促進を図り、Hondaファンを拡大するとともにスポーツ文化の発展に貢献することを大切にしています。これがクラブの大きなミッションです。

会社の基本理念である「自立・平等・信頼」を重んじ、選手やスタッフは人として常に成長し続けることを目指しています。また、企業スポーツとして業務とサッカーを両立させながら活動しています。2025年以降もJFLの価値向上を目指し、地域連携や育成活動に力を入れていきます。

今年度は、浜松市が主導する「トップアスリート連携事業」に参加し、さらにHonda FC独自で幼稚園やこども園を年間19回訪問しています。子どもたちにサッカーの楽しさや体を動かす喜びを伝えることでスポーツを通じた健やかな成長を応援しています。

また、地域のフェスタやイベントにも積極的に参加し、スポーツの普及と地域の活性化に貢献しています。

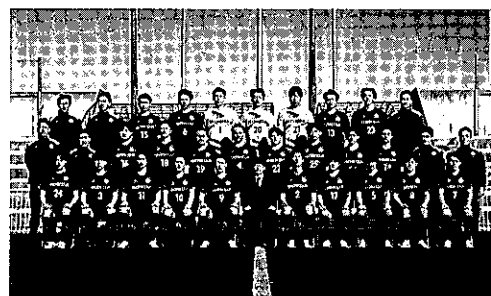
ホームゲームの運営は地域の中高生やボランティアの皆さんに協力していただき、クラブと地域が一体となって試合を支えています。こうした取り組みを通じて、Honda FCならではの「独自の価値」が

着実に育まれていると感じています。

2025シーズンにおいては、クラブスローガン「Action to the Envision—先を思い描き、常に行動 意思 意図—」、ブレースローガンを「縦志向型Pass shiftサッカー—ゴールへ アクション&パス循環 シームレストランジション—」と定め、攻守の切り替えの際も途切れない、流れるような連係を目指してきました。これにより、Honda FCらしい“前”を意識した一体感のあるサッカーを今後も追求し、JFLで戦っていきます。

JFLには地域に根差した魅力的なクラブが多くあります。私たちは、このリーグの価値を多くの人に知ってもらい、サッカーを通じて地域づくりの輪が全国に広がることを願っています。Honda FCは

これからも、地域に期待され愛されるクラブであり続けるため、日々の活動に真摯に取り組んでまいります。



Honda FCらしい一体感のあるサッカーを

なでしこリーグ便り



愛媛から紡ぐ

愛媛FCレディース 広報 横山亜依

<https://ehimefc.com/ladies.html>

愛媛FCレディースは、環太平洋大学短期大学部のOGと在学生を中心に2011年に発足しました。愛媛県リーグ、四国リーグ、チャレンジリーグを経て、2019年になでしこリーグ2部で優勝し、現在はなでしこリーグ1部で戦っています。

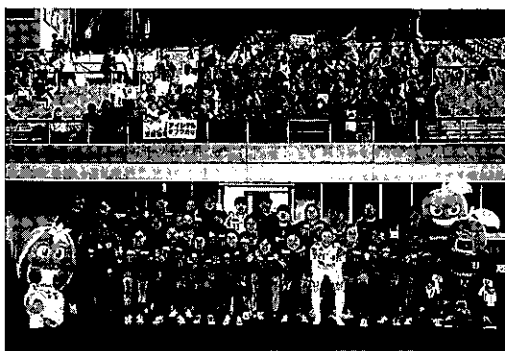
ここ数年は、リーグ戦で思うような結果を残せていませんが、ありがたいことにチームを応援して下さるスポンサー企業さまは年々増えています。また、毎試合のように多くのサポーターがスタジアムに駆けつけ、熱い声援で選手を後押ししています。その中には、選手を雇用している企業もたくさんあります。これは、選手たちが日頃から一人の女性として、社会人として、“応援される存在”であるからだと感じています。サッカー選手としてだけでなく、人としても成長し、地域の皆さんに愛され、応援されるチームであり続けること——それこそが、愛媛FCレディースの存在価値だと思います。だからこそ、応援して下さる皆さんに元気や勇気を届けられるよう活動することを大切にしています。

さらに、四国でなでしこリーグに所属するチームとして、愛媛県内はもちろん、四国全体の女子サッカー、女子スポーツを盛り上げていきたいと考えています。そのためにサッカー教室や学校訪問などを通じて、多くの子どもたちにサッカーの楽しさを伝える活動を積極的に行っています。今年は香川県の高校女子サッカー部の皆さんと

のオンライン座談会にもチャレンジしました。

また、愛媛FCレディースにはアカデミー組織「愛媛FCレディースMIKAN」があり、県外からも多くの中高生が集まって活動しています。女の子たちにサッカーを楽しむ場を提供。「育成型クラブ」を掲げる私たちは、所属する選手が成長し、なでしこリーグやWEリーグへと挑戦していけるようサポートしています。愛媛FCのクラブフィロソフィーである「愛媛から紡ぐ」をレディースチームも体現していきます。

これからも、四国・愛媛から女子サッカーを盛り上げていけるよう、全力で活動していきます。



地域の皆さんに愛され、応援されるチームであり続けるように


<https://ladies.fcimabari.com/>

なでしこリーグ便り

クラブ一丸となって再び全国の舞台に

FC今治広報グループ グループ長 神尾武司

私たちFC今治レディースは、「『関わる人の心を大切にする。』BESTを尽くす姿勢で関わる人の心を動かす」という理念の下、サッカーを通じて地域社会に価値を届けることを使命とし、ホームタウンである愛媛県今治市を中心に活動しています。選手の多くは地元企業に勤めながらプレーしており、彼女らの働く姿と競技に向き合う姿勢そのものを、女子サッカーをより身近に感じていただくきっかけにしていなければならないと考えています。クラブは、選手が社会とつながりながら成長できる環境づくりを大切にしており、地域に根差したクラブとしての責任を認識しながら活動しています。

2025シーズンはなでしこリーグ2部を戦いましたが、12位という結果に終わり、入替戦でも力を発揮できず敗戦を喫しました。これにより、2026シーズンは四国女子サッカーリーグでの戦いが新たにスタートします。目標とするなでしこリーグ1部からは後退する形となりましたが、この悔しさを糧とし、クラブ一丸となって巻き返しを図るシーズンにしていきます。カテゴリーが変わっても私たちの目指す姿は変わりません。一戦一戦を大切に戦い、再び全国の舞台に戻るべく、強化と育成の両面でチームの土台を磨き直していきます。

地域貢献活動としては、今治市内の女子小学生を対象としたサッカークリニックを月2回実施しています。このクリニックはサッカー

経験を問わず参加できる場として継続しており、ボールを蹴る楽しさを知ってもらおうと同時に、女子サッカーに触れる機会を広げる重要な取り組みとなっています。参加者の中には、レディースの試合をきっかけにサッカーに興味を持つ子どもたちも増えており、選手たちがロールモデルとして地域に良い影響を与えられるよう努めています。また、地域イベントにも積極的に参加し、クラブとして「未来の女子サッカー」を支える環境づくりにも取り組んでいます。

2026シーズンは、新たな挑戦の一步です。地域の皆さまに愛され、応援されるチームであり続けるために、選手・スタッフ全員で成長してまいります。



2025年5月18日に開催された、プレナスなでしこガールズサッカークリニックで指導するレディース選手

日本フットサル連盟便り

滋賀県で第41回全国選抜フットサル大会を開催、九州地域代表の長崎県選抜が初優勝に輝く

関西フットサル連盟 理事長 梅本成彦

<https://www.jff-futsal.or.jp/>

1985年にスタートした全国選抜フットサル大会は、日本で最も長い歴史を持つフットサル大会です。選手の育成や普及、そして競技レベルの向上に大きく貢献してきました。この大会は、各都道府県の選抜チームが参加する大会で、選手たちは普段とは異なるメンバーとプレーする機会を得ます。この経験は、個々の選手の成長はもちろん、全国レベルの経験を所属地域や所属チームに還元し活性化させる原動力となっており、意義のある大会に位置づけられています。

第41回大会が9月13日～15日、滋賀県彦根市のプロシードアリーナHIKONEで行われ、長崎県選抜が初優勝を飾りました。長崎県選抜は過去3大会で、1次ラウンドで敗退していましたが、今大会で見事決勝ラウンドに進出。準決勝で神奈川県選抜を3-2の接戦で破り、決勝では、1次ラウンドで引き分けた栃木県選抜と再戦。両チーム共に決勝にふさわしい熱戦を繰り広げ、長崎県選抜が2-1の接戦を制し、頂点を極めました。

決勝戦の前には、フットサル日本代表の吉川智貴選手、フットサル日本女子代表の網城安奈選手、代表で長年にわたり選手・監督を務めた名古屋オーシャンズ監督の小暮賢一郎氏、同じく元フットサル日本女子代表で現在は女子代表コーチを務める藤田安澄氏ら豪華講師陣によるクリニックを開催しました。参加してくれた子どもた

ちには終了後にMIKASA製のボールをプレゼント。この中から将来の代表選手が出てきてくれたらと期待しています。

そして、今大会最大の取り組みとして、フットサル大会としては全カテゴリーを通じて初めて全試合、実況付きでライブ配信（『動画時代！』公式YouTubeチャンネル）されました。選手紹介やタイムリーなリプレイは、フットサル関係者にとって革命といっても過言ではなく、「見られたら、強くなる」のキャッチフレーズが、今大会を例年以上の盛り上がりにつなげてくれたと思います。

最後に、今大会の準備・運営をしてくださった日本フットサル連盟、地元滋賀県をはじめとする関西地域の皆さま、過密スケジュールの中、最後まで素晴らしい試合を展開してくださったチームの皆さまに感謝をお伝えいたします。本当にありがとうございました。



初優勝を飾った九州地域代表・長崎県選抜



https://jbsf.or.jp/

KIJビーチサッカーキッズフェスティバル開催!

一般財団法人日本ビーチサッカー連盟 運営事務局

10月25日、高円宮記念JFA夢フィールドで、6歳以下の未就学児を対象としたビーチサッカーキッズフェスティバルを初めて開催しました。

開催の目的としては、子どもたちが砂の上を裸足で体を動かし、ビーチサッカーを楽しみながら体力の向上を図るとともに、友達と協力してプレーする中で協調性や社会性を育むこと。自然に親しみ、スポーツの楽しさを体験することで健やかな成長につなげ、保護者や地域との交流を深める機会となりました。

今回のイベントでは大勢の子どもたちに参加してもらいました。イベントに協力してくださった東京レキオスBSのトップ選手たちとボールを蹴ったり、砂の上で楽しめるアクティビティでもたくさん遊んだり、ビーチは笑顔と全力プレーであふれました。初めて砂の上でボールを蹴る子どもも多く、何度も転びながら立ち上がり、最後まで一生懸命プレーしてくれました。

開会のあいさつでは当連盟会長の長興博典より、「ビーチサッカーはサッカーをうまくする」「足が速くなる」「健康な子が育つ」、そして何よりも「一生懸命遊んでほしい」というメッセージをお伝えしました。

フェスティバルに参加していただいた子どもたちには、大会スポンサーの株式会社KIJさまからオリジナルのTシャツと参加賞のメダ

ルがプレゼントされ、とても喜んでもらうことができました。子どもたちの真つすぐな姿に、私たちもたくさんのエネルギーをいただきました。

小さな一歩が、大きな夢のはじまり。

また来年以降も開催していきたいと思います。



KIJビーチサッカーキッズフェスティバル開催



現役のトップ選手と一緒に初めてのビーチサッカー体験



https://www.jiff.football/

東京2025デフリンピック デフサッカー日本代表

一般社団法人日本ろう者サッカー協会 専務理事 浜津哲也

11月15日～11月26日に、「東京2025デフリンピック」(サッカー競技は、11月14日より福島県・Jヴィレッジで実施)が開催され、デフサッカー男女日本代表が参加しました。これまでのデフリンピックでは男女共にメダルを獲得したことはありませんでした。しかし、近年は男女共に力を付けてきており、それぞれ優勝を目標に取り組んできました。11月6日から12日には男女共に福島県内で直前合宿を行って本番に挑みました。

男子は13カ国が参加しました。予選リーグ(4カ国総当たり)で日本は、オーストラリア、メキシコ、イタリアと同組になり、結果2勝1分けとなりグループリーグ首位で決勝トーナメントに進出。予選リーグ突破は史上初でした(ワールドカップは予選突破経験あり)。

<予選リーグ>

第1戦：日本 8-0 オーストラリア

(得点者：岡田拓也4点、瀧澤諒斗2点、星河真一郎1点、名村昌矩1点)

第2戦：日本 7-0 メキシコ

(得点者：林滉大3点、名村昌矩1点、星河真一郎1点、杉本大地1点、原口凌輔1点)

第3戦：日本 0-0 イタリア

<準々決勝>※ノックアウトステージ

日本 2-1 イギリス(得点者：岡田拓也1点、西大輔1点)

<準決勝>

日本 1-0 アメリカ(得点者：星河真一郎1点)

<決勝>

日本 1-2 トルコ(得点者：林滉大1点)

トルコは、2017年のデフリンピックで優勝している世界ランキング3位の強豪国です(日本は4位)。決勝で先制点を許した後、林選手のゴールで追いつく

も再びゴールを決められます。その後も再三ゴールに迫りましたが、ゴールを割ることができずに敗戦となりました。しかしながら、デフリンピックにおける銀メダルは日本代表史上初となる快挙となりました。

女子は日本、アメリカ、イギリス、オーストラリアの4カ国が参加し、予選リーグ(総当たり)は、2勝1敗で2位通過でした。

<予選リーグ>

日本 0-5 アメリカ

日本 6-0 イギリス(得点者：高木桜花2点、久住呂文華1点、宮田夏実1点、小森彩耶1点、岩淵亜依1点)

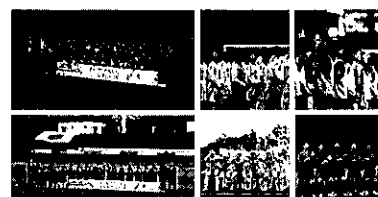
日本 3-1 オーストラリア(得点者：阿部菜摘2点、岩淵亜依1点)

<決勝>

日本 0-4 アメリカ

アメリカは、2021年デフリンピック優勝、2023年ワールドカップ優勝、加えて国際大会において約15年間無敗の絶対王者(世界ランキング1位)です。同3位の日本は、前半は粘り強く守って0-1で折り返すも、最後までアメリカゴールを割ることができず、0-4で敗れ、金メダルとはなりませんでしたが、しかし、女子も国際大会で初の銀メダルとなりました。

男女共に目標の優勝には届きませんでしたが、これまでの最高記録を塗り替える大会となりました。



男女決勝戦、表彰式の様子

会議レポート



公益財団法人日本サッカー協会 2025年度第14回理事会

公式URL https://www.jfa.jp/about_jfa/report/executive_committee.html



日本サッカー協会（JFA）は2025年11月20日、2025年度第14回理事会をJFAハウスで開催した。決議、報告された事項は、下記の通り。

決議事項

- 1 各種規則の改正 P46
- 2 2026年度以降の47都道府県サッカー協会向け一括補助金 交付 P46
- 3 2026年度の9地域サッカー協会向け一括補助金 交付 P47

各種規則の改正

下記2件の規則を改正する。

(1) 事案決裁規則

■改正のポイント

- ◆最終決裁者等は変更せず、理事会等の決議事項に影響を与えないもの。
- ◆事案決裁規則のうち、「別表」のみを軽微改正するもの。

■修正の内容

「別表」140項目のうち、下記30項目について軽微な改正・適正化を行う。

▼内訳

- ①項目の新設 : 1件…国際大会の開催意思表明
- ②決裁フロー変更 : 18件…別規程に鑑みた決裁フローの適正化等
(例：不要な政策会議決議の削除)
- ③項目名の変更 : 9件…ライセンス名の適正化等
(S級ライセンス→Proライセンス)
- ④備考の追記 : 2件…事務局担当業務の明確化

(2) 表彰規則

■改正理由

- ①表彰規則に記載されている委員会名が2024年4月に変更になったことに伴い、該当箇所を改正したい。

- ②2025年より FIFA女子フットサルワールドカップが新設されたことに伴い、表彰に関する内規「審判員および審判指導者の表彰について」に定められている対象大会にこの大会を加える改正を行った。この改正に伴い、当規則の別表を改正したい。

■改正内容

①（表彰者の決定）第6条

改正前：第6条 表彰者の決定は、理事会において行う。ただし、別表に定める者については、表彰委員会がその内容を確認した上で決定し、理事会に報告するものとする。

改正後：第6条 表彰者の決定は、理事会において行う。ただし、別表に定める者については、**殿堂・表彰委員会**がその内容を確認した上で決定し、理事会に報告するものとする。

②別表

改正前：③2012年度第8回理事会にて承認された表彰に関する内規（『審判員および審判指導者の表彰について』**2021年度第13回理事会改定**）に定める表彰者で審判委員会から推薦があった者

改正後：③2012年度第8回理事会にて承認された表彰に関する内規（『審判員および審判指導者の表彰について』**2021年度第13回理事会改定**）に定める表彰者で審判委員会から推薦があった者

2026年度以降の47都道府県サッカー協会向け一括補助金 交付

2026年度以降の47都道府県サッカー協会（47FA）一括補助金交付内容および上限額について、下記の通りとする。

※詳細はJFA公式ウェブサイト参照

(1) 交付要項：別紙参照

JFA成長戦略（47FA戦略・女子戦略等）と連動したものとし、2025年度の制度から変更する

期間：2026～2030年までの5年間の制度とする

一括補助金算出方法：

- ①FA登録者数（選手・審判）に応じた補助
- ②FA指導者登録料還元
- ③小規模FAに対する基礎補助
- ④地域特性補助（北海道・長崎・鹿児島・沖縄）
- ⑤キッズ巡回配分（過去実施回数による案分）
- ⑥基盤強化補助

⑦FA中核人材採用支援（申請制）

⑧マーケティング等人材支援（申請制）

(2) 上限額：1,764,266,476円（上記①～⑧を織り込んだ上限額）

⑦FA中核人材採用支援は1FAあたりの上限額2,400,000円／年

⑧マーケティング等人材支援は1FAあたりの上限額1,200,000円／年
(いずれも申請制となっており、2026年度の予算見込額は合計総額86,000,000円にて計上)

■直面している課題・背景

◆本助成金は、47FAが実施する事業の財源の一部となっており、普及・育成の推進にこれまでも大きく寄与している。

◆少子化が今後ますます進展していく中で、JFA登録者数を維持していくために47FAへのサポートが一層求められている。

■実施しない場合に生じるデメリット、リスク

47FAが実施する事業の財源の一部となっていることから、補助金が交付されな

左ページ左上へ続く

い場合、47FAにて実施している各種事業が実施されないリスク、および普及推進への影響が発生するリスクがある

■期間

2026年4月1日～2031年3月31日

※補助金制度としては5年間とするが、交付上限額は反映される登録者数によって毎年変動するため、毎年理事会に付議する

2026年度の9地域サッカー協会向け一括補助金 交付

2026年度9地域サッカー協会（9地域FA）一括補助金交付内容および上限額について、下記の通りとする。

※詳細はJFA公式ウェブサイト参照

(1) 交付要項

※2025年度 同交付要項からの変更点：なし

(2) 上限額：339,785,000円

■直面している課題・背景

本助成金は、9地域FAが実施する事業の財源の一部となっており、普及・育成の推進にこれまでも大きく寄与している。

■実施しない場合に生じるデメリット、リスク

9地域FAが実施する事業の財源の一部となっていることから、補助金が交付されない場合、9地域FAにて実施している各種事業が実施されないリスク、および普及推進への影響が発生するリスクがある。

■期間

2026年4月1日～2027年3月31日

■予算財源

一括補助金の総額は、2017年以降同規模であり、例年通り2026年度予算に計上する予定

決議事項

- 1 FIFA常任委員会委員（任期：2025-2029年）…………… P47
- 2 AFCアワード2025…………… P47
- 3 第7回AFC理事会（10月16日開催）…………… P48
- 4 「JFAカスタマーハラスメント対応方針」策定…………… P48

- 5 審判員海外派遣…………… P48
- 6 2025年度 功労賞…………… P48
- 7 JFAロングパイル人工芝ピッチ公認（更新）…………… P48

FIFA常任委員会委員（任期：2025～2029年）

第33回FIFAカウンスル会議（10月2日開催）にて、日本から選任されたFIFA常任委員会委員（任期：2025～2029年）は下記の通り。

委員会名（アルファベット順）	役職	名前	JFAでの役職
競技規則委員会	委員長	宮本恒靖	会長
医学委員会	委員	土肥美智子	医学委員
男子クラブ競技委員会	委員	野々村芳和	副会長
オリンピックサッカー委員会	FIFA デレゲート	田嶋幸三	名誉会長

参考：FIFAで日本から選任されているその他委員は以下の通り。

委員会名（アルファベット順）	役職	名前	JFAでの役職 ※（）は外部役職	備考
FIFAカウンスル	メンバー	田嶋幸三	名誉会長	2023年2月AFC総会にて選出
ガバナンス、監査およびコンプライアンス委員会	委員	三好豊	法務委員長	2025年5月FIFA総会にて選任
サッカー紛争解決機構選手資格室	委員	栗山陽一郎	JFA顧問 弁護士 (TMI総合法律事務所パートナー)	2021年9月FIFAカウンスルビューローにて選任
サッカー紛争解決機構エージェンツ裁定室	委員	播磨謙悟	法務・コンプライアンス部	2023年6月FIFAカウンスル会議にて選任

AFCアワード2025

AFCアワード2025が2025年10月16日にサウジアラビア・リヤドで開催された。日本の受賞者は下記の通り。

AFC年間最優秀選手賞（女子）：高橋はな（日本）

AFC年間最優秀アジア国際ショナルプレーヤー（女子）：浜野まいか（日本）

【参考】AFCアワード2025 受賞一覧

AFCダイヤモンドオブアジア：Timothy Fok Tsun Ting

（ホンコン・チャイナサッカー協会名誉会長）

AFC会長特別貢献賞：朝鮮民主主義人民共和国サッカー協会

AFC年間最優秀協会賞（プラチナ）：サウジアラビアサッカー連盟

AFC年間最優秀協会賞（ダイヤモンド）：タイサッカー協会

AFC年間最優秀協会賞（ゴールド）：ホンコン・チャイナサッカー協会

AFC年間最優秀協会賞（ルビー）：ラオスサッカー連盟

AFC年間最優秀地域連盟賞：東南アジアサッカー連盟

AFC会長表彰グラスルーツ賞（ゴールド）：アラブ首長国連邦サッカー協会

AFC会長表彰グラスルーツ賞（シルバー）：マレーシアサッカー協会

AFC会長表彰グラスルーツ賞（ブロンズ）：バングラデシュサッカー連盟

AFC年間最優秀監督賞（女子）：Marziyeh Jafari（イラン）

AFC年間最優秀監督賞（男子）：Ri Song Ho（朝鮮民主主義人民共和国）

AFC年間最優秀フットサル選手賞：Salar Aghapour（イラン）

AFC年間最優秀選手賞（女子）：高橋はな（日本）

AFC年間最優秀選手賞（男子）：Salem Al Dawsari（サウジアラビア）

AFC年間最優秀アジア国際ショナルプレーヤー（女子）：浜野まいか（日本）

AFC年間最優秀アジア国際ショナルプレーヤー（男子）：Lee Kang-in（韓国）

AFC年間最優秀ユースプレーヤー（女子）：Choe Il Son（朝鮮民主主義人民共和国）

AFC年間最優秀ユースプレーヤー（男子）：Alex Badolato（オーストラリア）

AFC審判特別賞：Alireza Faghani（オーストラリア）、

Anton Shchetinin（オーストラリア）、

Ashley Beecham（オーストラリア）

※AFC年間最優秀協会賞はFIFAランキングに応じて1位から12位の協会をプラチナ部門、13位から24位をダイヤモンド部門、25位から36位をゴールド部門、37位から46位をルビー部門に分類し、審査を実施した。FIFAランキング対象外の北マリアナ諸島サッカー協会はルビーに分類された。

※AFC会長表彰グラスルーツ賞は、AFCグラスルーツ憲章で認定するグラスルーツのレベル別カテゴリー（ゴールド、シルバー、ブロンズ）に分類し、審査を実施した。

第7回AFC理事会（10月16日開催）

第7回AFC理事会が2025年10月16日にサウジアラビア・リヤドで開催された。
主な決定・報告事項は下記の通り。

(1) AFCビーチサッカーアジアカップ™の今後2大会の開催権をタイサッカー協会に付与することを承認した。

(2) AFC Equal Pitchプログラムとポリシーの導入を承認した。

(3) AFCとUEFAの指導者養成協定について、2029年まで有効な相互資格認定と知識共有の枠組み構築について報告した。

(4) AFCアワード2026をタイで開催することを決定した。

「JFAカスタマーハラスメント対応方針」策定

改正労働施策総合推進法の改正への準備事項として、「JFAカスタマーハラスメント対応方針」を策定。JFA公式サイト等への情報開示に加え、今後役員教育や

事案発生時の日常業務体制の整備を行う。

審判員海外派遣

委員会、大会、試合など	役職	名前	試合日または派遣（受け入れ）期間	場所
AFCチャンピオンズリーグエリート 2025/2026 リーグステージ イースト SHANGHAI SHENHUA FC（中国） vs ULSAN HD FC（韓国）	審判員	荒木友輔、三原純、渡辺康太、長峯湧希、飯田淳平、笠原寛貴	10月1日	上海／中国
FIFAワールドカップ26 アジア最終予選（アジアプレーオフ）グループA Matchday 1 オマーン vs カタール	審判員	荒木友輔、三原純、渡辺康太、谷本涼、飯田淳平、笠原寛貴	10月8日	ドーハ／カタール
AFCレフェリーアカデミー バッチ6 イントロダクトリー モジュール4	審判員	椎野大地、中川愛斗	10月13日～17日	クアラルンプール／マレーシア
AFC U17女子アジアカップ中国2026 予選グループB	審判員	兼松春奈、中本早紀	10月13日～17日	シンガポール
AFCレフェリーアカデミー バッチ5 アドバンスド モジュール2	審判員	大橋橋祐	10月20日～24日	クアラルンプール／マレーシア
AFCチャンピオンズリーグエリート 2025/2026 リーグステージ イースト MELBOURNE CITY FC（オーストラリア） vs BURIRAM UNITED（タイ）	審判員	山下良美、坊園真琴、一木千広、谷本涼、飯田淳平、笠原寛貴	10月21日	メルボルン／オーストラリア
AFCチャンピオンズリーグTwo 2025/2026 グループステージMD3 グループA AL MUHARRAQ SC（バーレーン） vs AL WASL FC（アラブ首長国連邦）	審判員	荒木友輔、三原純、渡辺康太	10月22日	アラド／バーレーン
AFCレフェリーアカデミー バッチ7 イントロダクトリー モジュール2	審判員	小林拓矢、大村琴美	10月27日～31日	クアラルンプール／マレーシア
FIFA 加盟協会レフェリーコース	審判指導者（インストラクター）	深野悦子	9月28日～10月5日	ヴィエンチャン／ラオス
AFCチャンピオンズリーグTwo 2025/2026 グループステージMD2 グループH FC POHANG STEELERS（韓国） vs KAYA FC-ILOILO（フィリピン）	審判指導者（アセッサー）	山内宏志	10月2日	浦項／韓国
AFCレフェリーアカデミー バッチ6 イントロダクトリー モジュール4	審判指導者（インストラクター）	山岸佐知子	10月13日～17日	クアラルンプール／マレーシア
AFC U17女子アジアカップ中国2026 予選グループB	審判指導者（アセッサー）	手代木直美	10月13日～17日	アル・コバール／サウジアラビア
FIFAワールドカップ26 アジア最終予選（アジアプレーオフ）グループB Matchday 3 サウジアラビア vs イラク	審判指導者（アセッサー）	上川徹	10月8日	ジェッダ／サウジアラビア
AFCチャレンジリーグ2025/2026 グループステージ・グループD	審判指導者（アセッサー）	山岸佐知子	10月26日～11月1日	タンゲラン／インドネシア

2025年度 功労賞

地域サッカー協会（地域FA）および都道府県サッカー協会（都道府県FA）から申請があった右表の前（元）役員に功労賞を授与する。なお、本件については、表彰規則第6条にのっとり、2025年度第5回殿堂・表彰委員会（10月23日開催）で承認された。

※対象者：

- (1) 地域FAおよび都道府県FAの三役（会長、副会長、専務理事）を退任された方
- (2) 地域FA役員を退任された方（役員歴20年以上）

No.	名前	都道府県サッカー協会	前（元）役職
1	関佳史	神奈川県	会長
2	森正明	神奈川県	副会長
3	西塚祐一	神奈川県	副会長

JFAロングパイル人工芝ピッチ公認（更新）

申請者（施設所有者）：公益財団法人愛知県サッカー協会
施設名：テラスガ鶴舞（ウエストグランド）
（愛知県名古屋市中区鶴舞1丁目1番地156号）

使用製品：住友ゴム工業株式会社 ハイブリッドターフEX II-60HPR
公認期間：2025年11月20日～2028年11月19日
公認番号：第214号



- ① SAMURAI BLUE キリンチャレンジカップ2025
- ② U-22日本代表 イングランド遠征
- ③ U-20日本代表 FIFA U-20ワールドカップチリ2025
- ④ U-18日本代表 ウエールズ遠征
- ⑤ U-16日本代表 ウズベキスタン遠征
- ⑥ U-15日本代表 バル・ド・マルヌトーナメント2025
- ⑦ なでしこジャパン MS&ADカップ2025/トレーニングマッチ
- ⑧ U-17日本女子代表 FIFA U-17女子ワールドカップモロッコ2025
- ⑨ JFAエリートプログラムU-14日韓交流戦
(JOC日韓競技力向上スポーツ交流事業/韓国・木浦市)
- ⑩ JFAエリートプログラムU-13日韓交流戦
(JOC日韓競技力向上スポーツ交流事業/Jヴィレッジ)
- ⑪ エリート女子GKキャンプU-16

- ⑫ 2025ナショナルトレセン女子U-14中期
- ⑬ U-15日本女子選抜 トレーニングキャンプ
- ⑭ 全国地域サッカーチャンピオンズリーグ2025
- ⑮ JFA 第13回全日本O-40サッカー大会
- ⑯ 2025JリーグYBCルヴァンカップ
- ⑰ 第27回日本フットボールリーグ
- ⑱ 2025年度JFL・地域入れ替え戦
- ⑲ FIFA U-20ワールドカップチリ2025
- ⑳ FIFA U-17女子ワールドカップモロッコ2025

※NCS: ナショナルコーチングスタッフ、JC: JFAコーチ/ VAR: ビデオアシスタントレフェリー、AVAR: アシスタントビデオアシスタントレフェリー

SAMURAI BLUE キリンチャレンジカップ2025

※83~84ページに関連記事あり

【スタッフ】

○監督: 森保一(NCS) ○コーチ: 名波浩(NCS)、齊藤俊秀(NCS)、前田遼一(NCS)、長谷部誠(アイントラハト・フランクフルト) ○フィジカルコーチ: 松本良一(NCS) ○GKコーチ: 下田崇(NCS) ○テクニカルスタッフ: 寺門大輔(JFAテクニカルハウス)、中下征樹(JFAテクニカルハウス)、若林大智(JFAテクニカルハウス)、渡邊秀朗(JFAテクニカルハウス)

<選手>

Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属
GK	早川友基	鹿島アントラーズ	MF/FW	小川航基	NECナイメヘン(NED)
	小椋鋭矢	シントロイデンVV(BEL)		前田大然	セルティック(SCO)
	鈴木彩輝※1	バルマ・カルチョ(ITA)		堂安律	アイントラハト・フランクフルト(GER)
	黒木大樹※2	ロイヤル・アントワープ(BEL)		上田綺世	フェイエノールト(NED)
DF	谷口彰悟	シントロイデンVV(BEL)		田中碧	リーズ・ユナイテッド(ENG)
	板倉滉	アヤックス(NED)		町野修斗	ボルシア・メンヘングラートバッハ(GER)
	渡辺剛	フェイエノールト(NED)		中村敬斗	スタッド・ランス(FRA)
	安藤智哉	アビスパ福岡		佐野海舟	マインツ05(GER)
	瀬古歩夢	ル・アーヴルAC(FRA)		久保建英	レアル・ソシエダード(ESP)
	菅原由勢	ヴェルダー・ブレーメン(GER)		藤田譲瑠チマ	FCザンクトパウリ(GER)
	鈴木淳之介	FCコペンハーゲン(DEN)		北野燾太	レッドブル・ザルツブルク(AUT)
MF/FW	遠藤航	リバプールFC(ENG)		後藤啓介	シントロイデンVV(BEL)
	南野拓実	ASモナコ(FRA)		佐藤龍之介	ファジアーノ岡山
	鎌田大地	クリスタル・パレス(ENG)			

※1: ケガのため不参加
※2: 追加招集

<スケジュール>

11月10日~12日 トレーニング(高円宮記念JFA夢フィールド)
移動、公式トレーニング(豊田スタジアム)
13日 キリンチャレンジカップ2025
14日 vs ガーナ代表(豊田スタジアム)
移動、トレーニング(高円宮記念JFA夢フィールド)
15日 トレーニング(高円宮記念JFA夢フィールド)
16日 公式トレーニング(国立競技場)
17日 キリンチャレンジカップ2025
18日 vs ボリビア代表(国立競技場)

BEL: ベルギー、ITA: イタリア、NED: オランダ、FRA: フランス、
GER: ドイツ、DEN: デンマーク、ENG: イングランド、SCO: スコットランド、ESP: スペイン、AUT: オーストリア

■ガーナ代表 来日メンバー

Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属
GK	ベンジャミン・アサレ	ハーツ・オブ・オーク	DF	アリドゥ・セイドゥ	スタッド・レンヌ(FRA)
	ロレンス・アディ・ジ	FCザンクト・ガレン(SUI)	MF	フランシス・アブ	トゥールーズFC(FRA)
	ジョセフ・アサレ	セントパトリック・アスレティック(IRL)		カスカー・オス・ボ	アルカディア(KSA)
DF	ギデオ・メンサ	AJオセール(FRA)		クワシ・シボ	レアル・オビエド(ESP)
	ジェロム・オボク	バシラク・アスレティック(TUR)		カルティン・スレマ	アタランタ(ITA)
	リチャード・アサレ	ユニオン・ベルリン(GER)		プリンス・オウス	メデアマSC
	セリル・アサレ	ASモナコ(FRA)	FW	プリンス・オウス	CFモントリオール(CAN)
	エベネザ・アサレ	ASサンティエニス(FRA)		コベントリー・シティ(ENG)	
	ジョージ・アサレ	FCバーゼル(SUI)		アントワ・セメヨ	AFCボーンマス(ENG)
	カレブ・イレニキー	FCノアシェラン(DEN)		カレブ・イレニキー	FCビクトリア・プルゼニ(CZE)
	コジョ・ベラ・オサ	OGCニース(FRA)		ケルビン・ヌクマ	メデアマSC

<スケジュール>

11月13日 公式トレーニング(豊田スタジアム)
14日 キリンチャレンジカップ2025 vs SAMURAI BLUE
(豊田スタジアム)

SUI: スイス、IRL: アイルランド、FRA: フランス、TUR: トルコ、
GER: ドイツ、DEN: デンマーク、KSA: サウジアラビア、ESP: スペイン、
ITA: イタリア、CAN: カナダ、ENG: イングランド、CZE: チェコ

■ボリビア代表 来日メンバー

Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属
GK	カルロス・ランベ	ボリバル	MF	モイセス・ビジャリ	ブルーミング
	ギジェル・ビスカラ	アリアンサ・リマ(PER)		エクトル・ウエジャ	オールウェイズ・レディ
	ロドリゴ・バネガス	ザ・ストロンゲスト		ダリオ・トリコ	オールウェイズ・レディ
	ヘロニモ・ゴベア	モンテビデオ・ワンダラーズ(URU)		ガブリエル・ビジャリ	リガ・デ・キト(ECU)
DF	リチャード・ゴメス	ブルーミング		ロブソン・マテウス	ボリバル
	ロベルト・フェルナンデス	アクロン(RUS)		エルビン・バカ	ボリバル
	ディエゴ・メディナ	CSKA1948(BUL)		ミゲル・テルセロス	アメリカ・ミネイロ(BRA)
	レオナルド・サバ	カンクンFC(MEX)		オスカル・ロベス	RCDマジョルカ(ESP)
	ジョマル・ロチャ	アクロン(RUS)	FW	グスタボ・ベレド	グアピラ
	ディエゴ・アロジョ	シャフタル・ドネツク(UKR)		ジョン・ガルシア	ザ・ストロンゲスト
	マルセロ・ティモラン	コルドバCF(ESP)		ホセ・マルティネス	CSKA1948(BUL)
	マルセロ・トレス	サントスFC(BRA)		エンソ・モンテロ	FKアウダ(LVA)
	ルイス・マカサ	CDレガネス(ESP)		フェルナンド・ナバ	オリエンテ・ペトロレロ
MF	カルロス・メルガル	ボリバル			

<スケジュール>

11月17日 公式トレーニング(国立競技場)
18日 キリンチャレンジカップ2025 vs SAMURAI BLUE
(国立競技場)

PER: ペルー、URU: ウルグアイ、RUS: ロシア、BUL: ブルガリア、
MEX: メキシコ、UKR: ウクライナ、ESP: スペイン、BRA: ブラジル、
ECU: エクアドル、LVA: ラトビア

キリンチャレンジカップ 2025

SAMURAI BLUE 2 (前半1-0 後半1-0) 0 ガーナ代表

●2025年11月14日 19:22 ●豊田スタジアム ●試合時間:90分 ●審判員:[主審]ベンジャミン・エイブラハム(AUS) [副審]ブラッドリー・ライト(AUS) / マー・ジー(CHN) [第4の審判員]フー・ミン(CHN) ●マッチコミッショナー:飯野琢人 ●観衆:40,030人

日本(監督:森保一):[GK](1)早川友基 [DF](3)谷口彰悟(5)渡辺剛(25)鈴木淳之介 [MF/FW](8)南野拓実<→75'(16)安藤智哉>(10)堂安律<→68'(2)菅原由勢>(13)中村敬斗<→82'(14)佐藤龍之介>(17)田中碧<→68'(7)藤田譲増チマ>(18)上田綺世<→75'(26)後藤啓介>(20)久保建英<→75'(24)北野燐太>(21)佐野海舟

控え:(12)小久保玲央(ブライアン)(23)野澤大志(ブランドン)(4)板倉滉(6)遠藤航(9)町野修斗(11)前田大然(15)鎌田大地(19)小川航基(22)瀬古歩夢

ガーナ(監督:オットー・アッド):[GK](12)ジョセフ・テッテ・アナシ [DF](3)カレブ・イレニキ<(4)ジョナス・アジェイ・アジェティ<(13)デリック・アーサー・コーン<→88'(24)プリンス・オウス>(15)コジョ・ベブラ・オボン(18)ジェローム・オボク<→75'(14)ギデオ・メンサ> [MF](8)クワシ・シボ(19)フランシス・アブ<→56'(2)アリドゥ・セドゥ>(22)カマルディン・スレマナ<→88'(5)プリンス・オセイ・オウス> [FW](9)ブランドン・ソロモン・トーマス・アサント<→75'(17)クリストファー・ボンス・パー>(11)アントワヌ・セメンヨ<→56'(23)クワベナ・アドゥ・プリンス>

控え:(1)ローレンス・アティ・ツギ(16)ベンジャミン・アサレ(6)モハンメド・サリス・アブドゥル・カリム(7)ケルビン・ヌクルマ(21)エベネザー・アナシ

得点 [日本]16'南野拓実(1-0)、60'堂安律(2-0)

キリンチャレンジカップ 2025

SAMURAI BLUE 3 (前半1-0 後半2-0) 0 ボリビア代表

●2025年11月18日 19:17 ●国立競技場 ●試合時間:90分 ●審判員:[主審]フー・ミン(CHN) [副審]マー・ジー(CHN) / ブラッドリー・ライト(AUS) [第4の審判員]ベンジャミン・エイブラハム(AUS) ●マッチコミッショナー:飯野琢人 ●観衆:53,508人

日本(監督:森保一):[GK](1)早川友基 [DF](2)菅原由勢<→HT(10)堂安律>(3)谷口彰悟(4)板倉滉(22)瀬古歩夢 [MF/FW](6)遠藤航(8)南野拓実<→67'(13)中村敬斗>(11)前田大然<→82'(26)後藤啓介>(15)鎌田大地<→77'(7)藤田譲増チマ>(19)小川航基<→67'(18)上田綺世>(20)久保建英<→67'(9)町野修斗>

控え:(12)小久保玲央(ブライアン)(23)野澤大志(ブランドン)(5)渡辺剛(14)佐藤龍之介(16)安藤智哉(17)田中碧(21)佐野海舟(24)北野燐太(25)鈴木淳之介

ボリビア(監督:オスカル・ビジェガス):[GK](23)ギジェルモ・ビスカラ [DF](2)ディエゴ・アロジョ(3)ディエゴ・メディナ(4)マルセロ・トレス(17)ロベルト・フェルナンデス [MF](6)エクトル・クエジャル(7)ミゲル・テルセロス(15)ガブリエル・ビジャミル<→76'(8)モイセス・ビジャロエル>(16)エルビン・バカ<→HT(14)ロブソン・マテウス> [FW](9)エンソ・モンテイロ(11)フェルナンド・ナバ

控え:(1)カルロス・ランベ(12)ロドリゴ・バネガス(5)リチット・ゴメス(10)カルロス・メラル(13)ダリオ・トリッコ(18)ジョマル・ロチャ(19)オスカル・ロベス(20)ジョン・ガルシア(21)ホセ・マルティネス(22)レオナルド・サバラ(24)マルセロ・ティモラン(25)グスタボ・ペレド(26)ルーカス・マカサガ

得点 [日本]4'鎌田大地(1-0)、71'町野修斗(2-0)、78'中村敬斗(3-0)

警告 [日本]25'菅原由勢、55'板倉滉 [ボリビア]34'フェルナンド・ナバ

U-22日本代表 イングランド遠征

[スタッフ]

○団長:鈴木満(JFA技術委員会強化部会 副部会長/鹿島アントラーズ) ○監督:大岩剛(NCS) ○コーチ:羽田憲司(NCS) ○GKコーチ:佐藤洋平(NCS) ○フィジカルコーチ:矢野由治(NCS) ○テクニカルスタッフ:越智滋之(JFAテクニカルハウス)

<選手>

Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属
GK	小林将天	FC東京	MF	石渡ネルソン	いわきFC
	ピサノアレクサンドレ幸冬堀尾	名古屋グランパス		石井久継	湘南ベルマーレ
	荒木琉偉	ガンバ大阪		嶋本悠大	清水エスパルス
DF	小泉佳純	明治大学		川合徳孟	ジュビロ磐田
	市原吏音	RB大宮アルディージャ	FW	齋藤俊輔	水戸ホーリーホック
	高橋仁胡	セレッソ大阪		永田湊太郎	FCポルト(POR)
	梅木怜	FC今治		横山夢樹	FC今治
	喜多亨也	レアル・ソシエダード(ESP)		道脇豊	SKベフレン(BEL)
	小杉啓太	ユールゴーデンIF(SWE)		石橋瀬胆	湘南ベルマーレ
	永野修都	ガイナレ鳥取		山口太陽	FC東京
	土屋耀大	川崎フロンターレ		徳田蒼	鹿島アントラーズ
	森壮一朗	名古屋グランパス		新川志音	サガン鳥栖U-18
MF	大関友翔	川崎フロンターレ			
	保田堅心	KRCヘンク(BEL)			

ESP:スペイン、SWE:スウェーデン、BEL:ベルギー、POR:ポルトガル

<スケジュール>

11月9日 羽田発、フランクフルト経由
バーミンガム
10日~13日 トレーニング(St. George's Park)
14日 国際親善試合 vs U-20イングランド代表(Eco Power Stadium)
15日~16日 トレーニング(AFCボーンマス トレーニング場)
17日 練習試合 vs AFCボーンマス(AFCボーンマス トレーニング場)
18日 ロンドン発、フランクフルト経由
19日 羽田着

国際親善試合

U-22日本代表 1 (前半0-0 後半1-1) 1 U-20イングランド代表

●2025年11月14日 19:30 ●Eco Power Stadium ●試合時間:90分

日本(監督:大岩剛):[GK](1)ピサノアレクサンドレ幸冬堀尾 [DF](5)市原吏音(15)森壮一朗<→78'(26)小泉佳純>(21)高橋仁胡<→78'(2)梅木怜>(24)喜多亨也 [MF](7)石渡ネルソン<→78'(6)保田堅心>(8)大関友翔<→70'(16)嶋本悠大>(10)川合徳孟<→70'(14)石井久継> [FW](9)道脇豊<→61'(19)徳田蒼>(13)石橋瀬胆<→70'(17)新川志音>(18)齋藤俊輔<→61'(11)横山夢樹>

控え:(12)小林将天(23)荒木琉偉(3)小杉啓太(4)永野修都(20)山口太陽(22)土屋耀大(25)永田湊太郎

得点 77'失点(0-1)、90+3'石井久継(1-1)

U-20日本代表 FIFA U-20ワールドカップチリ2025

[スタッフ]

※86~89ページに関連記事あり

○団長:高司裕也(JFA技術委員会 強化部会員) ○監督:船越優蔵(NCS) ○コーチ:菅原大介(NCS)、羽田憲司(NCS) ○GKコーチ:高原寿康(NCS) ○フィジカルコーチ:菅野淳(フィジカルフィットネスプロジェクト) ○テクニカルスタッフ:越智滋之(JFAテクニカルハウス)、引田真昇(JFAテクニカルハウス)

<選手>

Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属
GK	中村圭佑	東京ヴェルディ	DF	森壮一朗	名古屋グランパス	MF	横山夢樹	FC今治
	ピサノアレクサンドレ幸冬堀尾	名古屋グランパス		大関友翔	川崎フロンターレ		中島洋太郎※1	サンフレッチェ広島
	荒木琉偉	ガンバ大阪		平賀大空	京都サンガF.C.		佐藤龍之介	ファジアーノ岡山
DF	塩川桜道	流通経済大学		小倉幸成	法政大学		布施克真※2	筑波大学
	市原吏音	RB大宮アルディージャ		齋藤俊輔	水戸ホーリーホック	FW	神田奏真	川崎フロンターレ
	梅木怜	FC今治		石渡ネルソン	いわきFC		高岡侑真	ヴァランシエンヌFC(FRA)
	喜多亨也	レアル・ソシエダード(ESP)		中川育	流通経済大学			
	小杉啓太	ユールゴーデンIF(SWE)		石井久継	湘南ベルマーレ			

ESP:スペイン、SWE:スウェーデン、FRA:フランス

※1:コンディション不良のため不参加

※2:追加招集

<トレーニングパートナー>

Pos.	名前	所属
	村上慶	大津高校
	中野健斗	神村学園高等部
	松岡敏也※3	興国高校
	佐々木将英※4	FC東京U-18

※3: ケガのため不参加
※4: 追加招集

<スケジュール>

9月16日	羽田発、ニューヨーク経由、サンパウロ着
17日	サンパウロ発、アスンシオン着
18日~20日	トレーニング (Parque Guasu Metropolitano)
21日	トレーニング (Parque Guasu Metropolitano)
22日	練習試合 (完全非公開)
	アスンシオン発、サンティアゴ着
	トレーニング
23日	トレーニング
24日	トレーニング (Escuela de Carabineros)
25日	トレーニング (ANFP 1)
26日	トレーニング (Escuela de Carabineros)
27日	FIFA U-20ワールドカップチリ2025
	グループステージ第1戦 vs U-20エジプト代表 (Estadio Nacional Julio Martínez Prádanos)

28日	トレーニング (Juan Pinto Duran)
29日	トレーニング (Santa Anita)
30日	グループステージ第2戦 vs U-20チリ代表 (Estadio Nacional Julio Martínez Prádanos)
10月1日~2日	トレーニング (Everton 2)
3日	グループステージ第3戦 vs U-20ニュージーランド代表 (Estadio Elias Figueroa Brander)
4日~7日	トレーニング
8日	ラウンド16 vs U-20フランス代表 (Estadio Nacional Julio Martínez Prádanos)
9日	サンティアゴ発
10日	日本着

■グループステージ

順位	グループA	日本	チリ	エジプト	ニュージーランド	試合数	勝	分	負	得点	失点	差
1	日本	200 日本 2-0 チリ 日本 2-0 エジプト 日本 3-0 ニュージーランド	200	200	300	9	3	0	0	7	0	7
2	チリ	002 チリ 0-2 日本 チリ 0-2 エジプト チリ 0-3 ニュージーランド	102	201	201	3	1	0	2	3	5	-2
3	エジプト	002 エジプト 0-2 日本 エジプト 0-2 チリ エジプト 1-2 ニュージーランド	201	102	102	3	1	0	2	3	5	-2
4	ニュージーランド	003 ニュージーランド 0-3 日本 ニュージーランド 0-2 チリ ニュージーランド 1-2 エジプト	102	201	201	3	1	0	2	3	6	-3

順位	グループB	ウクライナ	パラグアイ	韓国	パナマ	試合数	勝	分	負	得点	失点	差
1	ウクライナ	ウクライナ ウクライナ ウクライナ ウクライナ ウクライナ	2 0 1	2 0 1	1 Δ 1	7	2	1	0	5	3	2
2	パラグアイ	1 ● 2	● ●									

順位	グループC	モロッコ	メキシコ	スペイン	ブラジル	試合数	勝	分	負	得点	失点	差
1	モロッコ	0●1	2○0	2○1	6	2	0	1	4	2	2	
2	メキシコ	1○0	2△2	2△2	5	1	2	0	5	4	1	
3	スペイン	0●2	2△2	1○0	4	1	1	1	3	4	-1	
4	ブラジル	1●2	2△2	0●1	1	0	1	2	3	5	-2	

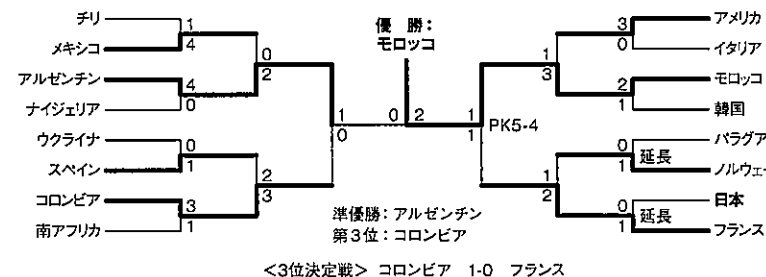
順位	グループD	アルゼンチン	イタリア	オーストラリア	キューバ	試合数	勝	分	負	得点	失点	差
1	アルゼンチン	0●										

順位	グループE	アメリカ	南アフリカ	フランス	ニューカレドニア	試合数	勝	分	負	得点	失点	差
1	アメリカ	米 南アフリカ 20-19 米 フランス 21-19 米 ニューカレドニア 21-18 米 フランス 21-19 米 ニューカレドニア 21-18	1●2	3○0	9○1	6	2	0	1	13	3	10
2	南アフリカ	2○1	米 南アフリカ 20-19 米 フランス 21-19 米 ニューカレドニア 21-18 米 フランス 21-19 米 ニューカレドニア 21-18	1●2	5○0	6	2	0	1	8	3	5
3	フランス	0●3	2○1	米 南アフリカ 20-19 米 フランス 21-19 米 ニューカレドニア 21-18 米 フランス 21-19 米 ニューカレドニア 21-18	6○0	6	2	0	1	8	4	4
4	ニューカレドニア	1●9	0●5	0●6	米 南アフリカ 20-19 米 フランス 21-19 米 ニューカレドニア 21-18 米 フランス 21-19 米 ニューカレドニア 21-18	0	0	0	3	1	20	-19

順位	グループF	コロンビア	ノルウェー	ナイジェリア	サウジアラビア	試合数	勝	分	負	得点	失点	差
1	コロンビア	000	000	101	100	5	1	2	0	2	1	1
2	ノルウェー	000	000	100	101	5	1	2	0	2	1	1
3	ナイジェリア	101	001		302	4	1	1	1	4	4	0
4	サウジアラビア	001	101	203		1	0	1	2	3	5	-2

○:勝ち(勝ち点3)、△:引き分け(勝ち点1)、●:負け(勝ち点0)

■ノックアウトステージ



■大会各賞

FIFA Fair Play Trophy: アメリカ

adidas Golden Ball: MAAMMA Othmane (モロッコ)
adidas Silver Ball: ZABIRI Yassir (モロッコ)
adidas Bronze Ball: DELGADO Milton (アルゼンチン)

adidas Golden Boot: CREMASCHI Benjamin (アメリカ/5得点2アシスト)
adidas Silver Boot: VILLAREAL Neyser (コロンビア/5得点1アシスト)
adidas Bronze Boot: MICHAL Lucas (フランス/5得点0アシスト)

adidas Golden Glove: BARBI Santino (アルゼンチン)

グループステージ第1戦

U-20日本代表 2 (前半1-0 後半1-0) 0 U-20エジプト代表

●2025年9月27日 17:00 ●Estadio Nacional Julio Martínez Prádanos ●試合時間:90分 ●審判員:[主審]HERRERA Dario (ARG) [副審]NAVARRO Cristian (ARG) / SAVORANI Jose (ARG) [第4の審判員]PINHEIRO Joao (POR) ●マッチコミッショナー: ASSUME Serge (GAB) ●観衆:15,051人

日本(監督:船越優蔵):[GK](12)ピサノ アレクサンドレ幸冬堀尾 [DF](2)梅木怜<→86' (16)森壯一郎>(3)小杉啓太(4)喜多幸也(5)市原吏音 [MF](7)佐藤龍之介<→86' (20)平賀大空>(8)布施克真(10)大関友翔<→73' (18)石渡ネルソン>(13)石井久継(14)齋藤俊輔<→66' (11)横山夢樹> [FW](9)神田奏真<→73' (19)高岡侑真>

控え:(1)中村圭佑(21)荒木琉偉(6)小倉幸成(15)堀川椋道

エジプト(監督:OSAMA NABIH):[GK](16)AHMED WAHP [DF](2)TEBO GABRIEL (4)AHMED ABDIN(5)ABDULLAH BOUSTENJI(13)AHMED NAIEL<→83' (17)AMR KHALED BIBO>(14)MOHAB SAMY [MF](6)SEIF SAFAGA<→62' (3)MOATAZ MOHAMED>(8)AHMED KABAKA (20)SELIM TELIB<→62' (18)MOHAMED ELSAYED> [FW](10)MOHAMED ABDALLAH<→83' (12)MOAMEN SHERIF>(11)HAMED ABDALLAH<→71' (7)OMAR MOAWED>

控え:(1)ABDELMONEM TAMER(21)AHMED MENSRAWY(9)MOHAMED HAITHAM (15)OMAR KHEDR(19)AHMED WAHID

得点 [日本]29'市原吏音(1-0)、48'石井久継(2-0)

警告 [日本]44'佐藤龍之介

グループステージ第2戦

U-20日本代表 2 (前半0-0 後半2-0) 0 U-20チリ代表

●2025年9月30日 20:00 ●Estadio Nacional Julio Martínez Prádanos ●試合時間:90分 ●審判員:[主審]JAYED Jalal (MAR) [副審]AZGAOU Lahsen (MAR) / AKARKAD Mostafa (MAR) [第4の審判員]PINHEIRO Joao (POR) ●マッチコミッショナー: ASSUME Serge (GAB) ●観衆:42,517人

日本(監督:船越優蔵):[GK](12)ピサノ アレクサンドレ幸冬堀尾 [DF](2)梅木怜(3)小杉啓太(4)喜多幸也(5)市原吏音 [MF](7)佐藤龍之介(8)布施克真<→68' (6)小倉幸成>(10)大関友翔<→86' (18)石渡ネルソン>(14)齋藤俊輔<→79' (11)横山夢樹>(20)平賀大空<→HT (13)石井久継> [FW](19)高岡侑真<→68' (9)神田奏真>

控え:(1)中村圭佑(21)荒木琉偉(15)堀川椋道(16)森壯一郎(17)中川育

チリ(監督:CORDOVA Nicolas):[GK](11)MELLA Sebastian [DF](2)GARGUEZ Ian(4)ROMERO Patricio(13)PEREZ Matias<→90+3' (3)CELIS Milovan>(20)FAUNDEZ Felipe [MF](10)ARCE Agustin<→79' (7)MARCHANT Francisco>(14)MILLAN Lautaro(16)SANDOVAL Mario<→HT (8)MOYA Flavio> [FW](9)ROSSEL Juan(17)RAMOS Emiliano<→HT (18)GODOY Rodrigo>(19)CHATILIEZ Willy<→58' (11)ALVAREZ Vicente>

控え:(12)SAEZ Ignacio(21)MAUREIRA Gabriel(5)SUAREZ Nicolas(6)CARCAMO Javier(15)SILVA Joaquin

得点 [日本]55'市原吏音(1-0)、82'横山夢樹(2-0)

警告 [日本]64'大関友翔、90+6'石井久継 [チリ]78'MOYA Flavio

グループステージ第3戦		
U-20日本代表	3 (前半1-0 後半2-0)	0 U-20 ニューージーランド代表
●2025年10月3日 20:00 ●Estadio Elias Figueroa Brander ●試合時間:90分 ●審判員:[主審]ORTEGA Kevin(PER) [副審]ORUE Michael(PER) / SANCHEZ Jesus(PER) [第4の審判員]HERRERA Dario(ARG) ●マッチコミッショナー:LENA Felix(USA) ●観衆:2,938人		
日本(監督:船越優蔵):[GK](21)荒木琉偉 [DF](3)小杉啓太<→68'(2)梅木怜>(5)市原史音<→HT(4)喜多志也>(15)塩川桜道(16)森壮一朗 [MF](6)小倉幸成(11)横山夢樹<→58'(13)石井久繼>(17)中川育<→72'(14)齋藤俊輔>(18)石渡ネルソン(20)平賀大空 [FW](9)神田奏真<→58'(19)高岡伶颯>		
控え:(1)中村圭佑(12)ピサノ アレクサンドレ幸冬堀尾(7)佐藤龍之介(8)布施克真(10)大関友翔		
ニューージーランド(監督:GREENACRE Chris):[GK](13)GRAY Henry [DF](2)LOKE Xuan(3)KELLY-HEALD Lukas(5)COULIBALY Adama(15)SMITH Jayden<→83'(14)DUPONT Noah> [MF](6)GILLION Fergus(18)McKENLAY Finn(19)MIDDLETON Oliver<→83'(16)WATSON Ryan> [FW](9)KELLY Keegan<→83'(12)SUPYK Luke>(10)WALKER Nathan<→67'(7)BROOKE-SMITH Luke>(20)UKICH Stipe<→83'(17)SLOANE-RODRIGUES Gabriel>		
控え:(1)WALLIS Joe(21)CASA-GRANDE Josey(8)PUTT Troy(11)PHOENIX Codey		
得点 [日本]22'小倉幸成(1-0)、64'オウンゴール(2-0)、82'石井久繼(3-0)		
警告 [ニューージーランド]32'UKICH Stipe、36'McKENLAY Finn、75'BROOKE-SMITH Luke		

ラウンド16		
U-20日本代表	0 (前半0-0 後半0-0 延前0-0 延後0-1)	1 U-20フランス代表
●2025年10月8日 20:00 ●Estadio Nacional Julio Martínez Prádanos ●試合時間:90分、延長30分 ●審判員:[主審]GARCIA Katia(MEX) [副審]RAMIREZ Sandra(MEX) / DIAZ MEDINA Karen(MEX) [第4の審判員]ORTEGA Kevin(PER) ●マッチコミッショナー:BRENES Diego(CRC) ●観衆:12,405人		
日本(監督:船越優蔵):[GK](12)ピサノ アレクサンドレ幸冬堀尾<→120+2'(21)荒木琉偉> [DF](2)梅木怜(3)小杉啓太(4)喜多志也(5)市原史音 [MF](6)小倉幸成(7)佐藤龍之介(10)大関友翔<→延後前(18)石渡ネルソン>(13)石井久繼<→73'(17)中川育>(14)齋藤俊輔<→73'(11)横山夢樹> [FW](9)神田奏真<→57'(19)高岡伶颯>		
控え:(1)中村圭佑(8)布施克真(15)塩川桜道(16)森壮一朗(20)平賀大空		
フランス(監督:DIOMEDE Bernard):[GK](1)OLMETA Lisandru [DF](2)BEYUKU Gady-Pierre(3)BOURGAULT Justin<→61'(12)BERMONT Anthony>(4)BASEYA Steven<→61'(17)LE BORGNE Andrea>(5)ZIDANE Elyaz(6)TOURE Ilane<→106'(8)NZINGOULA Rabby>(14)KAMARA Noham [MF](10)BENAMA Mayssam [FW](7)MICHAL Lucas(9)BOUABRE Saimon<→67'(11)MMADI Tadjidine>(20)NGUESSAN Djyljan<→HT(19)SYLLA Fode>		
控え:(16)PARADOWSKI Tao(21)BENGUI JOAO Justin(13)DABO Moustapha(18)BERNARDEAU Gabin		
得点 [フランス]123'MICHAL Lucas(0-1)		
警告 [日本]110'高岡伶颯 [フランス]38'TOURE Ilane、80'MMADI Tadjidine、85'BEYUKU Gady-Pierre		

U-18日本代表 ウェールズ遠征

[スタッフ]

○団長:足立修(Jリーグフットボール本部フットボールダイレクター) ○監督:山橋貴史(Jコーチ) ○コーチ:西嶋弘之(Jコーチ) ○GKコーチ:高原寿康(NCS) ○フィジカルコーチ:大塚慶輔(NCS)

<選手>

Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属
GK	小川煌	サンフレッチェ広島FCユース	MF	池田季礼	サガン鳥栖U-18
	イシボウ拳	セレッソ大阪U-18		山本天翔	ガンバ大阪ユース
DF	佐藤海宏	鹿島アントラーズ		深田京吾	浦和レッドダイヤモンズユース
	秦樹	横浜FCユース		今井健人	東京ヴェルディユース
	酒井舜哉	RB大宮アルディージャ U18		青木竜清	愛媛FC U-18
	林駿佑	川崎フロンターレU-18		中積為	ガンバ大阪ユース
	佐々木将英	FC東京U-18	FW	井本修都	アルビレックス新潟U-18
	鈴木楓	FC東京U-18		尾谷ディヴァインチネドゥ	FC東京U-18
	大川佑梧※1	鹿島アントラーズユース		大西利都	名古屋グランパスU-18
	千田遼	ファジアーノ岡山		恩田裕太郎	川崎フロンターレU-18

※1:ケガのため途中離脱

<スケジュール>

11月10日~11日	トレーニング
12日	第1戦 vs U-18ウェールズ代表 (Central Park (Denbigh))
13日~14日	トレーニング
15日	第2戦 vs U-18ドイツ代表 (Central Park (Denbigh))
16日~17日	トレーニング
18日	第3戦 vs U-18アメリカ代表 (Belle Vue (Rhyl))

第1戦		
U-18日本代表	2 (前半2-2 後半0-1)	3 U-18ウェールズ代表
●2025年11月12日 19:00 ●Central Park ●試合時間:90分		
日本(監督:山橋貴史):[GK](1)イシボウ拳 [DF](3)酒井舜哉<→71'(4)佐々木将英>(6)鈴木楓(17)佐藤海宏(19)千田遼<→46'(5)秦樹> [MF](7)深田京吾<→61'(14)中積為>(8)山本天翔(10)今井健人<→71'(16)林駿佑>(20)青木竜清<→85'(9)井本修都> [FW](13)恩田裕太郎<→61'(11)大西利都>(18)尾谷ディヴァインチネドゥ<→85'(15)池田季礼>		
控え:(12)小川煌		
得点 8'、11'、90+3'失点(0-1)(0-2)(2-3)、16'山本天翔(1-2)、31'酒井舜哉(2-2)		
警告 90+3'山本天翔		

第3戦		
U-18日本代表	0 (前半0-0 後半0-1)	1 U-18アメリカ代表
●2025年11月18日 11:00 ●Belle Vue ●試合時間:90分		
日本(監督:山橋貴史):[GK](12)小川煌 [DF](4)佐々木将英(5)秦樹(16)林駿佑(17)佐藤海宏(19)千田遼<→55'(6)鈴木楓> [MF](7)深田京吾<→74'(20)青木竜清>(8)山本天翔(9)井本修都<→64'(14)中積為>(15)池田季礼<→64'(11)大西利都> [FW](18)尾谷ディヴァインチネドゥ<→74'(13)恩田裕太郎>		
控え:(1)イシボウ拳(3)酒井舜哉(10)今井健人		
得点 81'失点(0-1)		

第2戦		
U-18日本代表	2 (前半0-1 後半2-1) PK4-5	2 U-18ドイツ代表
●2025年11月15日 19:00 ●Central Park ●試合時間:90分		
日本(監督:山橋貴史):[GK](12)小川煌 [DF](3)酒井舜哉(4)佐々木将英<→58'(17)佐藤海宏>(5)秦樹(6)鈴木楓(16)林駿佑 [MF](10)今井健人<→36'(8)山本天翔>(14)中積為(20)青木竜清<→58'(7)深田京吾> [FW](11)大西利都<→81'(9)井本修都>(13)恩田裕太郎<→58'(18)尾谷ディヴァインチネドゥ>		
控え:(1)イシボウ拳(15)池田季礼(19)千田遼		
得点 43'、50'失点(0-1)(0-2)、57'オウンゴール(1-2)、62'山本天翔(2-2)		

U-16日本代表 ウズベキスタン遠征

【スタッフ】

○団長:鈴木満(JFA技術委員会強化部会 副部会長/鹿島アントラーズFC) ○監督:小野信義(NCS) ○コーチ:山橋貴史(JC) ○GKコーチ:井出大志(NCS) ○フィジカルコーチ:小嶺肇之(NCS)

<選手>

Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属
GK	佐藤大翔	浦和レッズユース	MF	藤本祥輝	ガンバ大阪ユース
	大下幸誠	鹿島アントラーズユース		永添功樹	セレッソ大阪U-18
DF	石村琢人	FC東京U-18		里見汰福	ヴィッセル神戸U-18
	熊田佳斗	RB大宮アルディージャ U18		岩土そら	鹿島アントラーズユース
	川井湊	ツエーゲン金沢U-18		井内亮太郎	ヴィッセル神戸U-18
	原田爽潤	東京ヴェルディユース		井内廣介	名古屋グランパスU-18
	橋本凜来	FC東京U-18		松永翔※1	横浜F・マリノスユース
	笹倉拓真	川崎フロンターレU-18		五十嵐陵	柏レイソルU-18
	竹内悠三	名古屋グランパスU-15	FW	立野京弥	昌平高校
	笠原慶多※2	昌平高校		高木瑛人	鹿島アントラーズユース
MF	エゼモクエ チメツェ海	セレッソ大阪U-18			

※1: ケガのため不参加
※2: 追加招集

<スケジュール>

10月8日 トレーニング(高円宮記念JFA夢フィールド)
9日 羽田発、北京経由、タンケント着
10日～11日 トレーニング
12日 国際親善試合 vs U-16ウズベキスタン代表
13日 トレーニング
14日 国際親善試合 vs U-16サウジアラビア代表
15日 トレーニング
16日 国際親善試合 vs U-16ウズベキスタン代表
タンケント発
17日 北京着 ※北京より2便に分かれて移動
①北京発、羽田着
②北京発、成田着

第1戦

U-16 日本代表 **3**(前半1-0 後半2-1) **1** **U-16 ウズベキスタン代表**

●2025年10月12日 15:00 ●Qibray Stadium ●試合時間:90分

日本(監督:小野信義):[GK](12)佐藤大翔 [DF](4)笹倉拓真<→86'(5)川井湊>(14)笠原慶多(15)石村琢人(17)原田爽潤<→70'(13)エゼモクエ チメツェ海>(19)熊田佳斗<→76'(3)竹内悠三> [MF](6)藤本祥輝<→86'(2)橋本凜来>(7)岩土そら<→70'(16)井内廣介>(10)里見汰福<→70'(20)井内亮太郎>(18)永添功樹<→76'(8)五十嵐陵> [FW](9)高木瑛人<→76'(11)立野京弥>

控え:(1)大下幸誠

得点 29' 永添功樹(1-0)、47' 失点(1-1)、73' エゼモクエ チメツェ海(2-1)、90' 立野京弥(3-1)

第3戦

U-16 日本代表 **1**(前半1-0 後半0-2) **2** **U-16 ウズベキスタン代表**

●2025年10月16日 13:00 ●Qibray Stadium ●試合時間:90分

日本(監督:小野信義):[GK](1)大下幸誠<→HT(12)佐藤大翔> [DF](3)竹内悠三<→HT(15)石村琢人>(5)川井湊(14)笠原慶多<→HT(2)橋本凜来>(19)熊田佳斗<→61'(4)笹倉拓真> [MF](6)藤本祥輝<→75'(8)五十嵐陵>(7)岩土そら(10)里見汰福(13)エゼモクエ チメツェ海<→61'(17)原田爽潤>(18)永添功樹<→61'(16)井内廣介> [FW](9)高木瑛人<→75'(11)立野京弥>

控え:(20)井内亮太郎

得点 40' 高木瑛人(1-0)、49'、68' 失点(1-1)(1-2)

第2戦

U-16 日本代表 **1**(前半1-0 後半0-1) **1** **U-16 サウジアラビア代表**

●2025年10月14日 15:00 ●Qibray Stadium ●試合時間:90分

日本(監督:小野信義):[GK](1)大下幸誠 [DF](2)橋本凜来(3)竹内悠三(5)川井湊(19)熊田佳斗<→68'(4)笹倉拓真> [MF](7)岩土そら<→68'(6)藤本祥輝>(8)五十嵐陵<→76'(18)永添功樹>(13)エゼモクエ チメツェ海<→76'(17)原田爽潤>(16)井内廣介(20)井内亮太郎<→76'(10)里見汰福> [FW](11)立野京弥<→76'(9)高木瑛人>

控え:(12)佐藤大翔(14)笠原慶多(15)石村琢人

得点 15' 井内亮太郎(1-0)、83' 失点(1-1)

U-15日本代表 バル・ド・マルヌトーナメント2025

【スタッフ】

○監督:平田礼次(NCS) ○コーチ:土橋正樹(Jコーチ) ○GKコーチ:吉岡慎輔(NCS) ○フィジカルコーチ:小嶺肇之(NCS)

<選手>

Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属
GK	木田蓮人	鹿島アントラーズジュニアユース	MF	橋元結仁	ソレック熊本
	小畑颯亮	ガンバ大阪ジュニアユース		深谷朔共	名古屋グランパスU-15
DF	酒井陽杜	ジェフユナイテッド市原・千葉U-15		伊藤航	FC東京むさし
	三谷友浩	ヴィッセル神戸U-15		花元蒼絆	ヴィッセル神戸U-15
	庄司瑛人	東急スレイエスFC U-15		鮫島充輝	FCグランリオSUZUKA
	林天音	大分トリニータU-15	FW	沢口栄太※1	横浜F・マリノスユース
	對馬羽琉	川崎フロンターレU-15生田		加賀野統※1	ガンバ大阪ジュニアユース
	渡部直宏	東京ヴェルディジュニアユース		土井空芽	鹿島アントラーズつくばジュニアユース
	貞清亜門	柏レイソルU-15		オツコロ海桜	FC LAVIDA
MF	梶山蓮翔	FC東京U-18		八色隼人※2	名古屋グランパスU-18
	嵯峨日向	前橋育英高校		遠藤優空※2	清水エスパルスジュニアユース

※1: ケガのため不参加
※2: 追加招集

<スケジュール>

10月24日 羽田発、ハノイ経由
25日 バリ着
26日～27日 トレーニング(Limeil-Brévannes)
28日 トレーニング(Limeil-Brévannes)
第1戦 vs U-15オランダ代表(Limeil-Brévannes)
29日 トレーニング(Limeil-Brévannes)
30日 第2戦 vs U-15ベルギー代表(Bry-sur-Marne)
31日 トレーニング(Limeil-Brévannes)
11月1日 第3戦 vs U-15フランス代表(Bonneuil-sur-Marne)
2日 バリ発
4日 ハノイ経由、羽田着

第1戦

U-15日本代表 **3**(前半1-0 後半2-0) **0** **U-15オランダ代表**

●2025年10月28日 14:00 ●Limeil-Brévannes ●試合時間:80分

日本(監督:平田礼次):[GK](1)木田蓮人 [DF](3)對馬羽琉(4)三谷友浩<→68'(19)貞清亜門>(5)林天音(15)庄司瑛人<→63'(18)橋元結仁> [MF](8)深谷朔共(9)嵯峨日向(10)梶山蓮翔<→68'(14)八色隼人>(16)鮫島充輝<→68'(7)花元蒼絆> [FW](13)土井空芽<→68'(11)遠藤優空>(17)オツコロ海桜<→63'(20)伊藤航>

控え:(12)小畑颯亮(2)渡部直宏(6)酒井陽杜

得点 19' 對馬羽琉(1-0)、43' 土井空芽(2-0)、71' 八色隼人(3-0)

警告 60' 三谷友浩、80+2' 深谷朔共

第2戦

U-15日本代表 **3**(前半0-1 後半3-0) **1** **U-15ベルギー代表**

●2025年10月30日 14:00 ●Bry-sur-Marne ●試合時間:80分

日本(監督:平田礼次):[GK](12)小畑颯亮 [DF](2)渡部直宏(6)酒井陽杜<→80+3'(5)林天音>(19)貞清亜門 [MF](7)花元蒼絆(10)梶山蓮翔<→41'(8)深谷朔共>(11)遠藤優空<→63'(9)嵯峨日向>(16)鮫島充輝<→70'(3)對馬羽琉>(18)橋元結仁<→63'(15)庄司瑛人>(20)伊藤航<→63'(17)オツコロ海桜> [FW](14)八色隼人<→70'(13)土井空芽>

控え:(1)木田蓮人(4)三谷友浩

得点 11' 失点(0-1)、51' 八色隼人(1-1)、73' オツコロ海桜(2-1)、80+5' 林天音(3-1)

警告 52' 橋元結仁

第3戦

U-15日本代表

0 (前半0-2 後半0-0)

U-15フランス代表

●2025年11月1日 16:00 ●Bonneuil-sur-Marne ●試合時間:80分

日本(監督:平田礼次):[GK](1)木田蓮人 [DF](3)對馬羽琉(4)三谷友浩(5)林天音(15)庄司瑛人<→41'(16)鯨島充輝> [MF](7)花元蒼絆<→80+2'(11)遠藤優空>(8)深谷朔共<→72'(2)渡部直宏>(9)嵯峨日向(10)梶山蓮翔<→41'(14)八色隼人>(20)伊藤航<→41'(18)橋元結仁> [FW](13)土井空芽<→58'(17)オツコロ海桜>

控え:(12)小畑颯亮(6)酒井陽社(19)貞清聖門

得点 14', 32' 失点(0-1)(0-2)

なでしこジャパン MS&AD カップ2025/トレーニングマッチ

※85ページに関連記事あり

【スタッフ】

○監督:ニルス・ニールセン(NCS) ○コーチ:狩野倫久(NCS/SAGAWASHIGAFC)、リア・ブレインー(NCS) ○GKコーチ:西入俊浩(NCS) ○フィジカルコーチ:岡本隆吾(NCS/NTT東日本株式会社) ○テクニカルスタッフ:小杉光正(JFAテクニカルハウス)、見原慧(JFAテクニカルハウス)

<選手>

Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属
GK	山下杏也加	マンチェスター・シティ (ENG)	MF	三浦成美	ワシントン・スピリット (USA)
	平尾知佳	グラナダCF (ESP)		長野風花	リバプールFC (ENG)
	大熊茜	INAC神戸レオネッサ		中嶋淑乃	サンフレッチェ広島レジーナ
DF	熊谷紗希	ロンドン・シティ・ライオネス (ENG)		宮澤ひなた	マンチェスター・ユナイテッド (ENG)
	守屋都弥	エンジェル・シティ FC (USA)		吉田莉胡	INAC神戸レオネッサ
	北川ひかる	エバートン (ENG)		藤野あおば	マンチェスター・シティ (ENG)
	遠藤優	ウェストハム・ユナイテッド (ENG)		浜野まいか	チェルシー (ENG)
	南萌華	ブライトン・アンド・ホーヴ・アルビオン (ENG)		松窪真心	ノースカロライナ・カレッジ (USA)
	高橋はな	三菱重工浦和レッズレディース		谷川萌々子	バイエルン・ミュンヘン (GER)
	石川璃音	エバートン (ENG)	FW	田中美南	ユタ・ロイヤルズ (USA)
	白垣うの	セレッソ大阪ヤンマーレディース		清家貴子	ブライトン・アンド・ホーヴ・アルビオン (ENG)
	古賀塔子	トッテナム・ホットスパー (ENG)		植木理子	ウェストハム・ユナイテッド (ENG)
MF	成宮唯	INAC神戸レオネッサ			
	長谷川唯	マンチェスター・シティ (ENG)			

ENG: イングランド, ESP: スペイン, USA: アメリカ, GER: ドイツ

<スケジュール>

11月24日~25日 トレーニング
(ベネックス総合運動公園・陸上競技場)
26日~27日 トレーニング
(ベネックス総合運動公園・運動広場)
28日 公式トレーニング
(長崎スタジアムシティ(ピーススタジアム))
29日 MS&ADカップ2025
vs カナダ女子代表
(長崎スタジアムシティ(ピーススタジアム))
30日 トレーニング(諫早市サッカー場)
12月1日 トレーニング(トランスコスモススタジアム長崎)
2日 トレーニングマッチ
vs カナダ女子代表
(トランスコスモススタジアム長崎)

■カナダ女子代表 来日メンバー

Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属
GK	サブリナ・ダンジェロ	アストン・ビラ (ENG)	MF	ジュリア・グロツ	シカゴ・スターズ (USA)
	カレン・シェリダン	サンディエゴ・ウェーブ (USA)		シミ・アウジョ	マンチェスター・ユナイテッド (ENG)
	エミリー・バーンズ	FCナント (FRA)		フロリアン・ジョード	パリ・サンジェルマン (FRA)
DF	シェリナ・ザドルスキー	ウェストハム・ユナイテッド (ENG)	FW	アドリアナ・レオン	サンディエゴ・ウェーブ (USA)
	アシュリー・ローレンス	オリンピック・リヨン (FRA)		ジャニン・ソニス	レーシング・ルイビル (USA)
	バネッサ・ジル	バイエルン・ミュンヘン (GER)		ニシェル・プリンス	カンザスシティ・カレント (USA)
	マリー・ルバスール	モンペリエHSC (FRA)		エープリヌ・ピアン	ASローマ (ITA)
	シドニー・コリンズ	バイFC (USA)		ティレイニー・ベグ・ブリダム	オタワ・ラビッド
	ジェード・リビエール	マンチェスター・ユナイテッド (ENG)		ジョーディン・ウイテマ	シアトル・レイン (USA)
	ジェイド・ローズ	マンチェスター・シティ (ENG)		ホリー・ウォード	バンクーバー・ライズ
MF	マリーヤスミン・アリドゥ	ボートランド・ソーンズ (USA)			
	ジェシー・フレミング	ボートランド・ソーンズ (USA)			
	エマ・リーガン	AFCトロント			

ENG: イングランド, USA: アメリカ, FRA: フランス, GER: ドイツ, ITA: イタリア

監督 ナタリー・ヘンダーソン

<スケジュール>

11月28日 公式トレーニング
(長崎スタジアムシティ(ピーススタジアム))
29日 MS&ADカップ2025 vs なでしこジャパン
(日本女子代表)
(長崎スタジアムシティ(ピーススタジアム))

MS&AD カップ 2025

なでしこジャパン

3 (前半1-0 後半2-0)

カナダ女子代表

●2025年11月29日 15:31 ●長崎スタジアムシティ(ピーススタジアム) ●試合時間:90分 ●審判員:[主審]バク・セジン(KOR) [副審]ユン・ウニ(KOR)/ウー・チャオリ(CHN) [第4の審判員]モウ・ミンシヨナ(CHN) ●マッチコミッショナー:飯野琢人 ●観衆:8,634人

日本(監督:ニルス・ニールセン):[GK](1)山下杏也加 [DF](4)熊谷紗希<→88'(3)南萌華>(13)北川ひかる<→64'(21)守屋都弥>(5)高橋はな(6)古賀塔子 [MF](10)長野風花(7)宮澤ひなた(15)藤野あおば<→88'(26)吉田莉胡>(19)谷川萌々子<→74'(24)成宮唯> [FW](11)田中美南<→64'(20)松窪真心>(8)清家貴子<→64'(17)浜野まいか>

控え:(12)平尾知佳(23)大熊茜(2)遠藤優(9)植木理子(14)長谷川唯(16)三浦成美(18)白垣うの(22)石川璃音(25)中嶋淑乃

カナダ(監督:ナタリー・ヘンダーソン):[GK](1)カレン・シェリダン [DF](4)シェリナ・ザドルスキー(29)マリー・ルバスール<→81'(24)シドニー・コリンズ>(8)ジェード・リビエール(12)ジェイド・ローズ<→72'(14)バネッサ・ジル> [MF](17)ジェシー・フレミング<→81'(30)フロリアン・ジョード>(25)エマ・リーガン(13)シミ・アウジョ<→58'(7)ジュリア・グロツ> [FW](16)ジャニン・ソニス(15)ニシェル・プリンス<→58'(9)ジョーディン・ウイテマ>(27)ホリー・ウォード<→72'(11)エープリヌ・ピアン>

控え:(18)サブリナ・ダンジェロ(31)エミリー・バーンズ(10)アシュリー・ローレンス(19)アドリアナ・レオン(26)マリーヤスミン・アリドゥ

得点 [日本]43' 谷川萌々子(1-0)、51' 田中美南(2-0)、68' 藤野あおば(3-0)

警告 [カナダ]56' シミ・アウジョ、77' ジェード・リビエール

トレーニングマッチ

なでしこジャパン

1 (前半1-0 後半0-0)

カナダ女子代表

●2025年12月2日 14:00 ●トランスコスモススタジアム長崎 ●試合時間:90分 ●審判員:[主審]モウ・ミンシン [副審]ウー・チャオリ/ユン・ウニ [第4の審判員]バク・セジン ●マッチコミッショナー:飯野琢人 ●観衆:989人

日本(監督:ニルス・ニールセン):[GK](23)大熊茜<→11'(12)平尾知佳> [DF](3)南萌華(13)北川ひかる<→79'(18)白垣うの>(21)守屋都弥(22)石川璃音 [MF](14)長谷川唯<→HT(19)谷川萌々子>(15)藤野あおば<→79'(9)植木理子>(16)三浦成美<→HT(7)宮澤ひなた>(17)浜野まいか(20)松窪真心<→61'(25)中嶋淑乃> [FW](11)田中美南<→84'(5)高橋はな>

控え:(1)山下杏也加(2)遠藤優(4)熊谷紗希(6)古賀塔子(8)清家貴子(10)長野風花(24)成宮唯(26)吉田莉胡

カナダ(監督:ナタリー・ヘンダーソン):[GK](18)サブリナ・ダンジェロ [DF](4)シェリナ・ザドルスキー(14)バネッサ・ジル(24)シドニー・コリンズ [MF](17)ジェシー・フレミング(25)エマ・リーガン<→68'(13)シミ・アウジョ>(26)マリーヤスミン・アリドゥ<→68'(7)ジュリア・グロツ> [FW](11)エープリヌ・ピアン<→78'(9)ジョーディン・ウイテマ>(16)ジャニン・ソニス(19)アドリアナ・レオン<→78'(10)アシュリー・ローレンス>(27)ホリー・ウォード<→60'(15)ニシェル・プリンス>

控え:(1)カレン・シェリダン(31)エミリー・バーンズ(8)ジェード・リビエール(12)ジェイド・ローズ(29)マリー・ルバスール(30)フロリアン・ジョード

得点 [日本]45' 田中美南(1-0)

※国際Aマッチとして実施

U-17日本女子代表 FIFA U-17女子ワールドカップモロッコ2025

※90～93ページに関連記事あり

【スタッフ】

○団長：能仲太司(JFA女子委員会副委員長) ○監督：白井貞義(NCS) ○コーチ：横道玲香(NCS) ○GKコーチ：井嶋正樹(NCS) ○フィジカルコーチ：石井孝典(NCS) ○テクニカルスタッフ：見原慧(JFAテクニカルハウス)

<選手>

Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属
GK	関口明日香	セレッソ大阪ヤンマーガールズU-18	DF	古川心尋	JFAアカデミー福島	MF	須長穂乃果	日テレ・東京ヴェルディメニナ
	熊澤果歩	三菱重工浦和レッズレディースユース		佐藤百香	RB大宮アルディージャ WOMEN U18		中村心乃葉	セレッソ大阪ヤンマーガールズU-18
	山内れな	愛媛FCレディースMIKAN		根鈴花季	十文字高校		高橋佑奈	三菱重工浦和レッズレディースユース
DF	宮崎優那	マイナビ仙台レディースユース	MF	佐藤愛真	日本航空高校		福島望愛	JFAアカデミー福島
	小泉恵奈	AIE国際高校		佐野杏花	JFAアカデミー福島		式田和	日テレ・東京ヴェルディメニナ
	松岡瑛菜	日テレ・東京ヴェルディメニナ		佐藤色	十文字高校	FW	大野羽愛	高知学園高知高校
	青木夕菜	日テレ・東京ヴェルディメニナ		飯田零瑠	セレッソ大阪ヤンマーガールズU-18		平七海	INAC神戸レオネーサ

<スケジュール>

10月4日	トレーニング(高円宮記念JFA夢フィールド)	20日～21日	トレーニング	29日	ラウンド16 vs U-17コロンビア女子代表
5日	羽田発、バリ経由、フィレンツェ着	22日	グループステージ第2戦 vs U-17ザンビア女子代表 (Football Academy Mohammed VI (Pitch 3))		(Football Academy Mohammed VI (Pitch 2))
6日～8日	トレーニング			30日～31日	トレーニング
9日	ボローニャ発、カサブランカ着	23日～24日	トレーニング	11月1日	準々決勝 vs U-17朝鮮民主主義人民共和国女子代表 (Olympic Stadium of Rabat)
10日～18日	トレーニング	25日	グループステージ第3戦 vs U-17パラグアイ女子代表 (Football Academy Mohammed VI (Pitch 3))	2日	モロッコ発
19日	FIFA U-17女子ワールドカップモロッコ2025 グループステージ第1戦 vs U-17ニュージーランド女子代表 (Football Academy Mohammed VI (Pitch 3))	26日～28日	トレーニング	3日	日本着

■グループステージ

順位	グループA	イタリア	ブラジル	モロッコ	コスタリカ	勝ち点	勝	分	負	得点	失点	差
1	イタリア		4●3	3○1	3○0	9	3	0	0	10	4	6
2	ブラジル	3●4		3○0	1△1	4	1	1	1	7	5	2
3	モロッコ	1●3	0●3		3○1	3	1	0	2	4	7	-3
4	コスタリカ	0●3	1△1	1●3		1	0	1	2	2	7	-5

順位	グループB	朝鮮民主主義人民共和国	メキシコ	オランダ	カメルーン	勝ち点	勝	分	負	得点	失点	差
1	朝鮮民主主義人民共和国		2○0	5○0	2○1	9	3	0	0	9	1	8
2	メキシコ	0●2		1○0	1○0	6	2	0	1	2	2	0
3	オランダ	0●5	0●1		4○3	3	1	0	2	4	9	-5
4	カメルーン	1●2	0●1	3●4		0	0	0	3	4	7	-3

順位	グループC	アメリカ	中国	エクアドル	ノルウェー	勝ち点	勝	分	負	得点	失点	差
1	アメリカ		5○2	3○0	5○0	9	3	0	0	13	2	11
2	中国	2●5		4○0	5○0	6	2	0	1	11	5	6
3	エクアドル	0●3	0●4		2○0	3	1	0	2	2	7	-5
4	ノルウェー	0●5	0●5	0●2		0	0	0	3	0	12	-12

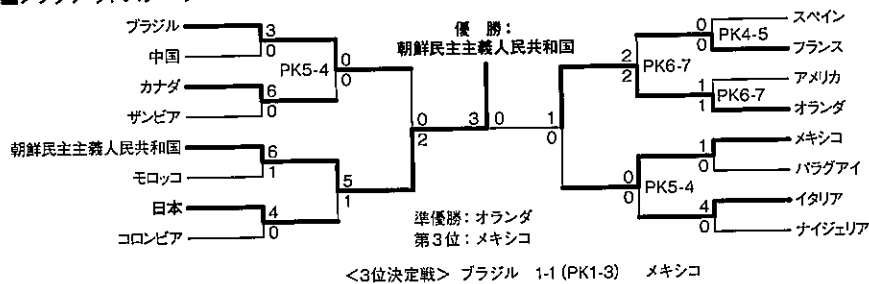
順位	グループD	カナダ	フランス	ナイジェリア	サモア	勝ち点	勝	分	負	得点	失点	差
1	カナダ		2○1	4○1	6○0	9	3	0	0	12	2	10
2	フランス	1●2		1○0	4○2	6	2	0	1	6	4	2
3	ナイジェリア	1●4	0●1		4○0	3	1	0	2	5	5	0
4	サモア	0●6	2●4	0●4		0	0	0	3	2	14	-12

順位	グループE	スペイン	コロンビア	韓国	コートジボワール	勝ち点	勝	分	負	得点	失点	差
1	スペイン		4○0	5○0	3○0	9	3	0	0	12	0	12
2	コロンビア	0●4		1○0	3○0	6	2	0	1	4	4	0
3	韓国	0●5	0●1		1△1	1	0	1	2	1	7	-6
4	コートジボワール	0●3	0●3	1△1		1	0	1	2	1	7	-6

順位	グループF	日本	パラグアイ	ザンビア	ニュージーランド	勝ち点	勝	分	負	得点	失点	差
1	日本		1△1	2○0	3○0	7	2	1	0	6	1	5
2	パラグアイ	1△1		2○1	4○1	7	2	1	0	7	3	4
3	ザンビア	0●2	1●2		4○0	3	1	0	2	5	4	1
4	ニュージーランド	0●3	1●4	0●4		0	0	0	3	1	11	-10

○:勝ち(勝ち点3)、△:引き分け(勝ち点1)、●:負け(勝ち点0)

■ノックアウトステージ



■大会各賞

FIFA Fair Play Trophy: スペイン

adidas Golden Ball: YU Jong Hyang(朝鮮民主主義人民共和国)
adidas Silver Ball: KIM Won Sim(朝鮮民主主義人民共和国)
adidas Bronze Ball: RENFURM Rosalie(オランダ)

adidas Golden Boot: YU Jong Hyang(朝鮮民主主義人民共和国/8得点2アシスト)
adidas Silver Boot: KIM Won Sim(朝鮮民主主義人民共和国/7得点1アシスト)
adidas Bronze Boot: GALLI Giulia(イタリア/5得点1アシスト)

adidas Golden Glove: MURRIETA Valentina(メキシコ)

グループステージ第1戦

U-17日本女子代表 3 (前半1-0 後半2-0) 0 U-17ニュージーランド女子代表

●2025年10月19日 14:00 ●Football Academy Mohammed VI(Pitch 3) ●試合時間:90分 ●審判員:[主審]WANJIRU Josephine(KEN) [副審]UMUTESI Alice(RWA) / SCHMID Linda(SUI) [第4の審判員]BERNATSKAIA Veronika(KGZ) ●マッチコミッショナー:ABUJABER Iman(PLE) ●観衆:204人

日本(監督:白井貞義):[GK](12)山内れな [DF](3)青木夕菜(5)古川心尋(6)松岡瑛菜(16)佐藤百音<→67'(19)小泉恵奈> [MF](7)須長穂乃果(10)福島望愛<→81'(14)佐藤色> (18)飯田聖瑠<→67'(11)高橋佑奈> [FW](8)中村心乃葉(9)平七海<→HT(15)式田和> (20)佐藤愛真<→HT(13)大野羽愛>

控え:(1)熊澤果歩(21)関口明日香(2)宮崎優那(4)佐野杏花(17)根鈴花李

ニュージーランド(監督:GUNN Alana):[GK](21)LEMMENS Nienke [DF](2)MARCH Charley<→HT(20)VOSPER Ariana> (3)ROBINS Holly(4)DES FOUNTAIN Freya<→85'(16)RIRINUI Lane> (5)BYERS Taylah [MF](6)BANGALAN Mikaela(8)ONEILL Piper<→HT(12)YOUNG Natalie> (10)VLOK Pia [FW](7)DUNCAN Grace(9)PUGH Katie<→68'(17)SOLOMON Kya> (13)VUJNOVICH Taylor<→72'(11)BENNETT Laura>

控え:(18)MEADOWS Emma(14)CANDY Sienna(15)TICHBON Keira(19)DRAAI Heidi

得点 [日本]38'青木夕菜(1-0)、75'福島望愛(2-0)、84'式田和(3-0)

グループステージ第2戦

U-17日本女子代表 2 (前半0-0 後半2-0) 0 U-17ザンビア女子代表

●2025年10月22日 17:00 ●Football Academy Mohammed VI(Pitch 3) ●試合時間:90分 ●審判員:[主審]GASPEROTTI Silvia(ITA) [副審]TEMPESTILLI Giulia(ITA) / SCHMID Linda(SUI) [第4の審判員]PESU Alina(ROU) ●マッチコミッショナー:WALLY Ismail(EGY) ●観衆:876人

日本(監督:白井貞義):[GK](1)熊澤果歩 [DF](3)青木夕菜(6)松岡瑛菜(17)根鈴花李(19)小泉恵奈<→78'(18)飯田聖瑠> [MF](7)須長穂乃果(10)福島望愛(14)佐藤色<→HT(16)佐藤百音> (15)式田和<→88'(20)佐藤愛真> [FW](8)中村心乃葉<→HT(11)高橋佑奈> (13)大野羽愛<→65'(9)平七海>

控え:(12)山内れな(21)関口明日香(2)宮崎優那(4)佐野杏花

ザンビア(監督:KANYEMBA Carol):[GK](18)CHINGWELE Loveness [DF](5)MWAPE Precious(8)NJOBVU Beatrice<→17'(14)KASEMA Natasha<→73'(12)NKAKA Natasha> (19)HANONGO Lweendo(21)KAUNDA Faith [MF](4)MALANDA Nana(10)MBALI Victoria<→85'(16)MBEWE Descent> (15)SIKALLOBA Sharon(17)MUBANGA Taonga [FW](6)PHIRI Grace(9)CHIPASULA Mercy

控え:(1)NYANGU Mary(2)MAZIMBA Gift(3)SICHAMBA Hellen(7)KAJIYA(11)SEKESEKE Maseia(13)TEMBO Taonga(20)NGABWE Esther

得点 [日本]69'須長穂乃果(1-0)、86'福島望愛(2-0)

警告 [ザンビア]66'PHIRI Grace

退場 [ザンビア]82'CHINGWELE Loveness

グループステージ第3戦

U-17日本女子代表 1 (前半0-0 後半1-1) 1 U-17パラグアイ女子代表

●2025年10月25日 20:00 ●Football Academy Mohammed VI(Pitch 3) ●試合時間:90分 ●審判員:[主審]CABAN Janeishka(PUR) [副審]MORA Mayra(MEX) / QUERO AGUILAR Aranza(MEX) [第4の審判員]GARCIA Lizzet(MEX) ●マッチコミッショナー:KARANGWA Jules(RWA) ●観衆:1,479人

日本(監督:白井貞義):[GK](21)関口明日香 [DF](2)宮崎優那<→87'(6)松岡瑛菜> (3)青木夕菜(5)古川心尋(16)佐藤百音(19)小泉恵奈<→87'(10)福島望愛> [MF](11)高橋佑奈(14)佐藤色<→65'(8)中村心乃葉> (18)飯田聖瑠 [FW](9)平七海<→65'(13)大野羽愛> (20)佐藤愛真<→76'(17)根鈴花李>

控え:(1)熊澤果歩(12)山内れな(4)佐野杏花(7)須長穂乃果(15)式田和

パラグアイ(監督:LUIS ALMEIDA):[GK](21)AMARILLA Tamara [DF](3)BENITEZ Luz(4)MORENO Ximena(6)PINTOS Jazmin [MF](7)AQUINO Fiorella<→60'(5)FLORENTIN Klara> (8)MUSSI Maite(16)FIGUEREDO Erika<→HT(15)GONZALEZ Fiorella> (17)CACERES Florencia(19)FRANCO Yuliza<→76'(14)TORRES Jazmin> [FW](9)BAREIRO Alison<→89'(11)MARTINEZ Claudia> (20)CASCO Cynthia<→80'(18)UCEDO Victoria>

控え:(1)RUIZ Estefani(12)VERGARA Paloma(2)OLMEDO Barbara(10)CABRERA Sofia(13)LEIVA Denisse

得点 [日本]90+5'福島望愛(1-1) [パラグアイ]62'BAREIRO Alison(0-1)

警告 [パラグアイ]45+1'CACERES Florencia

ラウンド16

U-17日本女子代表 4 (前半3-0 後半1-0) 0 U-17コロンビア女子代表

●2025年10月29日 20:00 ●Football Academy Mohammed VI(Pitch 2) ●試合時間:90分 ●審判員:[主審]PENNINGTON Alyssa(USA) [副審]SMITH Kali(USA) / MULLEN Meghan(USA) [第4の審判員]GASPEROTTI Silvia(ITA) ●マッチコミッショナー:LUBCZANSKI Gaston(USA) ●観衆:881人

日本(監督:白井貞義):[GK](12)山内れな [DF](3)青木夕菜<→75'(4)佐野杏花> (6)松岡瑛菜(16)佐藤百音(17)根鈴花李<→75'(2)宮崎優那> [MF](7)須長穂乃果<→62'(18)飯田聖瑠> (10)福島望愛<→62'(14)佐藤色> (11)高橋佑奈(15)式田和 [FW](8)中村心乃葉<→84'(9)平七海> (13)大野羽愛

控え:(1)熊澤果歩(21)関口明日香(5)古川心尋(19)小泉恵奈(20)佐藤愛真

コロンビア(監督:PANIAGUA Carlos):[GK](1)TEJADA Isabella [DF](2)CANO Laura(16)CORTES Izabela(17)GARCIA Sofia(20)COLLAZOS Shaira<→84'(13)AMADO Isabella> [MF](5)SANTA Isabella(6)CLAVIJO Ana(8)CRAWFORD London<→76'(19)CEBALLOS Camila> (10)MARTINEZ Ella(14)TODD Daniela<→67'(15)CASTILLO Angelica> [FW](7)BALDOVINO Alejandra<→84'(9)CORTES Camila>

控え:(12)PRIETO Sofia(21)DIAZ Melany(3)ORTIZ Sofia(4)PARGA Juanita(11)PUERTA Vanessa(18)HENAO Maura

得点 [日本]10'大野羽愛(1-0)、22'、57'福島望愛(2-0)(4-0)、43'中村心乃葉(3-0)

警告 [日本]85'式田和 [コロンビア]74'CRAWFORD London、82'CLAVIJO Ana

準々決勝

U-17日本女子代表 1 (前半1-3 後半0-2) 5 U-17朝鮮民主主義人民共和国女子代表

●2025年11月1日 20:00 ●Olympic Stadium of Rabat ●試合時間:90分 ●審判員:[主審]GASPEROTTI Silvia(ITA) [副審]TEMPESTILLI Giulia(ITA) / SORIANO Camille(FRA) [第4の審判員]GUTEVA Hristiyana(BUL) ●マッチコミッショナー:FUSTAGNO Fiorella(PAR) ●観衆:461人

日本(監督:白井貞義):[GK](12)山内れな [DF](3)青木夕菜(6)松岡瑛菜<→78'(19)小泉恵奈> (16)佐藤百音<→64'(5)古川心尋> (17)根鈴花李 [MF](7)須長穂乃果(10)福島望愛(11)高橋佑奈<→78'(20)佐藤愛真> (15)式田和<→90+1'(4)佐野杏花> [FW](8)中村心乃葉(13)大野羽愛<→HT(9)平七海>

控え:(1)熊澤果歩(21)関口明日香(2)宮崎優那(14)佐藤色(18)飯田聖瑠

朝鮮民主主義人民共和国(監督:PAK Song Jin):[GK](1)KIM Son Gyong [DF](2)YUN Jin A(3)RI Jin A(12)RYU Jin Ju(17)KIM Su Rim [MF](7)RI Ui Gyong(8)EH Chong Gum(9)RI Kyong Im(11)PAK Rye Yong<→90+4'(6)PAK Su Rim> [FW](10)YU Jong Hyang<→90+1'(20)PAEK So Hyang> (15)KIM Won Sim<→81'(16)RI Ye Rim>

控え:(18)KIM Su Jin(21)HONG Ryu Mi(4)OH Jin Sim(5)KIM Yon A(13)RI Hyo Yang(14)PAK Kum Mi(19)KIM Sun Nyo

得点 [日本]8'中村心乃葉(1-2) [朝鮮民主主義人民共和国]1'KIM Won Sim(0-1)、6'、90+6'RI Ui Gyong(0-2)(1-5)、22'YU Jong Hyang(1-3)、73'KIM Won Sim(1-4)

警告 [日本]13'松岡瑛菜

JFA エリートプログラムU-14日韓交流戦(JOC 日韓競技力向上スポーツ交流事業／韓国・木浦市)

【スタッフ】

○監督: 本吉剛(JC) ○コーチ: 和泉茂徳(愛媛FAコーチ) ○GKコーチ: 佐野智之(ガンバ大阪)

<選手>

Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属
GK	青木 肇	川崎フロンターレU-15生田	MF	齊藤 蓮介	青森山田中学校
	近藤 大和	FC LAVIDA		朝尾 桜介	ガンバ大阪ジュニアユース
DF	金子 諒哉	フジアーノ岡山U-15		畑 研一	鹿島アントラーズジュニアユース
	久米 愛斗	アビスノ福岡U-15		波多野 叶人	ヴィッセル神戸U-15
	上野 煌士郎	川崎フロンターレU-15生田		角隅 琉希	カタレ 富山U-15
	岩崎 隼人	FC東京U-15むさし		松田 龍之介	FC岐阜U-15
	宮岡 虎時	愛媛FC U-15		太田 葉流	北海道コンサドーレ札幌U-15
	高田 修司	ブロッサード佐野FC		野口 啓斗	ソレック 熊本
MF	中村 将也	京都サンガF.C.U-15	FW	駒野 友春	サンフレッチェ広島F.C.ジュニアユース
	井川 航	ジュビロ磐田U-15		磯部 怜夢	鹿島アントラーズジュニアユース

<スケジュール>

10月28日 トレーニング(韓国・木浦市)
29日 トレーニング(韓国・木浦市)
第1戦 vs U-14韓国代表(韓国・木浦市)
合同トレーニング(韓国・木浦市)
文化交流会
31日 トレーニング(韓国・木浦市)
第2戦 vs U-14韓国代表(韓国・木浦市)

JFA エリートプログラムU-13日韓交流戦(JOC 日韓競技力向上スポーツ交流事業／Jヴィレッジ)

【スタッフ】

○監督: 齊藤 大介(JC) ○コーチ: 中村 元彦(神奈川FAコーチ) ○GKコーチ: 斎藤 武志(モンテディオ山形)

<選手>

Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属
GK	山本 鳳太郎	京都サンガF.C.U-15	MF	梅津 悠吏	サガン鳥栖U-15
	加藤 澄明	サンフレッチェ広島F.C.ジュニアユース	FW	中家 颯大	北海道コンサドーレ札幌U-15
DF	松本 真大朗	東京ヴェルディジュニアユース		財田 幹太	青森山田中
	池田 耀星※1	ツエーゲン金沢U-15		浅野 海人	FC東京U-15深川
	若山 瑛琉	名古屋グランパスU-15		佐々木 蒼	栃木SC U-15
	竹川 碧※2	清水エスパルスジュニアユース		山本 龍星	京都サンガF.C.U-15
MF	馬目 羽琉	JFAアカデミー福島U-15		平松 大志	セレッソ大阪 西U-15
	古河 瑠亜	鹿島アントラーズジュニアユース		三浦 快	サンフレッチェ広島F.C.ジュニアユース
	井出 翼	柏レイソルU-15		前田 風晴	ソレック 熊本U-15
	稲田 夏希	ヴィッセル神戸U-15		大野 蒼希	神村学園中
	楠 綾翔	愛媛FC U-15			

<スケジュール>

11月3日～4日 トレーニング(Jヴィレッジ)
5日 トレーニング(Jヴィレッジ)
第1戦 vs U-13韓国代表(Jヴィレッジ)
合同トレーニング(Jヴィレッジ)
文化交流会
7日 トレーニング(Jヴィレッジ)
第2戦 vs U-13韓国代表(Jヴィレッジ)
8日 トレーニング(Jヴィレッジ)

※1: 体調不良のため離脱
※2: 追加招集

エリート女子GKキャンプU-16(Jヴィレッジ)

【スタッフ】

○GKコーチ: 小林 忍(JC/U-19日本女子代表GKコーチ)、山崎 史登(JFAアカデミー福島)

<選手>

Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属
GK	五十嵐 香奈	ノジマステラ神奈川相模原ドゥエ	GK	宮地 絢花	INAC神戸テゾーロ
	松井 美空	東海大学付属福岡高校		若月 りる葉	JFAアカデミー福島
	中川 響	柳ヶ浦高校		立花 実那	JFAアカデミー福島
	山中 実菜	藤枝順心高校			

<スケジュール>

11月4日 トレーニング(Jヴィレッジ)※JFAアカデミー福島合同
5日 トレーニング(Jヴィレッジ)
トレーニング(Jヴィレッジ)※JFAアカデミー福島合同
6日 トレーニング(Jヴィレッジ)

ナショナルトレセン女子U-14 中期

目的

日本女子サッカーの強化・発展のため、

- ①優秀な選手の発掘・育成
- ②選手・指導者のレベルアップ
- ③トレセン(トレーニングセンター)制度の充実・発展

主催

公益財団法人日本サッカー協会

協賛

JFAオフィシャルトップパートナー: キリンホールディングス株式会社

JFAオフィシャルサプライヤー: アディダス ジャパン株式会社

JFAメジャーパートナー: 全日本空輸株式会社、株式会社クレディセゾン、KDDI株式会社、三井不動産株式会社、株式会社みずほフィナンシャルグループ、MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社、TOYO TIRE 株式会社

JFAコンペティションパートナー: 株式会社モルテン

指導

公益財団法人日本サッカー協会 女子委員会 女子委員/女子委員・ナショナルコーチングスタッフ・JFAコーチ

期間

2025年11月13日(木)～11月16日(日) 3泊4日

開催場所

J-GREEN堺

選手参加資格

- ①本協会に加盟登録している女子(所属するチームの種別は問わない)
- ②年齢 原則として2011(平成23)年1月1日～2013(平成25)年4月1日出生
- ③日常的にトレセンで活動していること

※その他、スケジュール等の詳細についてはJFA公式ウェブサイト参照

【選手】

地域	Pos.	名前	所属
関東	GP	清水日向	クラッキスメニーナ
東北	GP	石塚琉葉	マイナビ仙台レディースジュニアユース
北信越	GP	小柳愛美	アルビレックス新潟レディース U-15
関東	GP	谷口瑚葉	ノジマステラ神奈川相模原アヴェニール
関西	GP	井本歩	CF. HANW @ PRINCESA U15
中国	GP	山根帆実	spes iwami SC
四国	GP	白石桔優	愛媛 FC レディース MIKAN
九州	GP	塚原愛留	ハ女学院女子フットボールクラブ
北海道	FP	柴田叶実	ASC 北海道レディース
北海道	FP	山内葉里衣	北海道リタ・コンサドーレ
北海道	FP	安田歩夢	北海道リタ・コンサドーレ
北海道	FP	飯山通羽	十勝 FS リトルガールズ U-15
東北	FP	澁谷理奈	ながいユナイテッドフットボールクラブ
東北	FP	小沼佳里奈	ピアンコーネ福島 U-15
東北	FP	伊藤陽菜	マイナビ仙台レディースジュニアユース
東北	FP	小竹泉実	マイナビ仙台レディースジュニアユース
関東	FP	山田知怜	浦和レッズレディースジュニアユース
関東	FP	平野笑帆	ジェフユナイテッド市原・千葉レディース U-15
関東	FP	岸本恵凜	ジェフユナイテッド市原・千葉レディース U-15
関東	FP	鈴木美尋	ノジマステラ神奈川相模原アヴェニール
関東	FP	朝岡明希	小美玉フットボールアカデミー
関東	FP	松田千紗	スフィード世田谷 FC ユース
関東	FP	由利桃子	浦和レッズレディースジュニアユース
関東	FP	山下明日未	ジェフユナイテッド市原・千葉レディース U-15
関東	FP	宮脇彩	浦和レッドダイヤモンズレディースジュニアユース
関東	FP	今泉奏	ちふれ A S エルフェン埼玉マリ U15
北信越	FP	澤村優奈	Laule FC
北信越	FP	前田愛佳	富山新庄クラブ U-15
北信越	FP	小暮咲絆	長岡 joias

地域	Pos.	名前	所属
北信越	FP	松本優菜	北陸大学フィオリレ
東海	FP	林蘭花	朝日インテック・ラブリッジ名古屋スターチス/JFA アカデミー堺
東海	FP	望月真鈴	常葉大学附属橘中学校女子サッカー部
東海	FP	伊藤心南	朝日インテック・ラブリッジ名古屋スターチス
東海	FP	目黒くらり	みえ高田 FC / JFA アカデミー堺
東海	FP	片桐咲良	FC 時之栖 U-15
東海	FP	中川心晴	朝日インテック・ラブリッジ名古屋スターチス
関西	FP	廣瀬琴羽	RESC GIRLS U-15 / JFA アカデミー堺
関西	FP	中原艶光	INAC 神戸テゾーロ
関西	FP	瀧本菜乃花	セレッソ大阪ヤンマーガールズ U-15
関西	FP	金井咲良	セレッソ大阪ヤンマーガールズ U-15
関西	FP	高平莉沙良	INAC 神戸テゾーロ
関西	FP	村田結	AC. gloria girls
中国	FP	魚本穂乃花	レノファ山口 FC U-15
中国	FP	松本悠愛	ディオッサ出雲 FC ジュニアユース
中国	FP	市川優来	サンフレッチェ広島レジーナ ジュニアユース
中国	FP	國枝千愛	サンフレッチェ広島レジーナ ジュニアユース
四国	FP	夢田実奈美	F. C. コーマレディースアザレア
四国	FP	玉田実愛	FC ディアモ
四国	FP	斎藤夢絆	FC STORY Tokushima メニーナ
四国	FP	坂村穂舞	SONIO BOLAMIGO FC / JFA アカデミー今治
九州	FP	山口りり歌	Fragrant 熊本
九州	FP	手島詩央梨	FC VALOR 唐津
九州	FP	江藤芽生	神村学園中等部女子サッカー部
九州	FP	野口そら	ハ女学院女子フットボールクラブ
九州	FP	山内俐乃	PLEASURE SC U-15
九州	FP	新屋乃彩	グランフォルティス沖縄 JY

U-15日本女子選抜 トレーニングキャンプ(J-GREEN堺)

【スタッフ】

○監督：横道玲香(JC/U-17日本女子代表コーチ) ○コーチ：白井貞義(JC/U-17日本女子代表監督)、三壁雄介(JC/名古屋経済大学)、三輪由衣(JC/帝塚山学院大学) ○GKコーチ：井嶋正樹(JC/U-17日本女子代表GKコーチ)、本村俊三(JC/札幌大谷学園)

<選手>

Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属
GK	大崎詩	ジェフユナイテッド市原・千葉レディースU-15	FP	増田彩衣里	浦和レッズレディースジュニアユース
	中上希優	浦和レッズレディースジュニアユース		成田葵菜	北海道コンサドーレ旭川U-15
	蛭川梅乃	RESC GIRLS U-15 / JFAアカデミー堺		深澤夏歩	常葉大学附属橘中学校
	松井彩笑歌	横須賀シーガルズMEG		田中亜依	朝日インテック・ラブリッジ名古屋アスター
FP	福田音色	磐田東高校		田中夢	ハ女学院女子フットボールクラブ
	渡邊優奈	JFAアカデミー福島		米倉和心	日テレ・東京ヴェルディメニーナ
	岡安あゆむ	FCクレセール淡路島U-15		下江世夏	INAC神戸テゾーロ
	海老名祈	アルビレックス新潟レディースU-15		中原千尋	サンフレッチェ広島レジーナ ジュニアユース
	大藪妃紗	神村学園中等部		前田彩羽	RESC GIRLS U-15 / JFAアカデミー堺
	平山樹歩	ノジマステラ神奈川相模原アヴェニール		渡辺ひなの	Rugart FC
	田中愛純香	JFAアカデミー福島		畠中葉千	高知学園高知中学校
	福住帆乃花	愛媛FCレディースMIKAN		林優明	セレッソ大阪ヤンマーガールズU-15
	林祐未	セレッソ大阪ヤンマーガールズU-15		高橋楓	ジェフユナイテッド市原・千葉レディースU-15
	伊藤かの果	ハ女学院女子フットボールクラブ		廣澤菜々子	富山レディースサッカークラブ
	今野友絵	マイナビ仙台レディースジュニアユース		諸田彩渚	日テレ・東京ヴェルディメニーナ
	福元蒼子	RESC GIRLS U-15 / JFAアカデミー堺		近藤音々	サンフレッチェ広島レジーナ ジュニアユース

<スケジュール>

11月17日～20日

トレーニング(J-GREEN堺)

全国地域サッカーチャンピオンズリーグ2025

本大会は（一財）全国社会人サッカー連盟とJFAの主催で、1次ラウンドは11月7日～9日に岩手県、福井県、高知県で、決勝ラウンドは11月20日～24日に千葉県で開催された。JFAに登録された第1種（準加盟を含む）のチーム、および全国社会人サッカー連盟に登録されたチームに出場資格が与えられ、各地域リーグの代表9チーム、全国社会人サッカー選手権大会の上位3チームの12チームが参加した。

※25ページに関連記事あり

■1次ラウンド

順位	グループA	都農	岳南	和歌山	富山新庄	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	ヴェロスコノス都農(全社1/宮崎)		1 〇 0	0 〇 0	3 〇 1	7	2	1	0	4	1	3
2	岳南Fモスベリオ(東海/静岡県)	0 〇 1		4 〇 3	1 〇 1	4	1	1	1	5	5	0
3	アルテリ-ヴォ和歌山(関西/和歌山)	0 〇 0	3 〇 4		0 〇 0	2	0	2	1	3	4	-1
4	富山新庄クラブ(北信越/富山)	1 〇 3	1 〇 1	0 〇 0		2	0	2	1	2	4	-2

順位	グループB	東京	福山	HYOGO	女川	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	東京ユナイテッドFC(関東/東京)		1 〇 0	0 〇 1	3 〇 0	6	2	0	1	4	1	3
2	福山シティFC(中国/広島)	0 〇 1		1 〇 0	2 〇 1	6	2	0	1	3	2	1
3	FC BASARA HYOGO(全社2/兵庫)	1 〇 0	0 〇 1		1 〇 0	6	2	0	1	2	1	1
4	コバルト-レ女川(東北/宮城)	0 〇 3	1 〇 2	0 〇 1		0	0	0	3	1	6	-5

■決勝ラウンド

順位	グループC	市原	ジェイリース	徳島	北海道	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	VONDS市原FC(全社3/千葉)		1 〇 0	5 〇 0	5 〇 0	9	3	0	0	11	0	11
2	ジェイリースFC(九州/大分)	0 〇 1		5 〇 1	1 〇 0	6	2	0	1	6	2	4
3	FC徳島(四国/徳島)	0 〇 5	1 〇 5		4 〇 0	3	1	0	2	5	10	-5
4	BTOP北海道(北海道)	0 〇 5	0 〇 1	0 〇 4		0	0	0	3	0	10	-10

順位	グループD	ジェイリース	市原	都農	東京	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	ジェイリースFC(九州/大分)		1 〇 0	0 〇 0	1 〇 0	7	2	1	0	2	0	2
2	VONDS市原FC(全社3/千葉)	0 〇 1		1 〇 0	1 〇 0	6	2	0	1	2	1	1
3	ヴェロスコノス都農(全社1/宮崎)	0 〇 0	0 〇 1		2 〇 1	4	1	1	1	2	2	0
4	東京ユナイテッドFC(関東/東京)	0 〇 1	0 〇 1	1 〇 2		0	0	0	3	1	4	-3

○:勝ち(勝ち点3)、△:引き分け(勝ち点1)、●:負け(勝ち点0)

【参加選手】

<BTOPO北海道> 監督:矢野哲也

矢野哲也、野馬孝介、梅田裕太、石渡波、盛山斗来、小川士夢、大坪楓哉、上田航平、濱大輝、大澤拓也、西田悠人、本塚聖也、鍋田秀斗、中村尚輝、木村晟明、鈴木然、高道勇壮、宮原輝、野作蓮、中尾慶心、山本豪士、勇碧、永川伶司、渡邊竜雅、山田彩輝

<コバルト・レ女川> 監督:葛野昌宏

古川裕貴、宗像利公、廣松聖聖、岩間裕太、竹内良、酒井隆也、小坪瑛士、坂本快人、宮阪淳也、黒田涼太、吉川佳介、吉森海斗、江幡俊介、田中翔、船本省吾、鈴木史哉、笠原啓夢、田原伊織、奥山泰裕、眞口幸太、三浦祐希、須田斗斗、野口龍也、志村弘樹、竹田そら、木下稀耶、佐藤俊馬

<東京ユナイテッドFC> 監督:福田雅

高橋謙太郎、大石文弥、島山諒介、箱崎拓、香西克哉、草住晃之介、新井秀明、弓崎田葵、宮田和哉、文嶋金和、吾妻駿、鈴木康孝、澤澤隼人、滝沢和司、伊藤光輝、和田悠汰、青木凱、潮川泰樹、室崎雄斗、酒井大輝、飯田虎之介、平松祐佑、岡田遼平、松久保拓斗、高木俊幸、安藤優人、藤本太、内山広太、野田武瑠

<富山新庄クラブ> 監督:朝日大輔

田村直樹、大原真陽、今村翼、山口結生、松原優吉、小野俊輔、平原隼也、宮越竜大、竹林晃輝、濱田唯規、片山修、富田大智、杉沢晴基、松岡昂哉、遠藤青空、窪田良、牛田敦也、桶川陽永、山下育海、橋本夢、尾崎秀太郎、松井元牙、松田康佑、飯島翼、宮下宙、近藤友聖、高木裕喜、森本迅斗

<岳南Fモスベリオ> 監督:嶋田将利

白杵裕太、太田俊輔、桑水流拓也、平松直也、寺田昂弥、鈴木大勢、長岡道、梅田至、深澤迅、藤田隼矢、後藤弘介、高木駿、佐野楓、中村太一、松本翔、中島澤音、原科勇我、田村雄太、神代一賢、平尾孝士朗、谷本理基、松井拓海、李昌福、西田輝

<アルテリーヴォ和歌山> 監督:三枝寛和

山口孝明、佐藤由維斗、磯部勤太、湊大芽、大橋優正、小久保裕也、山田大地、二木勇樹、吉谷有司、大迫武早志、下間蓮之介、中島雅貴、中山和紀、小池武蔵、高木颯太、柴田悠登、桑島良汰、大野幹生、杉浦晃太、山瀬翔輝、工藤和真、日根野達海、向井颯、植村友哉、橋本唯翔、和田幸之佑、北野純也、新田航士、操希翔、築山隼

<福山シティFC> 監督:小谷野拓夢

菊地大輝、村田要、松野輝樹、尹将英、二宮和輝、平松遼太郎、黒宮渉、高田健吾、萩野元伸、澤田健太、横山凌雅、代健司、藤井敦仁、塚田裕介、高橋大樹、若宮健人、深田竜大、角田薫平、小池陸斗、田口駿、松井治輝、野添友哉、杉浦力斗、神田凌太、馬越晃、高木大輝、ソノ・ホギョ、吉井佑輝、小野関虎之介、大久保龍一、ソノ・ホギョ

<FC徳島> 監督:羽地登志晃

瀧澤拓也、八代空良、吉田裕翔、カン・ギョフン、富永涼大、倉員宏人、山本直、前野恵吾、チヨン・ゴン、朴勇貴、小長谷勇樹、佐藤敬太、松下手舞希、出岡大輝、堀田耕太、谷山清人、大坪蘭、馬場雄大、加藤和尊、佐田正舟、岩崎雄永、河元海、キム・テファン、東山達稀、藤原優志、近藤蔵波、肥田稜平、瀧本高志、藤原志龍

<ジェイリースFC> 監督:柳川雅樹

加藤大喜、松田亮、大島孝太、岸田翔平、深澤卓真、本多琢人、高島淳也、林田隆介、高安孝幸、福元孝佑、佐藤昂洋、面矢行斗、菅野紘希、濱口功聖、渡邊有也、松本怜、島津頼盛、萩野広大、今吉晃平、田中純平、湯澤洋介、八反田康平、永松恭聖、高瀬生聖、西田恵、延祐太、津村夢人、園田卓馬、鳥飼操平、木島悠

<ヴェロスクロノス都農> 監督:小寺真人

赤塚怜、中野翔、浅井大地、中山開帆、久野龍心、松岡慎、山原慧也、柳田健太、高橋健、井上將弥、藤田大道、武田航太郎、藤本奎詩、堀島竜弥、梶山幹太、山内彰、中村亮、五領淳樹、味元陽明、永吉広大、永野雄大、中山雄希、山田雄太、濱田智也、上米良稔人、鈴木琉矢、田辺涼成、松本幹太、酒井信磨

<FC BASARA HYOGO> 監督:柏木佑介

鶴田海人、清水圭介、平塚竜輝、毛利隼、落合真一朗、山田隼輔、岸本駿朗、俣野亜以己、赤澤大志、倉田流宇、岡田海、ヨム・テファン、磯田信、松本健作、鍵山慶司、倉田大輝、小延将大、林洋毅、佐藤陽太、福西毅也、佐藤賢丞、丸岡満、大矢悠太郎、中坂勇哉、松原大芽、藤光翔、安岡佳毅、古谷三国、永田亮輔、五十嵐理人

<VONDS市原FC> 監督:向山聖也

折口輝樹、今川正樹、川村龍世、藤崎智貴、吉田和輝、中澤大翔、橋本文、西盤植竜斗、切石承之介、篠原弘次郎、須藤栄二、沼大希、有永一生、鬼島和希、水野泰輔、吉田力也、櫻庭晴人、後藤健太、郡司侑弥、大友千裕、荒井大、清原翔平、加藤勇司ベサーナ、本吉利安、一木立一、勝浦太郎、後藤準弥、大塚昂斗、佐久間太一、上本律輝

JFA 第13回全日本O-40サッカー大会

JFA が主催する本大会は、1986年4月1日以前生まれの2025年度JFA登録選手によって構成されたチームに参加資格が与えられた。今大会は、11月15日～17日に16チームが参加して、秋田県秋田市で開催された。

※ 81 ページに関連記事あり

■1次ラウンド

順位	グループA	エリス	札幌	AKITA	ジャマイカ	勝	分	負	得点	失点	差
1	エリス東京シニア40(関東1/東京)	100	100	301	9	3	0	0	5	1	4
2	北海道オッサンドーレ札幌40(北海道1)	001	000	101	2	0	2	1	1	2	-1
3	AKITA 秋田(開催地/秋田)	001	000	000	2	0	2	1	0	1	-1
4	ASジャマイカシニア(北信越2/新潟)	103	101	000	2	0	2	1	2	4	-2

順位	グループC	横浜	いわき	藤枝	アンフィニ	勝	分	負	得点	失点	差
1	横浜シニア(関東3/神奈川)	000	400	300	7	2	1	0	7	0	7
2	いわきシニアFC(東北/福島)	000	200	100	7	2	1	0	3	0	3
3	星ヶ峯フットボールクラブ(関東/静岡)	004	002	201	3	1	0	2	2	7	-5
4	アンフィニVANKEI FC40(北海道2)	003	001	102	0	0	0	3	1	6	-5

順位	グループB	四十雀	チャンプル	星ヶ峯	宇都宮	勝	分	負	得点	失点	差
1	広島四十雀サッカークラブ(中国/広島)	100	303	100	7	2	1	0	5	3	2
2	チャンプルオールド(関西/兵庫)	001	100	200	6	2	0	1	3	1	2
3	星ヶ峯フットボールクラブ(九州1/鹿児島)	303	001	100	4	1	1	1	4	4	0
4	BOLAMISC宇都宮(関東2/栃木)	001	002	001	0	0	0	3	0	4	-4

順位	グループD	長野	三宅	前橋	ここから	勝	分	負	得点	失点	差
1	セレン長野シニア(北信越1/長野)	103	201	300	6	2	0	1	6	4	2
2	三宅シニア(九州2/福岡)	301	202	101	5	1	2	0	6	4	2
3	tonan前橋 グランデ(関東4/群馬)	102	202	100	4	1	1	1	4	4	0
4	焼肉ここからFC(四国/高知)	003	101	001	1	0	1	2	1	5	-4

○:勝ち(勝ち点3)、△:引き分け(勝ち点1)、●:負け(勝ち点0)

【参加選手】

<北海道オッサンドーレ札幌40> 監督:野宮正祐樹

青木周平、飛鳥雅哉、永尾佑介、杉田浩治、中村信嗣、木村太一、原田剛志、杉本明哉、山中健樹、豊澤孝樹、江波尚和、菅原和紀、加藤大輔、鈴木健也、杉本亮、貞安雅昭、池田智之、銘名聡司、矢嶋宏至、小池光太郎、丸尾太陽、野宮正祐樹、納谷竜平、池田崇、木村時夢

<アンフィニVANKEI FC40> 監督:川橋諭

阿部一晴、川原大興、伊藤俊輔、富田泰平、吉田学、眞木善章、渡辺一史、秋場龍二、佐々木慎吾、盛知徳、赤城武志、中山貢輔、山川幸雄、灰塚拓史、佐藤光展、川橋諭、須田雅之、柴田裕人、畑田純一、小野甲介、吉原宏太、長谷川善一、森江友一、中田悟志、鹿内栄人

<いわきシニアFC> 監督:太田耕一

比佐健太郎、金子進、小池昌輝、三菅信、中條史博、峯丈晴、門馬亮太、鈴木学、小野雅史、本田雅俊、渡邊誠、越前谷公英、鹿崎耕司、高林誠、小野祐介、村上真也、渡邊実、松崎祐史、道下博伸、小野隆、松本晋輔、荒川彰大、笠原孝幸、桂島玄太、伊藤淳

<エリス東京シニア40> 監督:小林大祐

高橋克哉、杉本亮、山下国宏、小林大祐、熊谷寛、土井岳史、益子秀人、石川清司、大塚哲、福井佑太、尾崎修平、小松寛、加藤正樹、木村勇雄、板垣伸典、齋藤優、田村慶、篠原剛、岩崎淳、笠井宗幸、村山浩史、長谷川敏弘、谷川尊、佐藤仁、清岡賢二郎

■決勝ラウンド

エリス東京シニア40	2	
広島四十雀サッカークラブ	0	
横浜シニア	0	
セレン長野シニア	1	
優勝:エリス東京シニア40		
準優勝:セレン長野シニア		
第3位:広島四十雀サッカークラブ		
横浜シニア		

<BOLAMISC宇都宮> 監督:宇内俊文

岸川直樹、余川浩史、井野正行、高野修弥、岡部浩一、赤羽耕一、後藤寿世、西浦克尚、鹿目隆、坂田康博、小林千裕、亀山雅行、河本一成、柳沢貴之、森田信宏、白倉健太、熊倉満春、朝日影一、関根拓郎、山中良治、河村崇大、高秀賢史、戸村圭佑、野中圭、本田知行

<横浜シニア> 監督:遠山博人

後田真浩、小嶋周平、小笹健二、小池勝、斎藤哲也、萩生田真也、土屋康介、市村淳、小沼純矢、添野登、深江洋光、藤本裕充、田村嘉隆、平田順也、草柳聡、松永剛、土屋健太郎、大沼達也、鈴木俊平、阿部悠也、関口一海、斎藤正樹、榎原剛志、豊田雄志、久保田学

<tonan前橋 グランデ> 監督:中島正博

中村崇、山口定信、富宇加忠、山田裕也、浦部裕二、清水裕貴、木暮達也、藤本健太、勅使川原宏、杉山祐介、田中淳、本藤拓也、出浦陽文、池田剛、赤石裕章、久保田圭輔、小仁所洋平、川口将弘、長盤雄一、作田大地、山田一也、小林崇仁、井上信、高橋洋、峯岸和巳

<セレンソ長野シニア> 監督:土橋宏由樹

関忠昭、三栗寛士、菊池和貴、小原雅貴、石崎佑輔、矢畑智裕、小坂橋晴之、齋藤智閑、土橋宏由樹、川松俊隆、大竹良昌、百瀬重成、清水貴弘、島瀬峰彦、久保田祐介、大津陽助、古澤宏章、鎌戸裕史、勝又慶典、小林陽介、片山真人、武井沢也、玉林睦美、竹内仁、柿本倫明

<ASジャマイカシニア> 監督:浅妻信

佐山智仁、梅山修、毛島健太、山上泰明、森下英矢、角山伸、浅妻信、杵野誠一、長嶋敦久、野口政幸、長瀬聡、渡邊賢、阿部康司、吉田聡、吉沢祐介、高見誠治、堀川貴康、阿部孝亨、佐々木篤行、田中滋巳、角直也、朴成仁、安藤寛、村田桂

<藤枝フットボールクラブ> 監督:松村常一

渡辺隆之、高橋新一、石上歩、松村常一、松尾昌則、鈴木大輝、成川雄士、山田智紀、久保野崇士、荻野耕輔、杉山秀徳、向島雅之、曾根淳史、鈴木孝博、木戸吾郎、可見勇樹、増田哲也、時田大、海野創、萩田祐介、上田昌広、本林徹司、井口大輔、飯塚俊晴

<チャンプルオール> 監督:平川潤一

竹内和也、小池和正、岩田順司、奥野始、持延大輔、間島敦、岩田博行、西村淳、山口公平、中井二郎、春永代志、内野憲司、森村匡史、佐伯雄亮、井本達郎、楠田祐士、奈須伸也、嶋津源太、根倉圭史、村上範和、猿田浩得、廣田剛、宮川英之、三宅康一郎、小西宏明

<広島四十雀サッカークラブ> 監督:中川裕文

福田学、矢谷和裕、伊藤健一郎、堀下拓也、高津寛、深川誠二、藤永尚志、工藤耕一、坂田健二、森山登、寄井憲、大塚祐輔、西尾英明、河上伸司、山田祐一、森下陽一、坪井洋次、本田健司、奥田健壯、竹崎健治、田岡直樹、石橋潤一、阿部孝、河上健司、上田純治

<焼肉ここからFC> 監督:上村陽一

長瀬雅仁、武田憲一郎、寺石圭作、岡田健吾、山本直人、上村陽一、金子泰大、船越拓、中島侑一、本間正幸、安岡秀範、永谷正樹、藤田一博、岡崎修、有光正晴、氏原寛、森川大樹、北岡直也、谷脇明彦、大石真也、伊藤真人、楠瀬洋平、野村景介、田村南平、横山和志

<星ヶ峯フットボールクラブ> 監督:星枝佑二

福元英明、兒高翔、今村晋平、塚崎高政、松本誠吾、西村志、栗岡大、木尾隆一、相良雅裕、星枝佑二、佐伯皇明、狩元悠一郎、中野剛、義岡昌明、豊満直樹、赤崎陽輔、末吉敏、松田光雄、阿多祐樹、高多俊幸、田嶋宏充、福田和樹、椎原拓也、石谷吾一、郡山哲也

<三宅シニア> 監督:小西一朗

島津百太郎、野崎雅裕、吉田匡良、井上星童、井手孝俊、仲里浩二、石山博登、上村亮、川本夏実、松浦哲也、生山齊一郎、佛崎陽仁、吉田慎一郎、岡田昌司、渡邊太、徳本光宏、小井手翔太、中島英司、宇高幸雄、森隆志、坂本大樹、北島正彦、鬼塚龍、平蔵隼人、森田豪

<AKITA SC> 監督:加藤淳

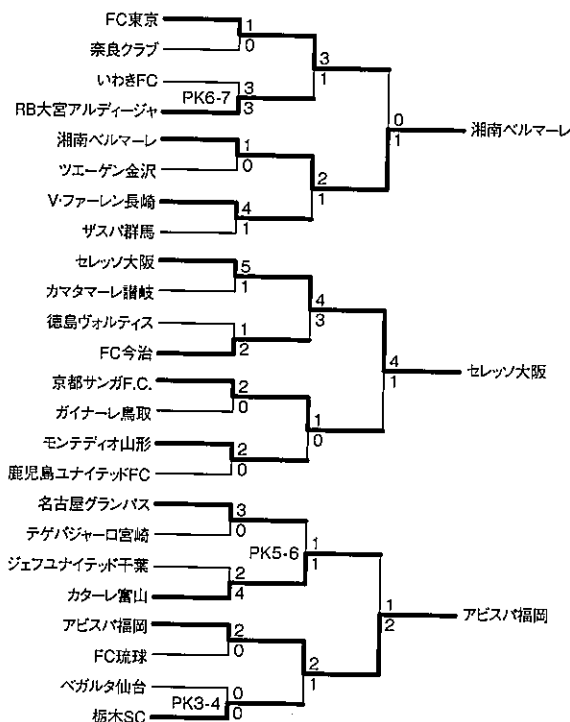
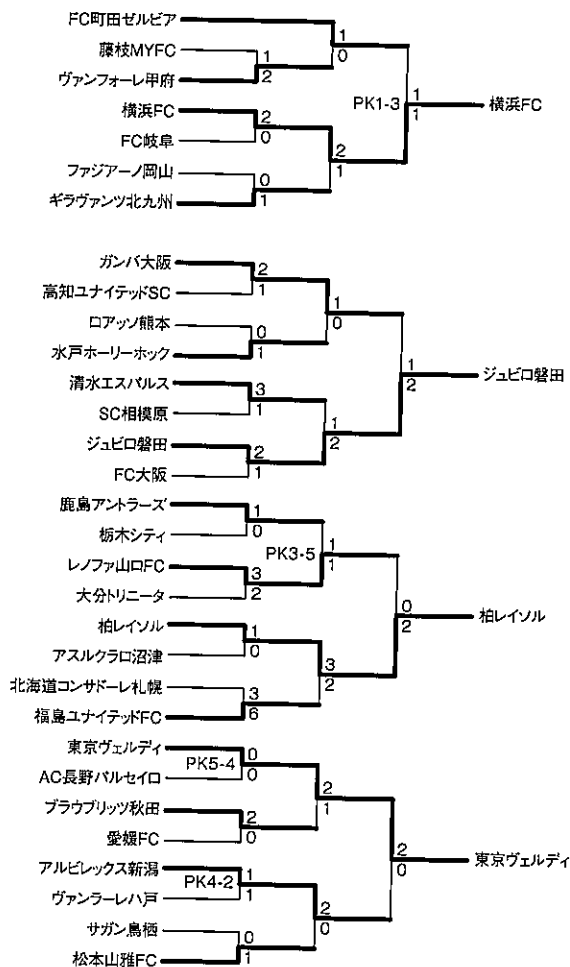
下山和樹、都泰紀、鈴木康仁、佐藤正樹、筒井秀幸、伊藤圭、今野誠、齋藤大樹、木内匠、上村和也、夏井輝、古城慎、加藤淳、石郷岡良彦、佐藤淳、斎藤誠、小川泰弘、菊池広之、相場烈人、小玉翼、村上学、佐藤充、五十嵐弘治、小笠原正樹、宮根豪

2025JリーグYBCルヴァンカップ

J1とJ2とJ3の全60チームが参加。1stラウンドはFIFAクラブワールドカップ2025、AFCチャンピオンズリーグエリート2024/25、AFCチャンピオンズリーグ2024/25に出場する5チーム(浦和、神戸、川崎F、横浜FM、広島)を除くJ1の15チームとJ2の20チームとJ3の20チームの55チームを7グループに分けて1試合制のノックアウト方式を実施。プレーオフラウンドでは1stラウンドを勝ち上がった7チームおよびAFCチャンピオンズリーグ2024/25に出場するチーム(広島)を加えた計8チームにより、ホーム&アウェイ方式の2試合を行った。ブライムラウンドではプレーオフラウンドを勝ち上がった4チーム、およびFIFAクラブワールドカップ2025、AFCチャンピオンズリーグエリート2024/25に出場する4チーム(浦和、神戸、川崎F、横浜FM)を加えた計8チームにより、ホーム&アウェイ方式のトーナメント戦を実施した(決勝は1試合のみ)。今大会は3月20日~11月1日に行われた。

※23ページに関連記事あり

■1stラウンド



■プレーオフラウンド

■プライムラウンド

サンフレッチェ広島	①0-1	2	サンフレッチェ広島
アビスパ福岡	②2-1PK4-3	2	
横浜FC	①1-4	5	横浜FC
セレッソ大阪	②4-0	4	
ジュビロ磐田	①0-2	1	湘南ベルマーレ
湘南ベルマーレ	②1-0	2	
柏レイソル	①3-0	5	柏レイソル
東京ヴェルディ	②2-1	1	

柏レイソル	①4-1	5	サンフレッチェ広島	①2-3	6	サンフレッチェ広島
横浜F・マリノス	②1-0	1		②4-1	4	湘南ベルマーレ
川崎フロンターレ	①1-1	4	①1-3	5	1	3
浦和レッズ	②3-2	3	②4-1	4	4	1

※決勝トーナメントはホーム&アウェイ方式。準々決勝・準決勝／第1戦(①)は下部のチームのホームとし、第2戦(②)は上部のチームのホームとする。
決勝はトーナメント表左側のチームをホーム扱いとする

第27回日本フットボールリーグ

16チームによる2回戦総当たりリーグ方式(ホーム&アウェイ方式)で実施。
なお、JFL16位チームは地域リーグへ自動降格、JFL15位チームは全国地域サッカーチャンピオンズリーグ2位チームと入れ替え戦を行う。

※24ページに関連記事あり

■戦績表

戦績表

順位	チーム名		ホンダ	滋賀	浦安	枚方	青森	V大分	V三重	沖縄	岩手	ミネバ	マルヤス	新宿	YSCC	武蔵野	鈴鹿	飛鳥	順位	勝	分	負	得点	失点	差
1	Honda FC	H		300	203	101	001	000	201	301	202	103	200	000	200	201	302	302	60	17	9	4	51	28	23
	A		200	000	402	202	102	101	000	200	100	201	200	000	100	502	201	56	16	8	6	47	35	12	
2	レイラック滋賀	H	002		101	301	100	100	101	203	103	202	101	100	200	001	402	201	56	16	8	6	47	35	12
	A	003		202	100	100	100	301	102	101	302	202	303	200	100	301	302	52	14	10	6	35	25	10	
3	ブリオベッカ浦安・市川	H	000	202		100	000	301	001	100	100	200	200	003	101	101	302	52	14	10	6	35	25	10	
	A	302	101		103	100	103	000	001	101	400	302	100	001	000	100	000	50	15	5	10	58	42	16	
4	FCティアモ枚方	H	204	001	301		501	002	100	202	401	201	102	100	302	400	300	201	50	15	5	10	58	42	16
	A	101	103	001		202	200	203	300	302	101	200	203	102	302	103	101	50	14	8	8	40	33	7	
5	ラインメール青森	H	202	001	001	202		003	001	303	201	100	202	201	300	100	100	301	50	14	8	8	40	33	7
	A	100	001	000	105		001	101	400	201	401	104	100	201	100	000	000	49	14	7	9	41	33	8	
6	ヴェルスパ大分	H	201	001	301	002	100		000	204	001	201	200	102	302	300	201	201	49	14	7	9	41	33	8
	A	000	001	103	200	300		000	101	204	201	100	203	201	202	000	000	45	11	12	7	38	25	13	
7	ヴァアティン三重	H	101	001	000	302	101	000		600	101	201	002	101	301	001	100	000	45	11	12	7	38	25	13
	A	102	101	100	001	100	000		001	002	101	100	202	500	200	303	100	43	12	7	11	39	41	-2	
8	沖縄SV	H	000	103	100	003	004	101	100		501	102	001	300	400	001	201	100	43	12	7	11	39	41	-2
	A	103	302	001	202	303	402	006		201	100	101	001	200	000	002	000	39	11	6	13	45	49	-4	
9	いわてグルージャ盛岡	H	002	201	101	203	102	402	200	102		001	300	103	303	301	102	101	39	11	6	13	45	49	-4
	A	202	301	001	104	102	100	101	105		205	000	100	302	201	200	001	34	9	7	14	40	41	-1	
10	ミネバアミツミFC	H	001	101	004	101	104	102	101	001	502		101	101	300	501	400	100	34	9	7	14	40	41	-1
	A	301	202	002	102	001	102	102	201	100		203	000	001	001	201	002	34	9	7	14	40	41	-1	
11	FCマルヤス岡崎	H	102	203	203	002	401	001	001	101	000	302		100	001	001	000	100	34	9	7	14	40	41	-1
	A	002	101	002	201	202	002	200	100	003	101		002	102	100	201	101	33	8	9	13	29	34	-5	
12	クリアソン新宿	H	002	202	001	302	001	302	202	100	001	000		200	202	301	101	002	33	8	9	13	29	34	-5
	A	000	001	001	001	102	201	101	003	301	101	001		200	000	001	001	30	8	6	16	35	56	-21	
13	Y.S.C.C.横浜	H	000	303	100	201	102	102	005	002	203	100	201	002		001	102	101	30	8	6	16	35	56	-21
	A	002	002	300	203	003	203	103	004	303	003	100	202		000	302	301	29	7	8	15	17	37	-20	
14	横浜武蔵野FC	H	001	002	000	203	001	202	002	000	102	100	001	000	000		100	000	29	7	8	15	17	37	-20
	A	102	100	101	004	001	003	100	100	103	105	100	103	100		001	000	28	7	7	16	30	46	-16	
15	アトレチコ鈴鹿	H	205	001	001	301	000	000	303	200	002	102	102	100	203	100		100	28	7	7	16	30	46	-16
	A	203	204	101	003	001	102	001	102	201	004	000	101	201	001		101	24	4	12	14	22	33	-11	
16	飛鳥FC	H	102	103	000	101	000	000	001	000	100	200	101	100	103	000	101		24	4	12	14	22	33	-11
	A	203	102	203	102	103	102	000	001	101	001	001	200	101	000	001		24	4	12	14	22	33	-11	

○:勝 ●:敗 △:引き分け、H:ホーム A:アウェイ

2025年度JFL・地域入れ替え戦

※24～25ページに関連記事あり

アトレチコ鈴鹿 0-1(0-0、0-0、0-1)延長 VONDS市原FC

⇒※ VONDS市原FCは「日本フットボールリーグ」入会条件をクリア。

FIFA U-20ワールドカップチリ2025

※86～89ページに関連記事あり

■グループステージ 試合結果

グループ	日時		対戦結果		会場
A	9月27日	20:00	チリ	2-1(0-0)	ニュージーランド
		17:00	日本	2-0(1-0)	エジプト
	9月30日	20:00	チリ	0-2(0-0)	日本
		17:00	エジプト	1-2(1-2)	ニュージーランド
	10月3日	20:00	エジプト	2-1(0-1)	チリ
		20:00	ニュージーランド	0-3(0-1)	日本
B	9月27日	17:00	韓国	1-2(0-2)	ウクライナ
		20:00	パラグアイ	3-2(1-1)	パナマ
	9月30日	20:00	韓国	0-0(0-0)	パラグアイ
		17:00	パナマ	1-1(1-1)	ウクライナ
	10月3日	17:00	パナマ	1-2(0-1)	韓国
		17:00	ウクライナ	2-1(0-0)	パラグアイ
C	9月28日	20:00	ブラジル	2-2(1-1)	メキシコ
		17:00	モロッコ	2-0(0-0)	スペイン
	10月1日	20:00	ブラジル	1-2(0-0)	モロッコ
		17:00	スペイン	2-2(1-1)	メキシコ
	10月4日	17:00	スペイン	1-0(0-0)	ブラジル
		17:00	メキシコ	1-0(0-0)	モロッコ
D	9月28日	17:00	イタリア	1-0(1-0)	オーストラリア
		20:00	キューバ	1-3(1-2)	アルゼンチン
	10月1日	17:00	イタリア	2-2(2-0)	キューバ
		20:00	アルゼンチン	4-1(2-0)	オーストラリア
	10月4日	20:00	アルゼンチン	1-0(0-0)	イタリア
		20:00	オーストラリア	3-1(2-0)	キューバ
E	9月29日	20:00	アメリカ	9-1(7-0)	ニューカレドニア
		17:00	フランス	2-1(1-1)	南アフリカ
	10月2日	17:00	アメリカ	3-0(0-0)	フランス
		20:00	南アフリカ	5-0(3-0)	ニューカレドニア
	10月5日	17:00	南アフリカ	2-1(2-1)	アメリカ
		17:00	ニューカレドニア	0-6(0-1)	フランス
F	9月29日	20:00	コロンビア	1-0(0-0)	サウジアラビア
		17:00	ノルウェー	1-0(1-0)	ナイジェリア
	10月2日	17:00	コロンビア	0-0(0-0)	ノルウェー
		20:00	ナイジェリア	3-2(2-1)	サウジアラビア
	10月5日	20:00	ナイジェリア	1-1(0-0)	コロンビア
		20:00	サウジアラビア	1-1(0-0)	ノルウェー

■ノックアウトステージ 試合結果

	日時		対戦結果		会場
ラウンド16	10月7日	20:00	チリ	1-4(0-1)	メキシコ
		16:30	ウクライナ	0-1(0-1)	スペイン
	10月8日	16:30	アルゼンチン	4-0(2-0)	ナイジェリア
		16:30	コロンビア	3-1(1-0)	南アフリカ
		20:00	パラグアイ	0-1(0-0, 0-0)延長	ノルウェー
		20:00	日本	0-1(0-0, 0-0)延長	フランス
	10月9日	16:30	アメリカ	3-0(1-0)	イタリア
		20:00	モロッコ	2-1(1-0)	韓国
準々決勝	10月11日	20:00	メキシコ	0-2(0-1)	アルゼンチン
		17:00	スペイン	2-3(0-1)	コロンビア
	10月12日	17:00	アメリカ	1-3(1-1)	モロッコ
		20:00	ノルウェー	1-2(0-2)	フランス
準決勝	10月15日	20:00	アルゼンチン	1-0(0-0)	コロンビア
		17:00	モロッコ	1-1(0-1, 1-0) PK5-4	フランス
3位決定戦	10月18日	16:00	コロンビア	1-0(1-0)	フランス
決勝	10月19日	20:00	アルゼンチン	0-2(0-2)	モロッコ

※キックオフ日時は現地時間

FIFA U-17女子ワールドカップモロッコ2025

※90～93ページに関連記事あり

■グループステージ 試合結果

グループ	日時		対戦結果			会場
A	10月17日	20:00	モロッコ	0-3 (0-2)	ブラジル	RABAT
	10月18日	14:00	イタリア	3-0 (1-0)	コスタリカ	SALE
	10月21日	20:00	モロッコ	1-3 (0-3)	イタリア	RABAT
		17:00	コスタリカ	1-1 (1-0)	ブラジル	SALE
	10月24日	20:00	コスタリカ	1-3 (0-2)	モロッコ	RABAT
		20:00	ブラジル	3-4 (1-2)	イタリア	SALE
B	10月18日	20:00	朝鮮民主主義人民共和国	2-0 (2-0)	メキシコ	SALE
		20:00	カメルーン	3-4 (2-3)	オランダ	SALE
	10月21日	14:00	朝鮮民主主義人民共和国	2-1 (0-1)	カメルーン	SALE
		20:00	オランダ	0-1 (0-0)	メキシコ	SALE
	10月24日	20:00	オランダ	0-5 (0-2)	朝鮮民主主義人民共和国	SALE
		20:00	メキシコ	1-0 (0-0)	カメルーン	SALE
C	10月18日	20:00	アメリカ	3-0 (3-0)	エクアドル	SALE
		14:00	中国	5-0 (2-0)	ノルウェー	SALE
	10月21日	17:00	アメリカ	5-2 (3-1)	中国	SALE
		20:00	ノルウェー	0-2 (0-1)	エクアドル	SALE
	10月24日	14:00	ノルウェー	0-5 (0-1)	アメリカ	SALE
		14:00	エクアドル	0-4 (0-4)	中国	SALE
D	10月19日	20:00	ナイジェリア	1-4 (1-1)	カナダ	SALE
		17:00	フランス	4-2 (3-1)	サモア	SALE
	10月22日	20:00	ナイジェリア	0-1 (0-0)	フランス	SALE
		17:00	サモア	0-6 (0-2)	カナダ	SALE
	10月25日	17:00	サモア	0-4 (0-3)	ナイジェリア	SALE
		17:00	カナダ	2-1 (1-0)	フランス	SALE
E	10月19日	14:00	韓国	1-1 (0-1)	コートジボワール	SALE
		20:00	スペイン	4-0 (3-0)	コロンビア	SALE
	10月22日	14:00	スペイン	5-0 (2-0)	韓国	SALE
		20:00	コートジボワール	0-3 (0-1)	コロンビア	SALE
	10月25日	14:00	コートジボワール	0-3 (0-0)	スペイン	SALE
		14:00	コロンビア	1-0 (0-0)	韓国	SALE
F	10月19日	14:00	日本	3-0 (1-0)	ニュージーランド	SALE
		20:00	ザンビア	1-2 (1-2)	パラグアイ	SALE
	10月22日	17:00	日本	2-0 (0-0)	ザンビア	SALE
		20:00	パラグアイ	4-1 (0-1)	ニュージーランド	SALE
	10月25日	20:00	パラグアイ	1-1 (0-0)	日本	SALE
		20:00	ニュージーランド	0-4 (0-2)	ザンビア	SALE

■ノックアウトステージ 試合結果

	日時		対戦結果			会場
ラウンド16	10月28日	16:30	ブラジル	3-0 (1-0)	中国	SALE
		20:00	朝鮮民主主義人民共和国	6-1 (4-0)	モロッコ	RABAT
		16:30	アメリカ	1-1 (0-1) PK6-7	オランダ	SALE
		20:00	イタリア	4-0 (1-0)	ナイジェリア	SALE
	10月29日	20:00	カナダ	6-0 (3-0)	ザンビア	SALE
		20:00	日本	4-0 (3-0)	コロンビア	SALE
		16:30	スペイン	0-0 (0-0) PK4-5	フランス	SALE
		16:30	メキシコ	1-0 (1-0)	パラグアイ	SALE
準々決勝	11月1日	16:30	ブラジル	0-0 (0-0) PK5-4	カナダ	RABAT
		20:00	朝鮮民主主義人民共和国	5-1 (3-1)	日本	RABAT
	11月2日	16:30	フランス	2-2 (1-0) PK6-7	オランダ	RABAT
		20:00	メキシコ	0-0 (0-0) PK5-4	イタリア	RABAT
準決勝	11月5日	16:30	ブラジル	0-2 (0-1)	朝鮮民主主義人民共和国	RABAT
		20:00	オランダ	1-0 (0-0)	メキシコ	RABAT
3位決定戦	11月8日	16:30	ブラジル	1-1 (0-0) PK1-3	メキシコ	RABAT
決勝	11月8日	20:00	朝鮮民主主義人民共和国	3-0 (3-0)	オランダ	RABAT

※キックオフ日時は現地時間



EMPEROR'S CUP JFA 105TH JAPAN FOOTBALL CHAMPIONSHIP

天皇杯 JFA 第105回全日本サッカー選手権大会

第1部 大会結果一覧 P65

第2部 全試合公式記録 P66

第3部 参加88チーム・登録選手 P76

※20~21ページに関連記事あり

大会概要

主催 公益財団法人日本サッカー協会、
公益財団法人日本プロサッカーリーグ

共催 NHK / 共同通信社
※上記に加え、1回戦~準々決勝は各開催会場の都道府県に所在する共同
通信加盟新聞社が共催

主管 都道府県サッカー協会

特別協賛 株式会社SCOグループ

協賛 JFAオフィシャルトップパートナー：キリンホールディングス株式会社
JFAオフィシャルサプライヤー：アディダス ジャパン株式会社
JFAコンペティションパートナー：株式会社モルテン、ニチバン株式会社、
トヨタ自動車株式会社

天皇杯アスバス！パートナー サカタインクス株式会社

大会方式 ノックアウト方式

出場チーム 全88チーム（J1-20チーム、J2-20チーム、シード1チーム（※）、
都道府県代表 / 47チーム
※全日本大学サッカー連盟選出 / 東洋大学

大会日程 1回戦 5月24日（土）、25日（日）[予備日：5月28日（水）]
※J2チーム、アマチュアシードチーム、都道府県代表チーム出場

2回戦 6月11日（水）[予備日：6月18日（水）]
※J1・J2チーム出場

3回戦 7月16日（水）[予備日：7月23日（水）]

ラウンド16 8月6日（水）[予備日：8月13日（水）]
（4回戦）

準々決勝 8月27日（水）[予備日：9月10日（水）]

準決勝 11月16日（日）

決勝 11月22日（土）

表彰

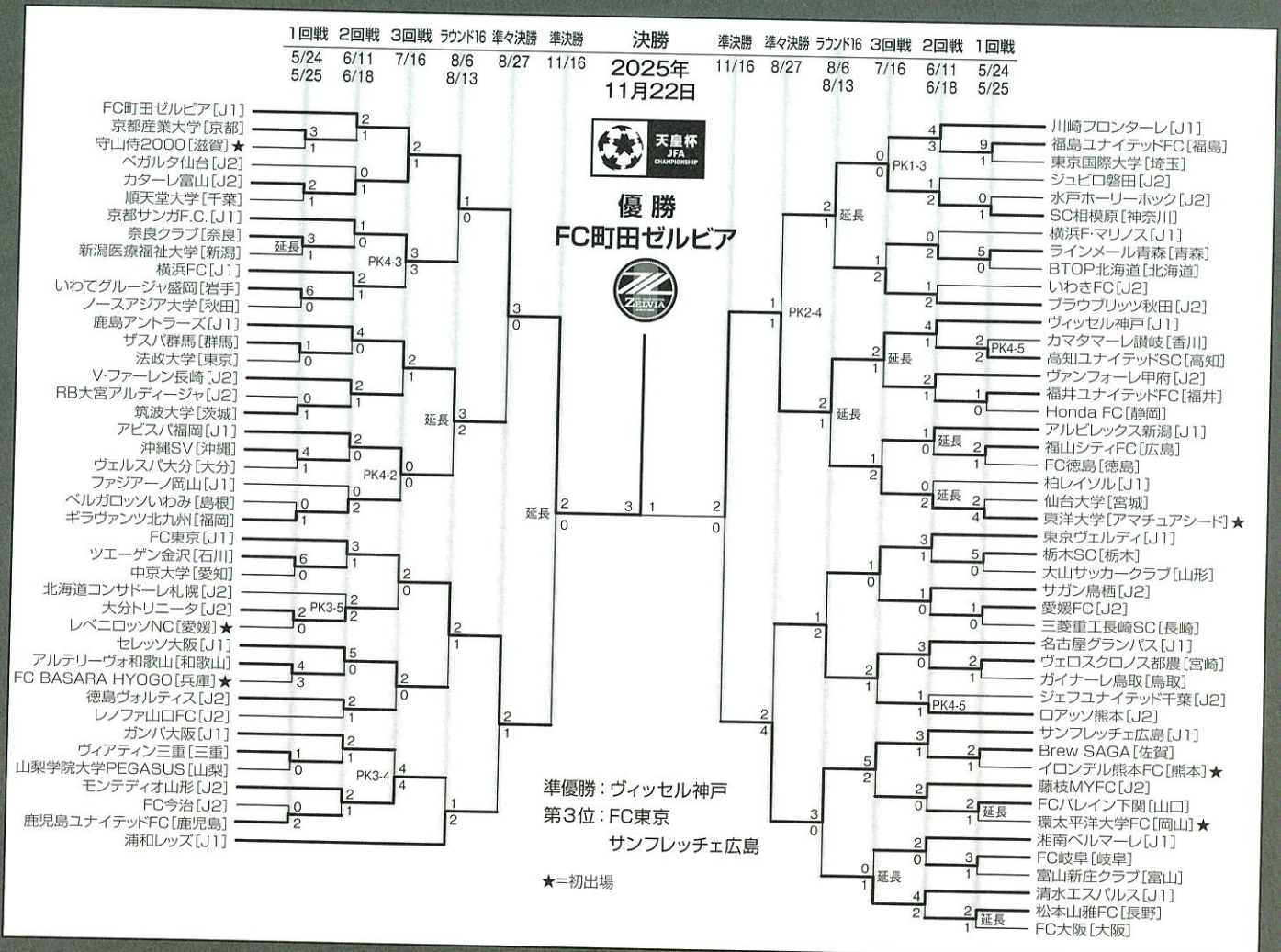
優勝 天皇杯、JFA杯、FAシルバーカップ、JOC杯、
NHK杯、共同通信社杯、ドイツ杯、表彰状、メダル

準優勝 NHK杯、共同通信社杯、表彰状、メダル

優勝 150,000,000円

準優勝 50,000,000円

第3位 20,000,000円（1チームあたり）





天皇杯
JFA
CHAMPIONSHIP

第1部 大会結果一覧

■1回戦

No.	日時	対戦	対戦	会場	観衆(人)	
[1]	5月24日 15:00	カマタマーレ讃岐	2-2 (0-0, 1-1, 0-0) PK4-5	高知ユニテッドSC	Pikaraスタジアム	658
[2]	5月25日 13:00	福岡ユニテッドFC	1-0 (0-0)	Honda FC	テクノポート福岡スタジアム	548
[3]	5月25日 13:04	福山シティFC	2-1 (0-0)	FC徳島	エディオンピースウイング広島	869
[4]	5月24日 13:01	仙台大学	2-4 (2-4)	東洋大学	みやぎ生協めぐみ野フットボール場・Bグラウンド	205
[5]	5月25日 13:00	福島ユニテッドFC	9-1 (5-1)	東京国際大学	とうほう・みんなのスタジアム	633
[6]	5月24日 13:03	水戸ホーリーホック	0-1 (0-0)	SC相模原	ケーズデンキスタジアム水戸	1,713
[7]	5月25日 13:00	ラインメール青森	5-0 (1-0)	BTOP北海道	ブライフォーススタジアム	292
[8]	5月25日 13:00	ヴィアティン三重	1-0 (0-0)	山梨学院大学PEGASUS	三重交通Gスポーツの杜鈴鹿サッカー・ラグビー場メインG	453
[9]	5月25日 13:00	FC今治	0-2 (0-0)	鹿児島ユニテッドFC	アシックス里山スタジアム	1,597
[10]	5月25日 13:01	ザスパ草津	1-0 (0-0)	法政大学	アースケア敷島サッカー・ラグビー場	1,264
[11]	5月25日 14:03	RB大宮アルディージャ	0-1 (0-1)	筑波大学	NACK5スタジアム大宮	4,826
[12]	5月25日 13:00	沖縄SV	4-1 (2-0)	ヴェルスパ大分	沖縄県総合運動公園陸上競技場	290
[13]	5月25日 13:00	ベルガロッソいわみ	0-1 (0-1)	ギラヴァンツ北九州	島根県立浜山公園陸上競技場	679
[14]	5月24日 13:00	Brew SAGA	2-1 (1-1)	イロデル熊本FC	SAGAサンライズパークSAGAスタジアム	235
[15]	5月25日 13:00	FCパレイソ下関	2-1 (0-1, 1-0, 1-0) 延長	環太平洋大学FC	セービング陸上競技場	712
[16]	5月24日 12:59	FC岐阜	3-1 (1-0)	富山新庄クラブ	岐阜メモリアルセンター新日本ガスケイメドウ	835
[17]	5月25日 13:00	松本山雅FC	2-1 (1-0, 0-1, 1-0) 延長	FC大阪	サンプロ アルウィン	3,560
[18]	5月25日 13:00	ツエーゲン金沢	6-0 (1-0)	中京大学	金沢ゴールキーパーズスタジアム	1,385
[19]	5月25日 13:00	大分トリニータ	2-0 (2-0)	レベニロッソNC	クラサドーム大分	3,168
[20]	5月25日 13:00	アルテリーヴォ和歌山	4-3 (2-1)	FC BASARA HYOGO	和歌山県紀三井寺公園陸上競技場	501
[21]	5月24日 13:01	京都産業大学	3-1 (0-0)	守山2000	たけびしスタジアム京都	549
[22]	5月25日 13:00	カターレ富山	2-1 (0-1)	順天堂大学	高岡スポーツコア サッカー・ラグビー場	1,754
[23]	5月24日 13:00	奈良クラブ	3-1 (1-0, 0-1, 1-0) 延長	新潟医療福祉大学	ロートフィールド奈良(鴻ノ池陸上競技場)	360
[24]	5月25日 13:00	いわてグルージャ盛岡	6-0 (3-0)	ノースアジア大学	いわぎんスタジアム・Aグラウンド	355
[25]	5月24日 13:00	栃木SC	5-0 (2-0)	大山サッカークラブ	栃木県グリーンスタジアム	1,217
[26]	5月24日 13:00	愛媛FC	1-0 (0-0)	三養直工崎SC	ニンジャスタジアム	662
[27]	5月24日 13:00	ヴェロスクロノス都農	2-1 (1-0)	ガイナレ鳥取	いちご宮崎新宮サッカー場	344

■2回戦

No.	大会	対戦	対戦	会場	観衆(人)	
[28]	6月11日 19:03	ヴィッセル神戸	4-1 (1-0)	高知ユニテッドSC	ノエビアスタジアム神戸	4,597
[29]	6月11日 19:00	ヴァンフォーレ甲府	2-1 (1-0)	JIT リサイクルリンクスタジアム	2,757	
[30]	6月11日 19:03	アルビレックス新潟	1-0 (0-0, 0-0, 0-0) 延長	福山シティFC	デンカビッグスワンスタジアム	5,653
[31]	6月11日 19:04	柏レイソル	0-2 (0-0, 0-0, 0-0) 延長	東洋大学	三協フロンティア柏スタジアム	3,052
[32]	6月11日 19:03	川崎フロンターレ	4-3 (1-1)	福島ユニテッドFC	Uvanceとびろきスタジアム by Fujitsu	7,942
[33]	6月11日 19:00	ジュビロ磐田	1-2 (1-0)	SC相模原	ヤマハスタジアム (磐田)	3,569
[34]	6月11日 18:30	横浜F・マリノス	0-2 (0-2)	ラインメール青森	ニッパツ三ツ沢球技場	4,964
[35]	6月11日 19:00	いわきFC	1-2 (0-0)	ブラウブリッツ秋田	ハワイアンズスタジアムいわき (いわきGF)	1,797
[36]	6月18日 19:00	ガンバ大阪	2-1 (0-0)	ヴィアティン三重	パナソニックスタジアム 吹田	6,165
[37]	6月11日 19:00	モンテディオ山形	2-1 (1-0)	鹿児島ユニテッドFC	NDソフトスタジアム山形	2,578
[38]	6月11日 19:00	鹿島アントラーズ	4-0 (1-0)	ザスパ草津	茨城県立カシマサッカースタジアム	6,108
[39]	6月11日 19:03	V・ファーレン長崎	2-1 (2-0)	筑波大学	PEACE STADIUM Connected by SoftBank	5,204
[40]	6月11日 19:00	アビスパ福岡	2-0 (0-0)	沖縄SV	ベスト電器スタジアム	2,078
[41]	6月11日 19:00	ファジアン岡山	0-2 (0-1)	ギラヴァンツ北九州	JFE晴れの国スタジアム	3,944
[42]	6月11日 18:30	サンフレッチェ広島	3-1 (2-1)	Brew SAGA	福山通運ローズスタジアム (竹ヶ畑運動公園陸上競技場)	3,942
[43]	6月11日 19:00	藤枝MYFC	2-0 (0-0)	FCパレイソ下関	藤枝総合運動公園サッカー場	810
[44]	6月11日 19:00	湘南ベルマーレ	2-0 (0-0)	FC岐阜	レモンガススタジアム平塚	2,188
[45]	6月11日 19:00	清水エスパルス	4-2 (2-1)	松本山雅FC	IAIスタジアム日本平	4,582
[46]	6月18日 19:03	FC東京	3-1 (2-0)	ツエーゲン金沢	味の素スタジアム	5,651
[47]	6月18日 19:00	北海道コンサドーレ札幌	2-2 (2-1, 0-1, 0-0) PK3-5	大分トリニータ	大和ハウス プレミストドーム (札幌ドーム)	4,316
[48]	6月11日 19:03	セレッソ大阪	5-0 (1-0)	アルテリーヴォ和歌山	ヨドコウ桜スタジアム	4,195
[49]	6月11日 18:30	徳島ヴォルティス	2-1 (1-0)	レノファ山口FC	鳴門・大塚スポーツパークポカリスエットスタジアム	1,498
[50]	6月11日 18:30	FC町田ゼルビア	2-1 (0-0)	京都産業大学	町田GIONスタジアム	1,704
[51]	6月11日 19:00	ベガルタ仙台	0-1 (0-1)	カターレ富山	キューアンドエーススタジアムみやぎ	1,719
[52]	6月11日 19:00	京都サンガF.C.	1-0 (0-0)	奈良クラブ	サンガススタジアム by KYOCERA	3,774
[53]	6月18日 18:30	横浜FC	2-1 (0-0)	いわてグルージャ盛岡	ニッパツ三ツ沢球技場	1,557
[54]	6月11日 19:00	東京ヴェルディ	3-1 (2-1)	栃木SC	味の素スタジアム	2,726
[55]	6月11日 19:00	サガン鳥栖	1-0 (0-0)	愛媛FC	駅前不動産スタジアム	2,573
[56]	6月11日 18:30	名古屋グランパス	3-0 (0-0)	ヴェロスクロノス都農	豊田スタジアム	4,248
[57]	6月11日 19:00	ジェフユナイテッド千葉	1-1 (1-0, 0-1, 0-0) PK4-5	ロアッソ熊本	フクダ電子アリーナ	3,953

■3回戦

No.	日時	対戦	会場	観衆(人)	
[58]	7月16日 19:00	ヴィッセル神戸 2-1 (0-0, 1-1, 1-0) 延長	ヴァンフォーレ甲府	JIT リサイクルリンク スタジアム	4,608
[59]	7月16日 19:05	アルビレックス新潟 1-2 (0-1)	東洋大学	デンカビッグスワンスタジアム	5,887
[60]	7月16日 19:03	川崎フロンターレ 0-0 (0-0, 0-0, 0-0) PK1-3	SC相模原	Uvanceとびろきスタジアム by Fujitsu	8,661
[61]	7月16日 18:30	ラインメール青森 1-2 (1-2)	ブラウブリッツ秋田	ブライフォーススタジアム	736
[62]	7月16日 19:03	ガンバ大阪 4-4 (1-2, 2-1, 0-0) PK3-4	モンテディオ山形	NDソフトスタジアム山形	5,471
[63]	7月16日 19:03	鹿島アントラーズ 2-1 (1-0)	V・ファーレン長崎	PEACE STADIUM Connected by SoftBank	11,388
[64]	7月16日 19:00	アビスパ福岡 0-0 (0-0, 0-0, 0-0) PK4-2	ギラヴァンツ北九州	ベスト電器スタジアム	8,712
[65]	7月16日 19:00	サンフレッチェ広島 5-2 (2-2)	藤枝MYFC	藤枝総合運動公園サッカー場	1,822
[66]	7月16日 19:00	湘南ベルマーレ 0-1 (0-0, 0-0, 0-1) 延長	清水エスパルス	レモンガススタジアム平塚	3,631
[67]	7月16日 19:00	FC東京 2-0 (2-0)	大分トリニータ	クラサドーム大分	4,479
[68]	7月16日 18:30	セレッソ大阪 2-0 (0-0)	徳島ヴォルティス	鳴門・大塚スポーツパークポカリスエットスタジアム	3,475
[69]	7月16日 19:00	FC町田ゼルビア 2-1 (1-1)	カターレ富山	富山県総合運動公園陸上競技場	3,629
[70]	7月16日 19:03	京都サンガF.C. 3-3 (0-0, 1-1, 0-2) PK4-3	横浜FC	サンガススタジアム by KYOCERA	3,906
[71]	7月16日 19:00	東京ヴェルディ 1-0 (0-0)	サガン鳥栖	駅前不動産スタジアム	3,688
[72]	7月16日 19:00	名古屋グランパス 2-1 (1-0)	ロアッソ熊本	えがお健康スタジアム	4,322

■ラウンド16

No.	日時	対戦	対戦	会場	観衆(人)	
[73]	8月6日 19:05	ヴィッセル神戸	2-1 (1-1, 0-0, 0-0) 延長	東洋大学	ノエビアスタジアム神戸	5,115
[74]	8月6日 19:00	SC相模原	2-1 (1-0, 0-1, 0-0) 延長	ブラウブリッツ秋田	レモンガススタジアム平塚	1,584
[75]	8月6日 19:03	モンテディオ山形	1-2 (1-0)	浦和レッズ	NDソフトスタジアム山形	8,699
[76]	8月6日 19:00	鹿島アントラーズ	3-2 (1-1, 1-1, 0-0) 延長	アビスパ福岡	メルカリスタジアム	8,241
[77]	8月6日 18:33	サンフレッチェ広島	3-0 (1-0)	清水エスパルス	エディオンピースウイング広島	10,110
[78]	8月6日 18:33	FC東京	2-1 (0-0)	セレッソ大阪	ヨドコウ桜スタジアム	6,136
[79]	8月6日 18:30	FC町田ゼルビア	1-0 (0-0)	京都サンガF.C.	町田GIONスタジアム	3,003
[80]	8月13日 19:00	東京ヴェルディ	1-2 (1-1)	名古屋グランパス	味の素スタジアム	7,666

■準々決勝

No.	日時	対戦	対戦	会場	観衆(人)	
[81]	8月27日 18:30	FC町田ゼルビア	3-0 (2-0)	鹿島アントラーズ	町田GIONスタジアム	5,965
[82]	8月27日 19:03	FC東京	2-1 (0-1)	浦和レッズ	埼玉スタジアム2002	17,495
[83]	8月27日 19:04	SC相模原	1-1 (1-1, 0-0, 0-0) PK2-4	ヴィッセル神戸	レモンガススタジアム平塚	2,730
[84]	8月27日 18:30	名古屋グランパス	2-4 (0-3)	サンフレッチェ広島	豊田スタジアム	7,638

■準決勝

No.	日時	対戦	会場	観衆(人)	
[85]	11月16日 13:11	FC町田ゼルビア 2-0 (0-0, 0-0, 1-0)	FC東京	国立競技場	25,961
[86]	11月16日 15:07	ヴィッセル神戸 2-0 (1-0)	サンフレッチェ広島	パナソニック スタジアム 吹田	17,861

■決勝

No.	日時	対戦	会場	観衆(人)	
[87]	11月22日 14:00	FC町田ゼルビア	3-1 (2-0) ヴィッセル神戸	国立競技場	31,414

天皇杯 JFA 第105回全日本サッカー選手権大会 記録集

第2部 全試合公式記録

7 1回戦

ラインメール青森 BTOP北海道 5〔前半1-0 後半4-0〕0

●2025年5月25日 13:00 ●プライフーズスタジアム ●試合時間:90分 ●[主審]加藤正和[副審]松本瑛右/手塚俊[第4の審判員]山田一騎 ●マッチコミッショナー:齋藤仁 ●観衆:292人

[GK] 17 廣末陸	出	[GK] 21 梅田裕太	
[DF] 27 佐久間駿希	場	[DF] 29 上田航平	
[DF] 2 齊藤諒	選	→ 62'(23)大坪颯哉	
[DF] 15 田村陸	選	[DF] 3 石渡旭	
[MF] 7 松本拓海	手	[DF] 50 濱大耀	
→ 72'(33)貫真郷		→ 66'(99)勇碧	
[MF] 22 朴勇志		[DF] 5 盛山斗来	
→ HT(11)中原秀人		[MF] 6 西田悠人	
[MF] 41 長嶋風太		→ 62'(4)大澤拓也	
[MF] 24 西坂斗和		[MF] 13 鈴木然	
[FW] 20 平尾泰雅		[MF] 25 宮原輝	
→ 62'(16)原田虹輝		[MF] 45 中尾慶心	
[FW] 10 ベッサ		[FW] 7 本塚聖也	
→ HT(8)山口和樹		[FW] 19 山田彩輝	
[FW] 13 有田光希		→ HT(10)中村尚輝	
→ 81'(26)廣岡一樹		→ 82'(11)木村展明	
14'64'有田光希(1-0)(3-0)、	得点		
57'長嶋風太(2-0)、85'西坂斗			
和(4-0)、90+2'齊藤諒(5-0)			

8 1回戦

ヴィアティン三重 山梨学院大学PEGASUS 1〔前半0-0 後半1-0〕0

●2025年5月25日 13:00 ●三重交通Gスポーツの杜鈴鹿サッカー・ラグビー場メインG ●試合時間:90分 ●[主審]板矢智志[副審]関谷宣貴/井出本雄[第4の審判員]高橋大輝 ●マッチコミッショナー:福島隆志 ●観衆:453人

[GK] 1 森建太	出	[GK] 12 廣瀬大翔	
[DF] 24 池田直樹	場	[DF] 6 齋藤拓麻	
[DF] 22 伊東進之輔	選	→ HT(3)西健汰	
[DF] 3 伊佐啓太郎	選	→ 58'(25)大友佑也	
[DF] 27 村瀬悠介	手	[DF] 28 横山貴也	
[MF] 47 荒川永逸		[DF] 4 鹿藤稜久	
→ 81'(35)寺尾憲祐		[DF] 16 小野輝	
[MF] 16 町田蘭次郎		[MF] 26 錦織隼斗	
[MF] 38 松浦蒼波		[MF] 11 村田智哉	
→ 81'(13)安西海斗		[MF] 7 鈴木楓	
[MF] 28 野口竜彦		→ 80'(17)中村史温	
→ 61'(6)上田駿斗		[FW] 10 若松歩	
[FW] 11 加倉広海		[FW] 13 安藤喜琉	
→ 61'(9)大竹将吾		→ HT(9)田中ハーディー・啓秀	
[FW] 39 増田鈴太郎		→ 67'(41)梁賢柱	
→ 67'(41)梁賢柱		[FW] 8 清水瑠音	
72'伊東進之輔(1-0)	得点		
警告 7'安藤喜琉、45+1'村田智哉			

9 1回戦

FC今治 鹿児島ユナイテッドFC 0〔前半0-0 後半0-2〕2

●2025年5月25日 13:00 ●アシックス里山スタジアム ●試合時間:90分 ●[主審]佐々木慎哉[副審]阿部将茂/高木翔[第4の審判員]松崎雄飛 ●マッチコミッショナー:長井秀樹 ●観衆:1,597人

[GK] 44 伊藤元太	出	[GK] 31 熊倉匠	
[DF] 4 市原亮太	場	[DF] 44 青木義孝	
[DF] 5 ダニエル	選	[DF] 21 相馬丞	
[DF] 16 大森理生	選	→ 62'(14)弓場堅真	
[DF] 24 竹内悠力	手	[DF] 7 千希一輝	
[DF] 37 梅本怜		[DF] 3 杉井颯	
→ 83'(15)阿部稜汰		[MF] 14 吉尾虹樹	
[MF] 20 ヴィニシウス・ディニス		→ 77'(73)田中稔也	
[MF] 25 佐藤瑠樹		[MF] 19 稲葉修士	
→ HT(50)三門雄大		[MF] 27 山口卓己	
[MF] 33 笹修大		→ 77'(6)渡邊英祐	
→ 83'(10)マルクス・ヴィニシウス		[MF] 20 園田将良	
[FW] 13 藤岡浩介		→ 65'(11)福田望久斗	
→ 62'(21)日野友貴		[FW] 9 アンジェロ・ロティ	
[FW] 36 横山夢樹		→ 65'(92)ドカ・チャールス	
		[FW] 18 河村慶人	
		→ 90+1'(36)米澤令衣	
	得点	79'ドカ・チャールス(0-1)、86'河村慶人(0-2)	

4 1回戦

仙台大学 東洋大学 2〔前半2-4 後半0-0〕4

●2025年5月24日 13:01 ●みやぎ生協めぐみ野サッカー場・Bグラウンド ●試合時間:90分 ●[主審]竹内清人[副審]千葉直史/大原謙哉[第4の審判員]小林康祐 ●マッチコミッショナー:阿部岩雄 ●観衆:205人

[GK] 23 鮎澤太陽	出	[GK] 1 上村倫士	
[DF] 2 鈴木大翔	場	[DF] 2 荒井涼	
[DF] 4 前田航星	選	[DF] 4 福原陽向	
[DF] 5 櫻井涼太	選	→ 74'(25)山本虎	
→ HT(3)竹村吉裕		[DF] 18 西村龍留	
[DF] 14 山口春汰	手	[DF] 27 岡部タリクカナイ颯斗	
→ 64'(21)玉木亜門		[MF] 6 田制裕作	
[DF] 16 佐藤怜司		→ 78'(15)中村琉聖	
[MF] 6 都築卓		[MF] 7 鍋島暖歩	
[MF] 13 小松陽陽		[MF] 8 相澤亮太	
[MF] 18 武田陸吏		→ 68'(3)高橋愛翔	
→ 56'(19)水津秀斗		[MF] 32 宮本新	
[FW] 10 本田真斗		→ 78'(12)仲野隼斗	
→ 56'(22)三沢大和		[FW] 9 村上力己	
[FW] 11 小山亮太郎		[FW] 14 高橋輝	
→ 80'(24)相賀天晴			
22'小松陽陽(1-2)、30'オウ	得点	14'40'高橋輝(0-1)(2-3)、15'	
ゴール(2-2)		岡部タリクカナイ颯斗(0-2)、45'	
88'三沢大和	警告	宮本新(2-4)	
		36'鍋島暖歩、52'田制裕作	

5 1回戦

福島ユナイテッドFC 東京国際大学 9〔前半5-1 後半4-0〕1

●2025年5月25日 13:00 ●とうほう・みんなのスタジアム ●試合時間:90分 ●[主審]平塚将哲[副審]林可人/橋本真光[第4の審判員]小松拓也 ●マッチコミッショナー:長谷川正朋 ●観衆:633人

[GK] 1 上田智輝	出	[GK] 12 北橋将治	
[DF] 28 鎌直樹	場	[DF] 2 松川祐希	
→ 81'(3)松長根悠仁		[DF] 5 大沼龍我	
[DF] 17 藤谷匠	選	[DF] 17 濱崎聡馬	
[DF] 27 野末学	選	[DF] 15 花松隆之祐	
→ HT(25)菅麻帆		→ HT(20)猪狩鉄太	
[DF] 23 安在達弥	手	[MF] 11 神谷悠介	
[MF] 7 針谷岳晃		→ HT(8)中村拓夢	
[MF] 20 城定幹大		[MF] 13 金子颯太	
→ 67'(6)上畑佑平士		[MF] 12(26)高木大和	
[MF] 30 狩野海晟		[MF] 6 佐藤隆樹	
[FW] 14 中村翼		[MF] 14 足立郷	
[FW] 40 樋口寛規		[FW] 7 齋藤晴	
→ 61'(29)石井稜真		→ 61'(9)小西利空	
[FW] 10 森見太		[FW] 10 古谷将介	
→ 61'(15)飯島陸		→ 76'(18)山本将太	
12'55'森見太(1-0)(7-1)、25'	得点	15'古谷将介(1-1)	
藤谷匠(2-1)、31'46'樋口寛			
規(3-1)(6-1)、35'中村翼(4-得			
点1)、45'城定幹大(5-1)、66'83'			
石井稜真(8-1)(9-1)			
20'森見太	警告	28'大沼龍我	

6 1回戦

水戸ホーリーホック SC相模原 0〔前半0-0 後半0-1〕1

●2025年5月24日 13:03 ●ケーズデンキスタジアム水戸 ●試合時間:90分 ●[主審]瀬田貴仁[副審]眞鍋久大/大田智寛[第4の審判員]勝山俊平 ●マッチコミッショナー:玉井朗 ●観衆:1,713人

[GK] 21 松原修平	出	[GK] 46 バウマン	
[DF] 27 沖田空	場	[DF] 3 ビトリック	
[DF] 4 牛澤健	選	[DF] 33 常田克人	
[DF] 36 板倉健太	選	[DF] 2 加藤大育	
[DF] 2 大森浩生	手	[MF] 4 島川俊郎	
→ 63'(3)大崎航詩		[MF] 18 三鬼海	
[MF] 15 長尾優斗		[MF] 17 竹内崇人	
[MF] 10 前田椋介		→ 90+1'(22)福井和樹	
[MF] 8 齋藤俊輔		[MF] 8 大迫聖	
→ 84'(25)多田圭佑		→ 80'(27)西山拓実	
[MF] 40 森村俊太		[MF] 36 中塚大貴	
→ 63'(23)津久井匠海		[FW] 9 ラファエル・フルタード	
[FW] 45 寺沼星文		→ 66'(23)加藤拓己	
[FW] 17 渡邊新太		[FW] 14 高木彰人	
[FW] 14 杉浦文哉		→ 66'(11)武藤雄樹	
→ 73'(39)山本隼大			
	得点	86'武藤雄樹(0-1)	
50'大森浩生	警告	48'島川俊郎	

1 1回戦

カマタマーレ讃岐 高知ユナイテッドSC 2〔前半0-0 後半1-1〕2 PK4-5

●2025年5月24日 15:00 ●Pikaraスタジアム ●試合時間:90分、延長30分、PK ●[主審]舟橋崇正[副審]竹長泰彦/辛島宗烈[第4の審判員]竹田敬幸 ●マッチコミッショナー:河野颯 ●観衆:658人

[GK] 32 松原快展	出	[GK] 21 大杉啓	
[DF] 2 内田瑞己	場	→ 119'(31)小窪太斗	
[DF] 99 附木雄也	選	[DF] 25 今井那生	
[DF] 55 藤井葉大	選	[DF] 37 深川大輔	
→ 111'(24)上野輝人		[DF] 38 鈴木俊也	
[DF] 35 左合修士	手	[MF] 16 上羽翔聖	
[MF] 9 高橋尚紀		[MF] 24 岡澤韻生	
→ 85'(3)井林章		[MF] 19 水野颯太	
[MF] 96 吉田陣平		→ 85'(7)金原朝陽	
[MF] 15 岩本和希		[MF] 66 三好麟大	
→ 85'(6)長谷川隼		→ 75'(15)小林里駆	
[MF] 60 森川裕基		[MF] 8 高野裕維	
→ 63'(10)川西翔太		→ 延前(10)佐々木敦	
[FW] 8 森勇人		[FW] 11 小林心	
→ HT(23)岩岸宗志		→ 延前(20)杉山伶央	
[FW] 22 大野耀平		[FW] 9 新谷聖基	
→ 68'(13)前川大河		→ 85'(29)内田優晟	
59'岩本和希(1-1)、116'前川	得点	50'新谷聖基(0-1)、108'上月	
大河(2-2)		翔聖(1-2)	
19'大野耀平、100'井林章	警告	82'新谷聖基、115'大杉啓	
先13〇、23〇、96〇、2×、3×	PK	29〇、15〇、7〇、37〇、10〇	

2 1回戦

福井ユナイテッドFC Honda FC 1〔前半0-0 後半1-0〕0

●2025年5月25日 13:00 ●テクノポート福井スタジアム ●試合時間:90分 ●[主審]國吉真吾[副審]宇田川泰弘/谷弘樹[第4の審判員]山岸愛斗 ●マッチコミッショナー:山下和良 ●観衆:548人

[GK] 1 杉本拓也	出	[GK] 21 楠本祐規	
[DF] 2 清水雅仁	場	[DF] 22 知花康士朗	
[DF] 16 池庭諒那	選	[DF] 4 八戸雄太	
[DF] 5 志摩豪輝	選	[DF] 3 岸田悠佑	
[MF] 26 野村魁	手	[DF] 16 川浪龍平	
[MF] 8 和田達也		[MF] 6 草刈龍星	
[MF] 4 廣岡陸樹		→ 84'(25)三輪大智	
[MF] 13 森勇斗		[MF] 5 鈴木雄也	
→ 62'(22)榎本響		[MF] 10 鈴木理久	
[FW] 30 奥那覇航和		→ 68'(7)松本和樹	
→ 90+4'(11)北脇健慈		[MF] 26 寺田阿輝彦	
[FW] 10 北川凜平		→ 56'(23)東廉	
→ 62'(27)押谷祐樹		[MF] 14 斎藤涼優	
[FW] 7 高見樹幹		[FW] 15 石原央羅	
→ 85'(9)大石治寿		→ 68'(18)庄司夢ノ介	
65'オウンゴール(1-0)	得点		

3 1回戦

福山シティFC FC徳島 2〔前半0-0 後半2-1〕1

●2025年5月25日 13:04 ●エディオンピースウイング広島 ●試合時間:90分 ●[主審]金沢佑亮[副審]正木篤志/松尾明徳[第4の審判員]平裕太 ●マッチコミッショナー:太田美樹 ●観衆:869人

[GK] 1 菊地大輝	出	[GK] 1 瀧美拓也	
[DF] 7 藤井敦仁	場	[DF] 6 山本直	
[DF] 6 高田健吾	選	[DF] 5 倉員宏人	
[DF] 39 代健司	選	[DF] 17 前野恵吾	
[DF] 30 澤田健太	手	[DF] 2 カン・ギョプン	
[MF] 17 角田薫平		[MF] 16 佐田正舟	
[MF] 22 松井薫		[MF] 15 井藤和尊	
→ 90+2'(20)田口駿		→ 85'(8)堀田耕大	
[MF] 26 野濱友哉		[MF] 11 谷山湧人	
→ 76'(14)若宮健人		→ 67'(4)肥田稜平	
[MF] 11 高橋大樹		[MF] 44 近藤蔵波	
→ 76'(33)杉浦力斗		→ 67'(13)大坪蘭	
[MF] 16 深田竜大		[FW] 7 岡田大輝	
→ 66'(8)塚田裕介		[FW] 10 藤原志雄	
[FW] 29 大久保龍一		→ 85'(9)瀧本高志	
→ 66'(10)吉井佑将			
63'松井治輝(1-1)、83'藤井敦	得点	60'藤原志雄(0-1)	
仁(2-1)		警告 83'瀧美拓也	



天皇杯
JFA
CHAMPIONSHIP

16 1回戦

FC岐阜

富山新庄クラブ

3〔前半1-0 後半2-1〕1

●2025年5月24日 12:59 ●岐阜メモリアルセンター新日本ガスケル
●試合時間:90分 ●【主審】大塚祐太【副審】秋澤昌治/伊勢
裕介【第4の審判員】堀拓人 ●マッチコミッショナー:大立目佳久 ●観
衆:835人

[GK] 1 茂木秀	出	[GK] 1 田村直樹	出
[DF] 22 文仁柱	場	[DF] 14 濱田唯稀	場
→ 81'(26)大串昇平		[DF] 3 小野俊輔	場
[DF] 3 野澤陸	退	[DF] 15 片山修	退
[DF] 4 甲斐健太郎	退	[DF] 28 松井元海	退
[DF] 55 外山凌	手	→ 74'(2)松原優吉	
[MF] 10 北藤嘉		[MF] 7 遠藤育空	
→ 59'(23)萩野滉大		[MF] 9 牛田教也	
[MF] 28 増崎達也		→ 81'(29)松田康佑	
[MF] 16 西谷亮		[MF] 11 山下海海	
→ 72'(7)中村仁郎		[MF] 80 飯島翼	
[FW] 27 横山哲也		→ 81'(19)近藤友聖	
→ 59'(39)泉澤仁		[MF] 10 橘川陽介	
[FW] 24 栗原尚平		→ HT'(4)宮下宙	
[FW] 9 ドコウ		[FW] 26 森本迅斗	
→ 59'(11)佐々木快		→ 61'(5)松岡昌哉	

31'栗原尚平(1-0), 53'甲斐健太郎(2-0), 85'野澤陸(3-0) 得点

88'松岡昌哉(3-1) 警告 30'小野俊輔, 38'遠藤育空

17 1回戦

松本山雅FC

FC大阪

2〔前半1-0 後半0-1〕1

●2025年5月25日 13:00 ●サンプロ アルウィン ●試合時間:90
分, 延長30分 ●【主審】中山友希【副審】鈴木規志/高橋悠【第4の審
判員】清水裕貴 ●マッチコミッショナー:細野知秀 ●観衆:3,560人

[GK] 35 神田渉馬	出	[GK] 1 山本透衣	出
[DF] 49 本間ジャスティン	場	[DF] 37 堤泰一郎	場
→ 84'(40)樋口大輝		→ 87'(88)松本孝平	
[DF] 47 テアゴ・サンタナ	退	[DF] 3 川上竜	退
→ 100'(44)野々村廣人		[DF] 23 秋山拓也	退
[DF] 4 高橋祥平	手	[DF] 16 橋本隆	手
[DF] 16 宮部大己		→ HT'(6)錦野俊祐	
[MF] 34 稲福卓		[MF] 25 武井成憲	
→ 延前(15)山本康裕		→ HT'(19)増田集司	
[MF] 13 石山貴空		[MF] 27 澤崎凌大	
[MF] 41 村越龍光		[MF] 24 佐藤隼	
→ 延前(10)菊井悠介		[MF] 51 西村真祈	
[MF] 30 國分龍司		→ 63'(18)夏川大和	
→ 71'(20)前田陸王		[FW] 7 木匠貴大	
[MF] 17 山本龍平		→ 95'(33)馬相皓	
[FW] 11 浅川隼人		[FW] 39 望月想空	
→ 71'(29)ルーカス・バルガス		→ 63'(9)島田拓海	

25'村越龍光(1-0), 97'菊井悠介(2-1) 得点

40'稲福卓, 86'ルーカス・バルガス 警告 30'西村真祈, 74'秋山拓也

18 1回戦

ツエーゲン金沢

中京大学

6〔前半1-0 後半5-0〕0

●2025年5月25日 13:00 ●金沢ゴージャススタジアム ●試合
時間:90分 ●【主審】西田裕貴【副審】竹田明弘/塚田健太【第4の
審判員】日浦達貴 ●マッチコミッショナー:坂口公介 ●観衆:1,385人

[GK] 1 白井裕人	出	[GK] 30 谷直将	出
[DF] 4 松本大輔	場	[DF] 2 折出幸大	場
[DF] 5 櫻井風我	場	[DF] 5 田上涼太	場
[DF] 6 ジェフェルソン・ジャリ	退	→ 76'(19)西村海希	
[DF] 20 長倉謙	退	[DF] 3 原田夢夢	退
[DF] 29 宮崎海冬	手	[DF] 22 那須琳斗	手
→ 68'(49)大澤朋也		[MF] 18 伊藤大和	
[MF] 15 西谷優希		→ 71'(4)出水志輝	
→ 68'(26)村田迅		[MF] 10 武藤寛	
[MF] 23 四宮悠成		[MF] 6 荒井貴太	
→ 74'(24)西谷和希		→ 76'(28)西森悠斗	
[MF] 41 橋田慎太郎		[MF] 13 小林嘉人	
[FW] 9 土信田悠生		→ 71'(24)森田尚人	
→ 74'(10)バトリック		[MF] 7 屋嘉比奏夫	
[FW] 30 大谷駿斗		[FW] 11 光本和馬	
→ 82'(38)山本義道		→ 81'(29)加藤佑基	

15'四宮悠成(1-0), 56'71'土信田悠生(2-0), 57'宮崎海冬(3-0), 63'大谷駿斗(4-0), 86'バトリック(5-0) 得点

警告 55'那須琳斗, 87'武藤寛

13 1回戦

ベルガロッソいわみ

ギラヴァンツ北九州

0〔前半0-1 後半0-0〕1

●2025年5月25日 13:00 ●鳥根県立浜山公園陸上競技場 ●試
合時間:90分 ●【主審】佐藤浩太【副審】花川雄一/森敦真治【第4の
審判員】坂根悟人 ●マッチコミッショナー:浜田貴志 ●観衆:679人

[GK] 21 吉永緑心	出	[GK] 1 伊藤剛	出
[DF] 28 西尾賢	場	[DF] 23 坂本翔	場
[DF] 2 塩本晃成	場	→ 79'(22)山崎博雄	
[DF] 5 伊藤大陽	退	[DF] 13 東康太	退
[MF] 11 澤島輝	手	[DF] 44 辻岡佑真	手
→ 64'(10)水津颯太		[DF] 28 本實快斗	
[MF] 27 澤田理央		[MF] 34 高吉正真	
→ 64'(6)林亮大		→ 74'(1)井澤春輝	
[MF] 7 白山玄貴		[MF] 24 吉良真優	
[MF] 8 橋本峻輝		→ 58'(29)高昇辰	
[FW] 14 原田烈志		[MF] 99 博山旗乃介	
→ 76'(13)中田樹吉		[MF] 9 河辺駿太郎	
[FW] 9 伊能玲生		[MF] 25 坪野来也	
[FW] 23 宮澤琉汰		→ 69'(7)平原隆輝	
→ 84'(22)内山弦太		[FW] 18 渡邊颯太	
		→ 58'(17)岡野澤平	

得点 19'吉良真優(0-1)

警告 63'坪野来也

14 1回戦

Brew SAGA

イロンドル熊本FC

2〔前半1-1 後半1-0〕1

●2025年5月24日 13:00 ●SAGAサンライズパーク SAGAスタジ
アム ●試合時間:90分 ●【主審】酒井達矢【副審】友政利貴/竹田和
雄【第4の審判員】小嶋文也 ●マッチコミッショナー:酒井昭宏 ●観衆:
235人

[GK] 31 八尾駿介	出	[GK] 1 平野叶登	出
[DF] 4 村田玲央	場	[DF] 4 三宮慶太	場
[DF] 6 粕谷海士	場	[DF] 37 上田亮輝	場
[DF] 14 井口天雅	退	[MF] 23 猪本直家	退
[DF] 21 洲上和輝	退	[MF] 35 横歩門	退
[MF] 7 吉田健人	手	[MF] 14 坂元琉星	手
[MF] 40 有内天		[MF] 39 小田健伸	
→ 87'(33)永富誠也		[MF] 22 渡邊駿	
[MF] 29 平形武丸		→ 61'(10)山本貴太	
[MF] 10 澤田航汰		→ 67'(7)永田侑輝	
→ 90+1'(17)森田舜		[MF] 18 吉岡樹利也	
[MF] 22 崎濱雄希		[MF] 13 齊藤蔵人	
[FW] 9 森本耀		→ HT'(30)安片政人	
→ 87'(20)大久保彩斗		[FW] 9 守田雄真	
		→ 80'(28)坂梨丈虎	

22'オウゴンボール(1-0), 66'平形武丸(2-1) 得点

41'井口天雅, 85'吉田健人 警告 54'守田雄真

15 1回戦

FCバレイン下関

環太平洋大学FC

2〔前半0-1 後半1-0〕1

●2025年5月25日 13:00 ●セービング陸上競技場(下関市営下関
陸上競技場) ●試合時間:90分, 延長30分 ●【主審】西山貴生【副
審】村田裕介/藤田優【第4の審判員】西嶋隆 ●マッチコミッショナー:猿
澤茂 ●観衆:712人

[GK] 16 可知俊哉	出	[GK] 1 堀之内隆正	出
[DF] 66 正田優人	場	[DF] 2 林尾将史	場
[DF] 5 半田勘太郎	場	[DF] 3 井上碧斗	場
[DF] 4 森凌磨	退	[DF] 4 河村亮	退
[DF] 21 金子遼太郎	退	[DF] 5 海老沼慶士	退
→ 延前(44)川前陽斗		[MF] 6 山並仁貴	
[MF] 6 野田昌秀	手	[MF] 8 橋本飛雄	手
→ 延前(99)藤本翔		→ 111'(13)高橋直也	
[MF] 11 野見山崇斗		[MF] 10 川上蒼太	
[MF] 10 神田凌太		[FW] 14 角田京男	
→ 120'(91)高橋勇馬		→ 103'(15)井手拓斗	
[MF] 23 佐藤颯汰		[FW] 7 堀口海城	
[MF] 14 戸田海人		→ 87'(18)小宮一馬	
→ 延前(18)吉田竜樹		[FW] 11 大野公瑛	
[FW] 8 原崎慎		→ 72'(9)西谷大彪	
→ 85'(29)上村音生			
→ 118'(9)岸田和人			

64'戸田海人(1-1), 97'上村音生(2-1) 得点

25'大野公瑛(0-1) 警告 31'岸上碧斗, 116'西谷大彪

10 1回戦

ザスバ群馬

法政大学

1〔前半0-0 後半1-0〕0

●2025年5月25日 13:01 ●アースケア数島サッカー・ラグビー場
●試合時間:90分 ●【主審】山田昌輝【副審】田尻智計/長田望【第4
の審判員】多田裕 ●マッチコミッショナー:北郷光宏 ●観衆:1,264人

[GK] 13 近藤孝成	出	[GK] 21 寺田周太	出
[DF] 4 船橋勇真	場	[DF] 17 長田涼平	場
→ 90+8'(22)高橋勇利也		[DF] 6 栗田田澤	
[DF] 25 中野力瑠	退	[DF] 20 梅津龍之介	退
[DF] 30 小柳達司	退	[DF] 5 大迫善人	退
[DF] 14 菊地健太	手	[MF] 30 峯野修	手
[MF] 37 菊島義成		[MF] 15 小倉孝成	
→ 74'(27)藤村怜		[MF] 14 松村晃助	
[MF] 20 下川太陽		[MF] 33 島田春人	
→ 74'(8)山内陸		→ 78'(10)洪竹諒	
[MF] 23 小野関虎之介		[FW] 27 小濱鈴	
[FW] 2 田路亮太		→ 78'(11)小池直矢	
[FW] 10 高澤優也		[FW] 9 相澤ディビッド	
[FW] 18 田中翔太		→ 90+7'(7)大畑漢生	
→ 90+8'(24)新井夢功			

90+6'高澤優也(1-0) 得点

49'高澤優也, 90+4'田中翔太 警告 90+1'小池直矢

11 1回戦

RB大宮アルディージャ

筑波大学

0〔前半0-1 後半0-0〕1

●2025年5月25日 14:03 ●NACK5スタジアム大宮 ●試合時間:
90分 ●【主審】大坪博和【副審】中澤涼/金次雄之介【第4の審判員】
美川達乃 ●マッチコミッショナー:田村貴 ●観衆:4,826人

[GK] 21 加藤有輝	出	[GK] 1 佐藤瑠星	出
[DF] 44 福井啓太	場	[DF] 25 布施寛真	場
[DF] 34 村上陽介	場	[DF] 18 池谷銀彦郎	場
[DF] 5 浦上仁騎	退	[DF] 4 小川源也	退
[MF] 42 藤井一志	退	[DF] 5 鈴木遼	退
[MF] 15 中山昂大	手	[MF] 28 矢田龍之介	手
→ 72'(7)小島幹敏		→ 66'(16)野田愛斗	
[MF] 31 阿部来誠		[MF] 14 徳永涼	
→ 86'(41)谷内田哲平		[MF] 20 廣井開人	
[MF] 33 和田拓也		→ 76'(13)佐野健友	
→ HT(20)下口龍葉		[MF] 8 清水大翔	
[FW] 17 野村克哉		→ 76'(11)藤田翼	
→ 72'(14)泉林都		[MF] 10 山崎太新	
[FW] 90 オリオン・サンデー		→ 87'(27)吉川千加良	
→ 72'(2)杉本健勇		[FW] 9 内野航太郎	
[FW] 6 石川俊雄		→ 87'(22)小林俊瑛	

得点 40'廣井開人(0-1)

12 1回戦

沖繩SV

ヴェルスバ大分

4〔前半2-0 後半2-1〕1

●2025年5月25日 13:00 ●沖縄県総合運動公園陸上競技場
●試合時間:90分 ●【主審】村田裕紀【副審】松井健太郎/大藤翔平
【第4の審判員】山田琉也 ●マッチコミッショナー:上地義徳 ●観衆:
290人

[GK] 1 花田力	出	[GK] 23 豊田純平	出
[DF] 4 矢口駿太郎	場	[DF] 24 佐藤駿介	場
→ 80'(26)山田涼太		[DF] 26 大川和貴	
[DF] 3 藤崎将汰	退	[DF] 21 平山裕也	退
[DF] 15 大野篤生	退	[DF] 4 西村大吾	退
[DF] 8 沼田圭悟	手	→ 80'(2)浜崎拓磨	
[MF] 14 高塚雄生		[MF] 10 福淵隆貴	
→ 65'(5)松田大祐		→ 58'(22)瓜生昂勢	
[MF] 20 富久田和真		[MF] 6 石上輝	
[MF] 27 下口竜空		[MF] 20 武沢一翔	
[MF] 29 村田達哉		[MF] 25 高山優	
→ 69'(19)安藤阿雄雄		→ 69'(18)佐々木翔	
[FW] 18 上野瑠介		[MF] 7 重田快	
→ 80'(16)有田朱里		→ HT(14)山崎一帆	
[FW] 34 川中健太		[FW] 87 全崎萌生	
→ 85'(32)荒井秀貴		→ 58'(9)今村優介	

18'下口竜空(1-0), 26'高塚雄生(2-0), 53'上野瑠介(3-1), 得点
67'川中健太(4-1)

39'大野篤生 警告 88'瓜生昂勢

天皇杯 JFA 第105回全日本サッカー選手権大会 記録集

第2部 全試合公式記録

25 1回戦

栃木SC 大山サッカークラブ 5〔前半2-0 後半3-0〕0

●2025年5月24日 13:00 ●栃木県グリーンスタジアム ●試合時間:90分 ●[主審]宇田賢史[副審]数原武志/原田大輔[第4の審判員]宮本翼 ●マッチコミッショナー:糸井朗 ●観衆:1,217人

[GK] 1 川田修平 [DF] 3 大森博 [DF] 2 平松航 → 85'(40)高嶋修也 [DF] 25 若崎博 [MF] 8 福森健太 → 63'(5)森瑞太 [MF] 77 藤原健介 [MF] 11 青島太一 [MF] 18 川名連介 [FW] 44 堀石琉生 → HT(20)井出真太郎 [FW] 23 星野創輝 → 63'(9)菅原龍之助 [FW] 10 五十嵐太陽 → 72'(39)屋宜和真	出 場 選 手 得点 警告	[GK] 1 佐藤伸哉 [DF] 2 森田瑞樹 → 77'(22)石垣隼 [DF] 5 佐藤新 [DF] 3 中村勇貴 [MF] 10 名古祐介 → 58'(13)阿部和樹 [MF] 8 池田大郎 [MF] 21 伊勢陽平 [MF] 4 加藤康佑 [MF] 11 梅本祐 → 77'(6)本間礼皇 [MF] 7 渡部翔宙 → 70'(17)阿部翔 [FW] 14 高橋将輝 → 77'(24)佐藤駿平	出 場 選 手 得点 警告
---	------------------------------	---	------------------------------

26 1回戦

愛媛FC 三菱重工長崎SC 1〔前半0-0 後半1-0〕0

●2025年5月24日 13:00 ●ニンジニアスタジアム ●試合時間:90分 ●[主審]宗像隆[副審]馬場規/向井修也[第4の審判員]蔵田圭太 ●マッチコミッショナー:安藤公一 ●観衆:662人

[GK] 1 徳重健太 [DF] 29 福島雄斗 [DF] 19 黒石貴哉 [DF] 26 金沢一矢 [DF] 3 マルセルスカレゼ [MF] 8 深澤佑太 [MF] 16 細谷航平 → 82'(15)鶴野怜樹 [MF] 13 窪田稜 → 82'(44)森山公弥 [MF] 48 行友翔哉 → 61'(90)アルトゥール・ヴィアナ [FW] 11 藤原悠汰 → 69'(10)佐藤亮 [FW] 18 田口裕也 → 69'(24)甲田英詩	出 場 選 手 得点 警告	[GK] 1 山本祥輝 [DF] 16 江濱慎介 [DF] 4 岩竹一也 → 59'(11)田中遥斗 [DF] 27 荻野広将 [DF] 31 本田昂慎 [DF] 6 宮近将太郎 → 59'(7)平野皓巴 [MF] 9 城臺咲伍 [MF] 8 成瀬美喜人 [MF] 18 奥裕啓 → 80'(14)藤川丈 [MF] 20 中原智央 → 83'(5)松浦大武 [FW] 15 井原京佑 → 80'(26)小田晃曜	出 場 選 手 得点 警告
---	------------------------------	--	------------------------------

27 1回戦

ヴェロスクロノス都農 ガイナーレ鳥取 2〔前半1-0 後半1-1〕1

●2025年5月24日 13:00 ●いちご宮崎新富サッカー場 ●試合時間:90分 ●[主審]小林拓矢[副審]川勝彬史/佐藤裕一[第4の審判員]渡辺清澄 ●マッチコミッショナー:井上勝博 ●観衆:344人

[GK] 32 中山開帆 [DF] 5 山原慧也 [DF] 6 柳田健太 [DF] 18 井上将弥 [DF] 24 藤本奎詩 → 90+3'(22)武田航太郎 [MF] 7 山内彰 [MF] 17 永吉広大 [FW] 9 山田雄太 → 90+3'(4)松岡憧 [FW] 10 中村亮 → 90+3'(14)五領淳樹 [FW] 13 上米良柊人 → 82'(26)田辺涼成 [FW] 27 松本幹太 → 82'(16)高橋健	出 場 選 手 得点 警告	[GK] 39 櫻庭立樹 [DF] 8 田中恵太 [DF] 17 松本太一 [DF] 3 永野修都 [DF] 55 大嶋春樹 [MF] 14 普光院誠 [MF] 66 土肥航大 → 75'(15)東出社太 [MF] 20 常安澤 → 60'(27)西田結平 [FW] 9 柳田雄 → 60'(22)吉田伊吹 [FW] 18 半田航也 → 87'(32)伊川拓	出 場 選 手 得点 警告
--	------------------------------	--	------------------------------

22 1回戦

カターレ富山 順天堂大学 2〔前半0-1 後半2-0〕1

●2025年5月25日 13:00 ●高岡スポーツコア サッカーラグビー場 ●試合時間:90分 ●[主審]植松健太郎[副審]廣瀬成昭/池田元[第4の審判員]ハズイム アラー ●マッチコミッショナー:高畑俊成 ●観衆:1,754人

[GK] 21 大久保沢生 [DF] 28 布施谷翔 [DF] 41 酒井崇一 [DF] 26 鍋田純志 [DF] 13 深澤壮太 → HT(23)西矢慎平 [MF] 16 末木裕也 [MF] 6 瀬良俊太 → HT(48)植田啓太 [MF] 8 松岡大智 → 82'(58)武翼 [MF] 32 溝口駿 → HT(9)碓井聖生 [FW] 39 古川真人 → 82'(18)伊藤拓巳 [FW] 27 吉平翼 67'碓井聖生(1-1)、70'古川真人(2-1)	出 場 選 手 得点 警告	[GK] 1 金田大和 [DF] 15 松田和輝 [DF] 3 大井勇人 → 90'(20)小笠原聖真 [DF] 4 三輪樟平 [DF] 2 入江幹介 [MF] 8 栗原諒 [MF] 17 松本琉雅 [MF] 14 福田凌 [MF] 17 松本琉雅 [MF] 7 竹腰智也 → 90'(16)長津喜 [MF] 11 松本愛己 → 73'(6)今井啓太 [FW] 13 青藤慈汰 → 73'(9)名須川真光	出 場 選 手 得点 警告
---	------------------------------	---	------------------------------

23 1回戦

奈良クラブ 新潟医療福祉大学 3〔前半1-0 後半0-1〕1 延前1-0 延後1-0

●2025年5月24日 13:00 ●ロートフィールド奈良(鴻ノ池陸上競技場) ●試合時間:90分、延長30分 ●[主審]高橋睦[副審]小野裕太/柳田翔[第4の審判員]宮尾駿希 ●マッチコミッショナー:谷口宏之 ●観衆:360人

[GK] 15 岡田慎司 [DF] 5 鈴木大誠 [DF] 22 生駒稀生 [DF] 32 ユ・エチャン → 83'(16)奥田雄大 [DF] 40 吉村弦 [MF] 8 堀内颯人 [MF] 13 都並優太 → 59'(3)澤田雄大 [MF] 14 中島賢星 → 95'(96)マルク・ヴィト [MF] 20 國武勇斗 → 59'(70)川谷風 [MF] 7 田村亮介 → 83'(10)山本宗太郎 [FW] 11 百田真登 → 59'(17)田村翔太	出 場 選 手 得点 警告 退場	[GK] 1 加澤宙也 [DF] 2 平良碧規 [DF] 5 中野創介 [DF] 6 向井俊貴 → 延前前(18)五来凌空 [DF] 3 白石蓮 [MF] 4 細井響 [MF] 11 上之平唯羅 → 延後前(14)若林来希 [MF] 7 高足龍 [MF] 19 松浦誠空 → 95'(23)佐藤武流 [MF] 15 森駿人 → 71'(8)武原幸之介 [FW] 9 吉田晃盛 → 71'(20)吉田友樹	出 場 選 手 得点 警告 退場
--	------------------------------------	--	------------------------------------

24 1回戦

いわてグルージャ盛岡 ノースアジア大学 6〔前半3-0 後半3-0〕0

●2025年5月25日 13:00 ●いわぎんスタジアム・Aグラウンド ●試合時間:90分 ●[主審]眞尾龍[副審]原崇/原尾英祐[第4の審判員]遠藤導流 ●マッチコミッショナー:中田純司 ●観衆:355人

[GK] 50 若林学歩 [DF] 19 ウォン・テラン → HT(9)シラス [DF] 25 和田昂士 [DF] 16 柳世根 [DF] 4 牟田雄祐 → 69'(33)山内舟征 [MF] 13 小暮大器 → HT(21)道本大飛 [MF] 8 弓削翼 → HT(77)小松寛太 [MF] 6 セドリック・トゥサン [MF] 44 新玉瑛琉 [FW] 55 藤島樹騎也 [FW] 28 松村航希 → HT(39)篠阪翔太	出 場 選 手 得点 警告	[GK] 1 荻原海 [DF] 14 山田拓哉 [DF] 5 池田大誠 [DF] 20 木村怜有 [DF] 4 菅野琉空 [DF] 17 小林心優 [MF] 16 早坂優輝 → 85'(8)小松亮大 [MF] 7 中山煌斗 [MF] 6 横須賀麗仁 [MF] 11 目黒琥珀 [FW] 10 星圭祐 → 85'(15)國澤統也	出 場 選 手 得点 警告
--	------------------------------	---	------------------------------

19 1回戦

大分トリニータ レベニロツンNC 2〔前半2-0 後半0-0〕0

●2025年5月25日 13:00 ●クラサドーム大分 ●試合時間:90分 ●[主審]岡宏道[副審]緒方孝浩/山口大輔[第4の審判員]中尾優志 ●マッチコミッショナー:大久保邦彦 ●観衆:3,168人

[GK] 32 濱田太郎 [DF] 3 デルラン [DF] 34 藤原優大 → 90+1'(19)小酒井新大 [MF] 5 中川寛斗 [MF] 10 野村直輝 [MF] 16 茂平 → 60'(27)松尾勇佑 [MF] 18 野坂俊也 → 73'(20)木許太賀 [MF] 38 天笠泰輝 [FW] 9 有馬幸太郎 [FW] 13 伊佐耕平 → 73'(21)鮎川峻 [FW] 29 宇津元伸弥 → 60'(35)佐藤士晟	出 場 選 手 得点 警告 退場	[GK] 18 岡宗立 [DF] 4 兵頭俊昭 [DF] 16 越智康貴 [DF] 14 中村慎太郎 [DF] 2 繁本剛功 → 88'(20)山下善輝 [MF] 35 佐伯雄斗 [MF] 11 伊藤良彰 [MF] 7 鴻上雅也 → 88'(5)栢田大河 [MF] 8 越智大樹 → 60'(29)一色俊介 [MF] 9 三好凱斗 → 88'(31)近藤伸宏 [FW] 10 桂太希 → 77'(30)伊藤翼	出 場 選 手 得点 警告 退場
--	------------------------------------	---	------------------------------------

20 1回戦

アルテリーヴォ和歌山 FC BASARA HYOGO 4〔前半2-1 後半2-2〕3

●2025年5月25日 13:00 ●和歌山県紀三井寺公園陸上競技場 ●試合時間:90分 ●[主審]本多文哉[副審]荒上修人/大峯諭[第4の審判員]小野寺完途 ●マッチコミッショナー:中村嘉宏 ●観衆:501人

[GK] 31 機部勘太 [DF] 25 高木颯太 [DF] 23 中山和紀 [DF] 15 大迫武早志 → 72'(8)大野幹生 [DF] 17 下間蓮之介 → 61'(16)杉浦晃太 [MF] 28 植村友哉 [MF] 26 日根野達海 → 88'(6)柴田悠登 [MF] 20 山瀬翔輝 → 72'(29)植本唯翔 [MF] 7 桑島良汰 [MF] 27 向井颯 [FW] 10 北野純也 15'大迫武早志(1-0)、33'下間蓮之介(2-1)、67'80'杉浦晃太(3-2)(4-2)	出 場 選 手 得点 警告	[GK] 21 清水圭介 [DF] 4 山田幸輔 [DF] 23 ヨム・テファン [DF] 29 鍵山慶司 [DF] 20 倉田流宇 → HT(2)毛利車 [MF] 10 林洋毅 [MF] 15 福西毅也 → 72'(14)佐藤陽太 [MF] 31 中坂勇哉 → HT(11)藤光翔 [MF] 8 小延将大 [FW] 9 松原大芽 → 79'(27)大矢悠太郎 [FW] 26 五十嵐理人 28'五十嵐理人(1-1)、53'ヨム・テファン(2-2)、90+1'毛利車(4-3)	出 場 選 手 得点 警告
---	------------------------------	---	------------------------------

21 1回戦

京都産業大学 守山侍2000 3〔前半0-0 後半3-1〕1

●2025年5月24日 13:01 ●たけびしスタジアム京都 ●試合時間:90分 ●[主審]菊池俊吾[副審]鈴木深/勝部健[第4の審判員]木村翔太 ●マッチコミッショナー:永井弘 ●観衆:549人

[GK] 12 中園碧琉 [DF] 3 滝口晴斗 [DF] 5 遠村健斗 [DF] 4 小野成夢 [DF] 24 西川宙希 [MF] 38 福島健太 → 72'(10)伊藤翼 [MF] 6 田代紘 [MF] 17 福永裕也 → HT(27)森田皇翔 [MF] 23 大倉慎平 → 83'(7)血立立輝 [MF] 13 山村朔冬 → 72'(8)末谷蒼梧 [FW] 9 梶尾颯斗 → 72'(26)高川諒希	出 場 選 手 得点 警告	[GK] 33 野村昌平 [DF] 5 小酒井大聖 [DF] 20 川瀬潮 [DF] 2 白井秀典 [DF] 7 近藤裕貴 [DF] 32 長谷川圭 → 79'(21)野村迅 [MF] 24 荒堀謙次 → 72'(10)西崎圭祐 [MF] 4 村田大介 [MF] 25 田中慶吾 → 79'(21)村岡悦央 [FW] 8 小園憲弥 → 89'(16)横山璃空 [FW] 22 大嶋佑 → 72'(17)仙臺岳斗	出 場 選 手 得点 警告
---	------------------------------	--	------------------------------

34 2回戦

横浜F・マリノス | ラインメール青森

0〔前半0-2 後半0-0〕2

●2025年6月11日 18:30 ●ニッパツ三ツ沢球技場 ●試合時間:90分 ●【主審】川俣秀【副審】唐松孝志/竹田明弘【第4の審判員】斎藤雅也 ●マッチコミッショナー:市瀬直次 ●観衆:4,964人

[GK] 19 朴一圭	出	[GK] 17 廣末陸	出
[DF] 15 サンディ・ウォルシュ	場	[DF] 2 寄藤諒	場
→ HT(27)松原健		[DF] 3 遠藤元一	
[DF] 47 山村和也	退	[DF] 15 田村隆	退
[DF] 39 渡邊泰基	退	[MF] 4 佐々木翔	退
→ 69'(44)トーマス・デン	手	→ 84'(11)中原秀人	手
[DF] 25 鈴木冬一	手	[MF] 41 長崎風太	手
→ HT(16)加藤蓮		→ 84'(6)浅利航大	
[MF] 6 遠辺悠太		[MF] 27 佐久間謙希	
[MF] 28 山根陸		[MF] 24 西坂斗和	
→ HT(49)加藤海輝		[FW] 8 山口和樹	
[MF] 20 天野純		→ 67'(20)平尾泰雅	
→ 69'(9)遠野大弥		[FW] 10 ベッサ	
[FW] 17 井上健太		→ 67'(7)松本拓海	
[FW] 42 望月耕平		[FW] 9 ルイス・フェルナンド	
[FW] 7 エウベル		→ 75'(13)有田光希	
得点	35'廣末陸(0-1)、45+1'ルイス・フェルナンド(0-2)		
72'井上健太	警告	57'田村隆	

35 2回戦

いわきFC | ブラウブリッツ秋田

1〔前半0-0 後半1-2〕2

●2025年6月11日 19:00 ●ハワイアンズスタジアムいわき(いわき市) ●試合時間:90分 ●【主審】清水勇人【副審】阿部将茂/佐藤裕一【第4の審判員】佐藤光将 ●マッチコミッショナー:川尻敏弘 ●観衆:1,797人

[GK] 39 ジュ・ヒョジン	出	[GK] 23 矢田貝壮貴	出
[DF] 32 五十嵐聖巳	場	[DF] 16 村松航太	場
→ 81'(2)石田侑貴		[DF] 19 尾崎優成	
[DF] 17 山田裕翔	退	[DF] 4 井上竜太	退
[DF] 6 白井陽貴	退	[DF] 24 澤港壮一郎	退
[MF] 6 坂岸寛大	手	[MF] 25 藤山智史	手
[MF] 8 柴田社介	手	→ 86'(5)長井一真	手
→ 59'(24)山下優人		[MF] 7 水谷拓磨	
[MF] 30 木吹翔太		[MF] 8 畑間基	
[MF] 13 村上陽斗		→ 70'(31)石田凌太郎	
→ 81'(19)大西悠介		[MF] 20 吉岡雅和	
[MF] 15 加瀬直輝		→ 70'(29)佐藤大樹	
→ 65'(38)熊田直紀		[FW] 9 中村亮太	
[MF] 20 加藤悠馬		→ 60'(18)川本梨貴	
[FW] 16 加藤大豊		[FW] 40 佐川洸介	
→ 65'(10)谷村海那		→ 70'(34)鈴木翔大	
85'谷村海那(1-2)	得点	51'53'佐川洸介(0-1、0-2)	
68'谷村海那	警告	36'尾崎優成、49'中村亮太	

36 2回戦

ガンバ大阪 | ヴィアティン三重

2〔前半0-0 後半2-1〕1

●2025年6月18日 19:00 ●パナソニックスタジアム吹田 ●試合時間:90分 ●【主審】荒木友輔【副審】壁城巧/竹長泰彦【第4の審判員】山田昌隆 ●マッチコミッショナー:福島隆志 ●観衆:6,165人

[GK] 22 一森純	出	[GK] 17 稲葉亜哉志	出
[DF] 2 福岡将太	場	[DF] 24 池田直樹	場
→ 90'(20)中谷進之介		[DF] 5 齋藤瑞生	
[DF] 6 三浦悠太	退	[DF] 3 伊藤啓太郎	退
[DF] 15 岸本武流	退	[DF] 27 村瀬悠介	退
→ 90'(10)倉田秋	手	[DF] 6 上田駿斗	手
[DF] 33 中野伸哉	手	→ 73'(19)児玉慎太郎	手
[DF] 67 佐々木翔悟		[MF] 20 金成純	
→ 59'(97)ウェルトン		→ 68'(7)森主麗司	
[MF] 6 ネトラヴィ		[MF] 38 松浦豪波	
→ 59'(13)安部将斗		→ 82'(15)池田虎弘	
[MF] 16 鈴木徳真		[FW] 35 寺尾憲祐	
[MF] 47 ファン・アラノ		[FW] 9 大竹将吾	
→ 73'(3)半田陸		→ 68'(11)加倉広海	
[FW] 23 デニス・ヒュメット		[FW] 41 桑賢柱	
[FW] 51 瀧田誠		→ HT(25)山田晋平	
58'佐々木翔悟(1-1)、67'デニス・ヒュメット(2-1)	得点	56'大竹将吾(0-1)	
	警告	84'齋藤瑞生	

31 2回戦

柏レイソル | 東洋大学

0〔前半0-0 後半0-0〕2

●2025年6月11日 19:04 ●三協フロンテア柏スタジアム ●試合時間:90分、延長30分 ●【主審】高崎航太【副審】船橋昭次/小出貴彦【第4の審判員】山本凌 ●マッチコミッショナー:渡谷正人 ●観衆:3,052人

[GK] 46 松本健太	出	[GK] 22 壁井義真	出
[DF] 31 成瀬謙平	場	[DF] 2 荒井涼	場
[DF] 13 大飼智也	場	[DF] 27 岡部タリクカナイ煥斗	場
→ 延前前(22)野田裕喜	退	→ 102'(25)山本虎	退
[DF] 5 田中卓人	退	[DF] 4 福原陽向	退
[DF] 43 モハメド・ファルザン・佐名	手	[DF] 5 山之内佑成	手
→ 70'(14)小室松知哉		[MF] 6 田村裕作	
[MF] 33 白井永地		→ 81'(12)仲野卓斗	
[MF] 28 戸嶋祥郎		[MF] 7 鍋島慶歩	
→ HT(39)中川敦瑛		→ 75'(18)西村龍留	
[MF] 29 島村拓哉		[MF] 10 湯之前匠央	
→ 54'(8)小泉佳穂		→ 81'(8)相澤光太	
[MF] 37 中島昇		[MF] 9 村上力己	
[FW] 19 仲間雄斗		→ 75'(19)依田悠希	
→ HT(11)渡井理己		[MF] 32 宮本新	
[FW] 36 古澤ノベル・慈宇		→ 67'(16)大橋斗唯	
→ HT(18)垣田裕輝		[FW] 14 高橋隆	
得点	107'山之内佑成(0-1)、120+1'依田悠希(0-2)		
10'大飼智也、14'戸嶋祥郎、17'白井永地、105+2'野田裕喜	警告	101'大橋斗唯	

32 2回戦

川崎フロンターレ | 福島ユナイテッドFC

4〔前半1-1 後半3-2〕3

●2025年6月11日 19:03 ●Uvanceとどろきスタジアム by Fujitsu ●試合時間:90分 ●【主審】山下良美【副審】堀越雅弘/荒上修人【第4の審判員】松尾真太郎 ●マッチコミッショナー:高橋信光 ●観衆:7,942人

[GK] 1 チョン・ソンリョン	出	[GK] 1 上田智輝	出
[DF] 15 田邊秀斗	場	[DF] 28 鈴直樹	場
[DF] 44 セサル・アイダル	場	→ 76'(55)柴田徹	
[DF] 7 車屋純太郎	退	[DF] 17 藤谷匠	退
[DF] 13 三浦颯太	退	[DF] 25 當麻颯	退
→ 86'(30)野田裕人	手	[DF] 23 安達達弥	手
[MF] 19 河原創	手	→ 55'(20)城定幹大	手
[MF] 8 橋田健人		[MF] 30 狩野海蔵	
[MF] 26 山内日向汰		[MF] 6 山本英臣	
→ HT(14)坂坂泰斗		[MF] 6 上畑佑平士	
[FW] 41 家島昭博		[FW] 9 清水一雅	
→ 71'(24)宮城天		[FW] 40 樋口寛規	
[FW] 23 マルシーニョ		→ 68'(18)矢島輝一	
→ 63'(17)伊藤達哉		[FW] 10 森晃太	
[FW] 20 山田新		→ 76'(14)中村翼	
→ 71'(11)小林悠			
29'51'山田新(1-1)、2-1、64'坂坂泰斗(3-1)、84'小林悠(4-1)	得点	9'森晃太(0-1)、89'矢島輝一(0-2)、90+1'狩野海蔵(4-3)	
	警告	21'當麻颯、69'寺田周平	

33 2回戦

ジュビロ磐田 | SC相模原

1〔前半1-0 後半0-2〕2

●2025年6月11日 19:00 ●ヤマハスタジアム(磐田) ●試合時間:90分 ●【主審】吉田哲朗【副審】野村修/鈴木規志【第4の審判員】川田昇太 ●マッチコミッショナー:安間和仁 ●観衆:3,569人

[GK] 28 西澤翼	出	[GK] 46 バウマン	出
[DF] 2 川崎一輝	場	[DF] 3 ヒトリック	場
[DF] 3 森岡陸	場	[DF] 33 常田亮人	場
[DF] 26 西久保謙介	退	[DF] 2 加藤大貴	退
[DF] 38 川口尚紀	退	[MF] 6 徳永裕大	退
[DF] 45 甲斐佑貴	手	→ 70'(8)大迫颯	手
→ 70'(5)江崎巧朗		[MF] 25 田中陸	
[MF] 33 川合徳志		→ HT(17)竹内崇人	
[MF] 46 石塚運歩		[MF] 22 福井和樹	
→ 60'(71)倍井謙		[MF] 27 西山尚実	
[MF] 65 西岡健斗		[MF] 24 杉本達	
→ 75'(4)松原后		→ 73'(36)中塚大貴	
[FW] 9 渡瀬りょう		[FW] 14 高木彰人	
→ HT(39)角島志郎		→ 70'(11)武藤雄樹	
[FW] 11 マテウス・ペイショント		[FW] 23 加藤裕己	
→ 60'(20)佐藤凌我		→ 65'(9)ラファエル・フルタド	
23'川崎一輝(1-0)	得点	61'高木彰人(1-1)、90+4'ラファエル・フルタド(1-2)	
88'佐藤凌我	警告	5'ヒトリック、69'常田亮人、90+5'ラファエル・フルタド	

28 2回戦

ヴィッセル神戸 | 高知ユナイテッドSC

4〔前半1-0 後半3-1〕1

●2025年6月11日 19:03 ●ノエビアスタジアム神戸 ●試合時間:90分 ●【主審】池内明彦【副審】壁城巧/馬場規【第4の審判員】堀善仁 ●マッチコミッショナー:山本弘之 ●観衆:4,597人

[GK] 21 新井輝太	出	[GK] 1 黒川雷平	出
[DF] 2 飯野七聖	場	[DF] 4 小林大智	場
→ 84'(24)酒井高徳	退	[DF] 28 朴勢己	退
[DF] 4 山川哲史	退	[DF] 5 田辺陽太	退
[DF] 31 岩波拓也	退	→ 65'(38)鈴木俊也	退
[DF] 25 銀糸祐弥	手	[MF] 26 須藤直輝	手
[MF] 30 山内翔	手	→ 78'(19)水野颯太	手
→ 70'(6)扇原貴宏		[MF] 88 工藤真人	
[MF] 77 グスタボ・クリスマン		[MF] 7 金原朝陽	
[MF] 18 井出遥也		[MF] 17 伊藤綾汰	
→ 70'(26)ジェアン・マリック		→ 55'(66)三好賢大	
[MF] 14 法本康也		[MF] 10 佐々木敦河	
→ 84'(23)広瀬陸斗		[FW] 29 内田優星	
[FW] 27 エリキ		→ 55'(9)新谷聖基	
[FW] 13 佐々木大樹		[FW] 29 内田優星	
→ 61'(9)宮代大聖		→ 55'(18)東家駿樹	
10'64'オウゴン・ゴール(1-0)、3-0、50'エリキ(2-0)、84'広瀬陸斗(4-1)	得点	75'三好賢大(3-1)	
79'扇原貴宏	警告	7'伊藤綾汰、29'朴勢己、33'須藤直輝、67'小林大智	

29 2回戦

ヴァンフォーレ甲府 | 福井ユナイテッドFC

2〔前半1-0 後半1-1〕1

●2025年6月11日 19:00 ●JIT リサイクルリンク スタジアム ●試合時間:90分 ●【主審】井上知大【副審】中野卓/伊勢裕介【第4の審判員】関根司 ●マッチコミッショナー:若林史敏 ●観衆:2,757人

[GK] 97 東ジョ	出	[GK] 1 杉本拓也	出
[DF] 22 小出悠太	場	[DF] 2 清水雅仁	場
[DF] 2 井上樹	場	[DF] 16 池田諒耶	場
[DF] 20 遠藤翔	退	[DF] 5 志摩孝理	退
[MF] 7 荒木翔	退	[DF] 22 榎本智	退
→ HT(24)佐藤賢介	手	[MF] 4 廣岡陸樹	手
[MF] 4 山本英臣	手	[MF] 8 和田達也	手
→ 57'(16)林田温也		→ 86'(29)中村晃大	
[MF] 48 ヴァン・アレス		[MF] 13 森勇斗	
→ 71'(8)中山陸		→ 65'(26)野村魁	
[MF] 6 小林若魚		[MF] 30 奥田覇航和	
[FW] 29 大島康樹		→ 65'(27)神谷祐樹	
[FW] 9 三平和司		[FW] 7 高良樹幹	
→ 84'(10)島海芳樹		→ 86'(11)北脇健慈	
[FW] 44 内藤大和		[FW] 10 北川清平	
→ 57'(14)田中雄大		→ 80'(9)大石治寿	
15'井上樹(1-0)、62'三平和司(2-0)	得点	65'高良樹幹(2-1)	
34'小出悠太、45'荒木翔	警告		

30 2回戦

アルビレックス新潟 | 福山シティFC

1〔前半0-0 後半0-0〕0

●2025年6月11日 19:03 ●デンカビッグスワンスタジアム ●試合時間:90分、延長30分 ●【主審】上原直人【副審】棚谷幸剛/廣瀬成昭【第4の審判員】阿部達也 ●マッチコミッショナー:河合昭博 ●観衆:5,653人

[GK] 21 田代琉我	出	[GK] 1 菊地大輝	出
[DF] 15 早川史哉	場	[DF] 7 藤井敦仁	場
[DF] 38 森島大	場	[DF] 6 高田健吾	場
[DF] 35 高木和彦	退	[DF] 39 代健司	退
→ 119'(3)稲村車翔	手	[MF] 30 澤田健太	手
[DF] 31 堀米悠斗	手	[MF] 17 角田薫平	手
[MF] 33 高木善樹		→ 115'(9)ソノ・ホギョ	
→ 延前前(13)落合陸		[MF] 11 高橋大樹	
[MF] 8 宮本英治		[MF] 26 野澤友哉	
[MF] 28 太田修介		[MF] 22 松井治輝	
→ 86'(11)ダニー・ロ・ゴメス		→ 99'(14)若宮健人	
[MF] 20 ミゲル・シルヴェイラ		[MF] 16 深田竜大	
→ HT(30)奥村仁		→ 80'(33)杉浦力斗	
[FW] 99 小野田大		[FW] 29 大久保龍一	
→ 59'(41)長谷川元希		→ 80'(10)吉井佑将	
[FW] 9 矢村健		→ 86'(46)笠井佳祐	
108'笠井佳祐(1-0)	得点		
	警告	2'高田健吾、117'澤田健太	

天皇杯 JFA 第105回全日本サッカー選手権大会 記録集

第2部 全試合公式記録

43 2回戦

藤枝MYFC	FCバレイン下関
2〔前半0-0 後半2-0〕0	

●2025年6月11日 19:00 ●藤枝総合運動公園 サッカー場 ●試合時間:90分 ●[主審]窪田陽輔[副審]竹長泰彦/辛島宗烈[第4の審判員]鈴木隆太 ●マッチコミッショナー:永田亨 ●観衆:810人

[GK] 21 ジョーンズ・レイ [DF] 16 森侑里 [DF] 2 川島将 [DF] 3 鈴木翔太 → 85'(28)大森慧斗 [MF] 18 松下佳貴 [MF] 23 梶川諒太 [MF] 13 大曾根広汰 [MF] 26 河本大雅 → 70'(50)金子翔太 [MF] 24 永田貴太 → 85'(44)ホッキョニオール [FW] 11 アンデルソン → 76'(30)岸生海翔 [FW] 29 ディアマンカ・センゴール → 76'(20)関田隼人	出 場 選 手	[GK] 16 可知俊哉 [DF] 4 轟凌磨 [DF] 5 半田勘太郎 [DF] 44 川前陽斗 → 80'(27)岩本雄喜 [MF] 66 足田優人 [MF] 7 舩田勇士郎 → 71'(91)高橋勇馬 [MF] 11 野見山崇斗 [MF] 14 戸田海人 → 64'(9)岸田和人 [MF] 10 裨田凌太 [FW] 23 佐藤颯汰 → 80'(99)藤本翔 [FW] 8 原崎颯 → 71'(29)上村音生	得点 (1-0) (2-0) 警告
--	------------------	--	-------------------------

44 2回戦

湘南ベルマーレ	FC岐阜
2〔前半0-0 後半2-0〕0	

●2025年6月11日 19:00 ●レモンガススタジアム平塚 ●試合時間:90分 ●[主審]今村義朗[副審]坂本晋悟/柳岡拓磨[第4の審判員]野村尚太人 ●マッチコミッショナー:小野俊介 ●観衆:2,188人

[GK] 31 真田幸太 [DF] 22 大岩一貴 [DF] 47 キム・ミンテ [DF] 4 館幸希 [MF] 6 ゼ・セカルド [MF] 50 藤井智也 → 83'(32)松村晟怜 [MF] 20 石橋潮風 [MF] 18 池田昌生 → 62'(7)小野瀬康介 [MF] 13 平岡大陽 → 76'(19)福田翔生 [FW] 27 ルイス・フェリッピ → 62'(10)鈴木章斗 [FW] 16 根本凌 → HT(25)奥基博亮	出 場 選 手	[GK] 1 茂木秀 [DF] 4 甲斐健太郎 → 62'(3)野澤陸 [DF] 5 石田峻真 → 62'(55)外山凌 [DF] 26 大串昇平 [DF] 37 寺阪尚悟 [DF] 40 平瀬大 [MF] 7 中村仁郎 → 76'(27)横山智也 [MF] 14 生地慶充 [MF] 23 萩野遼大 [MF] 39 泉澤仁 → 69'(16)西谷亮 [FW] 11 佐々木快 → 69'(32)ウイエイ ウイリアム	得点 (1-0), 67'キム・ミンテ(2-0)
---	------------------	---	-----------------------------

45 2回戦

清水エスパルス	松本山雅FC
4〔前半2-1 後半2-1〕2	

●2025年6月11日 19:00 ●IAスタジアム日本平 ●試合時間:90分 ●[主審]長峯湊希[副審]浅田武士/山村将弘[第4の審判員]高島昌康 ●マッチコミッショナー:小松浩司 ●観衆:4,582人

[GK] 71 猪越優惟 [DF] 66 住吉ジェラニ・レシオン → HT(7)カビシャ・バ [DF] 3 高橋祐治 [DF] 4 蓮川壮太 [MF] 14 山原怜音 [MF] 17 弓場将輝 [MF] 36 宇野耀斗 [MF] 25 マテウス・ブルネッティ → 78'(41)羽田健人 [FW] 11 中原輝 → 69'(19)松崎快 [FW] 8 小塚和季 → HT(15)千葉寛汰 [FW] 21 矢島慎也 → 69'(33)乾貴士	出 場 選 手	[GK] 35 神田涉馬 [DF] 49 本間ジャスティン → 61'(40)樋口大輝 [DF] 27 ニノ宮慈洋 [DF] 4 高橋祥平 [DF] 17 山本龍平 [MF] 20 前田陸王 → 61'(41)村越颯光 [MF] 34 稲福卓 → 86'(29)ルーカス・バルガス [MF] 36 松村峻 [MF] 23 滝裕太 → 71'(18)大橋高志 [MF] 30 國分龍司 [FW] 11 浅川隼人 → 61'(42)田中想来	得点 45+1'65'ニノ宮慈洋(2-1) (3-1), 77'弓場将輝(4-2) 警告 55'浅川隼人
--	------------------	---	--

40 2回戦

アビスパ福岡	沖縄SV
2〔前半0-0 後半2-0〕0	

●2025年6月11日 19:00 ●ベスト電器スタジアム ●試合時間:90分 ●[主審]先立圭吾[副審]西橋勲/田代雄大[第4の審判員]神田人志 ●マッチコミッショナー:五領継太 ●観衆:2,078人

[GK] 1 永石拓海 [DF] 29 前嶋洋太 [DF] 19 キム・ムンヒョン → 87'(20)安藤智哉 [DF] 4 井上聖也 [DF] 77 志知孝明 [MF] 88 松岡大起 [MF] 15 秋野央樹 [MF] 53 前田陽輝 → 70'(14)名古新太郎 [MF] 7 金森健志 → 70'(25)北島祐二 [MF] 18 岩崎悠人 → 53'(47)橋本悠 [FW] 49 前田一翔 → 87'(17)ウェリントン	出 場 選 手	[GK] 31 宮崎浩太郎 [DF] 2 水越陽也 → 70'(4)矢口駿太郎 [DF] 3 藤崎将汰 [DF] 15 大野篤生 [DF] 8 沼田圭悟 [MF] 14 高塩隼生 → HT(29)村田達哉 [MF] 27 下口竜 [MF] 20 富久田和真 → 76'(32)荒井秀賀 [MF] 16 有田里 → 76'(25)篠田翔太 [FW] 34 川中健太 → 62'(5)松下大祐 [FW] 18 上野瑛介	得点 (1-0), 89'オウゴンゴール(2-0) 警告 38'下口竜空、80'荒井秀賀
--	------------------	--	--

41 2回戦

ファジアーノ岡山	ギラヴァンツ北九州
0〔前半0-1 後半0-1〕2	

●2025年6月11日 19:00 ●JFE晴れの国スタジアム ●試合時間:90分 ●[主審]椎野大地[副審]浜本祐介/堀格郎[第4の審判員]大久保秀斗 ●マッチコミッショナー:山西博文 ●観衆:3,944人

[GK] 21 川上康平 [DF] 4 阿部海大 [DF] 18 田上大地 [DF] 15 工藤孝太 [MF] 88 柳貴博 → 55'(16)家坂葉光 [MF] 3 藤井海和 [MF] 7 内津涼 [MF] 28 松本昌也 → 74'(9)グレイソン [FW] 8 江坂任 → HT(19)岩淵弘人 [FW] 99 ルカオ → 63'(22)-美和成 [FW] 45 浦根ノア賢信 → 55'(27)木村太哉	出 場 選 手	[GK] 27 田中悠也 [DF] 23 坂本翔 [DF] 13 東康太 [DF] 44 辻岡佑真 [DF] 76 坂本穂史也 [MF] 34 高吉正真 → HT(32)高柳郁弥 [MF] 25 坪郷来紀 → 90+5'(42)世良務 [MF] 21 牛之濱拓 → 63'(17)岡野謙平 [MF] 99 樺山諒乃介 → 63'(28)木貴快斗 [MF] 19 吉原楓人 [FW] 9 河辺駿太郎 → 78'(29)高昇辰	得点 12'河辺駿太郎(0-1), 52'吉原楓人(0-2) 警告 61'田中悠也、75'坂本翔 退場 82'藤井海和
--	------------------	--	--

42 2回戦

サンフレッチェ広島	Brew SAGA
3〔前半2-1 後半1-0〕1	

●2025年6月11日 18:30 ●福山通運ローズスタジアム(竹々端運動公園陸上競技場) ●試合時間:90分 ●[主審]中村太[副審]渡辺康太/池田一洋[第4の審判員]森数真治 ●マッチコミッショナー:宮田文彦 ●観衆:3,942人

[GK] 21 田中雄大 [DF] 32 越道草太 [DF] 3 山崎大地 [DF] 13 新井直志 [MF] 44 仙波大志 → 66'(18)菅大輝 [MF] 20 井上潮音 → 88'(4)荒木隼人 [MF] 24 東俊希 → 84'(5)松本大弥 [MF] 40 小原基樹 [FW] 98 ヴァレール・ジェルマン [FW] 10 マルコス・ジュニオール → HT(41)前田直輝 [FW] 17 木下康介 → 84'(39)中村章太	出 場 選 手	[GK] 31 八尾駿介 [DF] 21 洲上和輝 [DF] 14 井口天雅 [DF] 4 村田玲央 [DF] 6 稻谷海士 [MF] 7 吉田健人 → 66'(33)永富誠也 [MF] 29 平形武丸 [MF] 10 澤田航汰 → 82'(18)川村瑛偉 [MF] 22 崎濱雄希 → 72'(20)大久保彩斗 [FW] 9 森本瑠 → 41'粕谷海士(2-1)	得点 (2-0), 81'前田直輝(3-1) 警告 86'比嘉和輝
---	------------------	---	---

37 2回戦

モンテディオ山形	鹿児島ユナイテッドFC
2〔前半1-0 後半1-1〕1	

●2025年6月11日 19:00 ●NDソフトスタジアム山形 ●試合時間:90分 ●[主審]野堀佳佑[副審]内山翔太/千葉直史[第4の審判員]穴戸悠佑 ●マッチコミッショナー:結城勝彦 ●観衆:2,578人

[GK] 31 寺門陸 [DF] 4 西村慧祐 [DF] 5 安部崇士 [DF] 22 城和雄典 [MF] 7 高江麗夫 [MF] 8 小西雄大 [MF] 71 中村亮太郎 → 75'(25)園分伸太郎 [FW] 9 高橋潤哉 → 69'(11)藤本佳希 [FW] 14 坂本巨基 → 69'(10)氣田亮真 [FW] 42 イサカ セイン → 81'(2)吉田泰授 [FW] 90 ディサロ・シルヴァーノ → 69'(88)土屋聖真	出 場 選 手	[GK] 31 熊倉匠 [DF] 26 川島功堤 [DF] 29 岡崎慎 [DF] 8 藤村慶太 [DF] 23 小島謙士郎 [MF] 20 園道将良 → 83'(11)福田望久斗 [MF] 19 稲葉修士 [MF] 15 井堀二昭 → 64'(14)吉尾虹樹 [MF] 73 田中珍也 [FW] 36 米澤令衣 → 75'(10)武星弥 [FW] 13 近藤慶一 → 64'(9)アンジェロ・ロッチ	得点 4'坂本巨基(1-0), 80'藤本佳希(2-1) 63'米澤令衣(1-1)
--	------------------	--	---

38 2回戦

鹿島アントラーズ	ザスバ群馬
4〔前半1-0 後半3-0〕0	

●2025年6月11日 19:00 ●茨城県立カシマサッカースタジアム ●試合時間:90分 ●[主審]木村博之[副審]大川直也/坊富真琴[第4の審判員]林崎航 ●マッチコミッショナー:金澤聡 ●観衆:6,108人

[GK] 1 早川友基 [DF] 25 小池龍太 → 87'(32)松本遥翔 [DF] 55 植田直通 [DF] 3 キム・テヒョン [DF] 28 溝口修平 → 70'(23)津久井佳祐 [MF] 6 三竿健斗 [MF] 10 柴崎昂 → 70'(20)松橋佑 [MF] 27 松村優太 [MF] 14 橋口雄大 → 79'(77)チャヴリッチ [FW] 17 ターレス・ブレネール [FW] 9 レオ・セラ → HT(40)鈴木優磨	出 場 選 手	[GK] 13 近藤啓成 [DF] 36 安達秀都 → 58'(22)高橋勇利也 [DF] 25 中野力瑠 [DF] 43 野瀬翔也 [DF] 14 菊地健太 [MF] 37 瀧島義成 [MF] 23 小野間虎之介 → 58'(20)下川太陽 [MF] 11 加々美登生 [FW] 2 田頭亮太 → 58'(27)藤村怜 [FW] 9 青木翔太 → 71'(10)高澤優也 [FW] 18 田中翔太 → 79'(7)西村恭史	得点 36'オウゴンゴール(1-0), 50'55'86'鈴木優磨(2-0) (3-0) (4-0) 警告 15'安達秀都、27'田頭亮太、62'田中翔太
---	------------------	---	---

39 2回戦

V・ファーレン長崎	筑波大学
2〔前半2-0 後半0-1〕1	

●2025年6月11日 19:03 ●PEACE STADIUM Connected by SoftBank ●試合時間:90分 ●[主審]石丸秀平[副審]武部陽介/津野洋平[第4の審判員]坂本宗社 ●マッチコミッショナー:松山博明 ●観衆:5,204人

[GK] 31 原田岳 [DF] 23 米田隼也 [DF] 3 関口正大 [DF] 48 照山颯人 [DF] 17 高畑奎汰 [MF] 13 加藤大 → 72'(44)川江湧清 [MF] 14 名倉巧 → HT(34)松本天夢 [MF] 19 澤田崇 [FW] 16 エメルソン → 88'(32)ジョブ・セリンサリウ [FW] 9 ファン・デル・ガド → 76'(11)エジガル・ジュニオ [FW] 33 笠柳翼	出 場 選 手	[GK] 1 佐藤瑠星 [DF] 5 鈴木隼也 [DF] 18 池谷銀彦郎 [DF] 4 小川遼也 [DF] 2 池田春汰 [MF] 28 矢田龍之介 → 64'(16)野田愛斗 [MF] 14 徳永涼 → HT(13)佐野健友 [MF] 20 廣井蘭人 → 64'(27)吉川千加良 [MF] 8 清水大翔 → 64'(22)小林俊瑛 [MF] 11 篠田翼 [FW] 9 内野航太郎 90+2'小林俊瑛(2-1)	得点 90'ジョブ・セリンサリウ 警告 53'池谷銀彦郎
---	------------------	---	------------------------------------



天皇杯
JFA
CHAMPIONSHIP

52 2回戦

京都サンガF.C.

奈良クラブ

1〔前半0-0 後半1-0〕0

●2025年6月11日 19:00 ●サンガスタジアム by KYOCERA
●試合時間:90分 ●[主審]山本雄大[副審]中澤源一/村井良輔[第4の審判員]奥村勇磨 ●マッチコミッショナー:山本好彦 ●観衆:3,774人

[GK] 26 太田岳志	出	[GK] 96 マルク・ヴァイト	出
[DF] 22 須貝英大	場	[DF] 3 澤田雄大	場
[DF] 24 富本優太	場	[DF] 5 鈴木大誠	場
[DF] 50 鈴木裕宜	場	[DF] 6 中山雅斗	場
[MF] 8 米本拓司	選	→ 90'(33)佐藤大翔	選
[MF] 10 福岡慎平	手	[DF] 32 ユ・エ・チャン	手
→ 84'(48)中野瑞馬		→ 72'(22)生駒祐生	
[MF] 16 武田将平		[DF] 13 都並優太	
[MF] 39 平戸太貴		[MF] 8 堀内颯人	
→ 56'(29)奥川雅也		→ 63'(33)神垣陸	
[MF] 44 佐藤肇		[MF] 14 中島賢星	
→ 66'(2)福田心之助		[MF] 41 森田真	
[FW] 11 マルコ・トゥーリオ		→ 72'(7)田村亮介	
→ 84'(25)レオ・ゴメス		[MF] 20 國武勇斗	
[FW] 77 ム・ロ・コスタ		→ 73'(7)川谷風	
→ 56'(14)原大智		[FW] 11 百田真登	

87'福田心之助(1-0) 得点
57'玄理香 警告

49 2回戦

徳島ヴォルティス

レノファ山口FC

2〔前半1-0 後半1-1〕1

●2025年6月11日 18:30 ●徳島・大塚スポーツパークポカリスエットスタジアム ●試合時間:90分 ●[主審]岡安道[副審]長谷川雅一/井出泰隆[第4の審判員]三好修真 ●マッチコミッショナー:石橋智之 ●観衆:1,498人

[GK] 21 永井聖梧	出	[GK] 26 田口潤人	出
[DF] 22 柳澤直	場	[DF] 49 峰田祐哉	場
[DF] 6 内田航平	場	[DF] 14 下堂竜聖	場
[DF] 4 カイケ	選	[DF] 15 飯倉洗	選
[DF] 40 永木亮太	選	→ 86'(45)山本桜大	選
→ 90+5'(28)鹿沼直生		[DF] 18 亀川諒史	
[MF] 14 玄理香	手	[MF] 38 末永透瑛	手
[MF] 25 山下雄大		[MF] 29 輪並拓士	
→ 69'(5)青木駿人		→ HT(7)横谷駿	
[MF] 24 高田颯也		[MF] 40 成岡輝輝	
[MF] 11 杉森孝起		→ 90+3'(4)松田佳大	
→ 69'(69)ル・カ・メルセス		[MF] 27 小澤亮太	
[FW] 30 坪井清志郎		[FW] 19 山本駿亮	
→ 90+5'(16)波大生		[FW] 34 古川大悟	
[FW] 9 トニー・アンデルソン		→ 74'(27)ロレンス・デ・ビザ	

18'玄理香(1-0)、90+2'坪井清志郎(2-1) 得点
57'山田賢二、80'小澤亮太 警告

53 2回戦

横浜FC

いわてグルージャ盛岡

2〔前半0-0 後半2-1〕1

●2025年6月18日 18:30 ●ニッパツ三ツ沢球技場 ●試合時間:90分 ●[主審]堀島孝一郎[副審]坂本智悟/内山翔太[第4の審判員]岡田太一 ●マッチコミッショナー:藤本真壽 ●観衆:1,557人

[GK] 32 石井徹	出	[GK] 50 若林学歩	出
[DF] 3 鈴木準弥	場	[DF] 13 小暮大器	場
[DF] 22 若武克弥	場	→ HT(7)深堀雄平	場
[DF] 27 レオ・バイア	選	[DF] 25 和田昂士	選
[MF] 20 村田透馬	手	[DF] 4 牟田雄祐	手
[MF] 28 齋藤弘貴		[DF] 16 柳根根	
[MF] 34 小倉陽太		[MF] 19 ウォン・テラン	
[MF] 14 中野真大		→ 45+1'(55)藤島樹騎也	
→ 71'(39)遠藤貴成		[MF] 77 小松寛太	
[FW] 33 室井慧佑		[MF] 28 松村航希	
→ 71'(13)小川慶治朗		→ 82'(49)小林祐希	
[FW] 17 新井瑞希		[MF] 39 塚本雄太	
→ HT(9)榎川シロモン		→ 90+2'(23)中村充幸	
[FW] 18 森海渡		[FW] 9 シラス	
→ 82'(15)伊藤翔		→ HT(44)新玉瑛琉	

63'室井慧佑(1-0)、90+4'小倉陽太(2-1) 得点
58'若武克弥、71'鈴木準弥 警告

50 2回戦

FC町田ゼルビア

京都産業大学

2〔前半0-0 後半2-1〕1

●2025年6月11日 18:30 ●町田GIONスタジアム ●試合時間:90分 ●[主審]御厨貴文[副審]亀川哲弘/清水拓[第4の審判員]永野真大 ●マッチコミッショナー:北郷光宏 ●観衆:1,704人

[GK] 13 守田達弥	出	[GK] 1 徳若碧郎	出
[DF] 6 望月ヘンリー・海輝	場	[DF] 6 田代結	場
[DF] 77 奈良坂巧	場	[DF] 4 小野成夢	場
→ 83'(4)菊池流帆		[DF] 5 遠村健斗	
[DF] 5 藤尾智之	選	[MF] 3 滝口晴斗	選
[MF] 9 藤尾翔太	手	[MF] 23 大倉慎一	手
[MF] 8 仙頭啓矢		[MF] 10 伊藤翼	
[MF] 23 白崎凌兵		[MF] 8 末谷響梧	
→ 83'(18)下田北斗		→ 80'(35)郊田大輝	
[MF] 26 林幸多郎		[MF] 7 血良立輝	
[FW] 99 高橋大悟		→ 75'(17)福永裕也	
→ 54'(39)バスケ・バイロン		[MF] 14 長谷川俊泰	
[FW] 10 ナンホ		→ 75'(13)山村朔冬	
→ 61'(7)相馬勇紀		[FW] 9 妹尾翼斗	
[FW] 49 森山健士		→ 69'(26)高川諒希	
→ 61'(20)西村拓真			

86'藤尾翔太(1-1)、90+2'相馬勇紀(2-1) 得点
88'仙頭啓矢 警告

54 2回戦

東京ヴェルディ

栃木SC

3〔前半2-1 後半1-0〕1

●2025年6月11日 19:00 ●味の素スタジアム ●試合時間:90分 ●[主審]岡部拓人[副審]日比野真/宮原一也[第4の審判員]坂田純平 ●マッチコミッショナー:石井秀明 ●観衆:2,726人

[GK] 21 長沢祐弥	出	[GK] 27 丹野研太	出
[DF] 6 宮原和也	場	[DF] 33 ラファエル	場
[DF] 23 網島悠斗	場	[DF] 3 大森博	場
[DF] 15 鈴木海音	場	[DF] 37 木村優人	場
[MF] 25 藤取谷一星	選	[MF] 22 高橋秀典	選
→ 84'(26)内田陽介		→ 89'(19)庄司朗	
[MF] 17 福見哲行	手	[MF] 44 堀石琉生	手
[MF] 28 山本文偉		→ 62'(77)藤原健介	
[MF] 19 松橋優安		[MF] 47 吉野陽翔	
→ 74'(7)森田晃樹		[FW] 18 川名進介	
[FW] 14 福田清矢		[FW] 39 星原和真	
→ 62'(37)川崎修平		→ 62'(38)小堀空	
[FW] 11 山見大登		[FW] 9 菅原龍之助	
→ 62'(9)染野唯月		→ 62'(29)矢野貴章	
[FW] 27 白井亮丞		[FW] 20 井出真太郎	
→ 84'(30)川村楽人		→ 62'(23)星野創輝	

4'網島悠斗(1-0)、44'鈴木海音(2-1)、50'山見大登(3-1) 得点
32'高橋秀典(1-1) 警告

51 2回戦

ベガルタ仙台

カタール・富山

0〔前半0-1 後半0-0〕1

●2025年6月11日 19:00 ●キューアンドエーススタジアムみやぎ ●試合時間:90分 ●[主審]田中珍匡[副審]平間亮/島山大介[第4の審判員]高橋睦 ●マッチコミッショナー:長谷川正朋 ●観衆:1,719人

[GK] 21 梅田陸空	出	[GK] 42 平尾駿輝	出
[DF] 2 高田椋次	場	[DF] 32 溝口誠	場
[DF] 13 實藤友紀	場	→ 62'(14)浦十蔵	場
[DF] 19 マテウス・モライス	場	[DF] 23 西矢慎平	場
[DF] 42 石井準太	選	[DF] 26 鍋田純志	選
[MF] 17 工藤蒼生	手	[DF] 40 竹内豊	手
→ 28'(26)横山颯大		[DF] 28 布施裕樹	
[MF] 4 湯谷杏吏		[DF] 33 高橋肇希	
[MF] 23 梅田恵人		[MF] 24 河井陽介	
→ 82'(15)南利太		→ 87'(25)亀田歩夢	
[MF] 24 名瀬斗哉		[MF] 7 佐々木陽次	
[FW] 30 西丸道生		→ 62'(22)椎名伸志	
→ 66'(40)安野匠		[MF] 6 潮見俊太	
[FW] 18 梅田		→ 60'(13)深澤壮太	
→ 66'(20)グスタボ		[FW] 39 川村真人	
		→ HT(58)武蔵	

37'湯谷杏吏、46'實藤友紀、22'鍋田純志、61'武蔵、81'梅田 得点
76'ロドリゴ・シモエス、90+2'安野 警告

天皇杯 JFA 第105回全日本サッカー選手権大会 記録集

第2部 全試合公式記録

60 3回戦

川崎フロンターレ SC相模原

0〔前半0-0 後半0-0〕0
PK 1-3

●2025年7月16日 19:03 ●Uvanceとどろきスタジアム by Fujitsu
●試合時間:90分、延長30分、PK ●[主審]飯田淳平[副審]嵯峨巧
/森川浩次[第4の審判員]鶴岡将樹 ●マッチコミッショナー:松浦敏夫
●観衆:8,661人

[GK] 98 山口瑠伊	出	[GK] 46 バウマン
[DF] 31 ファン ウェルメスケルン	場	[DF] 3 ヒトリック
→ 115'(39)土屋權大	場	[DF] 33 常田克人
[DF] 4 ジェジエウ	選	[DF] 2 加藤大育
→ HT(5)佐々木旭	選	[DF] 4 島川俊郎
[DF] 35 丸山祐市	手	[MF] 6 徳永裕大
[DF] 13 三浦颯太	手	→ 95'(11)武藤雄樹
[MF] 8 橋田健人	手	[MF] 8 大迫塁
→ 90+5'(19)河原創	手	→ 69'(9)ラファエル・フルタド
[MF] 14 脇坂泰斗	手	[MF] 15 前田泰良
[MF] 6 山本悠樹	手	→ 81'(17)竹内崇人
[FW] 41 家長昭博	手	[MF] 7 河野諒祐
→ 64'(17)伊藤達哉	手	→ 64'(16)高野遼
[FW] 23 マルシーニョ	手	[FW] 14 高木彰人
→ 83'(16)大関友翔	手	→ 81'(22)福井和樹
[FW] 11 小林悠	手	[FW] 97 藤沼拓夢
→ 64'(38)神田奏真	手	→ 64'(24)杉本蓮
警告 92'ラファエル・フルタド		
19×、6×、38×、16○		PK 先11○、3×、17○、2×、16○

61 3回戦

ラインメール青森 ブラウブリッツ秋田

1〔前半1-2 後半0-0〕2

●2025年7月16日 18:30 ●ブライフーズスタジアム ●試合時間:
90分 ●[主審]山下良美[副審]川崎秋仁/小出貴彦[第4の審判員]
中川愛斗 ●マッチコミッショナー:大澤裕造 ●観衆:736人

[GK] 17 廣末陸	出	[GK] 17 ルカ・ラドティッチ
[DF] 30 日高オギュステ	場	[DF] 16 村松航太
[DF] 2 齊藤諒	場	[DF] 19 尾崎優成
→ 72'(15)田村陸	場	→ 72'(5)長井一真
[DF] 44 藤本裕也	選	[DF] 4 井上竜太
[MF] 6 浅利航大	選	[DF] 24 深港壮一郎
[MF] 22 朴勇志	手	[MF] 8 畑潤志
→ 86'(41)長嶋風太	手	→ 72'(6)諸岡裕人
[MF] 18 石川竣祐	手	[MF] 80 小野原和哉
→ 78'(20)平尾泰雅	手	[MF] 14 大石竜平
[MF] 24 西坂斗和	手	[MF] 31 石田凌太郎
→ 78'(14)宇高魁人	手	→ 62'(29)佐藤大樹
[FW] 29 岡健太	手	[MF] 9 中村亮太
[FW] 10 ベッサ	手	→ 62'(11)梶谷政仁
[FW] 5 高木輝之	手	[FW] 40 佐川流
→ 78'(13)有田光希	手	→ 42'(34)鈴木翔大
29'廣末陸(1-1)	得点	8'39'佐川流(0-1)(1-2)
84'朴勇志	警告	77'梶谷政仁、79'ルカ・ラドティ チ、90+2'深港壮一郎

62 3回戦

ガンバ大阪 モンテディオ山形

4〔前半1-2 後半2-1〕4
PK 3-4

●2025年7月16日 19:03 ●NDソフトスタジアム山形 ●試合時間:
90分、延長30分、PK ●[主審]荒木友輔[副審]平間亮/清水拓[第4
の審判員]松澤慶和 ●マッチコミッショナー:田中亨 ●観衆:5,471人

[GK] 22 一森純	出	[GK] 1 トーマス・ヒューズ
[DF] 3 半田陸	場	[DF] 15 川井歩
[DF] 5 三浦悠太	場	[DF] 4 西村慧祐
→ 延前前(2)福岡将太	場	→ 104'(22)城和準風
[DF] 20 中谷進之介	選	[DF] 5 安部崇士
[DF] 33 中野伸哉	選	[DF] 13 野坂寛也
→ HT(4)黒川圭介	選	[DF] 71 中村亮太郎
[MF] 6 ネトラヴィ	手	[MF] 88 土居真真
→ 82'(7)宇佐美貴史	手	→ 56'(9)高橋潤哉
[MF] 16 鈴木徳真	手	[MF] 8 小西雄大
→ 55'(13)安部終斗	手	→ 85'(21)田中渉
[MF] 47 ファン・アラノ	手	[FW] 10 氣田亮真
→ 55'(97)ウェルトン	手	→ 66'(20)吉尾海夏
[FW] 11 イッサム・ジェバリ	手	[FW] 90 ディヤコ・ミルヴァーノ
[FW] 17 山下諒也	手	→ 66'(55)堀金峻明
→ 61'(15)岸本武流	手	[FW] 25 國分伸太郎
[FW] 51 満田誠	手	→ 56'(14)坂本巨基
40'73'イッサム・ジェバリ(1-2)	得点	20'30'氣田亮真(0-1)(0-2)、
(3-2)、60'黒川圭介(2-2)、	得点	78'高橋潤哉(3-3)、116'吉尾
120+2'中谷進之介(4-4)	得点	海夏(3-4)
118'ウェルトン、120+3'イッサム・	警告	28'國分伸太郎、120+2'田中
ジェバリ	警告	渉
90'安部終斗	退場	
先7×、97○、11○、15○、51×		PK 9○、14○、20○、5○



2回戦・柏レイソル vs 東洋大学

58 3回戦

ヴィッセル神戸 ヴァンフォーレ甲府

2〔前半0-0 後半1-1〕1
延前1-0 延後0-0

●2025年7月16日 19:00 ●JIT リサイクルリンク スタジアム ●試合
時間:90分、延長30分 ●[主審]上田益也[副審]堀越雅弘/坊園
真琴[第4の審判員]堀善仁 ●マッチコミッショナー:田村貴 ●観衆:
4,608人

[GK] 21 新井章太	出	[GK] 1 河田晃兵
[DF] 66 松田陸	場	[DF] 17 土屋巧
→ 66'(27)エリキ	場	[DF] 2 井上樹
[DF] 31 岩波拓也	選	[DF] 40 エドゥアルド・マンシャ
[DF] 15 本多勇喜	選	→ 71'(21)ヘナト・アウグスト
→ 77'(41)永戸勝也	選	[MF] 24 佐藤恵介
[DF] 16 カーター	手	→ 延前前(9)三平和司
→ 56'(4)山川哲史	手	[MF] 20 遠藤光
[DF] 25 銀朱祐弥	手	[MF] 8 中山陸
[MF] 30 山内翔	手	→ 54'(14)田中雄大
→ 101'(44)日高光輝	手	[MF] 7 荒木翔
[MF] 77 クスタボ・クリスマン	手	→ 82'(22)小出悠太
→ 延前前(7)井手口陽介	手	→ 101'(6)小林宏魚
[MF] 18 井出遥也	手	[MF] 11 熊倉弘達
[MF] 14 込木康也	手	→ 56'(13)鳥海芳樹
→ 66'(23)広瀬陸斗	手	[MF] 77 マテウス・レイリア
[FW] 29 小松蓮	手	→ 71'(16)林田湜也
90+7'岩波拓也(1-1)、94'エリキ	得点	58'内藤大和(0-1)
(2-1)	得点	
115'日高光輝	警告	48'マテウス・レイリア、63'68'内
	警告	藤大和、120+1'ヘナト・アウグスト
	退場	68'内藤大和

59 3回戦

アルビレックス新潟 東洋大学

1〔前半0-1 後半1-1〕2

●2025年7月16日 19:05 ●デンカビッグスワンスタジアム ●試合
時間:90分 ●[主審]岡部拓人[副審]熊谷幸剛/阿部将茂[第4の審
判員]田中玲臣 ●マッチコミッショナー:石黒浩司 ●観衆:5,887人

[GK] 21 田代琉我	出	[GK] 22 磐井稜真
[DF] 48 大竹優心	場	[DF] 2 荒井涼
→ HT(5)舞行龍・ジェームズ	場	[DF] 27 岡部タリク・カイ・イム
[DF] 15 早川史哉	選	[DF] 4 福原陽向
[DF] 38 森島大	選	[DF] 5 山之内佑成
[DF] 42 橋本健人	手	[MF] 10 湯之原匡央
[MF] 33 高木善朗	手	→ 78'(12)仲野聖斗
→ 77'(13)落合陸	手	[MF] 6 田村裕作
[MF] 22 新井泰貴	手	[MF] 7 錦島暖歩
[MF] 18 若月大和	手	→ 86'(16)大橋斗唯
→ 59'(30)奥村仁	手	[MF] 32 宮本新
[MF] 20 ミゲル・シルヴェイラ	手	→ 72'(8)相澤亮太
→ HT(41)長谷川元希	手	[FW] 9 村上力己
[MF] 46 笠井佳祐	手	→ 72'(19)依田悠希
[FW] 9 矢村健	手	[FW] 14 高橋輝
→ 59'(99)小野裕二	手	
49'橋本健人(1-1)	得点	45+2'村上力己(0-1)、57'湯之
	得点	原匡央(1-2)
74'奥村仁	警告	50'福原陽向

55 2回戦

サガン鳥栖 愛媛FC

1〔前半0-0 後半1-0〕0

●2025年6月11日 19:00 ●駅前不動産スタジアム ●試合時間:
90分 ●[主審]中川愛斗[副審]大塚晴弘/山口大輔[第4の審判員]
金丸拓哉 ●マッチコミッショナー:堤恒範 ●観衆:2,573人

[GK] 35 内山圭	出	[GK] 1 徳重健太
[DF] 48 黒木雄也	場	[DF] 26 金沢一矢
→ HT(13)井上太聖	場	[DF] 37 石尾峻輝
[DF] 37 森下怜哉	選	→ 60'(6)谷岡昌
[DF] 26 安藤寿岐	選	[DF] 3 マルセル・スカレゼ
[DF] 91 上原牧人	手	[DF] 44 森山公弥
[DF] 23 北島郁哉	手	[MF] 16 細谷航平
→ 74'(8)植原康輝	手	→ 71'(25)吉田温紀
[MF] 2 松本風生	手	[MF] 48 行友翔哉
[MF] 27 櫻井辰徳	手	[FW] 15 鶴野怜樹
→ 61'(33)西矢健人	手	→ 71'(17)村上悠輝
[MF] 11 西川潤	手	[FW] 9 ベン・ダンカン
→ 61'(19)鈴木大馳	手	[FW] 18 田口裕也
[MF] 44 堀米勇輝	手	→ 81'(27)船橋京汰
[FW] 9 ジョー	手	[FW] 90 アルトゥール・ヴィアナ
→ 74'(34)山田寛人	手	→ 60'(10)佐藤亮
69'鈴木大馳(1-0)	得点	
73'西矢健人	警告	30'マルセル・スカレゼ、66'谷岡
	警告	昌、90+2'90+3'ベン・ダンカン
	退場	90+3'ベン・ダンカン

56 2回戦

名古屋グランパス ヴェロスクロノス都農

3〔前半0-0 後半3-0〕0

●2025年6月11日 18:30 ●豊田スタジアム ●試合時間:90分
●[主審]上田益也[副審]安藤康平/松本康之[第4の審判員]本郷真
康 ●マッチコミッショナー:土本泰 ●観衆:4,248人

[GK] 16 武田洋平	出	[GK] 21 中野翔
[DF] 3 佐藤瑠大	場	[DF] 2 久野龍心
[DF] 20 三國ケネディエス	場	→ 68'(6)柳田健太
[DF] 70 原輝崎	選	[DF] 22 武田航太郎
[MF] 55 徳元悠平	選	[DF] 5 山原慧也
→ 81'(66)山中亮輔	選	[DF] 24 藤本章詩
[MF] 14 森島司	手	[DF] 20 藤田大道
[MF] 15 稲垣祥	手	[MF] 14 五領淳樹
[MF] 33 菊地泰智	手	→ 60'(10)中村亮
→ 79'(7)和泉竜司	手	[MF] 3 梶山幹太
[MF] 27 中山克広	手	[MF] 25 神代一慧
→ HT(17)内田宅哉	手	→ 60'(13)上良良終人
[FW] 77 キャスパー・ユンカー	手	[FW] 11 濱田智也
→ HT(9)浅野雄也	手	→ 60'(27)松本幹太
[FW] 18 永井謙祐	手	[FW] 26 田辺涼成
→ 67'(11)山岸祐也	手	→ 60'(9)山田雄太
47'稲垣祥(1-0)、67'原輝崎	得点	
(2-0)、79'山岸祐也(3-0)	得点	
	警告	51'梶山幹太、72'中村亮

57 2回戦

ジェフユナイテッド千葉 ロアッソ熊本

1〔前半1-0 後半0-1〕1
延前0-0 延後0-0

●2025年6月11日 19:00 ●フクダ電子アリーナ ●試合時間:90
分、延長30分、PK ●[主審]俵元希[副審]長田望/小野裕太[第4の審
判員]佐々木就将 ●マッチコミッショナー:片岡道夫 ●観衆:3,953人

[GK] 23 鈴木椋大	出	[GK] 1 佐藤史騎
[DF] 2 高橋嵩晟	場	[DF] 5 阿部海斗
[DF] 13 鈴木大輔	場	→ 79'(3)大西遼太郎
→ 延前前(24)鳥海晃司	場	[DF] 24 李泰河
[DF] 28 河野貴志	選	→ HT(4)袴田裕太郎
[DF] 67 日高大	選	[DF] 6 岩下航
→ 89'(26)植田悠太	選	[MF] 2 黒木晃平
[DF] 15 前貴之	手	→ 66'(21)豊田歩
[MF] 4 田口泰士	手	[MF] 27 根岸恵汰
→ 58'(6)エドゥアルド	手	→ HT(8)上村周平
[MF] 18 杉山直宏	手	[MF] 7 竹本雄飛
→ 66'(7)田中和樹	手	→ 96'(17)藤井皓也
[MF] 10 横山晃之	手	[MF] 15 三島頌平
[FW] 17 林誠道	手	[FW] 18 半代将都
→ 66'(38)吉田源太郎	手	[FW] 28 神代慶人
[FW] 9 奥屋大翔	手	→ 66'(14)塩浜涼
→ 66'(29)カルロス・ジュニョ	手	[FW] 10 古長谷千博
28'奥屋大翔(1-0)	得点	85'オウンゴール(1-1)
	警告	37'李泰河、76'三島頌平、103'
	警告	大西遼太郎
先2○、6×、28○、24○、29○、		PK 6○、18×、17○、14○、10○、
10×		21○

69 3回戦

FC町田ゼルビア | カターレ富山

2 [前半1-1 後半1-0] 1

●2025年7月16日 19:00 ●富山県総合運動公園陸上競技場
●試合時間:90分 ●【主審】長峯浩希【副審】長谷川雅/遊格郎【第4の審判員】岡岡達 ●マッチコミッショナー:坂口公介 ●観衆:3,629人

[GK] 1 谷晃生	出	[GK] 42 平尾駿輝	
[DF] 5 ドレシエヴィッチ		[DF] 23 西矢慎平	
[DF] 60 岡村大八	場	[DF] 41 酒井崇一	
[DF] 19 中山雄太	選	[DF] 40 竹内豊	
[MF] 88 中村航高	手	[MF] 8 松岡大智	
→ HT (26) 林幸多郎		→ 63' (26) 鍋田純志	
[MF] 23 白崎凌兵		[MF] 24 河井陽介	
→ 85' (16) 前寛之		[MF] 22 椎名伸志	
[MF] 8 仙頭啓矢		→ 75' (14) 浦十蔵	
[MF] 11 増山朝陽		[MF] 25 亀田歩夢	
→ 68' (4) 菊池流帆		→ HT (7) 佐々木陽次	
[FW] 20 西村拓真		[MF] 13 深澤壮太	
[FW] 22 沼田駿也		→ 75' (20) 大山武蔵	
→ HT (18) 下田北斗		[FW] 17 井上直輝	
[FW] 15 ミツヘル・デューク		[FW] 58 武風	
→ HT (9) 藤尾翔太		→ 52' (34) 竹中元汰	
21' 西村拓真 (1-0), 73' 岡村大八 (2-1)	得点	45+1' 武風 (1-1)	
43' 沼田駿也	警告	69' 椎名伸志	

70 3回戦

京都サンガF.C. | 横浜FC

3 [前半0-0 後半1-1] 3

PK4-3

●2025年7月16日 19:03 ●サンガスタジアム by KYOCERA
●試合時間:90分、延長30分、PK ●【主審】須谷雄三【副審】野村修/馬場規【第4の審判員】吉田哲朗 ●マッチコミッショナー:安岡和仁 ●観衆:3,906人

[GK] 26 太田岳志	出	[GK] 88 渡谷飛翔	
[DF] 2 福田心之助	場	[DF] 30 山崎浩介	
[DF] 4 バトリック・ウィリアム	場	[DF] 22 若武亮弥	
[DF] 50 鈴木義宣	選	[DF] 5 福森晃斗	
[MF] 10 福岡慎平	手	[MF] 3 鈴木達弥	
[MF] 18 松田天馬		→ 延前前 (39) 遠藤貴成	
→ 54' (27) 山田楓喜		[MF] 6 駒井善成	
[MF] 25 レオ・ゴメス		→ 84' (15) 伊藤翔	
→ 63' (48) 中野翔馬		[MF] 34 小倉陽太	
[MF] 39 平戸太貴		[MF] 14 中野嘉大	
→ 71' (77) ムリコ・ロスタ		→ 84' (48) 新保海鈴	
[MF] 44 佐藤賢		[FW] 13 小川慶治朗	
→ 63' (22) 須貝英大		→ 71' (76) 山田康太	
[FW] 11 マルコ・トゥーリオ		[FW] 33 室井哲佑	
→ 98' (16) 武田将平		→ 71' (10) ジョアン・バウロ	
[FW] 93 長沢駿		[FW] 91 ルキアン	
→ 71' (9) ラファエル・エリウス		→ 71' (9) 櫻川ソロモン	
79' ラファエル・エリウス (1-1), 108' 中野翔馬 (2-3), 119' 太田岳志 (3-3)	得点	59' 鈴木達弥 (0-1), 91' 伊藤翔 (1-2), 110' 櫻川ソロモン (1-3)	
80' ラファエル・エリウス	警告	65' 小倉陽太, 90+3' ジョアン・バウロ	
90', 20', 27', 77', 22'	PK	先76', 15', 10', 50', 48'	

71 3回戦

東京ヴェルディ | サガン鳥栖

1 [前半0-0 後半1-0] 0

●2025年7月16日 19:00 ●駅前不動産スタジアム ●試合時間:90分 ●【主審】谷本涼【副審】渡田武士/緒方孝浩【第4の審判員】中井敏博 ●マッチコミッショナー:浪澤茂 ●観衆:3,688人

[GK] 1 マテウス	出	[GK] 12 泉森涼太	
[DF] 6 宮原和也	場	[DF] 5 長澤シヴァ・タファリ	
[DF] 2 深澤大輝	場	→ 71' (14) 堀屋佳介	
[DF] 3 谷口崇斗	選	[DF] 13 井上太聖	
[MF] 19 松橋優安	手	[DF] 4 今津佑太	
→ 72' (7) 白井亮丞		[DF] 32 小川大空	
[MF] 20 食野壮磨		[MF] 27 櫻井辰徳	
→ 72' (7) 森田晃樹		[MF] 33 西矢健人	
[MF] 17 稲見哲行		→ 71' (18) 日野翔太	
→ 86' (16) 平川伶		[MF] 11 西川潤	
[MF] 22 鈴真聖		→ 78' (10) 本田風智	
[FW] 14 福田湧矢		[MF] 16 西郷健太	
→ 55' (40) 新井悠太		→ 71' (19) 鈴木大馳	
[FW] 9 染野唯月		[MF] 7 新井晴樹	
[FW] 37 川崎修平		[FW] 34 山田寛人	
→ 55' (8) 齋藤功佑		→ 56' (47) 新川志音	
69' 染野唯月 (1-0)	得点		
81' 新井悠太	警告	72' 今津佑太, 81' 新井晴樹	

66 3回戦

湘南ベルマーレ | 清水エスパルス

0 [前半0-0 後半0-0] 1

●2025年7月16日 19:00 ●レモンガススタジアム平塚 ●試合時間:90分、延長30分 ●【主審】上原直人【副審】大川直也/中澤涼【第4の審判員】酒井達夫 ●マッチコミッショナー:中庭美智雄 ●観衆:3,631人

[GK] 1 ボー・ウィリアム	出	[GK] 16 梅田透吾	
[DF] 4 館幸希	場	[DF] 4 蓮川壮大	
[DF] 8 大野和成	場	[DF] 66 住吉ジェラニ・レション	
[DF] 32 松村豊佳	選	[DF] 25 マテウス・ブルネッティ	
[MF] 14 茨田陽生	手	→ 延前前 (41) 羽田健人	
→ 79' (15) 奥野耕平		[MF] 14 山原特吉	
[MF] 37 鈴木雄太		→ 77' (70) 高木謙	
[MF] 7 小野瀬康介		[MF] 47 嶋本悠大	
→ 65' (27) ルイス・フェリッピ		[MF] 21 矢島慎也	
[MF] 25 奥野耕平		→ 77' (55) 西原源樹	
[MF] 20 石橋颯風		[MF] 7 カビシャ・バ	
→ 90+6' (77) 石井久雄		[FW] 11 中原輝	
[FW] 10 鈴木卓斗		→ 73' (59) ドグラス・タンキ	
→ 延後前 (72) 二田理央		[FW] 15 千葉寛太	
[FW] 9 小田裕太郎		→ 64' (27) 北川航也	
→ 79' (13) 平岡大輔		[FW] 19 崎崎快	
→ 112' (16) 根本凌		→ 61' (33) 乾貴士	
74' 茨田陽生	得点	105+1' ドグラス・タンキ (0-1)	
	警告	18' 蓮川壮大, 45+1' カビシャ・バ, 102' 西原源樹, 119' 北川航也	

67 3回戦

FC東京 | 大分トリニータ

2 [前半2-0 後半0-0] 0

●2025年7月16日 19:00 ●クラサドーム大分 ●試合時間:90分 ●【主審】今村義朗【副審】武部陽介/船橋昭次【第4の審判員】大坪博和 ●マッチコミッショナー:宮田文彦 ●観衆:4,479人

[GK] 81 キム・スンギュ	出	[GK] 22 ムン・ギョングン	
[DF] 4 木本恭生	場	[DF] 3 デルラン	
→ 63' (24) アレクサンダー・ウォルフ		[DF] 4 薩川淳貴	
[DF] 6 バンゲ・ナガンデ・バク	選	[DF] 31 ベレラ	
→ 63' (2) 室屋成		[MF] 14 池田廉	
[DF] 32 土肥幹太	手	→ HT (10) 野村直輝	
[DF] 99 白井康介		[MF] 16 茂平	
[MF] 7 安斎順馬		→ 71' (44) 吉田真那斗	
[MF] 27 常盤亨太		[MF] 18 野坂博也	
→ 80' (8) 高宇洋		→ 延前前 (6) 眞見征斗	
[MF] 28 野澤零		[MF] 25 榎原基佑	
[MF] 37 小野田太		[MF] 38 天笠泰輝	
[FW] 26 長倉幹樹		→ HT (5) 中川寛斗	
[FW] 39 仲川輝人		[FW] 9 有馬幸太郎	
→ 80' (19) マルセロ・セアン		[FW] 15 屋敷成徳	
19' 長倉幹樹 (1-0), 33' 小泉慶 (2-0)	得点	→ 71' (13) 伊佐耕平	
	警告	36' 野坂博也, 47' デルラン, 90+4' 伊佐耕平	

68 3回戦

セレッソ大阪 | 徳島ヴォルティス

2 [前半0-0 後半2-0] 0

●2025年7月16日 18:30 ●鳴門・大塚スポーツパークカリスエッセスタジアム ●試合時間:90分 ●【主審】推野大地【副審】渡辺康太/唐紙学志【第4の審判員】矢野浩平 ●マッチコミッショナー:山本弘之 ●観衆:3,475人

[GK] 21 キム・ジンヒョン	出	[GK] 21 永井堅梧	
[DF] 16 奥田勇斗	場	[DF] 22 柳澤聖	
[DF] 27 ディオン・クルーズ	場	[DF] 4 カイケ	
[DF] 33 西尾隆矢	選	[DF] 3 山田泰央	
[DF] 44 島中慎之輔	手	[DF] 5 青木駿人	
[MF] 5 菅田陽		[MF] 40 永木亮太	
[MF] 35 吉野泰平		→ HT (14) 田中聡	
→ 62' (10) 田中駿汰		[MF] 14 玄理希	
[MF] 48 柴山昌也		[MF] 13 西野太陽	
→ 77' (13) 中島元彦		→ 58' (9) ルカス・バルセロス	
[FW] 55 ヴェトル・ブエン		[MF] 24 高田颯也	
→ 82' (9) ラファエル・ハットン		→ 85' (42) 高木友也	
[FW] 19 本間至恩		[FW] 30 坪井清志郎	
→ 77' (11) アゴア・ド・ラ・デ		→ 65' (17) 木下康介	
[FW] 77 ルカス・フェルナンデス		[FW] 9 トニー・アンデルソン	
→ 89' (17) 飯田澤哉		→ 74' (10) 杉本太郎	
60' ルカス・フェルナンデス (1-0), 87' ラファエル・ハットン (2-0)	得点		
	警告	40' 永木亮太, 52' 永井堅梧, 77' ディオン・クルーズ	

63 3回戦

鹿島アントラーズ | V・ファーレン長崎

2 [前半1-0 後半1-1] 1

●2025年7月16日 19:03 ●PEACE STADIUM Connected by SoftBank ●試合時間:90分 ●【主審】小屋幸崇【副審】浜本祐介/廣瀬成昭【第4の審判員】石丸秀平 ●マッチコミッショナー:五領隼太 ●観衆:11,388人

[GK] 29 梶川裕嗣	出	[GK] 31 原田岳	
→ 75' (21) 山田大樹	場	[DF] 3 関口正大	
[DF] 22 渡野公人	場	→ 68' (17) 高畑達夫	
[DF] 4 千田海人	選	[DF] 4 エドゥアルド	
[DF] 23 津久井佳祐	手	[DF] 25 柳井一紀	
[DF] 7 小川諒也		→ 90' (15) 岡野海	
[MF] 13 知念慶		[DF] 48 山根弘人	
→ 68' (20) 松橋佑		[MF] 5 山口玄	
[MF] 10 柴崎岳		[MF] 16 エメルソン	
→ 68' (6) 三年健斗		→ 81' (36) 青木俊輔	
[MF] 14 橋口雄太		[MF] 24 山田陸	
[MF] 71 荒木遼太郎		→ HT (10) マテウス・ジェズス	
[FW] 77 チャブリッチ		[MF] 33 笠原将	
→ 64' (27) 松村優太		[MF] 34 松本大夢	
[FW] 9 レオ・セアラ		[FW] 11 エジガル・ジュニオ	
→ HT (18) 山崎凌吾		→ HT (18) 山崎凌吾	
9' チャブリッチ (1-0), 53' 小川諒也 (2-0)	得点	58' 山崎凌吾 (2-1)	
90+1' 小川諒也	警告		

64 3回戦

アビスパ福岡 | ギラヴァンツ北九州

0 [前半0-0 後半0-0] 0

PK4-2

●2025年7月16日 19:00 ●ベスト電器スタジアム ●試合時間:90分、延長30分、PK ●【主審】笠原寛貴【副審】西橋勉/津野洋平【第4の審判員】佐々木慎哉 ●マッチコミッショナー:井上勝博 ●観衆:8,712人

[GK] 24 小畑裕馬	出	[GK] 27 田中悠也	
[DF] 5 上島拓巳	場	[DF] 4 長谷川光基	
[DF] 3 奈良竜樹	場	[DF] 13 東澤太	
→ 延前前 (2) 湯澤聖人		[DF] 44 辻岡佑真	
[DF] 37 田代雅也	選	[MF] 34 高吉正真	
[MF] 18 岩崎悠人	手	[MF] 20 矢田旭	
[MF] 88 松岡大起		→ 72' (11) 喜山康平	
[MF] 15 秋野央樹		[MF] 17 岡野洋平	
→ 延前前 (6) 眞見征斗		→ 81' (42) 世良務	
[MF] 22 藤本一輝		[MF] 99 橋山諒乃介	
→ 72' (47) 橋本悠		→ 延前前 (9) 河辺駿太郎	
[FW] 8 紺野和也		[MF] 21 牛之濱浩	
→ 延前前 (7) 金森健志		→ 72' (25) 坪郷来紀	
[FW] 17 ウェリントン		[FW] 19 吉原楓人	
→ 72' (13) ジョアン・ベレガ		[FW] 29 高見昂	
[FW] 14 名古新太郎		→ 81' (18) 渡邊遼太	
→ 延後前 (9) シン・バザヘディ			
80' 上島拓巳	警告	49' 高吉正真, 84' 辻岡佑真, 120+2' 世良務, 120+4' 岡野洋平	
先7', 13', 88', 47', 9', 9'	PK	18', 25', 44', 11', 11'	

65 3回戦

サンフレッチェ広島 | 藤枝MYFC

5 [前半2-2 後半3-0] 2

●2025年7月16日 19:00 ●藤枝総合運動公園 サッカー場 ●試合時間:90分 ●【主審】福島孝一郎【副審】日比野真/松本康之【第4の審判員】安川公規 ●マッチコミッショナー:岡本知之 ●観衆:1,822人

[GK] 26 チョン・ミンギ	出	[GK] 41 北村海斗	
[DF] 33 塩谷司	場	[DF] 22 久富良輔	
[DF] 15 中野就斗	場	[DF] 5 楠本卓海	
[DF] 19 佐々木翔	選	→ 71' (16) 森南里	
[MF] 13 新井直人	手	[DF] 4 中川剛	
[MF] 35 中島洋太朗		[MF] 17 岡澤昂星	
→ HT (14) 田中聡		[MF] 6 世瀬啓人	
[MF] 24 東俊希		→ 71' (23) 梶川諒太	
[MF] 18 菅大輝		→ HT (39) 中村卓太	
→ HT (39) 中村卓太		[MF] 33 川上エドオジョン・智賢	
[FW] 41 前田直輝		[MF] 8 浅倉廉	
→ 85' (32) 越道草太		→ 81' (7) 松本駿之介	
[FW] 98 ヴァレール・ジェルマン		[MF] 19 シマック・カズン	
→ 65' (17) 木下康介		[MF] 50 金子翔太	
[FW] 51 加藤隆次樹		[FW] 14 中川風希	
→ 74' (44) 仙波大志		→ 68' (71) 柳原吉太	
19' 加藤隆次樹 (1-1), 38' 前田直輝 (2-1), 54' 中村卓太 (3-2), 67' 中野就斗 (4-2), 72' 木下康介 (5-2)	得点	15' 浅倉廉 (0-1), 44' オウゴン・ル (2-2)	
32' 加藤隆次樹	警告	61' 柳原吉太	

天皇杯 JFA 第105回全日本サッカー選手権大会 記録集

第2部 全試合公式記録

77 ラウンド16

サンフレッチェ広島 清水エスパルス 3〔前半 1-0 後半 2-0〕0

●2025年8月6日 18:33 ●エディオンピースウイング広島 ●試合時間:90分 ●[主審]岡部拓人[副審]武部陽介/津野洋平[第4の審判員]笠原寛貴 ●マッチコミッショナー:細野知秀 ●観衆:10,110人

[GK] 1 大迫敬介 [DF] 33 塩谷司 → 83'(3)山崎大地 [DF] 4 荒木隼人 [DF] 19 佐々木翔 [MF] 15 中野就斗 [MF] 6 川辺駿 [MF] 14 田中聡 → 83'(35)中島洋太郎 [MF] 24 東俊希 → 70'(6)宮本航汰 [FW] 41 前田直輝 → 61'(17)木下康介 [FW] 39 中村草太 → 77(98)ガレル・ジェルマン [FW] 9 ジャーメイン良 → 77'(51)加藤陸次樹	出 場 選 手 手 得点 警告	[GK] 1 沖悠哉 [DF] 70 高木義 → 70'(5)北爪健吾 [DF] 4 蓮川壮大 [DF] 66 住吉ジェラレシジョン [DF] 14 山原怜音 [MF] 11 中原慎 → 70'(19)松崎快 [MF] 21 矢島慎也 → 70'(6)宮本航汰 [MF] 98 マテウス・ブエノ [MF] 7 カビシャバ [FW] 33 乾貴士 → 56'(38)高橋利樹 [FW] 23 北川航也 → 76'(47)嶋本悠大
---	-----------------------------------	--

78 ラウンド16

FC 東京 セレッソ大阪 2〔前半 0-0 後半 2-1〕1

●2025年8月6日 18:33 ●ヨドコウ桜スタジアム ●試合時間:90分 ●[主審]福島孝一郎[副審]長谷川雅/坂本晋悟[第4の審判員]今村義朗 ●マッチコミッショナー:大立目佳久 ●観衆:6,136人

[GK] 81 キム・スンギュ [DF] 6 バンガーナガンデ佳史出 → 81'(32)土肥幹太 [DF] 24 アレクサンダー・ショルツ [DF] 44 エンリケ・トレヴィザン → HT(30)岡哲平 [DF] 99 白井康介 → 31'(2)室屋成 [MF] 10 東慶悟 → 61'(8)高宇洋 [MF] 37 小泉慶 [FW] 16 佐藤恵允 [FW] 26 長倉幹樹 [FW] 28 野澤零温 → 61'(33)横井晃太 [FW] 39 仲川輝人	出 場 選 手 手 得点 警告	[GK] 21 キム・ジンヒョン [DF] 16 奥田勇斗 [DF] 17 阪田澤哉 → 75'(27)ディオン・クルーズ [DF] 33 西尾隆矢 [DF] 44 島中慎之輔 [MF] 5 喜田陽 → 81'(13)中島元彦 [MF] 8 香川真司 → 81'(48)柴山昌也 [MF] 10 田中駿汰 [FW] 9 ラファエル・バットン → 70'(55)ヴィトル・ブエノ [FW] 11 チアゴ・アンドラーデ → 70'(19)本間至恩 [FW] 77 ルーカス・フェルナンデス
---	-----------------------------------	---

79 ラウンド16

FC 町田ゼルビア 京都サンガ F.C. 1〔前半 0-0 後半 1-0〕0

●2025年8月6日 18:30 ●町田GIONスタジアム ●試合時間:90分 ●[主審]上田益也[副審]渡辺康太/平間亮[第4の審判員]川俣秀 ●マッチコミッショナー:石井秀明 ●観衆:3,003人

[GK] 1 谷見生 [DF] 3 昌子源 [DF] 4 菊池流帆 [DF] 50 岡村大八 [DF] 19 中山雄太 [MF] 6 望月ヘンリー・海輝 [MF] 16 前寛之 → 90+6'(23)白崎凌兵 [MF] 8 仙頭啓矢 → 78'(22)沼田駿也 [MF] 26 林幸多郎 [FW] 9 藤尾翔太 → 84'(15)ミッチェル・デュウ [FW] 10 ナサンホ → 78'(7)相馬勇紀	出 場 選 手 手 得点 警告	[GK] 26 田島志 [DF] 2 福田心之助 [DF] 5 アピアタウィアウ [DF] 50 鈴木義宣 [MF] 10 福岡慎平 [MF] 25 レオ・ゴメス → 55'(27)山田楓喜 [MF] 44 佐藤賢 → 78'(22)須貝英大 [MF] 48 中野瑠馬 → 55'(39)平戸太貴 [FW] 9 ラファエル・エリアス → 72'(93)長沢駿 [FW] 11 マルコ・トゥーリオ → 72'(31)平賀大空 [FW] 14 原大智
--	-----------------------------------	--

74 ラウンド16

SC 相模原 ブラウブリッツ秋田 2〔前半 1-0 後半 0-1〕1

●2025年8月6日 19:00 ●レモンガスタジアム平塚 ●試合時間:90分、延長30分 ●[主審]清水勇人[副審]浜本祐介/廣瀬成昭[第4の審判員]上原直人 ●マッチコミッショナー:北郷光宏 ●観衆:1,584人

[GK] 46 バウマン [DF] 2 加藤大育 [DF] 3 ビトリック [DF] 33 常田克人 [MF] 4 島川俊郎 [MF] 6 徳永裕大 → 111'(11)武藤雄樹 [MF] 97 藤沼拓夢 → 82'(5)田代真一 [MF] 7 河野諒祐 → 73'(36)中塩大貴 [FW] 8 大迫颯 → 64'(24)杉本蓮 [FW] 14 高木彰人 → 73'(23)加藤拓己 [FW] 15 前田泰良 → 64'(27)西山拓実	出 場 選 手 手 得点 警告	[GK] 23 矢田貝壮貴 [DF] 32 長谷川巧 → 105+2'(2)岡崎亮平 [DF] 30 飯泉涼矢 [DF] 19 尾崎優成 [MF] 6 諸岡裕人 [MF] 80 小野原和哉 → 80'(25)藤山智史 → 80'(8)畑潤基 [MF] 14 大石竜平 → 68'(20)吉岡雅和 [FW] 9 村中亮太 → 57'(29)佐藤大樹 [FW] 40 佐川洸介 → 57'(34)鈴木翔大
---	-----------------------------------	--

75 ラウンド16

モンテディオ山形 浦和レッズ 1〔前半 1-0 後半 0-2〕2

●2025年8月6日 19:03 ●NDソフトスタジアム山形 ●試合時間:90分 ●[主審]椎野大地[副審]堀越雅弘/赤阪修[第4の審判員]飯田淳平 ●マッチコミッショナー:長谷川正朋 ●観衆:8,699人

[GK] 1 トーマス・ヒュード＝ベル [DF] 19 岡本一真 [DF] 3 熊本雄太 → 72'(5)安部崇士 [DF] 22 城和集 [DF] 2 吉田泰授 → 82'(13)野邊寛也 [MF] 71 中村亮太郎 [MF] 9 高橋潤哉 [MF] 17 寺山翼 → 72'(21)田中渉 [FW] 25 國分伸太郎 → 63'(10)氣田亮真 [FW] 90 ディヤコ・ラズルヴァーノ → 63'(55)堀谷峻明 [FW] 14 坂本巨基	出 場 選 手 手 得点 警告	[GK] 1 西川周作 [DF] 88 長沼洋一 [DF] 3 ダニーロ・ボザ [DF] 5 マリウス・ホイブラーテン [DF] 26 萩原拓也 [MF] 6 松本泰志 → HT(11)サミュエル・グスタフソン [MF] 25 安屋海渡 [MF] 21 大久保智明 → HT(77)金子拓郎 [MF] 8 マテウス・サヴィオ → 84'(39)早川隼平 [MF] 9 原口元気 → 61'(24)松尾佑介 [FW] 12 チアゴ・サンタナ → 61'(17)小森飛純
---	-----------------------------------	--

76 ラウンド16

鹿島アントラーズ アビスパ福岡 3〔前半 1-1 後半 1-0〕2

●2025年8月6日 19:00 ●メルカリスタジアム ●試合時間:90分、延長30分 ●[主審]高崎航也[副審]梅田智起/亀川哲弘[第4の審判員]先立圭吾 ●マッチコミッショナー:金澤聡 ●観衆:8,241人

[GK] 1 早川友基 [DF] 22 濃野公人 [DF] 55 植田直通 [DF] 3 キム・デビョン [DF] 28 溝口修平 → 70'(7)小川諒也 [MF] 10 柴崎岳 → 62'(6)三竿健斗 [MF] 13 知念慶 → 82前(20)船橋佑 [MF] 14 樋口雄太 [MF] 71 柴崎遼太郎 → 62'(40)鈴木優磨 [FW] 9 レオ・セアラ → 70'(27)松村優太 [FW] 77 チャヴリッチ → 80'(11)田川亨介	出 場 選 手 手 得点 警告	[GK] 24 小畑裕馬 [DF] 5 上島拓巳 [DF] 37 田代雅也 [DF] 20 安藤智哉 → 67'(22)藤本一輝 [MF] 2 湯澤聖人 → HT(13)若崎悠人 [MF] 88 松岡大樹 [MF] 15 秋野亮太 → 92'(6)重見征斗 [MF] 29 前嶋洋太 [FW] 8 紺野和也 → 67'(7)金森健志 [FW] 17 ウェリントン → 80'(9)シャハブ・ザヘディ [FW] 13 ナッシム・ベン・カリファ → HT(14)名古屋新太郎
--	-----------------------------------	---

72 3回戦

名古屋グランパス ロアッソ熊本 2〔前半 1-0 後半 1-1〕1

●2025年7月16日 19:00 ●えがお健康スタジアム ●試合時間:90分 ●[主審]先立圭吾[副審]道山信至/田代雄大[第4の審判員]上田隆生 ●マッチコミッショナー:宮本和史 ●観衆:4,322人

[GK] 1 シュミット ダニエル [DF] 3 佐藤瑠大 [DF] 20 三國ケネディエブス [DF] 70 原諒綺 [MF] 55 徳元悠平 [MF] 8 椎橋慧也 [MF] 14 森島司 → 61'(17)内田宅哉 [MF] 33 菊地泰智 [MF] 44 森田一朗 → 61'(27)中山克広 [FW] 77 キャスパー・ユンカー → 74'(9)浅野雄也 [FW] 11 山岸祐也 → 83'(18)永井謙佑	出 場 選 手 手 得点 警告	[GK] 1 佐藤史騎 [DF] 3 大西遼太郎 [DF] 4 袴田裕太郎 [DF] 6 岩下航 [MF] 21 豊田歩 → 66'(5)阿部海斗 [MF] 8 上村周平 [MF] 17 藤井睦也 [MF] 15 三島頌平 [FW] 14 塩浜遼 → 86'(18)半代将都 [FW] 28 神代慶人 [FW] 10 古長谷千博 → 66'(20)大崎舜
---	-----------------------------------	--



3回戦・川崎フロンターレ vs SC相模原

73 ラウンド16

ヴィッセル神戸 東洋大学 2〔前半 1-1 後半 0-0〕1

●2025年8月6日 19:05 ●ノエビアスタジアム神戸 ●試合時間:90分、延長30分 ●[主審]小塚幸崇[副審]道山信至/島山大介[第4の審判員]須谷雄三 ●マッチコミッショナー:番場伸幸 ●観衆:5,115人

[GK] 21 新井章太 [DF] 2 飯野七聖 → HT(41)永戸勝也 [DF] 31 岩波拓也 [DF] 15 本多勇喜 → 71'(4)山川哲史 [DF] 25 鍛冶祐弥 [MF] 30 山内翔 → 57'(6)扇原貴宏 [MF] 77 クスタボ・クリスマン → 97'(23)広瀬陸斗 [MF] 18 井出達也 → 57'(9)宮代大聖 [MF] 14 法本康也 [FW] 27 エリキ [FW] 29 小松蓮 → HT(13)佐々木大樹	出 場 選 手 手 得点 警告	[GK] 22 盤井稜真 [DF] 2 荒井涼 [DF] 27 岡部タリク・カナイ・鯛斗 [DF] 4 福原陽向 [DF] 5 山之内佑成 [MF] 10 湯之前匡央 → 77'(8)相澤亮太 [MF] 6 田制裕作 [MF] 7 鍋島暖歩 → 110'(18)西村龍留 [MF] 32 宮本新 → 67'(16)大橋斗唯 [FW] 9 村上力己 → 67'(19)依田悠希 [FW] 14 高橋輝 → 120'(12)仲野隼斗
--	-----------------------------------	---

86 準決勝

ヴィッセル神戸 サンフレッチェ広島

2 [前半1-0 後半1-0] 0

●2025年11月16日 15:07 ●パナソニック スタジアム 吹田 ●試合時間:90分 ●【主審】小室幸栄【副審】西橋勉/赤阪修【第4の審判員】山本雄大【VAR】中村太【AVAR】浜本祐介 ●マッチコミッショナー:福島隆志 ●観衆:17,861人

[GK] 1 前川麻也	出	[GK] 1 大迫敬介	
[DF] 24 酒井高德	場	[DF] 33 塩谷司	
→ 70'(25) 堀先祐弥		[DF] 15 中野就斗	
[DF] 4 山川哲史	退	[DF] 19 佐々木翔	
[DF] 3 マテウス・トウレ	退	[MF] 39 中村幸太	
[DF] 41 永戸勝也	手	[MF] 6 川辺駿	
→ 90+1'(15) 本多勇喜		→ 73'(41) 前田直輝	
[MF] 6 扇原貴宏		[MF] 14 田中聡	
[MF] 11 武藤嘉紀		[MF] 24 東俊希	
[MF] 7 井手口陽介		→ 70'(13) 新井直人	
[MF] 23 広瀬陸斗		[FW] 9 ジャーメイン・良	
→ 63'(10) 大迫勇也		→ HT(30) トル・ガイ・アルラン	
[FW] 9 宮代大聖		[FW] 17 木井康介	
[FW] 13 佐々木大樹		→ 73'(98) ヴァレール・ジェルマン	

24' 永戸勝也 (1-0)、69' 佐々木大樹 (2-0) 得点

78' マテウス・トウレ 警告

87 決勝

FC町田ゼルビア ヴィッセル神戸

3 [前半2-0 後半1-1] 1

●2025年11月22日 14:02 ●国立競技場 ●試合時間:90分 ●【主審】木村博之【副審】渡辺康太/坂本晋悟【第4の審判員】御野貴文【VAR】岡部拓人【AVAR】堀越雅弘 ●マッチコミッショナー:松浦敏夫 ●観衆:31,414人

[GK] 1 谷晃生	出	[GK] 1 前川麻也	
[DF] 6 望月ヘンリー・海輝	場	[DF] 24 酒井高德	
[DF] 3 昌子源	退	[DF] 4 山川哲史	
[DF] 5 ドレシェヴィッチ	退	→ 77'(50) 岡村大八	
[MF] 88 中村航高	手	[MF] 3 マテウス・トウレ	
[MF] 16 前寛之		→ 64'(15) 本多勇喜	
[MF] 19 中山雄太		[MF] 6 扇原貴宏	
[MF] 26 林幸多郎		[MF] 11 武藤嘉紀	
[FW] 15 ミッチェル・デューク		[MF] 7 井手口陽介	
→ 65'(10) ナ・サンホ		[MF] 23 広瀬陸斗	
[FW] 7 相馬勇紀		→ HT(10) 大迫勇也	
→ 88'(49) 桑山侃士		[FW] 9 宮代大聖	
[FW] 9 藤尾翔太		→ 86'(26) ジェアン・マリキ	
→ 65'(90) オ・セファン		[FW] 13 佐々木大樹	
		→ 64'(18) 井出遥也	

6' 56' 藤尾翔太 (1-0) (3-0)、32' 相馬勇紀 (2-0) 得点

37' ドレシェヴィッチ、49' 中山雄太、88' 谷晃生 警告



決勝・FC町田ゼルビア vs ヴィッセル神戸

83 準々決勝

SC相模原 ヴィッセル神戸

1 [前半1-1 後半0-0] 1

PK2-4

●2025年8月27日 19:04 ●レモンスタジアム平塚 ●試合時間:90分、延長30分、PK ●【主審】御野貴文【副審】渡辺武士/中澤涼【第4の審判員】上田益也【VAR】飯田淳平【AVAR】梅田智起 ●マッチコミッショナー:杉澤直樹 ●観衆:2,730人

[GK] 46 バウマン	出	[GK] 21 新井章太	
[DF] 28 小笠原佳祐	場	[DF] 2 飯野七聖	
[DF] 2 加藤大育	退	→ 64'(25) 堀先祐弥	
[DF] 54 梶引康	退	[DF] 31 岩波拓也	
[DF] 16 高野遼	手	[DF] 15 本多勇喜	
[MF] 4 島川俊郎		[DF] 44 日高光輝	
[MF] 6 徳永裕太		→ HT(4) 山川哲史	
→ 100'(27) 西山拓実		[MF] 30 山内翔	
[FW] 97 藤沼拓夢		→ 60'(6) 扇原貴宏	
→ 90'(23) 加藤拓己		[MF] 66 松田陸	
[FW] 14 高木彰人		→ HT(27) エリキ	
→ 延前(17) 竹内崇人		[MF] 77 グスタボ・クリスマン	
[FW] 15 前田泰良		[MF] 18 井出遥也	
→ 64'(24) 福井和樹		[MF] 14 法本康也	
[FW] 11 武藤雄樹		[FW] 29 小松蓮	
→ 64'(24) 杉本蓮		→ 延前(26) ジェアン・マリキ	

15' 加藤大育 (1-0) 得点

66' 島川俊郎、75' 小笠原佳祐、95' 梶引康 警告

先16x、27〇、17〇、22x PK 27〇、9〇、6〇、26〇

84 準々決勝

名古屋グランパス サンフレッチェ広島

2 [前半0-3 後半2-1] 4

●2025年8月27日 18:30 ●兼田スタジアム ●試合時間:90分 ●【主審】笠原寛貴【副審】道山悟至/森川浩次【第4の審判員】清水勇人【VAR】福島孝一郎【AVAR】平間亮 ●マッチコミッショナー:山本好彦 ●観衆:7,638人

[GK] 35 ビサ・アル・サハール	出	[GK] 1 大迫敬介	
[DF] 2 野上結貴	場	[DF] 33 塩谷司	
[DF] 20 三國ケネディエブス	退	→ 71'(37) キム・ジュソン	
[DF] 70 原輝樹	退	[DF] 4 荒木卓人	
[MF] 55 徳元悠平	手	[DF] 19 佐々木翔	
→ 42'(6) 河面旺成		[MF] 15 中野就斗	
[MF] 8 椎橋慧也		→ 88'(24) 東俊希	
→ HT(7) 和泉竜司		[MF] 6 川辺駿	
[MF] 15 福垣祥		[MF] 14 田中聡	
[MF] 14 森島司		[MF] 13 新井直人	
[MF] 44 森辻一朗		[FW] 35 中島洋太郎	
→ 78'(77) キム・バン・カン		→ 88'(41) 前田直輝	
[FW] 22 木村勇大		[FW] 39 中村幸太	
→ HT(18) 永井謙佑		→ 60'(17) 木下康介	
[FW] 11 山岸祐也		[FW] 9 ジャーメイン・良	
→ 5' 19' 田中聡 (0-1) (0-2)、42' 也 (2-4) 得点		→ 71'(98) ヴァレール・ジェルマン	
35' 椎橋慧也 警告		5' 19' 田中聡 (0-1) (0-2)、42' 也 (2-4) 得点	
		中島洋太郎 (0-3)、48' 中野就斗 (0-4)	

35' 椎橋慧也 警告

53' 中村幸太、59' 荒木卓人

80 ラウンド16

東京ヴェルディ 名古屋グランパス

1 [前半1-1 後半0-1] 2

●2025年8月13日 19:00 ●味の素スタジアム ●試合時間:90分 ●【主審】荒木友輔【副審】野村修/安藤康平【第4の審判員】上村篤史 ●マッチコミッショナー:小野俊介 ●観衆:7,666人

[GK] 1 マテウス	出	[GK] 1 シュミット・ダニエル	
[DF] 15 鈴木海音	場	→ 71'(35) ビ・アル・サハール	
[DF] 2 深澤大輝	退	[DF] 6 河面旺成	
[DF] 6 宮原和也	退	→ 78'(3) 佐藤大	
→ 66'(3) 谷口崇太		[DF] 20 三國ケネディエブス	
[MF] 17 福見哲仁	手	[DF] 2 野上結貴	
[MF] 16 平川裕		[MF] 55 徳元悠平	
→ 66'(8) 齋藤功佑		[MF] 14 森島司	
[MF] 20 食野壮志		[MF] 15 福垣祥	
[MF] 40 新井悠太		[MF] 9 浅野雄也	
→ 60'(19) 松橋優安		→ 64'(8) 椎橋慧也	
[FW] 25 龍取谷一星		[MF] 17 内田宅哉	
→ 77'(28) 山本丈博		→ 64'(27) 中山克広	
[FW] 27 白井亮丞		[FW] 18 永井謙佑	
→ 60'(9) 柴野唯月		→ 71'(7) 和泉竜司	
[FW] 37 川崎修平		[FW] 22 木村勇大	
12' 新井悠太 (1-0) 得点		26' 内田宅哉 (1-1)、81' 福垣祥 (1-2)	

12' 新井悠太 (1-0) 得点

26' 内田宅哉 (1-1)、81' 福垣祥 (1-2)

警告: 42' 永井謙佑

81 準々決勝

FC町田ゼルビア 鹿島アントラーズ

3 [前半2-0 後半1-0] 0

●2025年8月27日 18:30 ●町田GIONスタジアム ●試合時間:90分 ●【主審】荒木友輔【副審】堀城巧/船橋昭次【第4の審判員】中村太【VAR】斎藤航地【AVAR】堀越雅弘 ●マッチコミッショナー:松浦敏夫 ●観衆:5,965人

[GK] 1 谷晃生	出	[GK] 1 早川友基	
[DF] 26 林幸多郎	場	[DF] 22 澤野公仁	
[DF] 5 ドレシェヴィッチ	退	[DF] 55 種田直通	
[DF] 3 昌子源	退	[DF] 3 キム・テヒョン	
[DF] 19 中山雄太	手	[DF] 19 中山雄太	
[MF] 11 増山朝陽		[MF] 20 松橋佑	
→ 80'(22) 沼田駿也		→ 75'(10) 柴崎岳	
[MF] 16 前寛之		[MF] 13 知念慶	
[MF] 18 下田北斗		→ HT(14) 橋口雄太	
→ 70'(23) 白崎凌兵		[MF] 25 小池龍太	
[MF] 7 相馬勇紀		→ 70'(17) ターレス・プレーネル	
→ 70'(8) 仙頭啓矢		[MF] 77 チャグリッヒ	
[FW] 9 藤尾翔太		→ HT(27) 松村優太	
→ 80'(15) ミッチェル・デューク		[FW] 11 田川亨介	
[FW] 10 ナ・サンホ		→ HT(9) レオ・セアラ	
→ 70'(20) 西村拓真		[FW] 40 鈴木優磨	

15' 増山朝陽 (1-0)、21' 藤尾翔太 (2-0)、46' 下田北斗 (3-0) 得点

57' 下田北斗 警告

82 準々決勝

FC東京 浦和レッズ

2 [前半0-1 後半2-0] 1

●2025年8月27日 19:03 ●埼玉スタジアム2002 ●試合時間:90分 ●【主審】池内明彦【副審】浜本祐介/安藤康平【第4の審判員】今村義朗【VAR】小室幸栄【AVAR】日比野真 ●マッチコミッショナー:高橋信光 ●観衆:17,496人

[GK] 81 キム・スンギョ	出	[GK] 1 西川周作	
[DF] 5 長友佑都	場	[DF] 4 石原広教	
[DF] 24 アレクサンダー・ショルツ	退	→ 87'(26) 萩原拓也	
[DF] 30 岡哲平	退	[DF] 3 ダニロ・ボザ	
→ HT(6) ルーク・カネディ		[DF] 5 マリウス・ホイブラーテン	
[DF] 44 エンリケ・レヴィガン	手	[DF] 88 長沼洋一	
[MF] 10 東慶徳		[MF] 25 安部海渡	
→ 105+2'(22) 遠藤謙太		→ 77'(6) 松本泰志	
[MF] 8 高宇洋		[MF] 11 サミュエル・グスタフソン	
→ 108'(10) 東慶徳		→ 87'(9) 原口元気	
[MF] 37 小泉慶		[MF] 77 金子拓郎	
→ 104'(32) 土肥幹太		→ 77'(12) チアゴ・サンタナ	
[MF] 40 マルコス・キリルメ		[MF] 8 マテウス・サヴィオ	
→ 61'(28) 野澤寧温		[MF] 24 松尾佑介	
[FW] 16 佐藤恵光		[FW] 17 マルセロ・ヒラン	
→ 104'(14) 山下敬大		→ 73'(14) 山下敬大	
[FW] 39 仲川輝人		→ 62'(14) 関根貴大	
→ 61'(19) マルセロ・ヒラン			

52' 65' マルセロ・ヒラン (1-1) (2-1) 得点

21' 橋本拳人、25' 常盤亨太、90+9' 長友佑都 警告

天皇杯 JFA 第105回全日本サッカー選手権大会 記録集

第3部 参加88チーム・登録選手

①京都サンガF.C.

②曹貴哉

③ 42 回／1 回

④ 4 回戦

⑤ク・ソンユン、福田心之助、麻田将吾、ノトリック・ウィリアム、アピアウィアス、ジョアン・ペドロ、川崎颯太、米本拓司、ラファエル・エリアス、福岡慎平、マルコ・トゥーリオ、原大智、永田倭大、武田将平、松田天馬、喜多亨也、園謙太郎、須貝英大、宮本優太、太田岳志、奥川雅也、飯田陸斗、平賀大空、ファンティニ、平戸丈貴、佐藤晋、中野瑠馬、鈴木義宣、ムロコ・コスタ、長沢駿

①ガンバ大阪

②ダニエル・ボヤトス

③ 45 回／5 回

④ 3 回戦

⑤東川順昭、福岡将太、半田陸、黒川圭介、三浦弦太、ネタ・ラヴィ、宇佐美貴史、食野亮太郎、林大地、倉田秋、イッサム・ジェバリ、岸本武流、鈴木徳真、山下諒也、荒木琉偉、中谷進之介、一森純、デニス・ヒュメット、江川湧清、美藤倫、張奥林、中野伸哉、山本天翔、中積為、横井佑弥、名和我我空、唐山翔白、南野遼海、奥抜健志、ファン・アラーム、満田誠、佐々木翔悟、ウェルトン

①セレッソ大阪

②アーサー・ババパス

③ 56 回／4 回

④ 4 回戦

⑤福井光輝、中村拓海、進藤亮佑、平野佑一、喜田陽、登里享平、上門知樹、香川真司、ラファエル・ハットン、田中駿汰、チアゴ・アンドラーデ、中島元彦、船木翔、奥田勇斗、阪田澤哉、本間至恩、キム・ジンヒョン、高橋仁胡、ジャレン・サックウエンコーン、古山兼悟、西尾隆矢、北野颯太、畠中慎之輔、上林豪、牧ローヌ、美山昌也、ヴォートル・ブエノ、ルーカス・フェルナンデス

①ヴィッセル神戸

②吉田孝行

③ 38 回／2 回

④準優勝

⑤前川黛也、飯野七聖、マテウス・トゥーレル、山川哲史、齊藤未月、扇原貴宏、井手口陽介、宮代大聖、大迫勇也、武藤嘉紀、佐々木大樹、汰木康也、本多勇喜、カエターノ、井出暹也、小池裕太、新井章太、本山遼、広瀬陸斗、酒井高德、鍛先祐哉、ジェアン・ノトリッキ、エリキ、山内翔、岩波拓也、ウボングリチャードマンデー、橋本陸斗、富永虹七、日高光揮、オビバウエル・オピンナ、瀬口大翔、濱崎健斗、渡辺隼斗、原晋汰、里見汰福、亀田大河、松田陸、グスタボ・クリスマン

①ファジアーノ岡山

②木山隆之

③ 17 回

④ 2 回戦

⑤佐々木雅士、立田悠悟、藤井海和、阿部海大、柳育崇、輪笠祐士、竹内涼、江坂任、クレイアン、太田龍之介、金山隼樹、田部井涼、工藤孝太、家坂葉光、末吉塁、田上大地、岩淵弘人、鷲見星河、川上康平、一美和成、嵯峨理久、藤田息吹、木村た哉、松本昌也、齋藤恵太、末宗寛士郎、千田遼、神谷優太、佐藤龍之介、鈴木喜丈、ブラウノア賢信、スベンド・ブローダーセン、加藤聖、柳貴博、ルカオ

①サンフレッチェ広島

②ミハエル・スキッベ

③ 73 回／3 回

④準決勝

⑤大迫敬介、山崎大地、荒木隼人、松本大弥、川辺駿、ジャメル・イン、マルコス・ジュニオール、新井直人、田中聡、中野就斗、菅大輝、佐々木翔、井上潮音、田中雄大、川浪吾郎、東俊希、茶島雄介、チョン・ミンギ、イヨハ理ヘンリー、トルガイ・アルスラン、越道草太、塩谷司、中島洋太郎、井上愛廉、ヒル・裴依廉、中村章太、小原基樹、前田直輝、小川煌、仙波大志、小林志紋、宗田栞生、加藤陸次樹、ヴァレール・ジェルマン

①アビスパ福岡

②金明輝

③ 33 回

④ 4 回戦

⑤永石拓海、湯澤聖人、奈良竜樹、井上聖也、上島拓巳、重見柊斗、金森健志、紺野和也、シャハブ・ザヘディ、城後寿、見木友哉、ナシム・ベン・カリファ、名古屋太郎、秋野央樹、小田逸稀、ウェリントン、岩崎悠人、キム・ムンヒョン、安藤智哉、藤本一輝、小畑裕馬、北島祐二、前嶋洋太、村上昌謙、サニブラウン・ハナテ、田代雅也、池田樹雷人、橋本悠、前田一翔、菅沼一晃、志知孝明、松岡大起

①川崎フロンターレ

②長谷部茂利

③ 42 回／2 回

④ 3 回戦

⑤チョン・ソンリョン、高井幸大、ジェジェウ、佐々木旭、山本悠樹、車屋紳太郎、橋田健人、エリソン、大島僚太、小林悠、三浦颯太、脇坂泰斗、田邊秀斗、大関友翔、伊藤達哉、瀬川祐輔、河原創、山田新、安藤駿介、マルシーニョ、宮城天、中川真、山内日向汰、神橋良汰、ノトリッキ・ヴェロン、野田裕人、ファンウエ・メスケルケン際、イ・クンヒョン、丸山祐市、神田奏真、土屋耀大、家長昭博、セサル・アイダル、山口瑠伊

①横浜 F・マリノス

②ノトリック・キスノーボ

③ 47 回／7 回

④ 2 回戦

⑤ボーウィリアム、永戸勝也、渡辺皓太、エウベル、喜田拓也、遠野大弥、アンデルソン・ロベス、ヤン・マテウス、ジェyson・キニョーネス、植中朝日、サンディ・ウォルシュ、加藤蓮、井上健太、朴一圭、天野純、飯倉大樹、宮市亮、鈴木冬一、松原健、山根陸、木村凌也、諏訪間幸成、木村卓斗、渡邊泰基、望月耕平、笠口怜乃、トーマス・デン、ジャン・クルード、浅田大翔、山村和也

①横浜 FC

②四方田修平

③ 26 回

④ 3 回戦

⑤フェリペ・メギオラーロ、ンドカ・ボニフェイス、鈴木準弥、ユーリ・ララ、福森晃斗、駒井善成、鈴木武蔵、山根永遠、櫻川ソロモン、ジョアン・パウロ、小川慶治朗、中野嘉大、伊藤輝、伊藤慎人、新井瑞希、森海渡、ヴァン・イヤー・デン・ジョン、村田透馬、市川暉記、岩武克弥、ミシェル・リマ、レオ・バイアー、熊倉弘貴、山崎浩介、石井僚、室井慧佑、小倉陽太、前田勘太郎、遠藤晋成、遠藤雅己、櫻井斗真、山岸克斗、岩崎亮佑、佃颯太、新保海鈴、駒沢直哉、秦樹、山田康太、渋谷飛翔、ルキアン

①湘南ベルマーレ

②山口智

③ 53 回／3 回

④ 3 回戦

⑤畑大雅、舘幸希、鈴木淳之介、ゼ・ヒカルド、小野瀬康介、大野和成、小田裕太郎、鈴木章斗、平岡大陽、茨田陽生、奥野耕平、根本凌、田村蒼生、池田昌生、福田翔生、石橋潮風、永井建成、大岩一貴、松本果成、本多康太郎、奥埜博亮、ルイス・フェリッピ、渡邊啓吾、真田幸太、松村晟怜、高橋直也、鈴木雄斗、糸原紘史郎、キム・ミンテ、藤井智也、石井久継、上福元直人

①アルビレックス新潟

②樹森大介

③ 33 回

④ 3 回戦

⑤藤田和輝、ジェyson・ゲリア、稲村隼樹、岡本将成、舞行龍、ジェームズ、秋山裕紀、谷口海斗、宮本英治、矢村健、ダニーロ・ゴメス、落合陸、早川史哉、小見洋太、若月大和、星雄太、ミゲル・シルヴェイラ、田代琉我、新井泰貴、吉満大介、藤原泰哉、太田哲久、奥村仁、堀米悠斗、高木善朗、千葉和彦、森昂大、長谷川元希、橋本健人、笠井佳祐、大竹優心、井本修都、安田陽平、サグダブ・イリヤ、竹ノ谷颯優、内山翔太、小野裕二

①清水エスパス

②秋葉忠宏

③ 33 回／1 回

④ 4 回戦

⑤沖悠哉、高橋祐治、蓮川壮大、北爪健吾、宮本航汰、カピジャーバ、小塚和季、中原輝、山原怜音、梅田透吾、弓場将輝、齊藤聖七、松崎俊、阿部諒哉、矢島慎也、監物拓歩、北川航也、郡司瑞来、吉田豊、アブド・アブド・アブド、佐々木智太郎、乾貴士、宇野輝斗、羽田健人、土居佑至、針生涼太、岩永京剛、岩尾健琉、嶋本悠大、小竹知恩、西原源樹、住吉ジェラニエション、高木誠、猪越優惟、マテウス・ブエノ、ドウグラス・タンキ

①名古屋グランパス

②長谷川健太

③ 48 回／2 回

④準々決勝

⑤ジュミット・ダニエル、野上結貴、佐藤瑠大、宮大樹、河面旺成、和泉竜司、椎橋慧也、浅野雄也、マテウス・カスロ、山岸祐也、森島公、福垣祥、武田洋平、内田宅哉、永井謙佑、三國ケネディエブス、杉本大地、加藤玄、中山克広、梶原杏太、杉浦駿吾、児玉剛、鈴木陽人、菊地泰智、ピサノ・アレックス幸冬堀尾、小野雅史、大西利都、萩裕陽、森壮一朗、徳元悠平、山中亮輔、原輝崎、キャスパー・ユンカー、アヴェレーテ・イブス

①チーム名

②監督名

③天皇杯出場回数(今大会含む)／過去優勝回数

④第105回大会成績

⑤第105回大会登録選手(30名)

※登録メンバーは大会開幕時のもの

2025 明治安田 J1 リーグ

①鹿島アントラーズ

②鬼木達

③ 41 回／5 回

④準々決勝

⑤早川友基、安西幸輝、キム・テヒョン、関川郁万、三竿健斗、レオ・セアラ、柴崎岳、田川亨介、知念慶、樋口雄太、ターレス・プレーネル、師岡柊生、船橋佑、山田大樹、濃野公人、津久井佳祐、小池龍太、松村優太、溝口修平、梶川裕嗣、松本遼翔、下田崇祐、徳田誉、佐藤海宏、バク・ウィジョン、鈴木優磨、大川佑梧、吉田漢海、長疾風、元砂晏翔仁ウデンバ、植田直通、荒木遼太郎、チャグリッチ

①浦和レッズ

②マチェイ・スコルジャ

③ 59 回／8 回

④準々決勝

⑤西川周作、ダニーロ・ボザ、石原広教、マリウス・ホイブラーテン、松本泰志、安部裕葵、マテウス・サヴィオ、原口元気、中島翔哉、サミュエル・グスタフソン、チアゴ・サンタナ、渡邊凌磨、関根貴大、牲川歩見、高橋利樹、長倉幹樹、大久保智明、柴戸海、松尾佑介、安居海渡、萩原拓也、照内利和、根本健太、吉田舜、井上黎生人、早川隼平、二田理央、金子拓郎、長沼洋一

①柏レイソル

②リカルド・ロドリゲス

③ 57 回／3 回

④ 2 回戦

⑤猿田達己、三丸猛、ジェゴ、古賀太陽、田中隼人、山田雄士、小泉佳穂、細谷真大、渡井理己、犬飼智也、小屋松知哉、木下康介、片山瑛一、手塚康平、垣田裕輝、仲間隼斗、野田裕喜、長南開史、久保藤次郎、小島亨介、杉岡大暉、熊坂光希、戸嶋祥郎、島村拓弥、成瀬竣平、白井永地、古澤ナベル慈宇、中島舜、中川敦義、原川力、坂田大樹、原田亘、モハマド・ファルザン佐名、兼田大誠、松本健太、熊澤和希

①FC東京

②松橋光蔵

③ 31 回／1 回

④準決勝

⑤森重真人、木本恭生、長友佑都、バンゲル・ナガンデ佳史扶、安斎颯馬、高宇洋、東慶悟、小柏剛、波多野豪、山下敬大、佐藤恵允、寺山翼、橋本拳人、マルセロ・ヒアン、遠藤深太、常盤亨太、野澤零温、岡哲平、小林将天、土肥幹太、俵積田晃太、塚川孝輝、西堂久俊、小泉慶、仲川輝人、野澤大志ブランドン、エンリケ・トレヴィザン、木村誠二、荒井悠汰、渡邊麻府、新堀恵太、北原慎、後藤亘、ベク・インファン、山口太陽、エヴェルトン・ガウディーノ、白井康介

①東京ヴェルディ

②城福浩

③ 50 回／5 回

④ 4 回戦

⑤マテウス、深澤大輝、谷口栄斗、林尚輝、千田海人、宮原和也、森田晃樹、齋藤功佑、染野唯月、木村勇大、山見大登、山田剛輔、福田湧矢、鈴木海音、平川怜、稲見哲行、松橋優安、食野社磨、長沢祐祐、翁長聖、網島悠斗、熊取谷一星、内田陽介、白井亮丞、山本丈偉、佐古真礼、川村楽人、馬波洋輔、川崎修平、仲山獅恩、新井悠太、中村圭佑、今井健人、寺村智晴、今井宏亮、下吉洗平、舩沼環汰、中村宗士朗、山田将弘、山崎琉聖

①FC町田ゼルビア

②黒田剛

③ 13 回

④優勝

⑤谷晃生、昌子源、菊池流帆、ドレシェヴィッチ、望月ヘンリー海輝、相馬勇紀、仙頭啓矢、藤尾翔太、ナ・サンホ、守田遼弥、ミッシェル・デューク、前寛之、カウ・ゼン・マラ、下田北斗、中山雄太、西村拓真、沼田駿也、白崎凌兵、林幸多郎、チャ・ジェフン、中島裕希、バスケ・バイロン、新井崇聡、樋口堅、桑山侃士、岡村大八、真也加チエイ大夢、奈良坂巧、中村帆高、オ・セフン、高橋大悟

⑨徳重健太、今野息吹、マルセル・スカレゼ、山原康太郎、石浦大雅、谷岡昌、曾根田稔、深澤佑太、ベン・ダンカン、佐藤亮、藤原悠汰、窪田稔、谷本駿介、鶴野怜樹、細谷航平、村上悠輔、田口裕也、黒石貴哉、バウ・ゴス、甲田英将、吉田温紀、金沢一矢、松橋宗汰、鶴島隼斗、白坂楓馬、島佑成、辻岡吾、石尾峻雅、亀山雄汰、エカニット・バンヤ、森山公弥、行友翔哉、瑞慶覧長汰、田中碧、森実晃、嵐亮太郎、青木孝清、浦添朝仁、齋藤佑人、アルトゥール・ヴィアナ

① FC 今治

②倉石圭二

③ 15 回

④ 1 回戦

⑤立川小太郎、加藤徹也、福森直也、市原亮太、ダニエル・梶浦勇輝、山田貴文、野口航、近藤高虎、マルクス・ヴィニシウス、ウェズレイ・タンキ、藤岡浩介、弓場堅真、阿部稜汰、大森理生、持井響太、新井光、ヴィニシウス・ディニス、日野友貴、西袋裕太、イ・ヨンジュン、竹内悠介、佐藤瑛樹、笹塚大、横山夢樹、梅木怜、馬越晃、伊藤元太、植田峻佑、三門雄大、高木和徹、加藤潤也

① サガン鳥栖

②小菊昭雄

③ 33 回

④ 3 回戦

⑤アルナウ、松本風生、平瀬大、今津佑太、長澤シヴァタファリ、新井晴樹、橋原慶輝、ジョー、本田風智、西川潤、泉森涼太、井上太聖、堀屋佳介、酒井宣博、西澤健太、日野翔太、鈴木大聡、クリスティアーノ、ヤン・ハンピン、松田諒太郎、北島郁哉、渡邊隼平、安藤寿峻、櫻井辰徳、小川大空、西矢健人、山田寛人、内山圭、森下怜哉、堀米勇輝、新川志音、黒木雄也、ヴィンセント・スワガ、上原敦人

① V・ファーレン長崎

②下平隆宏

③ 18 回

④ 3 回戦

⑤富澤雅也、飯尾竜太郎、関口正大、エドゥアルド、山口堂、安部大晴、マルコス・キリェルメ、増山朝陽、ファン・デルガド、マテウス・ジェズス、エジガル・ジュニオ、加藤大、名倉巧、岡野洵、エメルソン、高畑聖汰、山崎凌吾、澤田崇、中村慶太、後藤雅明、西村蓮音、米田隼也、山田陸、柳引一紀、井岡海都、七条輝貴、新井一輝、原田岳、ジョブセリンサリウ、笠柳翼、松本天夢、齋藤遼太、青木俊輔、松澤海斗、田所莉莚、上戸涼生、名越一樹、木立希夢、照山颯人

① ロアッソ熊本

②大木武

③ 25 回

④ 3 回戦

⑤佐藤史騎、黒木晃平、大西遼太郎、袴田裕太郎、阿部海斗、若下航、竹本雄飛、上村周平、大本祐樹、古長谷千博、ベ・ジョンミン、飯星明良、塩浜遼、三島颯平、松岡耀夢、藤井皓也、半代将都、渡邉修平、大崎舜、豊田歩、佐藤優也、李泰河、小林慶大、宮崎海斗、根岸恵汰、神代慶人、長嶋志歩、小園泰士郎、バーンズアントン、武者大夢

① 大分トリニータ

②片野坂知宏

③ 29 回

④ 3 回戦

⑤香川勇気、デルラン、薩川淳貴、中川寛斗、有馬幸太郎、野村直輝、伊佐耕平、池田廉、屋敷優成、茂平、野嶺博也、小酒井新大、木村太貴、鮎川峻、ムン・キョンゴン、佐藤隼、柳原慧悟、松尾勇佑、清武弘嗣、宇津元伸哉、戸根一誓、ペレイラ、濱田太郎、宮川歩己、藤原優大、佐藤丈規、松岡颯人、天笠泰輝、有働夢叶、古野優斗、キム・ヒョンウ、吉田真那斗

① シード

① 東洋大学

②井上卓也

③初出場

④ 4 回戦

⑤上村倫史、荒井涼、高橋愛翔、福原陽向、山之内佑成、田制裕作、鶴島暖歩、相澤亮太、村上力己、湯之前匡央、宮永裕進、仲野隼斗、内藤志志、高橋輝、中村琉聖、大橋斗唯、篠原佑岳、西村龍留、依田悠希、吉田綺星、町田佳祐、磐井俊晃、児平陽大、市川和弥、山本虎、田村心太郎、岡部タツカナイ颯斗、小宮隼己、手塚樹、瀬山航生、御田和夢、宮本新、鄭志銘

都道府県代表

① B TOP 北海道

②矢野哲也

③ 2 回

② 小林慶行

③ 60 回 / 4 回

④ 2 回戦

⑤高橋孝晃、久保庭良太、田口泰士、小林祐介、エドゥアルド、田中和樹、風間宏矢、呉屋大翔、横山曉之、米倉恒貴、鈴木大輔、楢直起、前貴之、林誠道、杉山直宏、ホセ・スアレス、石川大地、薄井覇斗、鈴木椋大、島海晃司、安井拓也、植田悠太、岩井琢朗、河野貴志、カルリーニョス・ジュニオ、岡本享也、猪狩祐真、若原智哉、松田陸、吉田源太郎、品田愛斗、日高太、デリキ

① ヴァンフォーレ甲府

②大塚真司

③ 33 回 / 1 回

④ 3 回戦

⑤河田晃兵、井上樹、孫大河、山本英臣、一瀬大寿、小林岩貴、荒木翔、中山陸、三平和司、島海芳樹、熊倉弘達、村上千歩、田中雄大、林田滉也、土屋巧、柏好文、宮崎純真、遠藤光、ヘナト・アウグスト、小出悠太、佐藤恵介、平塚悠知、佐藤和弘、大島康樹、石川慧、イ・ミンギ、エドゥアルド・マンシャ、内藤大和、保坂知希、ヴァウ・ソアレス、ネーミアス、マテウス・レイア、東ジョン

① カターレ富山

②小田切道治

③ 16 回

④ 3 回戦

⑤田川知樹、吉田新、神山京右、今瀬淳也、瀬良俊太、佐々木陽次、松岡大智、碓井聖生、松田力、深澤壯太、浦十蔵、ガブリエル・エンリケ、末本裕也、井上直輝、伊藤拓巳、大山武蔵、大久保拓生、椎名伸志、西矢慎平、河井陽介、亀田歩夢、鍋田純志、吉平翼、布施谷翔、コ・ボンジョ、溝口駿、高橋馨希、竹中元汰、古川真人、竹内豊、酒井崇一、平尾駿輝、川上優樹、植田啓太、武嶺、漢沢日

① ジェユビロ磐田

②ジョン・ハッチンソン

③ 48 回 / 2 回

④ 2 回戦

⑤川島永嗣、川崎一輝、森岡隆、松原后、江崎巧朗、金子大毅、上原力也、為田大貴、渡邊りょう、マテウス・ペイショット、阿部航太、レオ・ゴメス、佐藤凌我、三浦龍輝、上夷克典、ジョルディ・クルークス、中村駿、西久保駿介、西澤翼、ハッサン・ヒル、川合徳孟、朴勢己、リカルド・グラッサ、川口尚紀、角昂志郎、相田勇樹、植村洋斗、倍井謙

① 藤枝 MYFC

②須藤大輔

③ 7 回

④ 3 回戦

⑤六反勇治、川島将、鈴木翔太、中川創、楠本卓海、世瀬啓人、松木隆之介、浅倉廉、千葉寛汰、榎本啓吾、アンデルソン、大曾根広汰、中川風希、杉田真彦、森祐里、岡澤昂星、松下佳貴、シマブカズヨシ、関田隼人、ジョーンズレイ、久置良輔、梶川諒太、永田貴太、中村涼、河本大雅、前田翔太、大森慧斗、ディエゴ・セメーラ、岸生海翔、栗橋志志、川上エドオジョン智慧、北村海斗、ホッキ・ジュニオール、金子翔太

① レノファ山口 FC

②志垣良

③ 21 回

④ 2 回戦

⑤ニック・マルスマン、松田佳大、喜岡佳太、キム・ボムヨン、三沢直人、野野和哉、有田稔、池上丈二、横山聖、宮吉拓実、下堂竜聖、板倉流、田邊光平、亀川諒史、山本駿亮、河野孝汰、チェ・ヒョンチャン、田口潤人、小澤亮太、小林成豪、奥山洋平、木村有磨、古川大信、末永透瑛、成岡輝輝、下村翔、山本龍之介、中根慎助、山本桜大、峰田祐哉、岡庭悠人、磯谷駿、シルビオ・ジュニオール

① 徳島ヴォルティス

②増田功作

③ 37 回

④ 3 回戦

⑤田中颯、田向泰輝、山田奈央、カイケ、青木駿人、内田航平、児玉駿斗、岩尾憲、トニー・アンデルソン、杉本太郎、杉森孝起、西野太陽、玄理吾、山越康平、渡大生、エウシーニョ、ジョアン・ヴィクトル、永井堅梧、柳澤巨、高田優、高田颯也、山下雄大、尾上耀聖、ローレンス・デビッド、鹿沼直生、三井大輝、坪井清志郎、長谷川徹、永木亮太、高木友也、山口竜弥、重廣卓也、堀田武哉、宮村陽哉、長村嶺夫、増井哲平、武知崇陽、ルーカス・バルセロス

① 愛媛 FC

②青野慎也

③ 24 回

④ 2 回戦

2025 明治安田 J2 リーグ

① 北海道コンサドーレ札幌

②岩政大樹

③ 44 回

④ 2 回戦

⑤宮野孝憲、高尾瑠、バウ・ミンギュ、中村桐耶、高嶺朋樹、スバチョウ、深井一希、ジョルディ・サンチェス、宮澤裕樹、青木亮太、キム・ゴンヒ、田中克幸、家泉怜依、長谷川竜也、児玉潤、アマドウ・バカヨコ、中野次郎、キングロード・サワオ、大崎玲央、荒野拓馬、岡田大和、田中宏武、木戸終摩、林田友兜、近藤友喜、原康介、唯野鶴真、川崎幹大、窪田圭吾、中島大嘉、多田蒼生、西野颯太、大澤忠臣、徳差優利、森原智流、高木駿、フランシス・カン、白井陽斗、馬場晴也、出間恩努

① ベガルタ仙台

②森山佳郎

③ 31 回

④ 2 回戦

⑤堀田大輝、高田裕汰、奥山政幸、湯谷杏吏、菅田真啓、松井蓮之、武田英寿、エロン、鎌田大夢、郷家友太、實藤友紀、相良竜之介、南航太、工藤蒼生、梅木翼、マテウス・モラエス、グスタボ、梅田陸空、有田恵人、名瀬斗哉、真瀬拓海、横山颯大、オナイウ情滋、松澤香輝、西丸道人、林彰洋、古川柊斗、石尾陸登、安野匠、池田悠一、石井隼太、似内久穂、井上詩音、古屋歩夢、永井大義、荒木駿太、宮崎湧

① ブラウブリッツ秋田

②吉田謙

③ 32 回

④ 4 回戦

⑤山田元気、岡崎亮平、井上竜太、長井一真、諸岡裕人、水谷拓摩、畑潤基、中村亮太、小松蓮、梶谷政仁、才藤龍治、大石竜平、村松航太、ルカ・ラディッチ、川本梨貴、尾崎優成、吉岡雅和、矢田貝壮貴、深澤壮一郎、藤山智史、佐藤大樹、石田凌太郎、長谷川巧、鈴木翔太、星キョーファン、佐川流介、鈴木陽成、堀内智哉、畑橋拓輝、小野原和哉

① モンテディオ山形

②渡邊晋

③ 33 回

④ 4 回戦

⑤トーマス・ヒュワード＝ベル、吉田泰授、熊本雄太、西村慧祐、安部崇士、山田拓巳、高江麗央、小西雄大、高橋潤哉、黒田亮真、藤本佳希、野越寛也、坂本直基、川井歩、長谷川流、加藤千尋、南秀仁、岡本一真、吉尾海夏、田中渉、城和隼颯、大森真吾、國分伸太郎、寺門陸、上林大誠、千葉虎士、イザカゼイン、堀金峻明、中村亮太郎、土居望真、ディエゴ・ロドリゲス、ペカ・ミケルタゼ

① いわき FC

②田村雄三

③ 8 回

④ 2 回戦

⑤早坂勇希、石田佑貴、遠藤凌、堂鼻起輝、白井陽貴、坂岸寛大、石渡ネルソン、柴田壮介、谷村海都、フワナ啓太、村上陽斗、山口大輝、加瀬直輝、加藤大晟、山田裕翔、大西悠介、加藤悠馬、松本峻汰、生駒仁、山下優人、鶴木郁哉、坂元一清、木吹翔太、五十嵐聖己、ヒョン・ウビン、山内琳太郎、熊田直紀、ジュ・ヒョンジン

① 水戸ホーリーホック

②森直樹

③ 29 回

④ 1 回戦

⑤大森清生、大崎航詩、牛澤健、知念哲矢、飯田貴哉、渡邊新太、齋藤俊輔、安藤瑞希、前田裕介、草野佑己、杉浦文哉、長尾俊斗、芦部晃生、尾野優日、村田航一、梅田魁人、松原修平、久保征一郎、津久井匠海、山崎希一、多田圭佑、沖田空、松山健太、碓明日麻、西川幸之介、飯泉涼矢、板倉健太、山本隼大、森村俊太、野瀬龍世、奥田晃也、寺沼聖文、早川ウブライト、川上航立、瀧塚トリス

① RB 大宮アルディージャ

②長澤健

③ 30 回

④ 1 回戦

⑤笠原昂史、市原吏吉、浦上仁騎、石川俊隆、小島幹敏、ファビアン・ゴンザレス、豊川雄太、泉修那、中山昂大、安光将作、中野亮哉、下口雅崇、加藤有輝、茂木力也、杉本健勇、濱田水輝、富山貴光、カブリーニ、アルトゥール・シルバ、阿部来誠、和田拓也、村上陽介、関口凱心、志村滉、谷内田哲平、藤井一志、福井啓太、坪井湧也、磯崎麻哉、ガブリエウ、オリオラ・サンデー

① ジェフユナイテッド千葉

天皇杯 JFA 第105回全日本サッカー選手権大会 記録集

第3部 参加88チーム・登録選手

大橋尚志、杉田隼、前田陸王、西村遥己、佐相孝明、滝裕太、小川大貴、二ノ宮慈洋、ルーカス・バルガス、國分龍司、渡邊乃斗、キム・ジュンヒョン、稲福卓、神田渉馬、松村巖、萩原正太郎、伊藤陸音、樋口大輝、村越凱光、田中想来、野々村鷹人、安永玲央、チアゴ・サンタナ、本間ジャスティン

①新潟医療福祉大学

- ②佐熊裕和
- ③ 8 回
- ④ 1 回戦
- ⑤加澤宙也、平良碧規、白石蓮、細井響、中野創介、向井俊貴、高足龍、武原幸之介、吉田晃盛、田澤夢植、上之平曜羅、藤村天流、折原優介、若林来希、森駿人、村田楓太、漆館拳大、五来凌空、松浦睦空、吉田友樹、イルング佑良、白土典汰、佐藤武流、森健太郎

①富山新庄クラブ

- ②朝日大輔
- ③ 8 回
- ④ 1 回戦
- ⑤田村直樹、松原優吉、小野俊輔、宮下宙、松岡昂哉、平原幸也、遠藤青空、牛田敦也、桶川陽永、山下育海、宮越竜大、竹林晃輝、濱田唯楓、片山修、上村陸、雷田大智、近藤友聖、大原展陽、杉沢晴基、橋大夢、高木裕喜、森本迅斗、尾崎秀太郎、松井元淳、松田康佑、今村翼、飯島翼、山口絃生

①ツエーゲン金沢

- ②伊藤彰
- ③ 21 回
- ④ 2 回戦
- ⑤白井裕人、長峰祐斗、畑尾大翔、松本大輔、櫻井風我、ジェフェルソン・ジャリ、塚元大、大山啓輔、土信田悠生、バトリック、杉浦恭平、石原崇兆、西谷優希、毛利駿也、加藤大樹、熊谷アンリユー、長倉颯、山ノ井拓己、四宮悠成、西谷和希、小島雅也、村田迅、宮崎海冬、大谷駿斗、上田樹、沖崎颯、山本義道、庄司朋乃也、嶋田慎太郎、大澤朋也、平智広、久保賢也

①福井ユナイテッド FC

- ②藤吉信次
- ③ 17 回
- ④ 2 回戦
- ⑤杉本拓也、清水雅仁、廣岡睦樹、志摩豪樹、遠藤海斗、高貝樹幹、和田達也、大石治寿、北川晃平、北脇健慈、森勇斗、渡辺琉偉、山本康、池庭諒耶、中島偉吹、河畑光、榎本響、大浦力、安川誠人、杉浦秀謙、野村魁、押谷祐樹、岡田大輝、中村晃大、與那覇航和、岩島巧、眞古大輔、波本類

① Honda FC

- ②糸数昌太
- ③ 45 回
- ④ 1 回戦
- ⑤青木祐太、池松大騎、岸田悠佑、八戸雄太、鈴木雄也、草刈龍星、松本和樹、佐々木俊輝、児玉怜音、鈴木理久、川畑隼人、岡崎優希、斉藤涼優、石原史羅、川浪龍平、松岡郁弥、庄司夢ノ介、岩切拳ノ介、大野来生、楠本祐規、知花康士朗、東藤、竹田豪、三輪大智、寺田阿輝彦、中村元

①中京大学

- ②吉井直人
- ③ 9 回
- ④ 1 回戦
- ⑤東下茅広、折出幸大、原田渉夢、出水志耀、田上涼太、荒井貴太、屋嘉比奏汰、那須健一、中嶋晃成、武藤寛、光本和馬、古瀬夢叶、小林嘉人、鬼木健太、大重優斗、増崎康清、田村聡佑、伊藤大和、西村海希、井上陽太、元木湊大、那須琳斗、内藤和希、森田尚人、岩本悠庵、青木正宗、宮本凌成、西森悠斗、加藤佑基、谷直将、西森脩斗、小田切祐真

①ヴィアティン三重

- ②間瀬秀一
- ③ 5 回
- ④ 2 回戦
- ⑤森建太、谷奥健二郎、伊促啓太郎、福田玲央、齋庭瑞生、上田駿斗、森主麗司、篠原弘次郎、大竹将吾、加倉広海、安西海斗、池田虎弘、町田蘭次郎、稲葉我志、青戸翔、児玉慎太郎、金成純、松本龍典、伊東進之輔、池田直樹、山田晋平、村瀬悠介、野口竜彦、寺尾憲祐、松浦蒼波、増田鈴太郎、村上弘有、梁賢柱、荒川永遠

① FC 岐阜

- ②大島康明
- ③ 19 回
- ④ 2 回戦
- ⑤茂木秀、野澤陸、甲斐健太郎、石田峻真、井川空、中村仁郎、荒木大吾、ドゥッ、北龍磨、佐々木快、生地慶亮、山田直輝、西谷亮、長井結矢、松本歩夢、山口敬良、文仁柱、萩野滉大、

④ 2 回戦

- ⑤川田修平、平松航、大森博、佐藤祥、森瑞太、神戸康輔、棚橋亮士、福森健太、菅原龍之助、五十嵐太陽、青島太一、坂圭祐、川名連介、庄司朗、井出真太郎、キム・ミンジョン、高橋秀典、星野創輝、岩崎博、丹野研太、矢野貴章、鹿野修平、ラファエル、木邨優人、小堀空、屋宜和真、高嶋修也、揚石琉生、吉野陽翔、牧野亮冴、波多野壮介、横浜丞、堀内陽太、オタバー・ケネス、藤原健介

①ザスパ群馬

- ②沖田優
- ③ 22 回
- ④ 2 回戦
- ⑤田頭亮太、大畑隆也、船橋勇真、米原秀亮、西村恭史、山内陸、青木翔大、高澤優也、加々美登生、近藤亨成、菊地健太、風間宏希、山中惇希、田中翔太、下川太陽、キム・ジェヒ、高橋勇利也、小野関虎之介、新井夢功、中野力瑠、秋元琉星、藤村怜、小柳達司、河田篤秀、玉城大志、安達秀都、潮島義成、小西宏登、真木晃平、野瀬翔也、小山結友、志賀一允

①東京国際大学

- ②前田秀樹
- ③ 8 回
- ④ 1 回戦
- ⑤大畑神唯、松川祐希、高橋岳、平川周汰、大沼龍我、佐藤柊椰、齋藤晴、中村拓夢、小西利空、古谷柗介、神谷悠介、北橋将治、金子颯太、足立陽、花松隆之祐、佐藤旭、濱崎聡馬、山本将太、大木海世、猪狩鉄太、橋本穂高、大坪聖央、会田光希、松井イライジャ博登、青木空斗、高木大和、伊達歩由登、山入端琉海、中村圭汰、舟山陽人、瀧美慶大、式田杏、川満誌吉、井田順正

①順天堂大学

- ②日比成
- ③ 17 回
- ④ 1 回戦
- ⑤金田大和、入江鈴介、大井勇人、三輪椋平、森川楓大、今井啓太、竹腰智也、栗原諒、名須川真光、井上真成、松本愛己、ギマラス ニコラス ロドリゲス、齊藤慈斗、福田凌、松田和輝、長澤喜、松本琉雅、川口敦史、山崎湘太、小笠原聖真、石川隼大、大町彪悟、柴田元、田邊海斗、抜水昂太、乾皓洋、田口輝一、中山温樹、山崎帝、吉澤匠真、森田将光、宮澤朋哉、佐藤由空、有村柊人、湯田大賀、吉野真夢、酒井愛輝、上西遥喜、高貴太瑛、布川陽大

①法政大学

- ②柳沢将之
- ③ 14 回
- ④ 1 回戦
- ⑤川崎淳、櫻井稜、日高華社、塩田悠人、大迫蒼人、薬師田澤、大畑凌生、浅野直希、相澤ディビッド、洪鈴鎖、小池直矢、諏訪部隼、畑野優真、松村晃助、小倉幸成、荒井駿希、長田涼平、野田秋太、保田成琉、梅津龍之介、寺田周太、佐藤凛音、松田悠世、八十島陸翔、前田康尋、黒瀬舜、小湊絆、根津元輝、田中恵大、峯野倅、菅原太一、島田春人、石川玄大、馬目隼乃介、大久保祐希、浅田悠翔、野見山蒼麻、島崎勝也、藤澤芭琉

① SC 相模原

- ②シュタルフ悠紀リヒルト
- ③ 4 回
- ④準々決勝
- ⑤三浦基瑛、加藤大育、ヒトリック、島川俊郎、田代真一、徳永裕大、河野諒祐、大迫聖、ラファエル・フルタード、武藤雄樹、高木彰人、前田泰良、高野遼、竹内崇人、三晃海、左部開斗、福井和樹、加藤拓己、杉本蓮、田中陸、西山拓実、小笠原佳祐、猪瀬康介、常田克人、中塩大貴、バウマン、綿引康、高井和馬、藤沼拓夢、イスマイラ

①山梨学院大学 PEGASUS

- ②川邊裕紀
- ③ 7 回
- ④ 1 回戦
- ⑤アリスター・ファーガソン、増澤空斗、西健汰、蔵藤稜久、松田生輝、齋藤拓麻、鈴木颯、清水璃音、田中ハーディー啓秀、若松歩、村田智哉、廣瀬大翔、安藤喜琉、福沢安利、田中将大郎、小野輝、中村史温、石田誠二、吉田雄大、高橋楓次、石岡浩大、小西優希、小川加偉、芳野伯、大友侑也、錦織集斗、矢崎優、横山貴也、栃尾瞭太、有馬浩志、萩原輝海、大月悠希、根山翔伍、藤原優志、大森悠、高山榮

①松本山雅 FC

- ②早川知伸
- ③ 17 回
- ④ 2 回戦
- ⑤大内一生、高橋祥平、山口一真、馬渡和彰、菊井悠介、浅川隼人、石山青空、安藤翼、山本康裕、宮部大己、山本龍平、

④ 1 回戦

- ⑤矢野巧、石渡旭、大澤拓也、盛山斗来、西田悠人、本塚聖也、鍋田秀斗、永川怜司、中村尚輝、木村晟明、鈴木然、高道勇壮、渡邊竜雅、小川士夢、山田彩翔、對馬孝介、梅田裕太、大坪颯哉、宮原輝、上田航平、中尾慶心、濱大耀、山本豪士、勇碧

①ラインメール青森

- ②原崎政人
- ③ 4 回
- ④ 3 回戦
- ⑤三文字瑠衣、斉藤諒、遠藤元一、住永翔、高木輝之、浅利航大、松本拓海、山口和樹、ルイス・フェルナンド、ベッサ、中原秀人、有田光希、宇高魁人、田村陸、原田虹輝、廣末陸、石川竣祐、平尾泰雅、池末知史、朴勇志、西坂斗和、廣岡一樹、佐久間駿希、韓勇岐、岡健太、日高オギュステュ、貫真郷、長嶋風太、大里皇馬、藤本裕也

①いわてグルージャ盛岡

- ②星川敬
- ③ 18 回
- ④ 2 回戦
- ⑤嶋津柚杏、牟田雄祐、セドリック・トゥサン、深堀隼平、弓削翼、シラス、藤本恵明、小暮大器、中里崇宏、柳世根、河合秀人、ウォン・テラン、道本大飛、西大伍、中村充孝、和田昂士、松村航希、町田悠、和田篤紀、斉藤拓、山内舟征、田中春希、嫁阪翔太、名良橋拓真、新玉瑛琉、小林祐希、若林学歩、藤島樹騎也、岩淵快一、柳川豪美、七尾塔馬、小松寛太、濱名真央

①仙台大学

- ②吉井秀邦
- ③ 4 回
- ④ 1 回戦
- ⑤森岡拓海、鈴木大翔、竹村吉裕、前田航星、櫻井涼太、都築卓、新谷一真、吉良優音、横溝広太、本田真斗、石山亮太郎、松野凌大、小松朝陽、山口春汰、佐藤怜司、阿部吉平、武田陸来、水津秀斗、小村晃太、玉木亜門、三沢大和、鮎澤太陽、相賀天晴、吉武聖雅、大畑魁、天野瑠成、池田勇氣、小川聖風、小舟鳳雅、石毛翼、石津一輝

①ノースアジア大学

- ②カルロス・アルベルト・ゴンサルベス
- ③ 3 回
- ④ 1 回戦
- ⑤萩原海、角森史樹、大森涼平、菅野琉空、池田大誠、横須賀麗仁、中山煌斗、小松亮大、植田匠輝、星圭祐、目黒琥珀、山田拓哉、國澤統也、早坂優輝、小林心優、池田峻汰、伊藤宗真、木村怜有、上水流颯一郎、戸川渉

①大山サッカークラブ

- ②佐藤完治
- ③ 4 回
- ④ 1 回戦
- ⑤佐藤伸哉、森田瑞樹、中村勇貴、加藤康佑、佐藤新、本間礼皇、渡部翔宙、池田大郎、菅原比呂、名古祐介、梅木拓、伊藤直人、阿部和樹、高橋将輝、岩丸力也、上林拓真、阿部翔、本間光、鈴木咲、伊勢陽平、石垣泰、佐藤匠、佐藤駿平、佐藤涼太、遠藤優、伊藤航星、木村拓瑞、五十嵐桃李、稲葉塔也、池田強生、鈴木太陽、高田翔太、阿部成希

①福島ユナイテッド FC

- ②寺田周平
- ③ 13 回
- ④ 2 回戦
- ⑤上田智輝、山田将之、松長根悠仁、後藤裕二、上畑佑平士、針谷岳晃、吉永大志、清水一雅、森晃太、宮崎智彦、中村翼、飯島陸、藤谷臣、矢島輝一、城定幹大、吉丸純祥、安在達弥、宝納拓斗、當麻麻、野末学、鈴直樹、石井稜真、狩野海蔵、安西駿、由井航太、栗野健翔、樋口寛規、田中雄大、柴田徹

①筑波大学

- ②小井士正亮
- ③ 35 回
- ④ 2 回戦
- ⑤佐藤瑠星、池田春汰、五嶋夏生、小川遼也、鈴木遼、岡航平、小松悠太、清水大翔、内野航太郎、山崎太新、篠田翼、種田逸真、佐野健友、徳永涼、浦部舜、野田愛斗、安食優斗、池谷銀姿郎、水口嵩大、廣井蘭人、上仁倫平、小林俊瑛、大谷湊斗、普久原陽平、布施克真、宮野陽貴、古川千加良、矢田龍之介、山下景司、湯浅雅紀、高橋龍ノ介、戸塚純心、松村駿佑、花岡優太、山田雄大、古市哲也、西村太希、宮澤壮太、三井翔太、木元亨輔

①栃木 SC

- ②小林伸二
- ③ 25 回

③ 3 回戦

⑤伊藤剛、長谷川光基、星広太、平原隆晴、町田也真人、河辺駿太郎、永井龍、喜山康平、東康太、井澤春輝、岡野遼平、渡邊颯太、吉原楓人、矢田旭、牛之濱拓、山崎博義、坂本翔、吉長真優、坪郷来紀、田中悠也、木貴快斗、高昇辰、大谷幸輝、高柳郁弥、高吉正真、谷口廣成、杉本光希、世良務、辻岡佑真、杉山耕二、坂本穂吏也、樺山隼乃介

① Brew SAGA

②千知岩隼人

③ 12 回

④ 2 回戦

⑤比嘉和輝、濱崎悠哉、村田玲央、粕谷海士、吉田健人、堀之内瑠唯、森本瑠、澤田航汰、糸房珠希、増田涼、井口天雅、下畑漢太郎、森田舜、川村琉偉、大久保彩斗、洲上和輝、崎濱雄希、久本竜輝、平形武丸、八尾駿介、永冨誠也、井坂健太、有内天、新屋敷龍希、前田賢四朗

① 三養重工長崎 SC

②根橋和文

③ 12 回

④ 1 回戦

⑤山本祥輝、今宮健太、濱本拓哉、岩竹一也、松浦大武、宮近将太郎、平野皓巴、成瀬美喜人、城臺映伍、安部真一、田中連斗、耐島裕生、八木夏生、藤川丈、井原京佑、江濱慎介、西尾浩太郎、奥裕啓、三浦海翔、中原智央、東川陸、畑田健吾、福本康、高橋大寿、善家知哉、小田晃輝、萩野広将、本山史騎、橋本玲央、迫龍也、本田昂慎、金岡奨之、東寛也、濱田翔平

① イロンドン熊本 FC

②柳瀬潤平

③初出場

④ 1 回戦

⑤平野叶登、野口明、迫頭晃人、三笠慶太、永田佑輝、上田清志郎、守田雄樹、山本貴太、原田真、村上友祐、齊藤蔵人、坂元琉星、松野裕太、永田結基、吉岡樹利也、山鹿賢人、濱崎航、渡邊駿、猪本直家、西脇史、岩永優大、寺本昂平、坂梨文虎、山口和也、安片政人、中村昇、中島煌、山口元基、積歩門、中尾悠人、上田充輝、小田健伸、木村聖亜、緒方力也

① ヴェルスバ大分

②中村元

③ 14 回

④ 1 回戦

⑤堀野昂志、浜崎拓磨、伊藤真真、西村大吾、池内龍哉、石上輝、重田快、今村優介、福岡隆貴、鈴木啓太郎、前田結基、山崎一航、伊藤翼、藤本拓臣、佐々木翔、武沢一翔、平山裕也、瓜生昂勢、豊田純平、佐藤駿介、高山優、大川和貴、鈴木浩人、矢野佑介、村田勉、石黒幹太、金崎夢生

① ヴェロスコロノス都農

②小寺真人

③ 2 回

④ 2 回戦

⑤赤塚怜、久野龍心、梶山幹太、松岡憧、山原慧也、柳田健太、山内彰、中山雄希、山田雄太、中村亮、濱田智也、上米良将人、五領淳樹、味元陽明、高橋健、永吉広大、井上将弥、鈴木流矢、藤田大道、中野翔、武田航太郎、永野雄大、藤本奎詩、神代一慧、田辺涼成、松本幹太、福島竜弥、酒井信磨、浅井大地、中山開帆

① 鹿児島ユナイテッド FC

②相馬直樹

③ 11 回

④ 2 回戦

⑤藤嶋崇介、杉井颯、広瀬健太、ジョアオ、渡邊英祐、千布一輝、藤村慶太、アンジェロッティ、武星弥、福田望久斗、近藤慶一、吉尾虹樹、井堀二朗、山内康太、河村慶人、稲葉修士、園道将良、相馬丞、小島凜士郎、川島功晃、山口卓己、ヘナン、岡崎慎、熊倉匠、山崎倫、丸山哲新、岡別府陽輝、米澤令衣、木下海斗、青木義孝、谷田壮志朗、田中稔也、ンボカ チャールス

① 沖縄 SV

②小野木玲

③ 6 回

④ 2 回戦

⑤花田力、水越陽也、藤崎将汰、矢口駿太郎、松下大祐、石田仁志、沼田圭悟、我那覇和樹、永谷陵之佑、小川嵩翔、高遠隼生、大野篤生、有田朱里、片山雄斗、上野瑠介、安藤阿雄依、富久田和真、秋山大起、池高陽希、篠田翔太、山田涼太、下口竜空、平真樹、村田達哉、宮崎浩太郎、荒井秀賢、川中健太

⑥横井健太、鶴本晃成、辻川裕介、伊藤太陽、林莞大、白山玄貴、橋本峻輝、伊能玲生、水津颯太、澤島輝、中田樹音、原田烈志、長谷川翔平、桃井神伍、鄭健司、吉永緑心、内山弦太、宮澤琉汰、河北祥太郎、澤田理玖、西尾響、池藤聖仁、北村隼、田平謙

① 環太平洋大学 FC

②降屋丞

③初出場

④ 1 回戦

⑤堀之内隆正、妹尾将史、井上碧斗、河村慶、海老沼慶士、山並仁貴、堀口海嵐、橋天飛磨、西谷大彪、川上蒼太、大野公瑛、黒瀬朋希、高橋直也、角田京勇、井手拓斗、村上一賢、藤原悠亮、小宮一馬、中津海蓮恩、池田怜以、今井颯大、長倉晴南、橋本歩空、宮崎航汰、甲邊太陽、井上斗希、大和陽希、田中大樹

① 福山シティ FC

②小谷野拓夢

③ 5 回

④ 2 回戦

⑤菊地大輝、二宮和輝、平松遼太郎、田路耀介、黒宮渉、高田健吾、藤井敦仁、塚田裕介、ソン・ホギョン、吉井佑将、高橋大樹、若宮健人、萩野元伸、深田竜大、角田薫平、小池陸斗、田口駿、村田要、松井治輝、名執龍、野澤友哉、大久保龍一、澤田健太、松野輝樹、横山凌輝、杉浦力斗、代健司、高木大輝

① FC バレイン下関

②福原康太

③ 5 回

④ 2 回戦

⑤岡崎隆登、キム・ハンウル、田辺一岐、轟凌磨、半田勘太郎、野田昌秀、舩田勇士郎、原崎颯、岸田和人、神田凌太、野見山崇斗、戸田海人、兵頭勇心、可知俊哉、金田比呂、吉田竜樹、神田圭吾、金子遼太郎、佐藤颯汰、坂田真己翔、岩本雄喜、上村音生、チョ・ジュンサン、川前陽斗、正田優人、高橋勇馬、藤本翔

① カマタマレ讃岐

②米山篤志

③ 25 回

④ 1 回戦

⑤今村勇介、内田瑞己、井林奎、竹村俊二、小松拓幹、長谷川隼、江口直生、森勇人、高橋尚紀、川西翔太、エドウアルド、前川大河、石倉潤征、岩本和希、牧山晃政、宮本剛、ドゥンガ、大野耀平、岩岸宗志、上野輝人、柳雄太郎、田尾佳祐、丹羽詩温、松原快豊、河上将平、左合修士、飯田雅浩、藤井葉大、森川裕基、後藤健介、吉田陣平、附木雄也

① FC 徳島

②羽地登志晃

③ 10 回

④ 1 回戦

⑤瀧美拓也、カン・ギョフン、富永涼大、肥田復平、倉島宏人、山本直、出岡大輝、姫田耕大、瀧本高志、藤原志龍、谷山湧人、大坪寛、馬場雄大、加藤和輝、佐田正舟、前野恵吾、チョン・ゴン、岩崎雄永、河元海、八代空良、朴勇貴、小長谷勇樹、吉田裕翔、佐藤敬太、近藤麻波、松下舞希希

① レベロロッソ NC

②源代真民

③初出場

④ 1 回戦

⑤岡田結明、繁本剛功、山下詩音、兵頭俊昭、栢田大河、高橋宏樹、渡上雅也、越智大樹、三好颯斗、桂太希、伊藤良彰、佐藤稜大、中村慎太郎、喜井翔夢、越智康貴、鶴崎光、岡宗立、藤田陸斗、山下善輝、山西恭平、石川翔太、宮崎剛瑠、藤本海斗、一色俊介、伊藤翼、近藤伸宏、中越康輔、矢野智大、土居大樹、佐伯雄斗、永野楓馬

① 高知ユニテッド SC

②秋田豊

③ 10 回

④ 2 回戦

⑤黒川雷平、吉田知樹、中田永一、小林大智、田辺陽太、宇田光史朗、金原朝陽、高野裕雄、新谷聖基、佐々木敦河、小林心、得能草生、潮尾純基、小林里駆、上月翔聖、伊藤綾汰、東家駿樹、水野颯太、杉山伶央、大杉啓、カン・ソンチャン、長井響、岡澤順生、今井那生、須藤直輝、内田優晟、井上聖也、小窪太斗、松本光平、深川大輔、鈴木俊也、三好颯大、福宮弘乃介、工藤真真

① グラヴァンツ北九州

②増本浩平

③ 16 回

栗飯原尚平、大串昇平、横山智也、箱崎達也、セラテス、オウエウリアム、キム・ユゴン、寺阪尚悟、泉澤仁、後藤大輝、外山凌

① 山手 2000

②井上卓哉

③初出場

④ 1 回戦

⑤大野敬介、白井秀典、村田大介、小酒井大聖、浦谷智也、近藤裕貴、小國憲弥、三田尻知輝、西崎圭祐、梅村エリジ、小山千豪、岡田隼、横山瑠空、仙臺岳斗、岡田優樹、川瀬相、村岡怜央、大嶋佑、西村仁志、荒堀謙次、田中慶吾、渡坂大貴、山下聖矢、野村迅、藤田廉人、長谷川圭、野村昌平

① 京都産業大学

②吉川拓也

③ 7 回

④ 2 回戦

⑤徳岩碧都、前原慶雄、滝口晴斗、小野成夢、造村健斗、田代紘、血良立輝、末谷蒼梧、妹尾颯斗、伊藤翼、小濱弘貴、中原碧瑠、山村朔冬、長谷川俊泰、西村想大、福永裕也、田中寿宗、豊嶋進央、脇谷静香、大倉慎平、西川宙希、高川諒希、森田圭翔、吉井泰生、太仁紫音、森力介、沖野真之介、藤原壮志朗、木戸晴之輔、卯田大輝、太田陸斗、黒木一心、福島健太、河西祐哉、金鐘真、北村風月、姫野晃竜、松村斗吾、杉原聖弥、石井聖隼

① FC 大阪

②大嶽直人

③ 7 回

④ 1 回戦

⑤山本透衣、川上竜、山下諒時、水口清斗、館野俊祐、木匠貴大、芳賀日陽、島田拓海、久保吏久斗、利根瑠瑠、美馬和也、住田将、黒崎隼人、橋本陸、和田育、夏川大和、増田隼司、堀越大蔵、林田魁斗、秋山拓也、佐藤諒、武井成豪、李東烈、澤崎凌大、石橋亮之、中東晏、古賀貴大、菅原大道、禹相皓、堤奏一郎、望月想空、河智聖、西村真祈、金潤誠、平吹崇、松本孝平、ヴィンニウス・ソウザ

① FC BASARA HYOGO

②荒川友康

③初出場

④ 1 回戦

⑤鶴田海人、毛利隼、落合真一郎、山田隼輔、岸本駿朗、俣野亜以己、倉田大輝、小延将大、松原大芽、林洋毅、藤光翔、安岡佳哉、佐藤陽太、福西毅也、児玉壮琉、佐藤翼丞、宇津木優人、古谷三回、倉田流宇、清水圭介、岡田海、ヨム・テファン、磯田信、永田亮輔、五十嵐理人、大矢悠太郎、鍵山慶司、中坂勇哉

① 奈良クラブ

②中田一三

③ 16 回

④ 2 回戦

⑤澤田雄大、鈴木大誠、中山雅斗、田村亮介、堀内颯人、酒井達磨、山本宗太郎、百田真登、都並優太、中島賢星、岡田慎司、奥田雄大、田村翔太、國武勇斗、戸水利紀、生駒裕生、岡田優希、神垣雄、川井大地、ユ・イェチャン、佐藤大翔、吉村弦、森田漢、関沼海空、川谷恩、タワツチャイ、マルク・ヴィト

① アルテリーヴォ和歌山

②三枝寛和

③ 17 回

④ 2 回戦

⑤山口孝明、大橋優正、小久保裕也、山田大地、二本勇樹、柴田悠登、森島良汰、大野幹生、和田幸之佑、北野純也、新田航士、吉谷有司、操希翔、大迫武早志、杉浦晃太、下間蓮之介、森山隼、中島雅晃、山瀬翔輝、佐藤由維斗、工藤和真、中山和紀、小池武蔵、高木颯太、日根野達海、向井颯、植村友哉、植本唯翔、磯部勘太、湊大芽

① ガイナーレ鳥取

②林健太郎

③ 27 回

④ 1 回戦

⑤寺沢優太、藤田一途、永野修都、二階堂正哉、温井駿斗、小澤秀亮、田中恵太、棚田遼、富樫佑太、東條教輝、清水祐輔、普光龍誠、東出壮太、丸山壮太、松本太一、半田航也、三木直士、常安澤、河村匠、吉田伊吹、ダッジ、西田結平、金世明、高麗稜太、伊川拓、曾我大地、東根輝季、櫻庭立樹、大城望、金浦真樹、大嶋春樹、土肥航大

① ベルガロッソいわみ

②岸本弘樹

③ 4 回

④ 1 回戦

サッカーなら、どんな障害も超えられる。

日本の人口の7%は障がい者です。その障がいは多様で、ひとつとして同じ在り方はありません。

障がいがあっても、いつでも、どこでも、サッカーを心から楽しめる環境を。

彼ら彼女らが社会にある"障害"を超えていきつなげづくりやサポートも、サッカーならできる。

私たちはそう信じて、日本障がい者サッカー連盟を推進していきます。

障がい者サッカー7団体は、日本サッカー協会と連携し、サッカー界の発展のために取り組みます。



切断障がい



脳性麻痺



精神障がい



知的障がい



電動車椅子



視覚障がい



聴覚障がい

日本アンプティサッカー協会

アンプティサッカーとは、足や腕に切断障がいのある人が行う7人制サッカーです。日常生活で使用する義足・義手を外してロフトスタンドクラッチで体を支えながらプレーします。

日本ソーシャルフットボール協会

ソーシャルフットボールとは、精神障がいのある人が行うフットサルやサッカーです。基本ルールは健常者と同じで、フットサルでは女子選手を含む場合に最大6人がコートでプレーするなど、一部特別ルールを採用しています。

日本知的障がい者サッカー連盟

知的障がい者サッカーとは、知的障がいのある人が行う11人制サッカーです。フットサルも行っています。ルールは健常者のサッカー・フットサルと同じで、プレーヤーの障がいの度合いにより試合時間が異なります。

日本電動車椅子サッカー協会

国際的にはパワーチェアフットボールと呼ばれ、自立歩行が困難な重度の障がいのある人が多く行う4人制サッカーです。手やアゴでジョイスティック型のコントローラーを操り、電動車椅子でプレーします。

日本CPサッカー協会

CPサッカーとは、脳の損傷によって運動障害がある人が行うサッカーです。Cerebral (脳からの) Palsy (麻痺) の頭文字をとり、そう呼ばれています。

日本ブラインドサッカー協会

ブラインドサッカーとは、視覚障がいのある人が行う5人制サッカーです。転がると音が出るボールを使用し、まわりの声を頼りにプレーします。2004年からパラリンピックの正式種目です。弱視者がプレーするロービジョンフットサルもあります。

日本ろう者サッカー協会

デフサッカーと呼ばれる、聴覚障がいのある人が行うサッカーです。サッカーとフットサルがあり、審判は笛だけではなくフラッグも使用するなど、視覚情報を頼りにプレーします。



一般社団法人 日本障がい者サッカー連盟

支援団体



日本サッカー後援会

JIFFパートナー



オープンアップグループ



Johnson & Johnson



東京海上日動

Nabtesco



Bewith



JFA 第13回全日本O-40サッカー大会

【大会概要】

11月15日から17日、秋田県秋田市の八橋運動公園で開催。9地域と地域特別枠、開催地枠（東北／秋田県）、普及枠から計16チームが参加。4チームずつ4グループに分かれて総当たりのリーグ戦（1次ラウンド）を実施。各グループ1位が決勝ラウンドに進み、ノックアウト方式で優勝を争う。3位決定戦は行わない。試合時間は50分（25分ハーフ）。



エリース東京シニア40が 2大会ぶり2度目の優勝！

13回目となるJFA全日本O-40サッカー大会、40歳以上の日本一を決める戦いが幕を開けた。

1次ラウンドは、3グループで最終節まで首位争いがもつれた。そのうち、劇的な決着となったのがグループD。第2節でラストプレーの直接FKを沈め、貴重な勝ち点1を獲得して首位に立った三宅シニア（九州2／福岡）を2チームが1ポイント差で追う。勝てば突破が決まる三宅シニアは後半早々に2-0としたが、逆転突破を狙うtonan前橋グランデ（関東4／群馬）が終了間際に迫りついてドロー。先に試合を終えたセレソン長野シニア（北信越1／長野）が勝ち点3を得て、逆転突破を果たした。

グループBでは、初戦で引き分けた星ヶ峯フットボールクラブ（九州1／鹿児島）と広島四十雀サッカークラブ（中国／広島）が首位で並んだ状態でそれぞれ最終節を迎えた。星ヶ峯は逆転突破を狙うチャンブルオールド（関西／兵庫）に50+8分に決勝点を決められ、0-1で敗戦。最終戦で白星を挙げた広島四十雀がトップに立った。

グループCでは2連勝の横浜シニア（関東3／神奈川）といわきシニアFC（東北／福島）が最終節で激突し、互いに譲らずスコアレスドロー。得失点差で上回った横浜シニアが勝ち上がり、いわきシニアは無敗かつ無失点ながら大会を後にした。

最終戦を待たずにグループステージ突破を決めたのは、グループAのエリース東京シニア40（関東1／東京）。他チームが引き分け続きの中で全勝を収めた。

エリース東京は準決勝でも安定した戦いぶりを発揮し、残り10分で2得点を挙げて広島四十雀を退けた。セレソン長野は開始2分の先制点を守り抜き、横浜シニアに競り勝った。

強い風雨の中で行われた決勝、セレソン長野は前線の片山真人に早めにボールを入れて打開を図る。今大会ここまで1失点のエリース東京は、チーム全体の守備意識を強く保ちつつ、サイドの裏を狙って攻めた。後半開始4分、エリース東京の齋藤優が意外な形で均衡を破る。相手陣内の中央でパスを受けると、そこから狙ったのはロングシュート。この一撃はGKの頭上を越え、先制点となった。エリース東京は45分にも得点し、2大会ぶりの優勝を飾った。選手兼任の小林大祐監督は「シーズンインから日本一奪還を掲げてチームをつくってきた」と、目標達成を喜んだ。



エリース東京シニア40とセレソン長野シニアの決勝は風雨の中、白熱した試合となった



大会初日から激しい戦いが繰り広げられた。写真は1回戦・AKITA SC（開催地／秋田）vs ASジャミネイロシニア（北信越2／新潟）



セレソン長野と横浜シニアの準決勝は、2分に片山が決めた先制点をセレソン長野が守り抜いた



グループステージを全勝で突破したエリース東京。準決勝でも安定した強さを見せて広島四十雀に勝利した

サッカー日本代表2026 ホームユニフォーム発表 コンセプトは「HORIZON（水平線）」



adidas is the official supplier of the Japan National Team

優れたパフォーマンスを発揮するテクノロジー

3Dボディマッピング技術で作られた高通気性能エンジニアードメッシュにより、効率よく汗を吸収し表面へ移動させることで、プレー中も高い通気性を実現し快適な着用感が持続。また、新たに採用したクライマクーラー+素材が汗をすばやく吸って水蒸気を外へ逃がすことで透湿性に優れた構造を兼ね備えている。

新仕様のJFAエンブレムとアディダスロゴ

オーセンティックユニフォームに使用するJFAエンブレムには、新しくシリコン素材を採用。立体感のあるエンブレムで高級感と誇りを感じさせるデザインに。JFAエンブレムと上下に並んでいるアディダスロゴにはレンチキュラー技法を採用。ロゴの中にスリーストライプスとアディダスロゴが現れる仕様となっている。



新仕様のスリーストライプス

袖のスリーストライプスを従来の幅から72mmに変更。より太くすることで視認性が高まり、小さな画面での観戦や、ピッチから遠い観客席からでもアディダスらしさを感じられるデザインになっている。従来のような熱転写ではなく直接生地にもみ込むことで、通気孔のあるストライプスを実現。肩口でさえも通気性を備え、より高いエアフローを促す。



オーセンティックバッジ

前モデルに引き続き、選手着用モデルにはその証として裾部分にオーセンティックバッジを配置。今作ではブラックとホワイトの組み合わせを採用し、よりクリーンでユニフォームを引き立たせるデザインとなっている。

サッカー日本代表「最高の景色を2026」 オフィシャルアンバサダーに「JI BLUE」が就任 ～応援アクション「BLUE WING ACTION ～世界に見せよう、 応援のチカラ～」も開始

JFAとアディダスは11月10日、JFA・アディダス「サッカー日本代表 2026」キャンペーン共同発表会を開催し、サッカー日本代表「最高の景色を2026」オフィシャルアンバサダーにスペシャルユニット「JI BLUE（ジェイアイ ブルー）」が就任したことを発表した。

JI BLUEは、グローバルボーイズグループJO1とINIのメンバーのうち、サッカーを愛する12人で結成されたユニット。サッカーと音楽の力を融合させてSAMURAI BLUEの「最高の景色を2026」の応援の輪を日本中、世界中に広げるとともに、夢を追い続ける全ての人々の挑戦を後押しする役割を担う。

また、「最高の景色を2026」の応援アクションとして、JFAは「BLUE WING ACTION ～世界に見せよう、応援のチカラ～」を開始。サッカー日本代表公式SNSへのリアクション数、JFA公式アプリ「JFA Passport」や各地から集まった応援メッセージの数による総計を応援アクション数とし、その数が200万を達成した場合、来年サッカー世界一が決まる場所、ニューヨーク市街地で応援ムービーを放映する。



©JFA/adidas

日 本サッカー協会（JFA）とJFAオフィシャルサプライヤーのアディダスジャパン株式会社（以下、アディダス）は11月6日、JFAサッカー文化創造拠点Joueで「サッカー日本代表2026ホームユニフォーム」を発表した。

コンセプトは「HORIZON（水平線）」。ユニフォームの胸の中央部分には、日本を囲む海と空が交わる水平線を想起させる複数のグラフィックが施され、首の付け根部分に付けられた日の丸は日本を背負ってピッチに立つ日本代表の誇りと覚悟を示している。

ゴールキーパー（GK）ユニフォームには、仏教で釈迦を守護する神とされる「阿修羅」からインスピレーションを得たグラフィックが採用された。阿修羅と、ピッチ最後方からチームを支えてゴールを守るGKの勇姿を重ね合わせた大胆かつ力強いデザインとなっている。

来年、アメリカ、カナダ、メキシコで開催されるFIFAワールドカップ。サムライブルー（日本代表）が8度目の挑戦となる世界の舞台を目指すのは「優勝」だ。それは、ピッチで戦う選手だけでなく、応援し、共に歩む全ての人の夢でもある。

この新しいユニフォームは、そんな水平線の先にある明るい未来、そして、無限の希望が広がる「最高の景色」を表現したものであり、選手、そして日本代表チームと共に戦う全ての人の勇気と強い意志がデザインに込められている。

HORIZONの先にある「最高の景色」を目指して



発表に登壇した宮本恒靖JFA会長は、自身が出場したワールドカップを振り返り、「当時の感情や雰囲気、厳しさや重みなどユニフォームはそうした全てを思い起こさせるもの」とコメント。選手たちには「はつらつとしたプレーを見せてほしい」と話した。

BLUE WING ACTION ～世界に見せよう、応援のチカラ～

応援アクション集計期間：2025年11月10日（月）～2026年3月31日（火）
最終集計結果：2026年4月上旬に発表予定

https://www.jfa.jp/samuraiblue/for_our_greatest_stage_2026/blue_wing_action/



2連勝で年内の活動を締めくくる

SAMURAI BLUE (日本代表)は11月、年内最後の国際親善試合となるキリンチャレンジカップ2025に臨み、14日に豊田スタジアムでガーナ代表と、18日に国立競技場でボリビア代表と戦った。

※SAMURAI BLUEメンバー、公式記録は49～50ページに掲載
※選手の所属は試合時



磐石の試合運びで ガーナに2-0の快勝

10月にFIFAワールドカップ26出場を決めたガーナと、同大会出場を懸けて来年3月に予定されている大陸間プレーオフに臨むボリビア。アフリカと南米それぞれの代表チームとの対戦に向けて、日本サッカー協会(JFA)は11月6日に記者会見を開催した。チームを率いる森保一監督は「日本がワールドカップで勝ち進むために、勝たなければならない相手。戦術で上回り、より確実に勝てるよう勝利にこだわりたい」と話し、26人のメンバーを発表。小久保玲央(フライアン)、後藤啓介(共にシントトロイデン)、北野颯太(ザルツブルク)が初選出された。同9日にはけがで不参加となった鈴木彩艶(バルマ)に代わって野澤大志(ブランドン(ロイヤル・

南野はガーナ戦で国際Aマッチ26点目を記録。大迫勇也を抜き、木村和司と並んで日本代表歴代8位タイとなった



ガーナ戦、中盤でのボール奪取や前への推進力など攻守にわたって存在感を放った佐野



アントワープ)が招集された。なお、FC東京、町田、神戸、広島は、同16日に天皇杯JFA第105回全日本サッカー選手権大会の準決勝を控えていることから、同クラブに所属する選手の選出は見送られた。

チームは高円宮記念JFA夢フィールドでトレーニングを行った後、試合前日の13日に愛知に移動し、ガーナとの一戦を迎えた。

日本は、この試合から来年のワールドカップでも使用する新ユニフォームを着用。10月のブラジル戦の先発メンバーをベースに2人を変更し、早川友基(鹿島)と田中碧(リーズ)を起用した。

試合は序盤から日本のペースで進む。同じ3-4-2-1の布陣で戦うガーナに対し、前線からの連動した守備で攻撃を封じて素早い攻



ボリビア戦、後半途中出場の上田、町野、中村が流れを変えた。写真は2得点に絡んだ中村

中心に、堂安律（フランクフルト）、中村敬斗（スタッド・ランス）の両ウイングバックらが絡み、チャンスをつくり出していく。

60分、鈴木淳之介（コペンハーゲン）のインタースェプトから中村、上田、久保とつなぎ、最後は堂安がニアサイドに鋭いシュートを決めてリードを2点に広げた。その後も日本は主導権を握り続け、2-0で勝利を収めた。

森保監督の100試合目 3-0の勝利で飾る

森保監督がサムライブルーを率いて100試合目

守の切り替えから縦に速い攻撃で相手ゴールに迫る。
先制点は16分。谷口彰悟（シントロイデン）と佐野海舟（マインツ）の連係でボールを奪うと、佐野がドリブルで前線に運んで南野拓実（モナコ）にパス。南野は冷静にゴール右隅にボールを流し込んだ。日本は各選手が1対1の局面でも相手を上回り、さらに攻勢をかける。

後半に入り、ガーナはビルドアップ時に選手の立ち位置を変更するなど攻撃に変化を加えるが、日本はしっかりと対応して決定的な場面をつくらせない。攻めても上田綺世（フレイェールト）、久保健英（ソシエタード）、南野の前線の選手を



指揮を執る100試合目の国際Aマッチとなったボリビア戦で勝利した森保監督。試合後に選手から“番着号100”のユニフォームが贈られた

鎌田が胸でトラップし、左足で先制点を挙げた。23分には、菅原由勢（ブレイメン）のクロスから小川がヘディングシュート。GKにセーブされ、クロスバーに当たったボールを拾った南野のシュートも枠を捉えられなかった。
日本の攻勢が続くが、追加点を奪えずにいると徐々にプレスを回避されるようになり、ボリビアにボールを持たれる時間が増えていった。

後半になってもボリビアにペースを握られ、次々とシュートを打たれる。嫌な流れを変えたい
日本は67分、町野修斗（ボルシアMG）、上田、中村と攻撃的な3選手を一度にピッチに送る。すると71分、堂安のパスを受けた中村が右サイド深くまで攻め込み、折り返しを町野が押し込んだ。78分には、瀬古歩夢（アーヴル）のパスを受けた上田が鋭いターンで相手DFを置き去りにしてペナルティーエリア内に進入。走り込んだ中村にパスを送ると、中村は巧みなボールコントロールで相手選手をかわし、右足を振り抜いてゴールネットを

揺らした。

日本は終盤、カウンターアタックからシュートを打たれる場面もあったが、ディフェンス陣を中心に落ち着いて対応し、年内最後の試合を3-0の勝利で終えた。

日本代表史上初となる国際Aマッチ100試合指揮を達成した森保監督は、試合後、「多くの人に支えられてここまでやってこられた。感謝の思いでいっぱい」と語った。
※2024年3月26日のDFR Korea戦は没収試合となり試合が開催されなかったため除く。

森保一監督 試合後コメント（要約）

ガーナ戦後

選手たちが良い準備をし、ガーナという素晴らしい相手に戦術的、そして個の力を上げるトライをしながら勝利をつかみ取ることができた。アジア予選後、世界トップ基準のチームを相手に複数失点していたが、今日は選手たちが声を掛け合いながら良い守備から良い攻撃につなげてくれた。チーム全体で良い守備をしながら、リトリートして守備を固める相手を崩して複数得点することができた。チームとしてさらなる積み上げ、そして選手の自信になる。

ボリビア戦後

思うようにコントロールできず、切り替えが遅くなれば失点してもおかしくない、難しい試合だった。今日はどのような内容でも勝つという姿を選手たちは見せてくれた。ガーナ戦から先発7人を代えたが、誰が出ても勝つ、誰と組んでも機能する、という良いチャレンジができた。9、10、11月と多少メンバーを代えながら戦い、クオリティーが上がってきたと感じるが、選手にはワールドカップ本大会に向けてさらなるレベルアップをお願いしたい。

2025年11月14日 19:22 愛知／豊田スタジアム		
日本	2-0	ガーナ
16' 南野拓実 60' 堂安律	1-0 1-0	
GK ① 早川友基 DF ③ 谷口彰悟 ⑤ 渡辺剛 ⑭ 鈴木淳之介 MF ⑧ 南野拓実 ⑩ 堂安律 ⑫ 菅原由勢 ⑮ 久保建英 ⑯ 北野燾太 ⑰ 佐野海舟		

2025年11月18日 19:17 東京／国立競技場		
日本	3-0	ボリビア
4' 鎌田大地 71' 町野修斗 78' 中村敬斗	1-0 2-0	
GK ① 早川友基 DF ② 菅原由勢 ③ 谷口彰悟 ④ 板倉滉 ⑥ 遠藤航 ⑧ 南野拓実 ⑨ 中村敬斗		



攻撃をけん引した谷川は初戦で2得点に絡む活躍を見せた

なでしこジャパンは、来年3月に開催されるAFC女子アジアカップオーストラリア2026に向けた最後の強化試合となるこの2連戦に26人の選手を招集し、前線からの守備強度と攻撃面でのチャレンジをテーマに掲げて臨んだ。

日本は試合開始から主導権を握ると、1分、長野風花（リバプール）のボール奪取から北川ひかる（エバートン）のクロスで決定機をつくる。長野と宮澤ひなた（マンチェスター・ユナイテッド）を起点に両サイドの藤野あおは（マンチェスター・シティ）と清家貴子（ブライトン）が積極的に仕掛け

MS&AD カップ 2025

長崎でカナダ女子代表と対戦 連勝で手応えを得る



NADESHIKO
JAPAN

なでしこジャパン（日本女子代表）は、11月29日に長崎スタジアムシティ（ピーススタジアム）でMS&ADカップ2025に、12月2日にトランスコスモススタジアム長崎でトレーニングマッチに臨み、いずれもカナダ女子代表と戦った。

※なでしこジャパンメンバー、公式記録は54ページに掲載

※選手の所属は試合時



るが、シュートの精度を欠き、押し込みながらも得点には至らない。カナダが高さを生かしてセットプレーなどから押し返す時間帯もあったが、そこをしのぐと、43分に均衡を破る。高橋はな（浦和）のクロスを生かして田中美南（ユタ・ロイヤルズ）がヘディングで折り返し、谷川萌々子（バイエルン）が左足で決めた。

後半、日本はプレスの強度を高

める。51分には、前線からの連動した守備で田中が相手GKからボールを奪い、そのまま2点目を奪取。その後は、松窪真心（ノースカロライナ・カレッジ）、浜野まゐか（チエルシー）ら交代選手が勢いをもたらし、68分には浜野、松窪とつないで谷川のクロスを生かして左足で決めて3-0。若手4人が絡む運動性の高いプレーで勝利を手にした。試合後、ニルス・ニールセン監督は「ベナルティーエリア内のクオリティーは良くなっているが、さらに高める必要がある。カナダが勢いに乗る時間帯もあったが、先に得点できたことで落ち着いて試合を進められた」と振り返った。

2戦目のトレーニングマッチも国際Aマッチとして開催され、日本は先発を8人入れ替えて臨んだ。立ち上がりは長いボールを多用するカナダに押し込まれ、6分にはGK大熊茜（神戸）が負傷交代するアクシデントも発生。しかし、長谷川唯（マンチェスター・シティ）と三浦成美（ワシントン・スピリット）を中心に中央とサイドを使い分けながら流れをつかんでいく。すると45分、CKから三浦がヘディングシュートを放ち、GKがはじいたところを田中が詰



2試合連続ゴールとFWとして結果を出した田中

めて先制。後半に中嶋淑乃（S広島R）、植木理子（ウェストハム）らを投入して攻撃に変化をつけ、北川のみドルシュートや藤野の突破などで積極的にゴールに迫った。追加点は奪えなかったが、南萌華（ブライトン）を中心にカナダの反撃をしのぎ、1-0で勝利を収めた。

指揮官は「初戦に比べて選手同士のバランスを見つけるのに時間がかかったが、修正できた。勝利に値する内容だった。来年のアジアカップでトロフィーを掲げる準備はできている」と語り、チームが確実に歩みを進めている手応えを示した。

充実したサッカーを見せるも、ベスト8には届かず



9月27日から10月19日にかけて、FIFA U-20ワールドカップチリ2025が開催された。U-20日本代表の戦いを振り返る。

※U-20日本代表メンバーおよび公式記録は50～52ページ、大会結果一覧は62ページに掲載／所属は大会時

入念に準備を進め 開幕から粘り強く戦う

日本から約1万7000km離れた地球の「裏側」で若き日本代表が激闘を繰り広げた。

船越優蔵監督率いるU-20日本代表は9月17日からパラグアイの首都アスンシオンで事前合宿を行った後、22日に、FIFA U-20ワールドカップの初戦の舞台となるチリのサンティアゴに移動。グループステージ初戦となるエジプト戦に向けて最終調整を行った。

各グループ上位2

チームと各グループ3位の上位4チームがノックアウトステージに進める本大会では、初戦の結果がその後の戦いを大きく左右する。エジプト戦は大会のオープニングマッチとあって独特の緊張感が漂っていたが、日本の選手たちはその雰囲気にもまれることなく躍動した。「相手に流れが渡った15分からの10分間で崩れず、市原（吏音／RB大宮）を中心に一人一人がタスクを遂行してくれた」と船越監督が振り返ったように、粘り強く戦っ



初戦、第2戦で得点を挙げた市原（写真右）。守ってはチームの無失点に貢献した

て相手につけ入る隙を与えない。

29分に齋藤俊輔（水戸）がペナルティエリアで倒され、PKを獲得する。これを市原が沈めて先制に成功し、大人気漫画『僕のヒーローアカデミア』の主人公・デクのバフォーマンスで会場を盛り上げた。この1点で弾みがついた日本は48分に石井久継（湘南）が加点。以降も集中力を切らず、2-0の完封で幸先の良いスタートを切った。

勝ち点3をつかんだ日本は、第2戦で勝利すれば、グループステージ突破に大きく近づく。チームは、2



JAPAN NATIONAL TEAM

© 2025 FIFA



開幕2連勝を飾った日本は1試合を残してノックアウトステージ進出を決めた

日間の調整を経て30日に開催国チリと戦った。会場に4万人以上の観衆。そのほとんどがチリサポーターという完全アウェイの中、日本は序盤から積極的に攻撃を仕掛けていく。31分にはPKを獲得し、先制のチャンスを迎えるが、高岡侂男（ヴァランシエンヌFC／フランス）がこれを外してしまう。重苦しい雰囲気の中、55分に齋藤がペナルティーエリアで倒される。主審は笛を吹かなかつたが、フットボールビデオサポート（VＳ※）の権利を行使してPKを獲得。これを市原が決め、先手を取った。日本はそれ以降も攻撃の手を緩めず、82分には途中出場の横山夢樹（FC今治）が

鮮やかなミドルシュートで勝利を決定づけた。日本は開幕2連勝を飾り、勝ち点6でグループ3位以内を確定。他グループの結果を踏まえ、1試合を残してノックアウトステージ突破を決めた。

翌日、日本はサンティアゴからバルパライソに移動。1時間半ほどバスに揺られ、世界遺産がある海沿いの街で10月3日のニュージーランド戦に向けて調整を進めた。

迎えた第3戦、日本は第2戦から先発を8人変更。小雨の後の濃霧をものともせず、序盤から勇敢に戦うと、22分に小倉幸成（法政大）が左足で強烈なミドルシュートを突き刺す。リードを奪った日本は

その後も冷静にゲームを進め、64分に平賀大空（京都）が右サイドからシュートを放つ。これが相手DFに当たってゴールネットに吸い込まれ、追加点を奪った。勢いに乗った日本は、82分に高岡のパスを石井が受け、相手のタイミングをうまく外すシュートフェイントからゴールを奪って3点目。攻守両面で充実したサッカーを見せた日本が3連勝で首位通過を果たし、3試合で7

得点無失点と完璧な内容でラウンド16に進んだ。

※チームの監督またはチームオフィシャルが第4の審判員にリクエストし、対象のプレーについて主審がビデオレビューを行う。リクエストする権利は1試合に2回、当初の判定が変更された場合は成功扱いとなり、失敗すると1回分の権利がなくなる。

強豪相手に攻め込むも先制点を奪うことができず

パラグアイでの直前合宿を第1クール、グループステージを第2クール、そしてノックアウトステージ以降を第3クールと考えてチームマネジメントしていた船越監督は当初の予定通り、ニュージーランド戦の翌々日に本大会に入って最初の休養日を設けた。オフの日には街に出かける選手もあり、各々がラウンド16に向けて自由に過ごし、英気を養った。

「休んだ後なので体が少し重たかったかもしれないが、それも織り込み済み」と船越監督。チームはオフ翌日の練習からギアを入れ直し、フランスとの大一番に備えた。

迎えたラウンド16、市原が初戦のゴールセレブレーションで地元サポーターのハートをつかんだことで日本はスタジアムの大声援を受ける。ホームのような雰囲気の中、序盤から猛攻を仕掛け、強豪フランス相手に何度も決定的なチャンスをつくる。「積極的にシュートを狙う姿勢を見せられた」という佐藤龍之介（岡山）の言葉通り、開始2分に齋藤がペナルティーエリア左からゴールポスト直撃のシュートを放つと、21分には佐藤が決定的なミドルシュートでゴールを脅かした。

日本は後半に入っても果敢に攻

め続ける。71分には佐藤のスルーパスに高岡が反応し、GKとの1対1を迎えるが、シュートを阻まれ、先制点が奪えない。試合は90分で決着がつかず、延長戦に突入。日本は佐藤、大関友翔（川崎F）を中心にゴールを狙うが、チャンスをもにできずにいると、120+3分、自陣ゴール前で梅木怜（FC今治）がハンドの反則を取られてしまう。フランスベンチがVＳを要求してこれが認められると、PKを決められて最後の最後に決

試合結果 グループステージ

※得点は日本のみ記載

- 第1戦 9月27日 日本 2-0 エジプト
得点者：市原史音、石井久継
○PLAYER OF THE MATCH：市原史音
- 第2戦 9月30日 チリ 0-2 日本
得点者：市原史音、横山夢樹
○PLAYER OF THE MATCH：市原史音
- 第3戦 10月3日 ニュージーランド 0-3 日本
得点者：小倉幸成、オウンゴール、石井久継
○PLAYER OF THE MATCH：小倉幸成

ノックアウトステージ
ラウンド16 10月8日 日本 0-1 フランス

© 2025 FIFA



フランス戦は攻め込みながらも得点を挙げられず。決定的な力不足に泣いた

本当に誇らしいチームになつてくれた

FIFA U-20ワールドカップチリ2025でU-20日本代表を率いた船越優蔵監督に、これまでの歩み、同大会での収穫や課題について聞いた。

○オンライン取材日・2025年11月4日



インタビュー

船越優蔵

U-20日本代表監督

大会後の選手の活躍はうれしい限り

— U-20日本代表を率いて約2年、集大成となるFIFA U-20ワールドカップチリ2025はラウンド16で幕を閉じました。現在の率直な気持ちを教えてください。

船越 一言で言うとうれしさはありません。後悔というよりも悔しい。これに尽きます。この感情にはいろいろな意味があります。もつとできたという思いもありますし、自分の力不足も感じましたし、選手を勝たせてあげられなかったという思い、考えられることは全てやったという感情もあります。前回、コーチとしてFIFA U-20ワールドカップに参加したとき、この大会は瞬く間に終わるということを感じていましたが、今大会もラウンド16のフランス戦が終わった後は、「もう終わったんだ」という思いに駆られました。大会では伏兵のモロツコが優勝したことで、自分たちがあのときこうしておけば（決勝に勝ち進めたかもしれない）、という感情が出てきました。

— 「こうしておけば」と思うこ

とは何ですか。

船越 フランス戦への準備、意識の持っていたい方です。今大会が始まる前、U-20ワールドカップなど大きな国際大会を戦ったことがある先輩方に経験談を聞くと、誰もが「ほかの国はノックアウトステージからギアを上げる」と言うんです。実際、日本はノックアウトステージの初戦で負けるケースが多い。年別のワールドカップはベスト16の壁があり、オリンピックにはベスト8の壁があるとも言われています。

そうした話を聞いて今大会に臨んだわけですが、私たちスタッフのノックアウトステージ初戦にかける意気込みが強すぎて、それが選手たちに波及してしまっただけかもしれません。感じています。フランスに絶対勝つ、という気持ちがあれば互角の戦いはできなかった一方で、肩の力を抜いていればゴール前で余裕が生まれたのではとも思います。例えば、切り返した後にシュート

を打つとき、もう少しリラックスしていれば、ゴールポストに当たらず入ったり、ゴールポストの内側やクロスバーの下に当たったりして得点になっていたかもしれません。

— 帰国後、選手たちはチリでの悔しさを晴らすように所属チームでゴールを決めています。

船越 フランス戦後、「日本に戻ったらすぐにファイティングポーズを取ってくれ」と伝えました。それがこの大会を経験した意味でもあるので、（フランス戦と同じような接戦でゴールを奪い）、選手たちがまた成長した姿を見せてくれたのはうれしい限りです。



ノックアウトステージ初戦のフランス戦。日本は猛攻を仕掛け、何度もチャンスをつくった

©2025 FIFA



もつと勝たなければと
思わされる大会だった

——この2年を振り返ると、選手たちはたくましくなりました。

船越 AFC U20アジアカップ中国2025の予選（FIFA U-20ワールドカップの一次予選）でキルギスに遠征したときから急速に成長しました。それは選手が高い意識を持ち続け、クラブで出場機会をつかみ取ったからです。この年代の特権はトライ＆エラーを繰り返す余地があること。スタッフから答えを教わるのではなく、まずは自分でやってみて、失敗しながら成長していく、この流れが必要だと思っていたので、こちらも最低限のことを伝えながらチームを積み上げることが意識しました。

——それを象徴する場面はありますか。

船越 AFC U20アジアカップ中国2025予選のキルギス戦です。後半早々に先制され、日本は追いつける展開になりました。すぐに追いついたのですが、最終的には引き分けに終わり、選手たちは悔しがっていました。でも、必要以上に悔しがることはないんです。大会序盤の目的はグループステージを突破すること。勝利を狙う中で引き分けに終わるのは全く問題ないですし、選手たちはそれを実践したわけ

です。

その後の今年2月のAFC U20アジアカップ（U-20ワールドカップのアジア最終予選）でもそうです。グループステージ3試合目の韓国戦、日本が1-0で勝っているとき、後半アディショナルタイムにDFの市原史音選手が失点につながるミスをしました。試合後、市原選手と二人で「これは次の試合では避けよう」「この状況ではこういうプレーをしないといけない」という話をしたんです。これは私が試合前に伝えても本当の意味で理解してもらえないわけではなく、選手が体験しなければ分かりません。ですから、こちらにはあまり丁寧に伝えず、選手たちもまずはトライしてみ、その結果から学んでいくという姿勢でした。

——U20日本代表の面々が今後、ロサンゼルスオリンピック出場を狙うでも、サムライブルー（日本代表）での活躍を見据える意味でも、貴重な経験ができました。

船越 国際大会に出場する以上、できるだけ多くの試合を経験することが理想です。今回の場合は最大で7試合です。準決勝に勝ち進んで、決勝または3位決定戦に臨むことが本望は望ましかったわけですが、この大会をきっかけに選手の成長につながようと本気で考えていた分、もつと勝たなければなら

ないと思わされる大会でした。

ひたむきなスタイルが
現地の人々の心を動かした

——前回のアルゼンチン大会にコーチとして臨み、今回は監督として指揮を執りました。この2大会で得たものを教えてください。

船越 基準です。私たち指導者は簡単に「世界基準」と言いますが、私が前回大会に参加した際はコロナ禍の影響もあって海外で試合ができなかった選手も多く、目指すべきものが見えにくかった。アジア予選を突破してU-20ワールドカップに臨んだとき、アジアと世界との違いが本当に理解できていたかという、まだ浅かったと思うんです。今大会を経験して、世界基準がより明確になりましたし、それを選手に伝えることもできたと感じています。同時に、世界基準はあくまでも基準ですので、そこに到達するだけではなく、超えていくことが重要です。世界基準を超えるために、自分たちが積み上げたものを次の世代に引き継いでいきたい。日本は組織力という長所を備えている上に、近年は個人でも戦える姿を見せられるようになってきた。そこも含めて、今後日本が目指すべき姿を次の世代に伝えていければと考えています。

——準備の部分についてはいかがでしょうか。

船越 今回のU-20ワールドカップは9月下旬に開催されました。前回大会は、2月から3月にかけてアジア予選があり、1カ月半後に本大会がスタートする日程でした。今回は準備期間が半年あり、その間に急成長した選手が大勢います。AFC U20アジアカップ中国2025の後、スペイン遠征でアメリカやフランスと対戦できたことも大きなプラスでした。

——このチームのもつ二つの目標である、「応援されるチームになる」という目的も果たすことができたのではないのでしょうか。

船越 U-20ワールドカップに臨む前、「現地の人たちに応援されるチームになって、世界の人が共感するフットボールをしよう」と伝えました。ラウンド16のフランス戦

はホームのような雰囲気です。することができ、選手たちも取り組みの成果を実感したのではないのでしょうか。ひたむきに戦い、ボールを奪って、愚直にゴールを目指していくスタイルがチリの人々の心を動かしたと思っています。私自身、サッカーだけではなく、スポーツの素晴らしいさを感じました。本当に誇らしいチームになってくれました。

©2025 FIFA

ひたむきなプレーで地元チリの観衆を味方につけた。その経験は成長につながるはずだ



FIFA U-17 女子ワールドカップモロッコ2025

日本も着実にレベルアップしている
下の年代からさらに積み上げを

U-17日本女子代表の指揮官として、2大会連続のFIFA U-17女子ワールドカップに臨んだ白井貞義監督に今大会を振り返ってもらった。

○オンライン取材日・2025年11月25日



白井貞義 U-17日本女子代表監督

攻守にトライする姿勢を 常に選手たちに求めた

——今大会に向けたメンバー選考で重視された点を教えてください。

白井 昨年のドミニカ大会と考えると、昨年は変わず、複数のポジションができることをベースに、スペシャリティを持った選手を重視しました。特にサイドに関しては、スピードやパワー、高さといった特長も含めて選考しました。

——U-17女子ワールドカップは今年大会から毎年開催となり、例年より準備期間も短い中で大会を迎えました。準備段階で意識されたことは？

白井 日本サッカー協会（JFA）の「Japan's Way」にある選手像をベースに、U-17年代としてのプレーモデルやプレー原則から選手のプロファイルを作り、コーチングスタッフと方向性を細かくすり合わせながら準備をしてきました。

——なでしこジャパン（日本女子代表）と共有するスタイルを、どのようにに選手たちに落とし込まれたのでしょうか。

白井 守備面では「飛び込まない守備」に慣れている選手が多かった

ため、「抜かれてもいいからまずは奪いにいこう」と意識付けから始めました。最初は戸惑いも見られましたが、積極的なチャレンジがチームにプラスをもたらす場面を映像で共有し、トライすることを肯定し続けました。また、守備の強度を高めるために、ウォーミングアップの段階からフィジカル面でのアプローチを見直しました。女子選手は筋力トレーニングの開始時期が男子より遅くなる傾向があるため、代表活動の中で徐々に取り入れ、所属チームとも連携して継続して取り組めるように働きかけました。選手たちはとても意識が高く、自分たちで工夫して取り組んでいました。

攻撃面では「ボールを失わない」意識が強いのですが、ゴール方向への優先順位が低いと感じましたので、パス&コントロールのトレーニングの中でも常に前を意識するよう、周囲の選手と連携するタイミングを見直しました。

——開催地は乾燥しやすい気候でした。コンディショニング面の対策は？

白井 普段から水分を取らない選手が多く、トレーニング前後の体重変化が2%以上ある選手が多かったです。体重減少が大きい選手を把握した上で、私たちコーチングスタッフで数値を共有し、トレーニング中から細かくチェックして水分補給を促しました。それが選手たちにも意識として浸透していったと思います。

——初戦のニュージーランド戦は40本のシュートを打ち、3-0で快勝しました。大会の入り方としてはいかがでしたか。

白井 立ち上がりは全体的に硬さもあり、サイド攻撃が多くなりました。そこで「もっとゴール方向に向かう」と伝え、そこから先制点につながるPKを獲得するプレーが生まりました。一方で中央での崩しが少なかったため、効果的なシュートに結びつかなかった点は課題でした。

——ザンビア戦も2-0で勝利しましたが、どのような手応えがありましたか。

白井 日本人同士の対戦では体感できないリーチの長さ、相手のロングスローに苦しめられた試合でした。しかし、試合の中で選手たちは修正力を発揮しました。初戦から6人を入れ替えた中で、フレッシュな選手たちも個々の特長を示してくれました。小泉恵奈選手を前半はセンターバック、後半はボランチで起用しましたが、そうした起用は大会の中で選手たちの可能性を広げる狙いでもありました。彼女が強度の高い相手に対して、両ポジションで良さを見せてくれた点は大きな収穫でした。

勝ちたいという選手の思い
世界基準の強度を体感

——パラグアイ戦は終了間際のPKを決めてドローに持ち込み、グ



守備強度を上げるため、石井孝典フィジカルコーチの下、ウォーミングアップからメニューを取り入れた

——ラウンド16のコロンビア戦は、今大会で最も完成度が高かったように思います。

白井 前からのプレッシングと連動した守備、マンツーマンでも奪いにいく姿勢、中央を複数人で崩す攻撃など、なでしこジャパンを意識しながらこの年代で積み上げてきたものを最も体現できた試合だったと思います。また、この試合で21人全員がピッチに立てたことは、選手個々がつかみ取ったもので、それがよりチームの一体感をつくっていたと思います。

——世界基準との差で最も大きいと感じられた部分はどこでしょうか。

白井 選手たちは通常のプレッシングならはがせますが、DPR Koreaの守備の基準はさらに一つ、二つ上でした。まずはその強度でプレーできる技術が必要だと感じました。こちらが守備で正しいポジションを取っている状況でも、相手には打ち破ってくる強さがあり、ゴール前のクロス対応や1対1の局面については、攻守ともにもつと突き詰める必要ありません。駆け引きも時には必要でしょう。ヘディングも16、17歳の時点でジャンプしながらつなぐ技術がなければ、なでしこジャパンでは通用しないと思います。

——準々決勝では前回王者のDPR Koreaと対戦し、失点を重ねました。振り返っていただけますか。

白井 一瞬の迷いやスリッピーなピッチでボールが伸びたこともあって、(相手GKのロングボールから)開始1分の失点につながりました。ベンチは冷静でしたが、ピッチ上の選手たちはこちらが感じるよりも大きなプレッシングを感じていたと思います。事前キャンプから空中戦で触れるはずのボールを(触れずに)落とす場面があり、選手にはそこを重点的にフィードバックしていましたが、そうした課題が失点につながったと思います。

——ハーフタイムはどのような修正を?

白井 相手のプレッシングに対して日本は4-3-3の形だったのので、シャドーの福島望愛選手と中村

国のレベルも着実に上がっています。そして、日本もできることが増え、これまで以上にレベルアップしてきていると感じています。

今大会では、式田和選手のスピードと佐藤百音選手の対人能力が海外の選手たちにも十分通用していましたし、フィジカル能力でも世界基準に近づいている部分が見えました。ただ、U-16、U-17だけで全ての課題をクリアできるとは思っていません。世界大会から見たこの年代の課題を、中学生(U-15)年代から積み上げていくことで、U-17で世界一という景色が見えてくるのだと思います。

——ワールドカップが毎年開催となったことで、育成サイクルも変わるのでしょうか。

白井 今年のU-16日本女子代表はすでに3回活動できていますし、来年に向けた積み上げができています。このサイクルが定着すれば、育成の流れは安定していくと思います。とはいえ、長期合宿で大会に臨んだDPR Koreaなどと活動量ではまだまだ差があります。最も大事なことは、なでしこジャパンが4年後に世界でどう戦えるかということ。育成もそこから逆算して考える必要があります。

——今後のなでしこジャパンを目指す選手たちへの期待をお聞かせください。

白井 今大会の経験を日常のト

最後までチーム一丸となって戦ったU-17日本女子代表の選手たち。今大会の悔しさを成長の糧とする



100周年の記念すべき大会が日本で初開催

デフサッカー男子日本代表、 デフサッカー女子日本代表が 共に銀メダルを獲得！



©Haruo.Wanibe/JDFA

男子サッカー

予選を首位で通過、
接戦を制して初の決勝進出

デフリンピックは、1924年にパリで第一回大会が開催された。今回、初めて日本で開催される「第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025（略称：東京2025デフリンピック）」は、100周年の記念すべき大会となる。サッカー競技は11月14日から25日に行われ、聴覚障がいのあるサッカープレーヤーがJヴィレッジ（福島県）に集まった。

昨年の第4回ろう者サッカー世界選手権大会（ワールドカップ）で2位となったデフサッカー男子日本代表は、「最低でも世界一、最高でも世界一」を目標に掲げ、まずは13カ国を4グループに分けた予選リーグを戦った。

初戦でオーストラリアに8-0で快勝して波に乗ると、続くメキシコ戦を7-0で快勝。背番号10の岡田拓也、海外リーグで経験を積んだ林滉大らが複数得点を挙げてチームを勢いづけた。続くイタリアとの第3戦をスコアレスドローとし、グループ首位に立った日本は、デフリンピックで初のノックアウトステージに駒を進めた。



アメリカとの準決勝、
星河（写真中央）が決めた先制点を守り抜いて初の決勝へ

©Haruo.Wanibe/JDFA

準々決勝の相手であるイギリスは、当初、予選リーグの初戦で当たることになっていたが、参加国の変更によって組み合わせが変わったため、ここで対戦。万全の対策を講じてきたはずだったが、日本はFKで今大会初の失点を許し、前半は苦しい戦いを強いられる。しかし後半、「試合の入りで（気持ち）引いてしまいが、コミュニケーションを取って良いリズムを取り戻した」と話した岡田拓が、60分に同点ゴールを決めると、81分に西大輔が逆転弾を決めた。

迎えたアメリカとの準決勝、10分に星河真一郎がヘディングシュートを決めて日本が先制する。決勝までは中1日の試合が続いており、選手たちはまさに満身創痍の状態。試合は開始早々の4分にはいきなりトルコに先制を許し、苦しい展開となる。スタンドからは「きこえない、きこえない」と選手に伝わるよう考案されたサインエールで「大丈夫」という応援が飛び、7分、左サイドでボールを持った林のシュートですぐに同点に追いついた日本だったが、15分に得点源の岡田拓が交代でベンチに下がると、その3分後、日本はトルコに再びゴールを奪われてしまう。その後、後方からボールをつないで攻撃を組み立てていく日本らしいサッカーを見

金メダルにあと一歩 悔しさの残る決勝

決勝は平日夕方のキックオフにもかかわらず、Jヴィレッジスタジアムには、歴史的瞬間を見ようと多くの観客が詰めかけた。相手は世界ランキング3位のトルコ。金メダルまであと一つ、選手らは、そんな気持ちの高ぶりを抑え、手話で君が代を歌った。



満身創痍の中、全力を尽くした決勝は大接戦となった

©Haruo.Wanibe/JDFA

せる場面もあったが、トルコの牙城を崩せない。後半は、攻撃力を上げようと瀧澤諒斗らを次々と投入し、さらにアディショナルタイムでも日本は怒濤の攻撃を見せる。だが、無情にもタイムアップのホイッスル。日本は1-2で



決勝はトルコに先制されたが、林（写真左）の同点ゴールで追いつく

©Haruo.Wanibe/JDFA



JAPAN NATIONAL TEAM



©Haruo Wanibe/JDFA

敗れて悲願の金メダルはならなかった。

試合後、キャプテンのGK松元卓巳は、「悔しい。(この4年間取り組んできたことの)何が足りなかったのだろう」と胸の内を明かした。就任4カ月で世界2位のチームを築いた齋藤登監督は、「強くなりたいという思いの強さ、監督の目と表情で話の内容を吸収する素直さがある」と選手たちを称えた。また、「ヴィレッ

ジまで足を運んでエールを送ってくれた観客や大会を支えたボランティアに感謝を述べ、「サッカーで6試合をこれだけ短期間で行う大会は世界を見てもほとんどない。予選を前倒しするなど日程を考えてもらえると選手生命を守ったり、試合の質を高めたりすることにつながると思う」と、改善点を口にした。

女子サッカー

王者アメリカと2度対戦 その牙城は崩せず

デフサッカー女子日本代表にとっても大躍進の大会となった。当初は6カ国が参加する予



予選リーグ第3戦は阿部(写真中央)と岩淵の得点でオーストラリアに勝利し、グループ2位で決勝進出

定だったが、2カ国が参加を見送り、日本、アメリカ、イギリス、オーストラリアの総当たりで予選リーグを実施。日本は初戦でアメリカに0-5で敗れたが、イギリスとオーストラリアに白星を挙げ、上位2チームが対戦する決勝に駒を進めた。

女子デフサッカーの絶対王者であるアメリカと再び対戦することになった日本。序盤、再三にわたるアメリカの攻撃をなんとか防いでいたが、30分に先制を許すと、後半は3点を奪われて0-4で敗れた。ゲームキャプテンを務めた18歳の高木桜花が最後まで諦めない走りでシュートを放つなど見せ場もつくったが、体格に勝るアメリカのゴールを最後まで割れなかった。

試合後、「自分たちが今までやってきたことを全て出し切れた」と話した高木。大会前に脳振盪を起こして出場を見送ったキャプテンの伊東美和は「チームとしてまだ終わりではない。2年後のワールドカップで必ずアメリカに勝って優勝できるよう、前に進み続けたい」と、手話を交えて力強く語った。

女子サッカーは、デフフットサル女子日本代表の山本典城監督が約1年前から指揮を執り、自

<大会結果> ※得点は日本のみ

【男子】

優勝：トルコ
2位：日本
3位：フランス
※4位アメリカ、5位ウクライナ、6位イギリス、7位イタリア、8位ブラジル

■日本の試合結果

●グループステージ(予選リーグ)

第1戦(11月14日)
日本 8-0 オーストラリア
得点=岡田拓也(4点)、瀧澤諒斗(2点)、星河真一郎、名村昌矩

第2戦(11月16日)
日本 7-0 メキシコ
得点=林滉大(3点)、名村昌矩、星河真一郎、杉本大地、原口凌輔

第3戦(11月18日)
日本 0-0 イタリア

●ノックアウトステージ

準々決勝(11月20日)

日本 2-1 イギリス
得点=岡田拓也、西大輔

準決勝(11月22日)

日本 1-0 アメリカ
得点=星河真一郎

決勝(11月25日)

日本 1-2 トルコ
得点=林滉大

【女子】

優勝：アメリカ
2位：日本
3位：イギリス
4位：オーストラリア

■日本の試合結果

●グループステージ(予選リーグ)

第1戦(11月15日)

日本 0-5 アメリカ

第2戦(11月17日)

日本 6-0 イギリス

得点=高木桜花(2点)、久住呂文華、宮田夏実、小森彩耶、岩淵亜依

第3戦(11月21日)

日本 3-1 オーストラリア

得点=阿部菜摘(2点)、岩淵亜依

●決勝(11月25日)

日本 0-4 アメリカ

▶監督・選手コメントや試合の様子などは

こちら
<https://jdfa.jp/posts/deaflympics2025>



国開催の本大会に向けて強化を図ってきた。競技人口が少ない中、

男女日本代表の挑戦は、これからも続く。



アメリカと大会2度目の対戦となった決勝、最後まで走り続けた

©Haruo Wanibe/JDFA

阿部菜摘、岩淵亜依らデフフットサル代表としてプレーする選手の活躍もあり、初のメダルを手にすることができた。

今大会を機にデフサッカーを始める子どもたちが増えることを期待しつつ、さらに強くなるためには「日常のサッカー環境を良くしてレベルを上げなければならぬ」と山本監督も伊東キャプテンも口をそろえる。

大会は終わったが、史上初の銀メダルを獲得したデフサッカー男女日本代表の挑戦は、これからも続く。

アディダス ジャパン(株) 提供

日本サッカー協会のオフィシャルサプライヤーであるアディダス ジャパン(株)より、「TIROダブルバッグ(Mサイズ)」を1名様にプレゼント。



JFA STORE 提供

「JFA STORE」は、日本代表のグッズなどがそろったJFAのオフィシャルeコマースサイトです。さまざまなシーンや目的に合わせてグッズを確認できるページに加え、特集ページもご用意しました。

今号では「サッカー日本代表オフィシャルカレンダー2026(壁掛け、卓上)」を各1名様にプレゼントします。



壁掛け



卓上

JFA STORE



<https://official-store.jfa.jp/>

プレゼント応募方法

■Web

プレゼント応募URL

<https://forms.gle/wjAWQV2F8Uq45EaL7>

上記URLもしくはQRコードよりアクセスして
ご応募ください。



■はがき

〒112-0004

東京都文京区後楽1丁目4-18 トヨタ東京ビル
公益財団法人日本サッカー協会 コミュニケーション部
「JFAnews プレゼント応募」係

①名前、②郵便番号・住所、③電話番号、④希望プレゼント名、⑤JFAnews
のご感想・ご意見などを明記の上、郵送でお送りください。

当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。発送は2026年2月中旬から下旬の予定です。

※収集した個人情報は厳重に管理し、他の目的には使用しません。また、お送りいただいたはがきは返却しません。

JFA公式アプリ JFA Passport

全てのサッカーファミリーのためのJFA公式アプリです。

- 会員限定で参加できるイベント情報が満載
- アプリでしか見られないオリジナル動画を配信
- お得なクーポンやプレゼント情報を紹介

<https://www.jfa.jp/jfapassport/>



【サッカークイズを毎月更新中】

12月のトピックス予定：皇后杯 JFA 全日本女子サッカー選手権大会、
全国高校サッカー選手権大会・全日本高等学校女子サッカー選手権大会
SAMURAI BLUEクイズも出題中

◎サッカーのルールを学べるクイズも配信中！

JFA DREAM FUND

JFAの基金窓口を開設。寄せられた寄付金
金はJFAの理念やビジョンに基づき、主
にサッカーの普及や日本代表のさらなる
強化に使用します。

<https://jfa.jp/dream-fund/>



JFAクラウドファンディング

つながれ、みんなの夢へ。

JFA CROWDFUNDING

～みんなの夢を応援しよう！

JFAがCAMPFIREと共に提供するサッカーに特
化したクラウドファンディングサイトです。

<https://jfa.camp-fire.jp/>



<起案者のメリット>

- ✓ お得にクラウドファンディングを実施できる
- ✓ サッカー専用の無料セミナーがあり、初めてでも安心して始められる
- ✓ サッカーに関心がある人が集まるJFA公式サイトに掲載できる

<支援者のメリット>

- ✓ さまざまなサッカー活動の夢と挑戦を応援することができる
- ✓ サッカーに関連するリターンを得ることができる

公益財団法人日本サッカー協会 機関誌

JFAnews

発行人：湯川和之

発行所：公益財団法人日本サッカー協会
〒112-0004

東京都文京区後楽1丁目4-18 トヨタ東京ビル

TEL.050-2018-1990(代)

URL <https://www.jfa.jp>

監修：公益財団法人日本サッカー協会 コミュニケーション部

編集：編集長 多田寛

JFAnews編集部／(株)ウォールニクス

印刷：サンメッセ(株)

定価：600円／本体545円

次号2026年1月情報号は、2026年1月23日発売予定

[特集]いざ、8度目のFIFAワールドカップへ(仮題)

※特集テーマ・内容は変更となる場合があります

ご購入のお知らせ

・インターネットからのご購入

https://req.qubo.jp/jfa_coach/form/entry

・年間購読

JFAnewsの年間購読料は、送料・税込みで年間(12冊)5,000円で、
年間2,200円お得です。

ご希望の方は上記URLよりお申し込みください。



チーム登録をされている購読者さまへ

JFAnews発送における住所変更、名義変更を希望される場合は、
JFA公式ウェブサイトの「JFAへの登録」よりJFA IDシステムに
ログインしていただき、変更をお願いします。

<https://www.jfa.jp/registration/>



よろこびがつなぐ世界へ

KIRIN

健康を守る 発明品



機能性表示食品 健康な人の免疫機能の維持をサポート[プラズマ乳酸菌の研究報告]

おいしい免疫ケア、おいしい免疫ケア カロリーオフ [届出表示] 本品には、プラズマ乳酸菌(L. lactis strain Plasma)が含まれます。プラズマ乳酸菌はpDC(プラズマサイトイド樹状細胞)に働きかけ、健康な人の免疫機能の維持に役立つことが報告されています。おいしい免疫ケア 睡眠 [届出表示] 本品には、プラズマ乳酸菌(L. lactis strain Plasma)とGABAが含まれます。プラズマ乳酸菌はpDC(プラズマサイトイド樹状細胞)に働きかけ、健康な人の免疫機能の維持に役立つことが報告されています。GABAは睡眠の質(眠りの深さ、すっきりとした目覚め)の向上に役立つことが報告されています。●食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。●本品は、国許可を受けたものではありません。●本品は、疾病の診断、治療、予防を目的としたものではありません。

のんだあとはリサイクル。



oishii-meneki.kirin.co.jp

キリンビバレッジ株式会社



アスピス!

定価600円(本体545円)